

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-103058

(P2018-103058A)

(43) 公開日 平成30年7月5日(2018.7.5)

(51) Int.Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F1

A63F 7/02 304D

テーマコード (参考)

2C088

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 174 頁)

(21) 出願番号 特願2018-75107 (P2018-75107)
 (22) 出願日 平成30年4月10日 (2018.4.10)
 (62) 分割の表示 特願2014-111689 (P2014-111689)
 の分割
 原出願日 平成26年5月29日 (2014.5.29)

(71) 出願人 000148922
 株式会社大一商会
 愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地
 (72) 発明者 市原 高明
 愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地 株式
 会社大一商会内
 (72) 発明者 新見 好司
 愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地 株式
 会社大一商会内
 Fターム(参考) 2C088 BC25 EA10 EB78

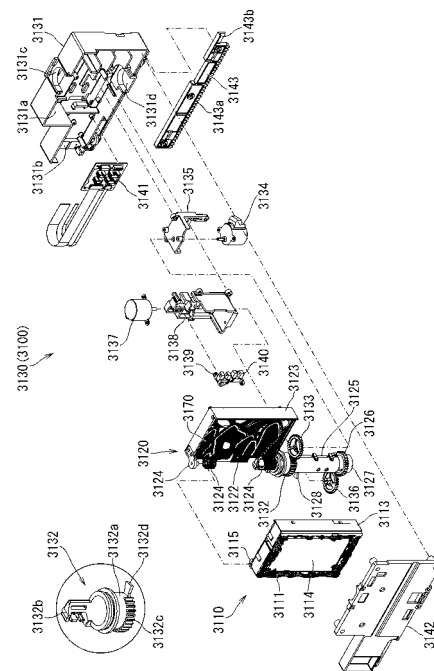
(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【要約】

【課題】 装飾部材を良好な状態で偏芯させて回転できるようにすることで遊技者を楽しませるの興趣の低下を抑制させることが可能な遊技機を提供する。

【解決手段】 パチンコ機に、遊技球が打込まれる正面視遊技領域内に配置され互いにヒンジ回転可能に取付けられている裏下後可動演出ユニット3100の裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120と、ヒンジ回転の軸線と同軸上で裏下後第二装飾体3120の重心より偏芯した部位から所定長さで突出している装飾体支持軸3125と、装飾体支持軸3125の上端部と下端部とを夫々回転可能に支持している上軸受部3131c及び下軸受部3131dを有した回転駆動ユニットベース3131、及び回転駆動ユニットベース3131に取付けられ装飾体支持軸3125を回転させる裏下後第二駆動モータ3137を有した回転駆動ユニット3130と、を具備させる。

【選択図】 図101



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、

正面視該遊技領域内に配置されており外面に装飾が施されている装飾部材、及び該装飾部材の下端における重心に対して偏芯した部位から所定長さで下方に突出している支持軸を有している装飾ユニットと、

該装飾ユニットの前記支持軸の上端部と下端部とを夫々回転可能に支持している上軸受部及び下軸受部を有している回転駆動ユニットベース、及び該回転駆動ユニットベースに取付けられており、前記遊技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて前記支持軸を回転させる駆動モータを有している回転駆動ユニットと

10

を具備していることを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ぱちんこ遊技機（一般的に「パチンコ機」とも称する）や回胴式遊技機（一般的に「パチスロ機」とも称する）等の遊技機に関するものである。

【背景技術】

【0002】

パチンコ機等の遊技機は、遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、遊技領域内に植設されている複数の障害釘と、遊技領域内において遊技媒体を受入可能とされている受入口（一般入賞口、始動口、可変入賞口、等）と、を備えており、受入口に遊技媒体が受入れられると、遊技者に対して特典（遊技媒体の払出し、可変入賞口の開閉動作等の遊技者が有利となる有利遊技状態の発生、等）を付与し、遊技者を楽しませることができる。

20

【0003】

この種の遊技機として、正面視遊技領域内の所定位置で遊技者側から視認可能に配置されており、技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて上下に延びた軸線周りに回転する装飾部材を備えたものが提案されている（例えば、特許文献1）。この特許文献1の技術では、装飾部材に演出画像を表示可能な液晶表示装置を備えており、遊技状態に応じて液晶表示装置の表示画面を遊技者側へ向けて演出画像を見せたり、表示画面とは反対側の裏面を遊技者側へ向けて裏面の装飾を遊技者に見せたりして、遊技者を楽しませられるようにしている。

30

【0004】

また、特許文献1の技術では、装飾部材を正面視遊技領域内の右端付近に配置した上で、装飾部材の下端部における左右方向中央から左寄りの位置で回転可能に支持しているため、装飾部材を約180度回転させると、遊技領域内の中央寄りの位置で裏面を遊技者側に見せることができ、装飾部材の裏面を目立たせて遊技者の関心を強く引き付けることができる。

【0005】

しかしながら、特許文献1のような技術では、装飾部材の重心に対して偏芯した位置から下方に延びた支持軸を一つの軸受部材で支持しているため、支持軸に作用している偏荷重により支持軸や軸受部材が早期に偏摩耗してしまい、装飾部材を良好な状態で支持することができなくなって遊技の中断に繋がる不具合が発生する虞があった。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】特開2011-72649号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

50

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、装飾部材を良好な状態で偏芯させて回転できるようにすることで遊技者を楽しませるの興趣の低下を抑制させることが可能な遊技機の提供を課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0008】

手段1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、

正面視該遊技領域内に配置されており外面に装飾が施されている装飾部材、及び該装飾部材の下端における重心に対して偏芯した部位から所定長さで下方に突出している支持軸を有している装飾ユニットと、

10

該装飾ユニットの前記支持軸の上端部と下端部とを夫々回転可能に支持している上軸受部及び下軸受部を有している回転駆動ユニットベース、及び該回転駆動ユニットベースに取付けられており、前記遊技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて前記支持軸を回転させる駆動モータを有している回転駆動ユニットと

を具備している」ことを特徴とする遊技機。

【0009】

ここで、「装飾部材」としては、「互いに背向している二面を有した板状の部材」、「多角柱状の部材」、「外形が四角形で背向している二面を有し、上下に延びている二辺のうちの一边において互いにヒンジ回転可能に取付けられている複数の装飾体からなる部材」、「演出画像を表示可能な演出表示装置を備えている部材」、等が挙げられる。

20

【0010】

また、支持軸の「所定長さ」としては、「装飾部材の高さの0.5倍～1倍の長さ」、「装飾部材の高さの0.6倍～0.9倍の長さ」、「装飾部材の高さの0.7倍～0.8倍の長さ」、等が挙げられる。

【0011】

更に、「上軸受部」及び「下軸受部」としては、「すべり軸受」、「転がり軸受」、等が挙げられ、「下軸受部」として「スラスト軸受」を用いても良い。

【0012】

また、「遊技状態に応じて」とは、「遊技領域内に配置された受入口（例えば、一般入賞口、始動口、大入賞口、役物入賞口、V入賞口、等）への遊技媒体の受入れに応じて」、「遊技領域内に打ち込まれた（投入された）遊技媒体が特定領域（例えば、ゲート、ワープ通路、ステージ、等）を通過したことに応じて」、「受入口（例えば、始動口）への遊技媒体の受入れにより抽選された抽選結果に応じて」、「遊技媒体の投入を契機として回転する複数の回転体の回転に応じて」、「遊技媒体の投入を契機として回転した複数の回転体を順次停止させ、停止した回転体に表示された図柄の組合せに応じて」、「始動入賞等による抽選によって決まる演出の種類に応じて」、「遊技領域内へ打ち込まれる遊技媒体の打込量に応じて」、「遊技領域内へ打ち込まれる遊技媒体の打込ブランクの長さに応じて」、等が挙げられる。

30

【0013】

更に、駆動モータにより支持軸を回転させる構成としては、「支持軸に備えられた軸ギアと、軸ギアと噛み合し駆動モータにより回転させられる駆動ギアと、を備えた機構」、「支持軸に駆動モータの回転軸を直結させた機構」、「支持軸に備えられた軸プーリと、軸プーリとにベルトが巻き掛けられ駆動モータにより回転させられる駆動プーリと、を備えた機構」、等が挙げられる。

40

【0014】

手段1の構成によると、遊技機に、遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、正面視遊技領域内に配置されており外面に装飾が施されている装飾部材、及び装飾部材の下端における重心に対して偏芯した部位から所定長さで下方に突出している支持軸を有している装飾ユニットと、装飾ユニットの支持軸の上端部と下端部とを夫々回転可能に支持している上軸受部及び下軸受部を有している回転駆動ユニットベース、及び回転駆

50

動ユニットベースに取付けられており、遊技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて支持軸を回転させる駆動モータを有している回転駆動ユニットと、を備えるようにしたものである。

【0015】

これにより、遊技者が遊技領域内に遊技媒体を打込んで遊技状態を変化させると、変化した遊技状態に応じて、回転駆動ユニットの駆動モータが駆動して装飾ユニットの支持軸が回転し、支持軸を介して正面視遊技領域内に配置されている装飾部材が、重心から偏芯した位置で上下に延びた軸線周りに回転することとなることから、例えば、通常の状態から装飾部材を180度回転させると、装飾部材の表面を見せたり裏面を見せたりすることができる他に、正面視遊技領域の中央に対して近づけたり遠ざけたりすることができ、多彩な演出を遊技者に見せて楽しませることができる。この際に、装飾部材の下端から下方に突出している支持軸の上端部と下端部とを、回転駆動ユニットベースの上軸受部と下軸受部とで夫々回転可能に支持しており、可及的に上下に離れた位置の二か所で回転可能に支持しているため、支持軸が重心に対して偏芯した位置から突出していることで支持軸を傾けようとする偏荷重が作用しても、支持軸を傾き難くすることができ、支持軸を真っ直ぐに支持して装飾部材を回転させることができると共に、上軸受部及び下軸受部の二か所で装飾部材からの荷重を分担して受けることで偏摩耗を低減させて装飾部材を長期に亘って良好な状態で回転させることができ、装飾部材を用いた演出を遊技者に楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0016】

また、支持軸を、その上端部と下端部とにおいて回転駆動ユニットの上軸受部と下軸受部との二か所で回転可能に支持しており、上述したように装飾部材の荷重を二か所で分担して支持しているため、装飾部材が重くても良好に回転可能に支持することができる。従って、装飾部材を大きくすることで、装飾部材を目立たせて遊技者の関心を引付け易くすることができ、訴求力の高い遊技機とすることができると共に、演出表示装置や複雑な機構を備えることで、多彩な演出を遊技者に提示することができ、遊技者を飽き難くして遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0017】

なお、装飾部材に演出画像を表示可能な演出表示装置を備えるようにしても良く、これにより、演出表示装置の表示画面を前方の遊技者側に向けている時に、その表示画面に演出画像を表示して遊技者に見せることで、演出画像により遊技者を楽しませることができ、遊技者の遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。また、演出表示装置の表示画面の装飾部材の外周面の一部から臨むようにした場合、装飾部材の回転停止位置によって遊技者側から演出表示装置の表示画面を視認できるようにしたり視認できないようにしたりすることができるため、演出表示装置が視認できるようになることで演出画像を楽しむことができると共に、演出表示装置とは反対側の面（裏面）が視認できるようになることで、遊技者にチャンスの到来等を示唆して遊技に対する期待感を高めさせることができ、遊技者の遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0018】

また、支持軸の下端部付近に軸下ギアを有するようにした上で、軸下ギアと噛合している下駆動ギアが回転軸に取付けられ支持軸よりも正面視遊技領域の左右方向の中央に近い側に駆動モータとしての下駆動モータを取付けるようにしても良い。これにより、通常の状態において、装飾部材からの荷重により支持軸の下端側を、遊技領域の中央に近づく方向へ移動（倒れ）させようする力を、下端部を回転可能に支持している回転駆動ユニットベースの下軸受部と下駆動モータとで受けることができ、支持軸を倒れ難くして装飾部材を良好な状態で支持することができる。

【0019】

更に、装飾部材を四角形とし上下に延びている二辺のうちの一边側で支持軸の軸線を中心にして回転させるようにしても良く、これにより、平面視において装飾部材の旋回範囲を可及的が広がるため、回転による装飾部材の動きが大きくなって目立ち易くなり、遊

10

20

30

40

50

技者に装飾部材の動きに気付かせて装飾部材に注目させることができ、装飾部材による演出を確実に見せて楽しませることができる。また、この場合、例えば、装飾部材の一方側の面（表面）を前方に向けた状態で、支持軸を介して装飾部材を180度回転させて反対側の面（裏面）を前方に向けた状態とすると、装飾部材における左右方向の移動距離が可及的に長くなり、当初の位置から装飾部材の左右方向の大きさと略同じ距離を移動した位置に移動させることができるため、後方に配置された他の部材（例えば、演出画像を表示可能な演出表示手段）の邪魔にならない位置と邪魔になる位置との間で大きく移動させることが可能となり、位置（遊技状態）に応じて後方の部材を目立たせたり装飾部材を目立たせたりすることができ、多彩な演出を遊技者に提示して遊技者が飽き難い遊技機とすることができる。

10

【0020】

また、支持軸の長さを装飾部材の高さの0.5倍～1倍の範囲内の長さとするのが望ましく、これにより、支持軸が装飾部材の重心から偏芯した位置から突出することで装飾部材から偏荷重が作用しても、傾くことなく良好な状態で支持軸を介して装飾部材を回転可能に支持させることができ、上述した作用効果を確実に奏する遊技機を具現化することができる。

【0021】

更に、装飾部材を、外形が四角形で背向している二面に異なる装飾を有し、上下に延びている二辺のうちの一边において互いにヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体で構成し、第一装飾体及び第二装飾体の何れかから支持軸を下方に突出させるようにしても良い。これにより、遊技状態に応じて回転駆動ユニットの駆動モータにより支持軸を回転させると、第一装飾体及び第二装飾体のうちの支持軸が突出している方を介して第一装飾体及び第二装飾体と一緒に回転し、回転を停止させると、ヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体と第二装飾体との位置関係と回転方向とによって、支持軸が突出していない方の第一装飾体又は第二装飾体が、慣性力によってヒンジ回転する。従って、駆動モータにより支持軸を介して装飾部材を適宜の方向に回転させると、第一装飾体及び第二装飾体を重畳した状態で一緒に回転させたり、重畳した状態から開かせたり、開いた状態から重畳させたりすることができるため、多彩な演出を遊技者に提示することができ、遊技者を飽き難くさせることができると共に、重畳した状態から第一装飾体と第二装飾体とを開かせることで装飾部材を大きくすることができ、装飾部材を目立たせて遊技者の関心を強く引き付けることが可能となり、遊技者に装飾部材による演出を楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

20

30

【0022】

この場合において、支持軸を、ヒンジ回転の軸線と同軸上で第二装飾体から突出させた上で、支持軸の上端部に回転可能に取付けられると共に第一装飾体を取付けており外周に軸上ギアを備えている回転伝達部材と、軸上ギアと噛合している上駆動ギアが回転軸に取付けられている駆動モータとしての上駆動モータと、を更に有するようにすることが望ましい。これにより、下駆動モータにより下駆動ギアを回転駆動させると、第二装飾体が回転し、上駆動モータにより上駆動ギアを回転駆動させると、第一装飾体が回転することとなるため、上駆動モータ及び下駆動モータにより第一装飾体及び第二装飾体を夫々別々に回転させることができると共に、ヒンジ回転可能な第一装飾体と第二装飾体との位置関係によっては、重畳している第一装飾体と第二装飾体とを開いたり、開いている第一装飾体と第二装飾体とを重畳させて閉じたり、第一装飾体と第二装飾体とを一緒に回転させたりすることができるため、多彩な演出を遊技者に提示することができ、遊技者を飽き難くさせて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。この際に、正面視遊技領域の中央から遠い側に上駆動モータを配置することが望ましく、これにより、通常の状態において、装飾部材からの荷重により支持軸の上端側を、遊技領域の中央から遠ざかる方向へ移動（倒れ）させようとする力を、上端部を回転可能に支持している回転駆動ユニットベースの上軸受部と上駆動モータとで受けることができ、支持軸を倒れ難くして装飾部材を良好な状態で支持することができる。

40

50

【0023】

また、回転駆動ユニットを遊技状態に応じて左右方向にスライド移動させるスライドユニットを備えるようにしても良く、これにより、遊技状態に応じて、スライドユニットにより回転駆動ユニットを介して装飾部材を左右方向にスライド移動させることができるため、回転駆動ユニットによる装飾部材の回転と、スライドユニットによる装飾部材のスライドとを適宜組合せることで、装飾部材を用いた演出を多彩にすることができ、遊技者を飽き難くさせて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0024】

また、正面視遊技領域の略中央に演出画像を表示可能な液晶表示装置等の演出表示手段を備え、演出表示手段よりも前側の位置で装飾部材を回転させるようにしても良く、これにより、装飾部材による演出に加えて演出表示手段に表示された演出画像も遊技者に楽しませることができる他に、装飾部材が偏芯して回転することにより、正面視において装飾部材が演出表示手段の表示画面から遠ざかったり近づいたりして遊技者側から目立たせることができ、装飾部材による演出を確実に楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

10

【0025】

手段2：手段1の構成において、

「前記装飾部材は、

演出画像を表示可能な演出表示装置を、有している」ものであることを特徴とする。

【0026】

20

ここで、「演出表示装置」としては、「液晶表示装置」、「有機EL表示装置」、「LED表示装置」、「プラズマ表示装置」、等が挙げられる。

【0027】

手段2の構成によると、装飾部材に、演出画像を表示可能な演出表示装置を有するようにしたものである。

【0028】

これにより、装飾部材に演出画像を表示可能な演出表示装置を備えているため、演出表示装置の表示画面を前方の遊技者側に向けている時に、その表示画面に演出画像を表示して遊技者に見せることで、演出画像により遊技者を楽しませることができ、遊技者の遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

30

【0029】

また、演出表示装置の表示画面の装飾部材の外周面の一部から臨むようにした場合、装飾部材の回転停止位置によって遊技者側から演出表示装置の表示画面を視認できるようにしたり視認できないようにしたりすることができるため、演出表示装置が視認できるようになることで演出画像を楽しませることができると共に、演出表示装置とは反対側の面（裏面）が視認できるようになることで、遊技者にチャンスの到来等を示唆して遊技に対する期待感を高めさせることができ、遊技者の遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0030】

更に、上述したように、支持軸の上端部と下端部とにおいて回転駆動ユニットの上軸受部と下軸受部とで回転可能に支持することにより装飾部材の荷重を二か所で分担して支持していることから、装飾部材が重くても良好に回転可能に支持することができるため、装飾部材に比較的重量のある演出表示装置を備えても、装飾部材を良好な状態で回転可能に支持することができ、上述した作用効果を確実に奏する遊技機とすることができる。

40

【0031】

手段3：手段1又は手段2の構成において、

「前記装飾ユニットは、

前記支持軸の下端部付近に取付けられている軸下ギアを更に有しており、

前記回転駆動ユニットは、

前記装飾ユニットの前記軸下ギアと噛合している下駆動ギアと、該下駆動ギアが回転軸

50

に取付けられていると共に前記回転駆動ユニットベースに前記支持軸よりも正面視において前記遊技領域の左右方向の中央に近い側に取付けられている前記駆動モータとしての下駆動モータと、を更に有している」ものであることを特徴とする。

【0032】

手段3の構成によると、装飾ユニットに、支持軸の下端部付近に取付けられている軸下ギアを、有するようにした上で、回転駆動ユニットに、装飾ユニットの軸下ギアと噛合している下駆動ギアと、下駆動ギアが回転軸に取付けられていると共に回転駆動ユニットベースに支持軸よりも正面視において遊技領域の左右方向の中央に近い側に取付けられている駆動モータとしての下駆動モータと、を更に有するようにしたものである。

【0033】

ところで、正面視遊技領域内に可動する装飾部材を配置する場合、通常の状態では、装飾部材を遊技領域の中央から遠ざかった位置に配置し、遊技状態に応じて遊技領域の中央に近い位置へ可動させることで、装飾部材を目立たせて遊技者の関心を引付けるようにしている。そして、装飾部材を重心に対して偏芯した位置で回転可能に支持する場合、通常の状態では、装飾部材を回転可能に支持するための支持軸に対して、装飾部材の重心が遊技領域の中央から遠い位置となるように、装飾部材を配置することとなる。従って、この通常の状態では、装飾部材からの荷重により、上端側が遊技領域の中央から遠ざかる方向へ支持軸が倒れようとする、言い換えると、下端側が遊技領域の中央に近づく方向へ支持軸が倒れようとする。

【0034】

これに対して、本手段では、支持軸の下端部に備えた軸下ギアに対して、正面視遊技領域の中央に近い側から下駆動モータの回転軸に取付けられた下駆動ギアを噛合させて、支持軸を下駆動モータにより回転させるようにしているため、通常の状態において、装飾部材からの荷重により支持軸の下端側に作用する遊技領域の中央に近づく方向へ移動（倒れ）させようとする力を、下端部を回転可能に支持している回転駆動ユニットベースの下軸受部と下駆動モータとで受けることができ、支持軸を倒れ難くして装飾部材を良好な状態で支持することができる。

【0035】

手段4：手段1から手段3までの何れか一つの構成において、
「前記装飾部材は、
外形が上下に延びている四角形に形成されており、且つ、
前記支持軸は、
前記装飾部材の上下に延びている二辺のうちの一边側から下方に突出している」ものであることを特徴とする。

【0036】

手段4の構成によると、装飾部材の外形を上下に延びている四角形とした上で、支持軸を、装飾部材の上下に延びている二辺のうちの一边側から下方に突出させるようにしたものである。

【0037】

これにより、装飾部材を四角形とし上下に延びている二辺のうちの一边側で支持軸の軸線を中心にして回転させるようにしていることから、平面視において装飾部材の旋回範囲を可及的が広がるため、回転による装飾部材の動きが大きくなって目立ち易くなり、遊技者に装飾部材の動きに気付かせて装飾部材に注目させることができ、装飾部材による演出を確実に見せて楽しませることができる。この際に、装飾ユニットの支持軸を、上下両端部の二か所で回転可能に支持しているため、支持軸を装飾部材からの偏荷重が大きく作用する上下に延びた二辺のうちの一边側から突出させても、支持軸が傾かないように十分に支持することができ、装飾部材を用いた演出効果を確実に発揮させて、遊技者を楽しませることができる。

【0038】

また、装飾部材における上下に延びた一边側で回転させるようにしていることから、例

10

20

30

40

50

えば、装飾部材の一方側の面（表面）を前方に向けた状態で、支持軸を介して装飾部材を180度回転させて反対側の面（裏面）を前方に向けた状態とすると、装飾部材における左右方向の移動距離が可及的に長くなり、当初の位置から装飾部材の左右方向の大きさと略同じ距離を移動した位置に移動させることができるため、後方に配置された他の部材（例えば、演出画像を表示可能な演出表示手段）の邪魔にならない位置と邪魔になる位置との間で大きく移動させることが可能となり、位置（遊技状態）に応じて後方の部材を目立たせたり装飾部材を目立たせたりすることができ、多彩な演出を遊技者に提示して遊技者が飽き難い遊技機とすることができる。

【0039】

手段5：手段1から手段4までの何れか一つの構成において、

「前記支持軸は、

前記装飾部材の高さの0.5倍～1倍の長さとしてされている」ものであることを特徴とする。

【0040】

ここで、支持軸の所定長さを、装飾部材の高さの0.5倍～1倍（好ましくは、0.6倍～0.9倍、更に好ましくは、0.7倍～0.8倍）の長さの範囲内としているのは、これ以上長さが短いと、支持軸の下端部（下軸受部）に作用する装飾部材からの偏荷重が大きくなり過ぎて、構成が簡単で安価な軸受の機構では十分に支持することが困難となり不具合が早期に発生してしまう虞があるためであり、これ以上長さが長いと、回転駆動ユニットの上下方向の寸法が大きくなり過ぎることから、設置自由度が低くなって所望の位置に装飾部材を配置することが困難となったり、限られたスペース内において回転駆動ユニットが大きくなることで相対的に装飾部材が小さくなってしまい装飾部材が目立たなくなって十分な装飾効果や演出効等が得られなくなったりする虞があるためである。

【0041】

手段5の構成によると、支持軸の長さを、装飾部材の高さの0.5倍～1倍の長さとしたものである。

【0042】

これにより、支持軸の長さを装飾部材の高さの0.5倍～1倍の範囲内の長さとしているため、支持軸が装飾部材の重心から偏芯した位置から突出することで装飾部材から偏荷重が作用しても、傾くことなく良好な状態で支持軸を介して装飾部材を回転可能に支持させることができ、上述した作用効果を確実に奏する遊技機を具現化することができる。

【0043】

手段6：手段1から手段5までの何れか一つの構成において、

「前記装飾部材は、

外形が四角形で背向している二面に異なる装飾を有し、上下に延びている二辺のうちの一边において互いにヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体で構成されており、

前記第一装飾体及び前記第二装飾体の何れか一方から前記支持軸が下方に突出している」ものであることを特徴とする。

【0044】

手段6の構成によると、装飾部材を、外形が四角形で背向している二面に異なる装飾を有し、上下に延びている二辺のうちの一边において互いにヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体で構成した上で、第一装飾体及び第二装飾体の何れか一方から支持軸を下方に突出させるようにしたものである。

【0045】

これにより、遊技状態に応じて回転駆動ユニットの駆動モータにより支持軸を回転させると、第一装飾体及び第二装飾体のうちの支持軸が突出している方を介して第一装飾体及び第二装飾体と一緒に回転し、回転を停止させると、ヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体と第二装飾体との位置関係と回転方向とによって、支持軸が突出していない方の第一装飾体又は第二装飾体が、慣性力によってヒンジ回転する。従って、駆動モータに

より支持軸を介して装飾部材を適宜の方向に回転させると、第一装飾体及び第二装飾体を重畳した状態で一緒に回転させたり、重畳した状態から開かせたり、開いた状態から重畳させたりすることができるため、多彩な演出を遊技者に提示することができ、遊技者を飽き難くさせることができると共に、重畳した状態から第一装飾体と第二装飾体とを開かせることで装飾部材を大きくすることができ、装飾部材を目立たせて遊技者の関心を強く引き付けることが可能となり、遊技者に装飾部材による演出を楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0046】

この際に、互いにヒンジ回転可能に取付けられた第一装飾体及び第二装飾体で装飾部材を構成することで、装飾部材の重量が増加して支持軸に作用する偏荷重が大きくなっても、支持軸を上下両端部の二か所で回転可能に支持しているため、装飾部材から作用する偏荷重により支持軸が傾かないように十分に支持することができ、第一装飾体及び第二装飾体で構成している装飾部材を用いた演出効果を確実に発揮させて、遊技者を楽しませることができる。

【0047】

また、ヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体を開いたり閉じたりすることで装飾部材の重心の位置が移動するため、第一装飾体と第二装飾体との位置関係によって支持軸に作用する偏荷重が変化するが、上述したように、支持軸を上下両端部の二か所で回転可能に支持しているため、装飾部材から作用する偏荷重が変化しても、支持軸が傾くことなく良好な状態で回転可能に支持し続けることができ、上述した作用効果を確実に奏することができる。

【0048】

なお、ヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体による具体的な動き（演出）としては、第一装飾体と第二装飾体とを互いに重畳させて閉じている状態で第一装飾体又は第二装飾体の一方のみを回転させて第一装飾体と第二装飾体とが並んで開いている状態としたり、第一装飾体と第二装飾体とを互いに重畳させて閉じた状態で第一装飾体と第二装飾体とを一緒に回転させて回転させる前の状態の時に後方を向いている裏面を前方に向いた状態としたり、第一装飾体と第二装飾体とが並んで開いている状態で第一装飾体と第二装飾体とを一緒に回転させて回転させる前の状態の時に後方を向いている裏面を前方に向いた状態としたり、第一装飾体と第二装飾体とが並んで開いている状態で第一装飾体又は第二装飾体の一方のみを回転させて第一装飾体と第二装飾体とを互いに重畳させて閉じている状態としたりする等のような動作（演出）をさせることができる。

【0049】

そして、第一装飾体と第二装飾体とを互いの面を重畳させて閉じた状態から、互いの面を並べて開いた状態とした場合、第一装飾体と第二装飾体とによる装飾の面が正面視遊技領域内において拡大（拡張）すると共に、閉じて遊技者側から見えなかった面が開くことで遊技者側から見えるようになることから、第一装飾体と第二装飾体による装飾範囲を拡大させることができると共に装飾を変化させることができるため、遊技者に強いインパクトを与えることができ、遊技者の関心を第一装飾体及び第二装飾体に強く引き付けて第一装飾体及び第二装飾体により広がった装飾を楽しませることができると共に、遊技者に対して何か良いことがあるのではないかと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせて興趣の低下を抑制させることができる。

【0050】

また、第一装飾体と第二装飾体とを互いに重畳させて閉じた状態で、第一装飾体と第二装飾体とを一緒に回転させた場合、第一装飾体及び第二装飾体のヒンジ回転可能に取付けられている一方の辺側を中心にして回転することから、当初の状態の後方を向いていた面（裏面）が前方を向くように回転させると、第一装飾体及び第二装飾体の全体の位置がヒンジ回転の中心軸を挟んで反対側の位置に移動することとなる。これにより、正面視遊技領域内における第一装飾体又は第二装飾体による装飾の領域を移動させることができると共に、遊技者側から視認可能な装飾を変化させることができるため、遊技者の関心を第一装

10

20

30

40

50

飾体や第二装飾体に強く引き付けることができ、第一装飾体や第二装飾体の動きや装飾を楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0051】

また、第一装飾体と第二装飾体とを互いに重畳させて閉じた状態で、第一装飾体又は第二装飾体の一方を回転させて開いたり、第一装飾体及び第二装飾体を一緒に回転させたりする場合、何れの場合でも、第一装飾体及び第二装飾体における遊技者側から視認可能な面が回転を開始するため、回転開始の当初では、第一装飾体と第二装飾体とが、開くのか、或は、一緒に回転するのかが、判り難く、遊技者に対して何れの動作をするのかでドキドキ・ワクワクさせることができ、遊技者の期待感を高めさせることができる。また、当初の状態で視認可能な装飾に対して、第一装飾体と第二装飾体とを、開いた場合と、一緒に回転させた場合とでは、遊技者側から視認可能となる装飾の変化が異なることとなるため、様々なパターンで遊技者に装飾の変化を楽しませることができ、多様な演出により遊技者を飽き難くさせることができる。

10

【0052】

手段7：手段6の構成において、

「前記支持軸は、

前記第一装飾体と前記第二装飾体とを取付けているヒンジ回転の軸線と同軸上で該第二装飾体の下端から下方に突出しており、且つ、

前記回転駆動ユニットは、

前記支持軸の上端部に回転可能に取付けられていると共に前記回転駆動ユニットベースの前記上軸受部に回転可能に取付けられているスリーブ部、該スリーブ部から上方に突出しており前記第一装飾体に取付けられる連結部、及び前記スリーブ部の外周に形成されている軸上ギアを備えている回転伝達部材と、

20

該回転伝達部材の前記軸上ギアと噛合している上駆動ギアと、

該上駆動ギアが回転軸に取付けられていると共に前記回転駆動ユニットベースに取付けられている前記駆動モータとしての上駆動モータと

を更に有している」ものであることを特徴とする。

【0053】

手段7の構成によると、支持軸を、第一装飾体と第二装飾体とを取付けているヒンジ回転の軸線と同軸上で第二装飾体の下端から下方に突出させた上で、回転駆動ユニットに、支持軸の上端部に回転可能に取付けられていると共に回転駆動ユニットベースの上軸受部に回転可能に取付けられているスリーブ部、スリーブ部から上方に突出しており第一装飾体に取付けられる連結部、及びスリーブ部の外周に形成されている軸上ギアを備えている回転伝達部材と、回転伝達部材の軸上ギアと噛合している上駆動ギアと、上駆動ギアが回転軸に取付けられていると共に回転駆動ユニットベースに取付けられている駆動モータとしての上駆動モータと、を更に有するようにしたものである。

30

【0054】

これにより、遊技状態に応じて駆動モータとしての下駆動モータにより下駆動ギアを回転駆動させると、下駆動ギアと噛合している軸下ギアにより支持軸が回転し、支持軸が突出している装飾部材の第二装飾体が回転することとなる。一方、遊技状態に応じて駆動モータとしての上駆動モータにより上駆動ギアを回転駆動させると、上駆動ギアと噛合している軸上ギアにより回転伝達部材が支持軸の上端部において支持軸の周りを回転し、回転伝達部材の連結部に取付けられている第一装飾体が回転することとなる。そして、支持軸が、第一装飾体と第二装飾体とを互いに取付けているヒンジ回転の軸線と同軸上に配置されているため、上駆動モータ及び下駆動モータにより第一装飾体及び第二装飾体を夫々別々に回転させることができると共に、ヒンジ回転可能な第一装飾体と第二装飾体との位置関係によっては、重畳している第一装飾体と第二装飾体とを開いたり、開いている第一装飾体と第二装飾体とを重畳させて閉じたり、第一装飾体と第二装飾体とを一緒に回転させたりすることができるため、彩な演出を遊技者に提示することができ、遊技者を飽き難くさせて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

40

50

【0055】

手段8：手段7の構成において、

「前記上駆動モータは、

前記支持軸よりも正面視において前記遊技領域の左右方向の中央から遠い側に取付けられている」ものであることを特徴とする。

【0056】

手段8の構成によると、上駆動モータを、支持軸よりも正面視において遊技領域の左右方向の中央から遠い側に取付けるようにしたものである。

【0057】

ところで、正面視遊技領域内に可動する装飾部材を配置する場合、通常の状態では、装飾部材を遊技領域の中央から遠ざかった位置に配置し、遊技状態に応じて遊技領域の中央に近い位置へ可動させることで、装飾部材を目立たせて遊技者の関心を引付けるようにしている。そして、装飾部材を重心に対して偏芯した位置で回転可能に支持する場合、通常の状態では、装飾部材を回転可能に支持するための支持軸に対して、装飾部材の重心が遊技領域の中央から遠い位置となるように、装飾部材を配置することとなる。従って、この通常の状態では、装飾部材からの荷重により、上端側が遊技領域の中央から遠ざかる方向へ支持軸が倒れようとする。

【0058】

これに対して、本手段では、支持軸の上端部に備えた軸上ギアに対して、正面視遊技領域の中央から遠い側から上駆動モータの回転軸に取付けられた上駆動ギアを噛合させて、支持軸を上駆動モータにより回転させるようにしているため、通常の状態において、装飾部材からの荷重により支持軸の上端側に作用する遊技領域の中央から遠ざかる方向へ移動（倒れ）させようする力を、上端部を回転可能に支持している回転駆動ユニットベースの上軸受部と上駆動モータとで受けることができ、支持軸を倒れ難くして装飾部材を良好な状態で支持することができる。

【0059】

この際に、支持軸の下端部に軸下ギアを備えると共に、支持軸における正面視遊技領域の中央に近い側に軸下ギアと噛合する下駆動ギアが回転軸に取付けられた下駆動モータを配置するようにすることで、通常の状態において、装飾部材からの荷重により支持軸の下端側に作用する遊技領域の中央に近づく方向へ移動（倒れ）させようする力を、下端部を回転可能に支持している回転駆動ユニットベースの下軸受部と下駆動モータとで受けることが可能となり、上述した上端側での作用効果と合わせて支持軸を、より一層倒れ難くすることができ、装飾部材を良好な状態で回転可能に支持することができる。また、この場合では、支持軸を間にして遊技領域の中央から遠い側に上駆動モータが、中央に近い側に下駆動モータが夫々取付けられることとなるため、回転駆動ユニットベース内において上駆動モータと下駆動モータとが干渉することはない、上述した作用効果を奏する遊技機を具現化し易くすることができる。

【0060】

手段9：手段1から手段8までの何れか一つの構成において、

「前記回転駆動ユニットを前記遊技状態に応じて左右方向にスライド移動させるスライドユニットを更に具備している」ものであることを特徴とする。

【0061】

ここで、「スライドユニット」としては、「回転駆動ユニットを遊技パネルの面に沿った方向へスライド可能に取付けているスライドガイドと、回転駆動ユニットに取付けられておりスライド方向に延びているラックギアと、ラックギアと噛合するピニオンギアと、ピニオンギアを遊技状態に応じて回転駆動させる駆動モータと、を備えたユニット」、「回転駆動ユニットが取付けられており駆動ピンを有しているベースと、ベースを遊技パネルの面に沿った方向へスライド可能に取付けているスライドガイドと、先端側に駆動ピンが摺動可能に挿入される駆動スリットを有しており基端側が回転可能に取付けられている棹状の駆動アームと、駆動アームを遊技状態に応じて回転駆動させる駆動モータと、を備

えたユニット」、「回転駆動ユニットが取付けられておりスライド方向とは交差する方向に延びた駆動スリットを有しているベースと、ベースを遊技パネルの面に沿った方向へスライド可能に取付けているスライドガイドと、回転可能に取付けられており回転中心から偏芯した位置に駆動スリットに摺動可能に挿入される駆動ピンを有しているクランク部材と、クランク部材を遊技状態に応じて回転駆動させる駆動モータと、を備えたユニット」、等が挙げられる。

【0062】

手段9の構成によると、遊技機に、回転駆動ユニットを遊技状態に応じて左右方向にスライド移動させるスライドユニットを、更に備えるようにしたものである。

【0063】

これにより、遊技状態に応じて、スライドユニットにより回転駆動ユニットを介して装飾部材を左右方向にスライド移動させることができるため、回転駆動ユニットによる装飾部材の回転と、スライドユニットによる装飾部材のスライドとを適宜組合せることで、装飾部材を用いた演出を多彩にすることができ、遊技者を飽き難くさせて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0064】

手段10：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、

正面視該遊技領域内に配置され、外形が四角形で背向している二面に異なる装飾を有し、上下に延びている二辺のうちの一边において互いにヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体と、前記第一装飾体及び前記第二装飾体の少なくとも一方に取付けられており演出画像を表示可能な演出表示装置とを備えている装飾部材、該装飾部材の前記第一装飾体と前記第二装飾体とを取付けているヒンジ回転の軸線と同軸上で該第二装飾体における上下に延びている二辺のうちの一边側の下端から前記装飾部材の高さの0.5倍～1倍の長さで下方に突出している支持軸、及び該支持軸の下端部付近に取付けられている軸下ギアを有している装飾ユニットと、

該装飾ユニットの前記支持軸の上端部に回転可能に取付けられているスリーブ部と、該スリーブ部から上方に突出しており前記第一装飾体に取り付けられる連結部と、前記スリーブ部の外周に形成されている軸上ギアとを備えている回転伝達部材、該回転伝達部材の前記スリーブ部と前記装飾ユニットの前記支持軸の下端部とを夫々回転可能に支持している上軸受部及び下軸受部を有している回転駆動ユニットベース、該回転駆動ユニットベースに前記支持軸よりも正面視において前記遊技領域の左右方向の中央に近い側に取付けられている下駆動モータと前記回転駆動ユニットベースに前記支持軸よりも正面視において前記遊技領域の左右方向の中央から遠い側に取付けられている上駆動モータとで構成されており前記遊技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて回転駆動する駆動モータ、該駆動モータの前記下駆動モータの回転軸に取付けられており前記軸下ギアと噛合している下駆動ギア、及び前記駆動モータの前記上駆動モータの回転軸に取付けられており前記回転伝達部材の前記軸上ギアと噛合している上駆動ギアを有している回転駆動ユニットと、

該回転駆動ユニットを前記遊技状態に応じて左右方向にスライド移動させるスライドユニットと

を具備している」ものであることを特徴とする。

【0065】

手段10の構成によると、遊技機に、遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、正面視遊技領域内に配置され、外形が四角形で背向している二面に異なる装飾を有し、上下に延びている二辺のうちの一边において互いにヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体と、第一装飾体及び第二装飾体の少なくとも一方に取付けられており演出画像を表示可能な演出表示装置とを備えている装飾部材、装飾部材の第一装飾体と第二装飾体とを取付けているヒンジ回転の軸線と同軸上で第二装飾体における上下に延びている二辺のうちの一边側の下端から装飾部材の高さの0.5倍～1倍の長さで

10

20

30

40

50

下方に突出している支持軸、及び支持軸の下端部付近に取付けられている軸下ギアを有している装飾ユニットと、装飾ユニットの支持軸の上端部に回転可能に取付けられているスリーブ部と、スリーブ部から上方に突出しており第一装飾体に取り付けられる連結部と、スリーブ部の外周に形成されている軸上ギアとを備えている回転伝達部材、回転伝達部材のスリーブ部と装飾ユニットの支持軸の下端部とを夫々回転可能に支持している上軸受部及び下軸受部を有している回転駆動ユニットベース、回転駆動ユニットベースに支持軸よりも正面視において遊技領域の左右方向の中央に近い側に取付けられている下駆動モータと回転駆動ユニットベースに支持軸よりも正面視において遊技領域の左右方向の中央から遠い側に取付けられている上駆動モータとで構成されており遊技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて回転駆動する駆動モータ、駆動モータの下駆動モータの回転軸に取り付けられており軸下ギアと噛合している下駆動ギア、及び駆動モータの上駆動モータの回転軸に取り付けられており回転伝達部材の軸上ギアと噛合している上駆動ギアを有している回転駆動ユニットと、回転駆動ユニットを遊技状態に応じて左右方向にスライド移動させるスライドユニットと、を備えるようにしたものである。

10

【0066】

これにより、遊技者が遊技媒体を遊技領域内に打込んで遊技状態を変化させると、変化した遊技状態に応じて、回転駆動ユニットの下駆動モータ及び上駆動モータと、スライドユニットとにより、装飾部材を構成し互いにヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体を、重畳した状態で一緒に回転させたり、重畳した状態から開かせたり、開いた状態から重畳させたり、第一装飾体及び第二装飾体を左右にスライドさせたりすることができると共に、第一装飾体及び第二装飾体において演出表示装置が臨んでいる面を遊技者側から視認可能に向けている時に遊技者に演出画像を見せることができるため、多彩な演出を遊技者に提示して楽しませることができ、遊技者を飽き難くさせることができる。この際に、第二装飾体の上下に延びてヒンジ回転可能に取付けられている辺の下端から下方に突出している支持軸の上端部と下端部とを、回転駆動ユニットベースの上軸受部と下軸受部とで夫々回転可能に支持しており、可及的に上下に離れた位置の二か所で回転可能に支持しているため、支持軸が重心に対して偏芯した位置から突出していることで支持軸を傾けようとする偏荷重が作用しても、支持軸を傾き難くすることができ、支持軸を真っ直ぐに支持して装飾部材を回転させることができると共に、上軸受部及び下軸受部の二か所で装飾部材からの荷重を分担して受けることで偏摩耗を低減させて装飾部材を長期に亘って良好な状態で回転させることができ、装飾部材を用いた演出を遊技者に楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

20

30

【0067】

また、支持軸の長さを装飾部材の高さの0.5倍～1倍の範囲内の長さとして、その上端部と下端部とにおいて回転駆動ユニットの上軸受部と下軸受部との二か所で回転可能に支持しており、支持軸に作用する偏荷重を二か所で分担して支持しているため、第一装飾体及び第二装飾体と演出表示装置とを有することで装飾部材が重くなっても、支持軸が傾くことなく良好な状態で回転可能に支持することができる。

【0068】

また、支持軸の下端部では、軸下ギアに対して、正面視遊技領域の中央に近い側から下駆動モータの回転軸に取り付けられた下駆動ギアを噛合させて、支持軸を下駆動モータにより回転させるようにしており、通常の状態において、装飾部材からの荷重により支持軸の下端側に作用する遊技領域の中央に近づく方向へ移動（倒れ）させようする力を、下駆動モータで受けることができる。一方、支持軸の上端部では、軸上ギアに対して、正面視遊技領域の中央から遠い側から上駆動モータの回転軸に取り付けられた上駆動ギアを噛合させて、支持軸を上駆動モータにより回転させるようにしているため、通常の状態において、装飾部材からの荷重により支持軸の上端側に作用する遊技領域の中央から遠ざかる方向へ移動（倒れ）させようする力を、上駆動モータで受けることができる。従って、支持軸を倒れさせようとする力（偏荷重）を、回転駆動ユニットベースの下軸受部及び上軸受部に加えて、下駆動モータ及び上駆動モータでも受けるようにしているため、支持軸をより一

40

50

層倒れ難くすることができ、支持軸を介して装飾部材を良好な状態で回転可能に支持することができる。

【0069】

更に、装飾部材の第一装飾体及び第二装飾体を互いにヒンジ回転可能に取付けていると共に、ヒンジ回転の軸線と同軸上で回転伝達部材及び支持軸を介して上駆動モータ及び下駆動モータにより第一装飾体及び第二装飾体を夫々別々に回転駆動させることができるため、第一装飾体と第二装飾体とを重畳させた状態で一緒に回転させたり、重畳させた状態で第一装飾体及び第二装飾体の何れか一方を回転させて第一装飾体と第二装飾体とが並ぶように開いたり、第一装飾体と第二装飾体とが並んで開いている状態で第一装飾体及び第二装飾体の何れか一方を回転させて重畳させ（閉じ）たりすることができ、多彩な演出を遊技者に提示することで楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

10

【0070】

また、第一装飾体と第二装飾体とを重畳させた状態から第一装飾体と第二装飾体とが並んで開かせた状態とすると、第一装飾体と第二装飾体とによる装飾部材の装飾が、二倍の大きさとなるため、装飾部材を目立たせて遊技者を驚かせることができ、遊技者の関心を強く引き付けて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0071】

また、互いにヒンジ回転可能に取付けられている第一装飾体及び第二装飾体に対して、ヒンジ回転の軸線と同軸上で支持軸及び回転伝達部材により回転させるようにしていることから、例えば、第一装飾体と第二装飾体とを重畳させて一方側の面（表面）を前方に向けた状態で、支持軸を介して第一装飾体と第二装飾体とを一緒に180度回転させて反対側の面（裏面）を前方に向けた状態とすると、重畳された第一装飾体及び第二装飾体における左右方向の移動距離が可及的に長くなり、当初の位置から第一装飾体及び第二装飾体の左右方向の大きさと略同じ距離を移動した位置に移動させることができるため、後方に配置された他の部材（例えば、演出画像を表示可能な演出表示手段）の邪魔にならない位置と邪魔になる位置との間で大きく移動させることが可能となり、位置（遊技状態）に応じて後方の部材を目立たせたり第一装飾体及び第二装飾体を目立たせたりすることができ、多彩な演出を遊技者に提示して遊技者が飽き難い遊技機とすることができる。

20

【0072】

更に、回転駆動ユニットでは、支持軸を間にして遊技領域の中央から遠い側に上駆動モータを、中央に近い側に下駆動モータを、夫々取付けるようにしているため、回転駆動ユニットベース内において上駆動モータと下駆動モータとが干渉することはなく、上述した作用効果を奏する遊技機を具現化し易くすることができる。

30

【0073】

手段11：手段1から手段10の何れか一つの遊技機において、パチンコ機であることを特徴とする。

ここで、パチンコ機とは、遊技者が遊技機に投入する媒体である投入媒体と、遊技者が行う実質的な遊技に用いられる媒体である遊技媒体とを同一のものとした遊技機であり、投入された例えば遊技球等の媒体を用いて遊技が行われるタイプの遊技機の一つである。具体的には、「操作ハンドルの操作に対応して遊技球を発射する発射装置と、多数の障害釘、役物、表示手段等の適宜の機器が組み込まれたり、始動入賞口、大入賞口、通過口、到達口等の遊技球が入球する適宜の入球口が設けられた遊技領域と、発射装置から遊技領域に遊技球を導くレールと、遊技領域に導かれた遊技球の入球口への入球に応じたり、複数の入球口への遊技球の入球態様に依りて、所定数の遊技球を賞球として払い出す払出手段とを具備するもの」である。

40

【0074】

なお、パチンコ機としては、種々のタイプのものがあり、一般に「デジパチ機」と称されるものに代表される「入球口への入球状態を検出する入球状態検出手段（遊技状態検出手段として捉えることもできる）と、入球状態検出手段によって入球が検出されると所定の抽選を行う抽選手段と、抽選手段の抽選結果に応じて特別図柄を変動させると共に変動

50

を停止させる特別図柄表示手段とを備えたもの」や「加えて、特別図柄の変動中に、複数の図柄からなる図柄列を変動表示し、図柄列にて図柄を停止表示させたり、キャラクタや種々の物品等の表示物を描写し表示物を動作させたりする等によって適宜の演出表示を行う演出表示手段を更に具備するもの」、一般に「ハネモノ機」と称されるものに代表される「役物内での遊技球の振分けによって抽選を行う抽選手段を備えたもの」、一般に「アレパチ機」と称されるものに代表される「例えば16個等の所定個数の遊技球により1ゲームが行われ、1ゲームにおける複数の入球口への遊技球の入球態様に応じて所定個数の遊技球の払出しを行うもの」等を例示することができる。

【0075】

手段11の構成によると、パチンコ機において、上述した手段のいずれかの作用効果を奏することができる。

10

【0076】

手段12：手段1から手段10までの何れか一つの遊技機において、パチスロ機であることを特徴とする。

ここで、パチスロ機とは、投入媒体であるメダルを投入し、メダルの投入後、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作によって、夫々複数の図柄が描かれた複数のリールを回転させる等して、各リール等によって構成された図柄列を変動表示させるとともに、その後、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に応じて各図柄列の変動表示を停止させる、といった遊技が遊技者によって行われるものである。換言すれば、停止操作機能付きのスロットマシンとして捉えることができるものである。なお、所定時間が経過しても停止用操作手段が操作されない場合には、所定時間経過したことに応じて図柄列の変動表示を停止させるものであってもよい。そして、各図柄列の変動表示の停止時において、表示された単体の図柄が特定の図柄であったり、各図柄列にて表示された図柄の組合せが特定の組合せであったりする等、特定の条件を満たす場合に、満たされた条件に応じて所定個数のメダルを払出したり、遊技者が多量のメダルを獲得することができる遊技者に有利な特別有利状態を発生させたりするものである。

20

【0077】

手段12の構成によると、パチスロ機において、上述した手段のいずれかの作用効果を奏することができる。

【0078】

30

手段13：手段1から手段10までの何れか一つの遊技機において、パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなることを特徴とする。

ここで、「パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなる遊技機」とは、複数個（例えば5個）の遊技球を1単位の投入媒体とし、投入媒体を投入した後、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に応じて複数の図柄からなる図柄列を変動表示させるとともに、その後、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に応じて図柄列の変動を停止させるものである。なお、所定時間が経過しても停止用操作手段が操作されない場合には、所定時間経過したことに応じて図柄列の変動表示を停止させるものであってもよい。そして、各図柄列の変動表示の停止時において、表示された単体の図柄が特定の図柄であったり、各図柄列にて表示された図柄の組合せが特定の組合せであったりする等、特定の条件を満たす場合に、満たされた条件に応じて所定個数のメダルを払出したり、遊技者が多量のメダルを獲得することができる遊技者に有利な特別有利状態を発生させたりするものである。

40

【0079】

手段13の構成によると、パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなる遊技機において、上述した手段のいずれかの作用効果を奏することができる。

【発明の効果】

【0080】

このように、本発明によれば、装飾部材を良好な状態で偏芯させて回転できるようにすることで遊技者を楽しませるの興趣の低下を抑制させることが可能な遊技機を提供するこ

50

とができる。

【図面の簡単な説明】

【0081】

【図1】本発明の一実施形態であるパチンコ機の正面図である。

【図2】パチンコ機の右側面図である。

【図3】パチンコ機の平面図である。

【図4】パチンコ機の背面図である。

【図5】パチンコ機を前から見た斜視図である。

【図6】パチンコ機を後ろから見た斜視図である。

【図7】本体枠から扉枠を開放させると共に、外枠から本体枠を開放させた状態で前から見たパチンコ機の斜視図である。

10

【図8】パチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して前から見た分解斜視図である。

【図9】パチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図10】パチンコ機における外枠の正面図である。

【図11】外枠の右側面図である。

【図12】外枠を前から見た斜視図である。

【図13】外枠を後ろから見た斜視図である。

【図14】外枠を分解して前から見た分解斜視図である。

20

【図15】(a)は外枠における外枠側上ヒンジ部材の部位を左枠部材を省略して下側から見た斜視図であり、(b)は(a)を分解して示す分解斜視図である。

【図16】(a)は外枠の外枠側上ヒンジ部材に対して本体枠の本体枠側上ヒンジ部材が取外されている状態を拡大して示す斜視図であり、(b)は外側上ヒンジ部材に本体側上ヒンジ部材が取り付けられている状態を拡大して示す斜視図である。

【図17】外枠におけるロック部材の作用を示す説明図である。

【図18】(a)は図1におけるA-A断面図であり、(b)は(a)において外枠に対して扉枠と共に本体枠を開いた状態を示す断面図である。

【図19】パチンコ機における扉枠の正面図である。

【図20】扉枠の背面図である。

30

【図21】扉枠を右前から見た斜視図である。

【図22】扉枠を左前から見た斜視図である。

【図23】扉枠を後ろから見た斜視図である。

【図24】扉枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図25】扉枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図26】皿ユニットを前から見た斜視図である。

【図27】皿ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図28】皿ユニットを主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図29】皿ユニットを主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図30】(a)は皿ユニットの演出操作ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は演出操作ユニットを後ろから見た斜視図である。

40

【図31】演出操作ユニットを主な部材毎に分解して上から見た斜視図である。

【図32】演出操作ユニットを主な部材毎に分解して下から見た分解斜視図である。

【図33】演出操作ユニットの取付ベースユニットを分解して上から見た分解斜視図である。

【図34】取付ベースユニットを分解して下から見た分解斜視図である。

【図35】演出操作ユニットのタッチユニットを分解して上から見た分解斜視図である。

【図36】タッチユニットを分解して下から見た分解斜視図である。

【図37】演出操作ユニットのボタンユニットを分解して上から見た分解斜視図である。

【図38】ボタンユニットを分解して下から見た分解斜視図である。

50

【図 3 9】皿ユニットの平面図である。

【図 4 0】図 3 9 における B－B 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。

【図 4 1】図 3 9 における C－C 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。

【図 4 2】(a) は皿ユニットの扉右下演出ユニットの正面図であり、(b) は扉右下演出ユニットの右側面図である。

【図 4 3】(a) は扉右下演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は扉右下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 4 4】図 4 2 (b) の扉右下演出ユニットにおける D－D 断面図である。

10

【図 4 5】扉右下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図 4 6】扉右下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 4 7】扉右下演出ユニットの回転体内部ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図 4 8】回転体内部ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 4 9】(a) は扉右下演出ユニットの扉右下回転体が前を向いた状態の正面図であり、(b) は扉右下回転体が後ろを向いた状態の正面図である。

【図 5 0】(a) は皿ユニットの上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で前から見た斜視図であり、(b) は上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で後ろから見た斜視図である。

20

【図 5 1】上皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図 5 2】上皿球抜きユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 5 3】(a) は皿ユニットの下皿球抜きユニットを前から見た斜視図であり、(b) は下皿球抜きユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 5 4】(a) は扉枠のファールカバーユニットを前から見た斜視図であり、(b) はファールカバーユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 5 5】(a) はファールカバーユニットを蓋部材を外して前から見た分解斜視図であり、(b) はファールカバーユニットを蓋部材を外して後ろから見た分解斜視図である。

【図 5 6】蓋部材を外した状態のファールカバーユニットの正面図である。

【図 5 7】本体枠を前から見た斜視図である。

30

【図 5 8】本体枠を後ろから見た斜視図である。

【図 5 9】本体枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図 6 0】本体枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 6 1】払出ユニットを前から見た斜視図である。

【図 6 2】払出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 6 3】払出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図 6 4】払出ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 6 5】(a) は払出ユニットの球誘導ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は球誘導ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 6 6】球誘導ユニットの分解斜視図である。

40

【図 6 7】(a) は払出ユニットの払出装置を前から見た斜視図であり、(b) は払出装置を後ろから見た斜視図である。

【図 6 8】払出装置を分解して前から見た分解斜視図である。

【図 6 9】払出装置を分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 7 0】(a) は払出装置の正面図であり、(b) は(a) における E－E 線で切断した断面図である。

【図 7 1】(a) は払出装置において球抜き可動片により球抜き通路を閉鎖した状態を示す説明図であり、(b) は球抜き可動片により球抜き通路を開放した状態を示す説明図である。

【図 7 2】払出装置における払出羽根の部位を拡大して示す説明図である。

50

【図 7 3】 (a) は払出ユニットにおける上部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は上部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 7 4】 (a) は上部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、(b) は上部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 7 5】 (a) は払出ユニットにおける下部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は下部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 7 6】 下部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図 7 7】 下部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 7 8】 (a) は下部満タン球経路ユニットにおいて誘導路開閉扉が閉じている状態を示す説明図であり、(b) は誘導路開閉扉が開いている状態を示す説明図である。

【図 7 9】 扉枠のファールカバーユニットと下部満タン球経路ユニットとの関係を示す説明図である。

【図 8 0】 払出ユニットにおける遊技球の流れを示す説明図である。

【図 8 1】 遊技盤の正面図である。

【図 8 2】 遊技盤を右前から見た斜視図である。

【図 8 3】 遊技盤を左前から見た斜視図である。

【図 8 4】 遊技盤を後ろから見た斜視図である。

【図 8 5】 遊技盤を主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図 8 6】 遊技盤を主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 8 7】 遊技盤における前構成部材及び表ユニットを遊技領域内の前後方向の略中央で切断した正面図である。

【図 8 8】 (a) は表ユニットにおける始動口ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は始動口ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 8 9】 (a) は表ユニットにおけるサイドユニット下及びサイドユニット上を前から見た斜視図であり、(b) はサイドユニット下及びサイドユニット上を後ろから見た斜視図である。

【図 9 0】 表ユニットのセンター役物を前から見た斜視図である。

【図 9 1】 表ユニットのセンター役物を後ろから見た斜視図である。

【図 9 2】 センター役物における右側の流路を断面で示す説明図である。

【図 9 3】 (a) はセンター役物における第二アタッカユニット付近を拡大して示す正面図であり、(b) は(a)における F-F 線で切断した断面図である。

【図 9 4】 裏ユニットを前から見た斜視図である。

【図 9 5】 裏ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 9 6】 裏ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図 9 7】 裏ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 9 8】 (a) は遊技盤における裏箱等を前から見た斜視図であり、(b) は裏箱等を後ろから見た斜視図である。

【図 9 9】 (a) は裏ユニットの裏下後可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏下後可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 10 0】 (a) は裏下後可動演出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、(b) は裏下後可動演出ユニットを主な構成毎に分解して後から見た分解斜視図である。

【図 10 1】 裏下後可動演出ユニットの回転駆動ユニットを分解して裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体と共に前から見た分解斜視図である。

【図 10 2】 回転駆動ユニットを分解して裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体と共に後ろから見た分解斜視図である。

【図 10 3】 裏下後可動演出ユニットの駆動系を正面から示す説明図である。

【図 10 4】 (a) は通常の状態における裏下後可動演出ユニットの正面図であり、(b) は通常の状態から裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を一緒に回転させて裏下後第二装飾体の第二装飾面を正面に向けた状態の正面図であり、(c) は(b)の状態で裏下

10

20

30

40

50

後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を正面視左側の移動端まで移動させた状態の正面図である。

【図105】(d)は図104(c)の状態では裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を一緒に回転させて裏下後第一装飾体の第一装飾面を正面に向けた状態の正面図であり、(e)は(d)の状態から裏下後第一装飾体を回転させて裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体とを開いて裏下後第一装飾体の第二装飾面と裏下後第二装飾体の第二装飾面とを正面に向けた状態の正面図である。

【図106】(a)は裏ユニットの裏上左可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏上左可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図107】裏上左可動演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図108】裏上左可動演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図109】(a)は裏上左可動演出ユニットを通常の状態を示す正面図であり、(b)は裏上左可動演出ユニットにおける裏上左第一装飾体及び裏上左第二装飾体を正面視右方端の位置に移動させた状態を示す正面図であり、(c)は(b)の状態から裏上左第一装飾体と裏上左第二装飾体を展開した状態を示す正面図である。

【図110】(a)は裏ユニットの裏左可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏左可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図111】(a)は裏左可動演出ユニットを通常の状態を示す正面図であり、(b)は裏左可動演出ユニットにおける裏左可動装飾体を突出させた状態を示す正面図である。

【図112】(a)は裏ユニットの裏上中可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏上中可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図113】(a)は裏上中可動演出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、(b)は裏上中可動演出ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図114】(a)は裏上中可動演出ユニットの裏上中装飾体ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏上中装飾体ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図115】裏上中装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図116】裏上中装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図117】(a)は裏上中装飾体ユニットの駆動構成を正面から示す説明図であり、(b)は(a)におけるG-G線で切断した断面図である。

【図118】(a)は通常の状態における裏上中装飾体ユニットの正面図であり、(b)は裏上中装飾体ユニットの一对の裏上中第一装飾体を外方へ半分開いた状態を示す正面図であり、(c)は裏上中装飾体ユニットの一对の裏上中第一装飾体を外方へ完全に開いた状態を示す正面図である。

【図119】(a)は裏上中可動演出ユニットの裏上中駆動ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏上中可動演出ユニットの裏上中駆動ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図120】(a)は裏上中駆動ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、(b)は裏上中駆動ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図121】(a)は裏上中駆動ユニットの裏上中回転ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、(b)は裏上中駆動ユニットの裏上中回転ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図122】裏上中可動演出ユニットの駆動系を概略で正面から示す説明図である。

【図123】(a)は通常の状態における裏上中可動演出ユニットの正面図であり、(b)は裏上中可動演出ユニットにおいて裏上中装飾体ユニットを下降させた状態を示す正面図である。

【図124】(a)は裏ユニットの裏下前可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏下前可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図125】裏下前可動演出ユニットを裏下前装飾体ユニット以外を分解して前から見た

10

20

30

40

50

分解斜視図である。

【図 1 2 6】裏下前可動演出ユニットを裏下前装飾体ユニット以外を分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 1 2 7】裏下前可動演出ユニットの裏下前装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図 1 2 8】裏下前可動演出ユニットの裏下前装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 1 2 9】裏下前可動演出ユニットにおける昇降機構を概略で示す正面図である。

【図 1 3 0】(a)は裏下前装飾体ユニットを上昇させた時の装飾体ユニット昇降機構の状態を概略で示す説明図であり、(b)は(a)においてユニット昇降ピンの部位を拡大して示す説明図であり、(c)は(b)を更に拡大してユニット昇降ピンと昇降用スリットとの関係を示す説明図である。

【図 1 3 1】(a)裏下前可動演出ユニットを通常の状態を示す正面図であり、(b)は(a)の状態から裏下前装飾体ユニットを上昇させた状態を示す正面図であり、(c)は(b)の状態から裏下前装飾体ユニットの裏下前第一装飾体を上昇させた状態を示す正面図である。

【図 1 3 2】裏ユニットの裏下後可動演出ユニットにおいて裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を通常的位置と一緒に回転させて第二装飾面を正面に向けた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 3 3】裏ユニットの裏下後可動演出ユニットの裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体とを閉じて裏下後第一装飾体の第一装飾面を正面に向けた状態で遊技領域内の左右方向略中央にスライド移動させると共に、裏上左可動演出ユニットの裏上左第一装飾体と裏上左第二装飾体とを遊技領域内の左右方向略中央にスライド移動させた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 3 4】図 1 3 3 の状態から裏下後可動演出ユニットの裏下後第一装飾体をヒンジ回転させて開いて裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体の夫々の第二装飾面を正面に向けると共に、裏上左可動演出ユニットの裏上左第二装飾体をヒンジ回転させて開いて裏上左第一装飾体の固定装飾部材と裏上左第二装飾体の第二装飾部材を正面に向けた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 3 5】図 1 3 3 の状態から裏下後可動演出ユニットの裏下後第一装飾体をヒンジ回転させて開いて裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体の夫々の第二装飾面を正面に向けた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 3 6】裏ユニットの裏上可動演出ユニットの裏上可動装飾体を正面視右方端の出現位置にスライド移動させた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 3 7】裏ユニットにおける裏上中可動演出ユニットの裏上中装飾体ユニットを下降端の位置に移動させると共に裏上中装飾体ユニットを正面視左下がり斜めに延びるように正面視反時計回りの方向に回転させた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 3 8】図 1 3 7 の状態から一对の裏上中第一装飾体を離反させて半開きの中間開状態の位置にスライド移動させた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 3 9】図 1 3 8 の状態から一对の裏上中第一装飾体を更に離反させて全開状態の位置にスライド移動させた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 4 0】裏ユニットの裏下前可動演出ユニットの裏下前装飾体ユニットを上昇端に位置させた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 4 1】図 1 4 0 の状態から裏下前第一装飾体をヒンジ回転させて裏下前第二装飾体の上方に上昇させた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図 1 4 2】パチンコ機の制御構成を概略的に示すブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【0082】

[1. パチンコ機の全体構造]

本発明の一実施形態であるパチンコ機 1 について、図面を参照して詳細に説明する。ま

10

20

30

40

50

ず、図 1 乃至図 9 を参照して本実施形態のパチンコ機 1 の全体構成について説明する。図 1 は本発明の一実施形態であるパチンコ機の正面図である。図 2 はパチンコ機の右側面図であり、図 3 はパチンコ機の平面図であり、図 4 はパチンコ機の背面図である。図 5 はパチンコ機を前から見た斜視図であり、図 6 はパチンコ機を後ろから見た斜視図である。図 7 は本体枠から扉枠を開放させると共に、外枠から本体枠を開放させた状態で前から見たパチンコ機の斜視図である。図 8 はパチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して前から見た分解斜視図であり、図 9 はパチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【0083】

本実施形態のパチンコ機 1 は、遊技ホールの島設備（図示しない）に設置される枠状の外枠 2 と、外枠 2 の前面を開閉可能に閉鎖する扉枠 3 と、扉枠 3 を開閉可能に支持していると共に外枠 2 に開閉可能に取付けられている本体枠 4 と、本体枠 4 に前側から着脱可能に取付けられると共に扉枠 3 を通して遊技者側から視認可能とされ遊技者によって遊技球が打込まれる遊技領域 5 a を有した遊技盤 5 と、を備えている。

【0084】

パチンコ機 1 の外枠 2 は、図 8 及び図 9 等に示すように、上下に離間しており左右に延びている上枠部材 10 及び下枠部材 20 と、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の両端同士を連結しており上下に延びている左枠部材 30 及び右枠部材 40 と、を備えている。上枠部材 10、下枠部材 20、左枠部材 30、及び右枠部材 40 は、前後の幅が同じ幅に形成されている。また、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の左右の長さに対して、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の上下の長さが、長く形成されている。

【0085】

また、外枠 2 は、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の下端同士を連結し下枠部材 20 の前側に取付けられる幕板部材 50 と、上枠部材 10 の正面視左端部側に取付けられている外枠側上ヒンジ部材 60 と、幕板部材 50 の正面視左端側上部と左枠部材 30 とに取付けられている外枠側下ヒンジ部材 70 と、を備えている。外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 と外枠側下ヒンジ部材 70 とによって、本体枠 4 及び扉枠 3 が開閉可能に取付けられている。

【0086】

パチンコ機 1 の扉枠 3 は、正面視の外形が四角形で前後に貫通している貫通口 111 を有した枠状の扉枠ベースユニット 100 と、扉枠ベースユニット 100 の前面下部に取付けられ遊技球を貯留可能な上皿 201 及び下皿 202 を有した皿ユニット 200 と、扉枠ベースユニット 100 の前面上部に取付けられるトップユニット 350 と、扉枠ベースユニット 100 の前面左部に取付けられる左サイドユニット 400 と、扉枠ベースユニット 100 の前面右部に取付けられる右サイドユニット 450 と、扉枠ベースユニット 100 の前面右下部に皿ユニット 200 を貫通して取付けられ上皿 201 に貯留された遊技球を遊技盤 5 の遊技領域内へ打込むために遊技者が操作可能なハンドルユニット 500 と、扉枠ベースユニット 100 の後面下部に取付けられ遊技領域内へ打ち損じた遊技球を受けて皿ユニット 200 の下皿 202 へ排出するファールカバーユニット 520 と、扉枠ベースユニット 100 の後面下部に取付けられ上皿 201 の遊技球を球発射装置 680 へ送るための球送りユニット 540 と、扉枠ベースユニット 100 の後面に取付けられ貫通口 111 を閉鎖するガラスユニット 560 と、ガラスユニット 560 の後面下部を覆う防犯カバー 580 と、を備えている。

【0087】

パチンコ機 1 の本体枠 4 は、一部が外枠 2 の枠内に挿入可能とされると共に遊技盤 5 の外周を支持可能とされた枠状の本体枠ベース 600 と、本体枠ベース 600 の正面視左側の上下両端に取付けられ外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 及び外枠側下ヒンジ部材 70 に夫々回転可能に取付けられると共に扉枠 3 の扉枠側上ヒンジ部材 140 及び扉枠側下ヒンジ部材 150 が夫々回転可能に取付けられる本体枠側上ヒンジ部材 620 及び本体枠側下ヒンジ部材 640 と、本体枠ベース 600 の正面視左側面に取付けられる補強フレーム 6

60と、本体枠ベース600の前面下部に取付けられており遊技盤5の遊技領域5a内に遊技球を打込むための球発射装置680と、本体枠ベースの正面視右側面に取付けられており外枠2と本体枠4、及び扉枠3と本体枠4の間を施錠する施錠ユニット700と、本体枠ベース600の正面視上辺及び左辺に沿って後側に取付けられており遊技者側へ遊技球を払出す逆L字状の払出ユニット800と、本体枠ベース600の後面下部に取付けられている基板ユニット900と、本体枠ベース600の後側に開閉可能に取付けられ本体枠ベース600に取付けられた遊技盤5の後側を覆う裏カバー980と、を備えている。

【0088】

本体枠4の払出ユニット800は、本体枠ベース600の後側に取付けられる逆L字状の払出ユニットベース801と、払出ユニットベース801の上部に取付けられており上方へ開放された左右に延びた箱状で図示しない島設備から供給される遊技球を貯留する球タンク802と、球タンク802の下側で払出ユニットベース801に取付けられており球タンク802内の遊技球を正面視左方向へ誘導する左右に延びたタンクレール803と、払出ユニットベース801における正面視左側上部の後面に取付けられタンクレール803からの遊技球を蛇行状に下方へ誘導する球誘導ユニット820と、球誘導ユニット820の下側で払出ユニットベース801から着脱可能に取付けられており球誘導ユニット820により誘導された遊技球を払出制御基板ボックス950に収容された払出制御基板951（図142を参照）からの指示に基づいて一つずつ払出す払出装置830と、払出ユニットベース801の後面に取付けられ払出装置830によって払出された遊技球を下方へ誘導すると共に皿ユニット200における上皿201での遊技球の貯留状態に応じて遊技球を通常放出口又は満タン放出口の何れかから放出させる上部満タン球経路ユニット850と、払出ユニットベース801の下端に取付けられ上部満タン球経路ユニット850の通常放出口から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の貫通球通路526へ誘導する通常誘導路及び満タン放出口から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の満タン球受口530へ誘導する満タン誘導路を有した下部満タン球経路ユニット860と、を備えている。

【0089】

本体枠4の基板ユニット900は、本体枠ベース600の後側に取付けられる基板ユニットベース910と、基板ユニットベース910の正面視左側で本体枠ベース600の後側に取付けられ内部に低音用のスピーカ921を有したスピーカユニット920と、基板ユニットベース910の後側で正面視右側に取付けられ内部に電源基板が収容されている電源基板ボックス930と、スピーカユニット920の後側に取付けられており内部にインターフェイス制御基板が収容されているインターフェイス制御基板ボックス940と、電源基板ボックス930及びインターフェイス制御基板ボックス940に跨って取付けられており内部に遊技球の払出しを制御する払出制御基板951が収容された払出制御基板ボックス950と、を備えている。

【0090】

パチンコ機1の遊技盤5は、図8及び図9等に示すように、遊技球が打込まれる遊技領域5aの外周を区画し球発射装置680から発射された遊技球を遊技領域5aの上部に案内する外レール1001及び内レール1002を有した前構成部材1000と、前構成部材1000の後側に取付けられると共に遊技領域5aの後端を区画する平板状の遊技パネル1100と、遊技パネル1100の後側の下部に取付けられており上方に開放された箱状の基板ホルダ1200と、基板ホルダ1200の後側に取付けられておりパチンコ機1の遊技を制御するための主制御基板1310を有している主制御ユニット1300と、遊技パネル1100の前側で遊技領域5a内に取付けられ遊技領域5a内に打込まれた遊技球を受入可能な複数の入賞口を有した表ユニット（図示は省略）と、基板ボックス1200の上側で遊技パネル1100の後側に取付けられている裏ユニット3000と、を備えている。

【0091】

本実施形態のパチンコ機1は、上皿201に遊技球を貯留した状態で、遊技者がハンド

ルレバー 504 を回転操作すると、球発射装置 680 によってハンドルレバー 504 の回転角度に応じた強さで遊技球が遊技盤 5 の遊技領域 5a 内へ打込まれる。そして、遊技領域 5a 内に打込まれた遊技球が、図示しない入賞口に受入れられると、受入れられた入賞口に応じて、所定数の遊技球が払出装置 830 によって上皿 201 に払出される。この遊技球の払出しによって遊技者の興趣を高めることができるため、上皿 201 内の遊技球を遊技領域 5a 内へ打込ませることができ、遊技者に遊技を楽しませることができる。

【0092】

[2. 外枠の全体構成]

パチンコ機 1 の外枠 2 について、図 10 乃至図 15 を参照して説明する。図 10 はパチンコ機における外枠の正面図であり、図 11 は外枠の右側面図である。また、図 12 は外枠を前から見た斜視図であり、図 13 は外枠を後ろから見た斜視図である。図 14 は、外枠を分解して前から見た分解斜視図である。図 15 は (a) は外枠における外枠側上ヒンジ部材の部位を左枠部材を省略して下側から見た斜視図であり、(b) は (a) を分解して示す分解斜視図である。外枠 2 は、遊技ホール等のパチンコ機 1 が設置される島設備 (図示は省略) に取付けられるものである。

【0093】

外枠 2 は、図示するように、上下に離間しており左右に延びている上枠部材 10 及び下枠部材 20 と、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の両端同士を連結しており上下に延びている左枠部材 30 及び右枠部材 40 と、を備えている。上枠部材 10、下枠部材 20、左枠部材 30、及び右枠部材 40 は、前後の幅が同じ幅に形成されている。また、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の左右の長さに対して、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の上下の長さが、長く形成されている。また、外枠 2 は、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の左右両端面と、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の左右方向の外側を向いた側面とが、同一面となるように組立てられている。

【0094】

また、外枠 2 は、上枠部材 10 の正面視左端部側に取付けられている外枠側上ヒンジ部材 60 と、外枠側上ヒンジ部材 60 の下面に取付けられているロック部材 66 と、幕板部材 50 の正面視左端側上部と左枠部材 30 とに取付けられている外枠側下ヒンジ部材 70 と、を備えている。外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 と外枠側下ヒンジ部材 70 とによって、本体枠 4 及び扉枠 3 を開閉可能に取付けることができる。

【0095】

また、外枠 2 は、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の下端同士を連結し下枠部材 20 の前側に取付けられる幕板部材 50 と、幕板部材 50 の後側に取付けられていると共に両端が左枠部材 30 及び右枠部材 40 に夫々取付けられる幕板補強部材 80 と、幕板部材 50 の上面における左右中央から左寄りの位置に取付けられている平板状の左滑り部材 81 と、幕板部材 50 の上面における右端付近の位置に取付けられている平板状の右滑り部材 82 と、を備えている。幕板補強部材 80 は、中実の部材 (例えば、木材、合板、等) によって形成されており、下枠部材 20、左枠部材 30、及び右枠部材 40 に、取付けられている。

【0096】

更に、外枠 2 は、上枠部材 10 と左枠部材 30、上枠部材 10 と右枠部材 40、下枠部材 20 と左枠部材 30、及び下枠部材 20 と右枠部材 40 を、夫々連結している連結部材 85 を備えている。また、外枠 2 は、右枠部材 40 の内側 (左側面側) に取付けられており後述する施錠ユニット 700 の外枠用鉤 703 が係止される上鉤掛部材 90 及び下鉤掛部材 91 を、備えている。

【0097】

[2-1. 上枠部材]

外枠 2 の上枠部材 10 は、所定厚さの無垢 (中実) の材料 (例えば、木材、合板、等) によって形成されている。この上枠部材 10 は、左右両端における前後方向の中央に、上下に貫通しており左右方向中央側へ窪んだ係合切欠部 11 を備えている。この係合切欠部

1 1 内には、連結部材 8 5 の後述する左上連結部材 8 5 A 及び右上連結部材 8 5 B の上横固定部 8 7 が取付けられる。また、上枠部材 1 0 は、正面視左側端部の上面と前面に、一般面よりも窪んだ取付段部 1 2 を備えている。この取付段部 1 2 には、外枠側上ヒンジ部材 6 0 が取付けられる。

【0098】

[2-2. 下枠部材]

外枠 2 の下枠部材 2 0 は、所定厚さの無垢（中実）の材料（例えば、木材、合板、等）によって形成されている。この下枠部材 2 0 は、左右の長さ及び上下の厚さが、上枠部材 1 0 の左右の長さ及び上下の厚さと同じ寸法に形成されていると共に、前後の幅が、上枠部材 1 0 の前後の幅よりも長く形成されている。下枠部材 2 0 は、左右両端における前後方向の中央よりも後側寄りの位置に、上下に貫通しており左右方向中央側へ窪んだ係合切欠部 2 1 を備えている。この係合切欠部 2 1 内には、連結部材 8 5 の後述する左下連結部材 8 5 C 及び右下連結部材 8 5 D の下横固定部 8 8 が取付けられる。

10

【0099】

また、下枠部材 2 0 は、左右両端の前面から後方へ窪んだ前端切欠部 2 2 を備えている。下枠部材 2 0 において、前端切欠部 2 2 の後端から下枠部材 2 0 の後面までの前後方向の幅が、上枠部材 1 0 の前後方向の幅と同じ寸法に形成されている。この下枠部材 2 0 は、外枠 2 に組立てた状態で、左右の前端切欠部 2 2 同士の間の部位が、幕板部材 5 0 内に挿入される。

【0100】

20

[2-3. 左枠部材及び右枠部材]

外枠 2 の左枠部材 3 0 及び右枠部材 4 0 は、一定の断面形状で上下に延びており、アルミ合金等の金属の押出型材によって形成されている。左枠部材 3 0 及び右枠部材 4 0 は、平面視において互いに対称の形状に形成されている。左枠部材 3 0 及び右枠部材 4 0 は、外枠 2 として組立てた時に、左右方向の外側となる側面において、前後方向中央に対して後寄りの位置から後端付近までの間に、内側へ窪んだ凹部 3 1, 4 1 と、凹部 3 1, 4 1 の反対側の側面から膨出しており内部が空洞に形成されている突出部 3 2, 4 2 と、を備えている。この左枠部材 3 0 及び右枠部材 4 0 は、突出部 3 2, 4 2 によって、強度・剛性が高められている。また、突出部 3 2, 4 2 内には、連結部材 8 5 の後述する左上連結部材 8 5 A 及び右上連結部材 8 5 B の後側の下横固定部 8 8 が挿入されて取付けられる。

30

【0101】

また、左枠部材 3 0 及び右枠部材 4 0 は、表面に上下に延びた複数の溝が形成されている。この複数の溝によって、パチンコ機 1 を遊技ホール等の島設備に設置したり運搬したりする等の際に、作業者の指掛りとなってパチンコ機 1 を持ち易くすることができると共に、パチンコ機 1 の外観の意匠性を高めることができる。

【0102】

[2-4. 幕板部材]

外枠 2 の幕板部材 5 0 は、後側が開放された箱状に形成されている。幕板部材 5 0 は、上面における正面視左端付近に後方へ平板状に延出している後方延出部 5 1 と、後方延出部 5 1 の左端から遊技球が通過可能な大きさを U 字状に切欠かれており上下に貫通している左排出孔 5 2 と、後方延出部 5 1 における左排出孔 5 2 の右側において遊技球が通過可能な大きさを上下に貫通している右排出孔 5 3 と、後方延出部 5 1 の後端を含む幕板部材 5 0 の上面の後端から上方へ平板状に延出している立壁部 5 4 と、立壁部 5 4 の上端付近から前方へ膨出しており前面が上方へ向かうに従って後方へ向かうように傾斜している返し部 5 5 と、を備えている。

40

【0103】

幕板部材 5 0 は、後方延出部 5 1 の前側の上面と、後方延出部 5 1 の上面とに、外枠側下ヒンジ部材 7 0 が載置されるように、外枠側下ヒンジ部材 7 0 の後述する水平部 7 1 が取付けられる。また、幕板部材 5 0 の左排出孔 5 2 は、外枠 2 に組立てた状態で外枠側下ヒンジ部材 6 0 の後述する排出孔 7 4 と一致する位置に形成されている。また、右排出孔

50

53は、外枠に組立てた状態で外枠側下ヒンジ部材60よりも右側となる位置に形成されている。右排出孔53は、左排出孔52よりも大きく形成されている（図18等を参照）。

【0104】

また、幕板部材50は、後方延出部51よりも右側の上面が、前端側が低くなるように傾斜している。また、幕板部材50は、上面における後方延出部51よりも右側の部位に左滑り部材81を取付けるための左取付部56と、上面における右端付近に右滑り部材82を取付けるための右取付部57と、を備えている。幕板部材50は、上面に、左滑り部材81及び右滑り部材82を介して本体枠3の下面が載置される。

【0105】

この幕板部材50は、図示するように、前面に浅いレリーフ状の装飾が形成されている。また、幕板部材50は、図示は省略するが、箱状の内部が複数のリブによって格子状に仕切られており、強度・剛性が高められている。また、幕板部材50は、幕板補強部材80の前側半分を、内部に収容可能に形成されている。

【0106】

[2-5. 外枠側上ヒンジ部材]

外枠2の外枠側上ヒンジ部材60は、図示するように、水平に延びた平板状で外形が四角形の上固定部61と、上固定部61の前端から前方へ延出している平板状の前方延出部62と、前方延出部62の右端から前方へ向かうに従って前方延出部62の左右中央へ延びており上下に貫通している軸受溝63と、上固定部61の平面視左辺から下方へ延びている平板状の横固定部64と、前方延出部62の左端から前端を周って軸受溝63が開口している部位までの端辺から下方へ延びており横固定部64と連続している平板状の垂下部65と、を備えている（図15（b）等を参照）。

【0107】

外枠側上ヒンジ部材60は、外枠2が組立てられた状態で、上固定部61が、上枠部材10の取付段部12の上面に載置されており、図示しないビスによって固定されている。また、前方延出部62は、上枠部材10の前端よりも前方へ延出している。また、横固定部64は、左枠部材30の外側側面の凹部31内に上側から挿入された状態で、ビスによって左枠部材30に固定されている。

【0108】

この外枠側上ヒンジ部材60は、軸受溝63内に本体枠側上ヒンジ部材620の本体枠上ヒンジピン622を挿入させることで、外枠側下ヒンジ部材70と協働して本体枠4を開閉可能に支持することができる。この外枠側上ヒンジ部材60は、金属板をプレス成型により屈曲させて形成されている。

【0109】

[2-6. ロック部材]

外枠2のロック部材66は、図15に示すように、左右が所定幅で前後に延びている帯板状のロック本体66aと、ロック本体66aの後端から右方へ突出している操作部66bと、ロック本体66aの後端から左方へ延びた後に斜め左前方へ延びている弾性変形可能な棒状の弾性部66cと、ロック本体66aの後端付近で上下に貫通している取付孔66dと、を備えている。このロック部材66は、合成樹脂によって形成されている。ロック部材66は、取付ビス67によって、外枠側上ヒンジ部材60における前方延出部62の下面に回転可能に取付けられる。

【0110】

このロック部材66は、取付孔66dを通して、ロック本体66aの後端が、外枠側上ヒンジ部材60の前方延出部62における軸受溝63よりも後側の位置に取付けられる。また、ロック部材66を外枠側上ヒンジ部材60に取付けた状態では、ロック本体66aが、平面視で軸受溝63を遮ることができると共に、前端付近の右側面が、外枠側上ヒンジ部材60の垂下部65における軸受溝63の開口まで延びている部位と当接可能となるように前方へ延びている（図17を参照）。

【0111】

また、ロック本体66aの後端から左方へ延びている弾性部66cの先端は、外枠側上ヒンジ部材60における垂下部65の内周面に当接している。このロック部材66は、弾性部66cの付勢力によって取付孔66dを中心に、前端が左方へ回転する方向に付勢されている。従って、通常の状態では、ロック部材66のロック本体66aの前端付近の右側面が、垂下部65に当接している（図17を参照）。この状態では、軸受溝63におけるロック本体66aよりも前側の部位に、本体枠側上ヒンジ部材620の後述する本体枠側上ヒンジピン622を収容可能な空間が形成される。

【0112】

このロック部材66は、操作部66bを操作することで、弾性部66cの付勢力に抗してロック本体66aを回転させることができる。そして、操作部66bの操作によって、ロック本体66aを、その前端が左方へ移動する方向へ回転させることで、平面視において軸受溝63からロック本体66aを後退させることができ、軸受溝63が全通している状態とすることができる。これにより、軸受溝63内に本体枠側上ヒンジピン622を挿入したり、軸受溝63内から本体枠側上ヒンジピン622を外したりすることができる。

【0113】

〔2-7. 外枠側下ヒンジ部材〕

外枠2の外枠側下ヒンジ部材70は、図示するように、水平に延びている平板状の水平部71と、水平部71の左辺において前後方向中央よりも後側の部位から上方へ立上っている平板状の立上り部72と、水平部71の前端付近から上方へ突出している外枠下ヒンジピン73と、水平部71を上下に貫通しており遊技球が一つのみ通過可能な大きさの排出孔74と、を備えている。この外枠側下ヒンジ部材70は、金属板をプレス成型により屈曲させて形成されている。

【0114】

外枠側下ヒンジ部材70の水平部71は、平面視において、左辺を底辺とした台形に形成されている。外枠下ヒンジピン73は、円柱状で、上下方向中央よりも上部が、上端が窄まった円錐台状に形成されている。この外枠下ヒンジピン73は、水平部71の前端付近における左寄りの位置に取付けられている。排出孔74は、水平部71において、立上り部72の前後方向中央の部位と接し、水平部71の左辺から右方へ逆U字状に延びるように形成されている。この排出孔74は、幕板部材50の左排出孔52と、略同じ大きさに形成されている。

【0115】

外枠側下ヒンジ部材70は、外枠2が組立てられた状態では、水平部71が、幕板部材50の左端付近の上面と後方延出部51上に載置されており、水平部71が、幕板部材50の上面を貫通する図示しないビスによって幕板補強部材80に固定されている。また、外枠2が組立てられた状態では、立上り部72が、左枠部材30の内側側面における突出部32よりも前側の部位に、図示しないビスによって取付けられている。この外枠側下ヒンジ部材70は、外枠下ヒンジピン73を、本体枠4の本体枠側下ヒンジ部材640における本体枠用下ヒンジ孔（図示は省略）に挿通させることで、外枠側上ヒンジ部材60と協働して本体枠4を開閉可能に取付けることができる。

【0116】

また、外枠2が組立てられた状態では、排出孔74が、幕板部材50の左排出孔52と一致している。これにより、水平部71上の遊技球を、排出孔74及び左排出孔52を通して、幕板部材50の後側へ落下（排出）させることができる。詳述すると、外枠2に対して本体枠4を閉じる時に、外枠2と本体枠4との間に落下した遊技球が、本体枠4が閉じられるのに従って、外枠2と本体枠4との間が徐々に狭くなることから、間隔が広い後方側へ転動とすることとなり、排出孔74から排出させることができる。この際に、排出孔74が、パチンコ機1に組立てた状態で、外枠2に対して本体枠4を閉じた時に、本体枠4の後端と略同じとなる位置に形成されているため、外枠2と本体枠4との間に落下した遊技球を、排出孔74から排出させることで本体枠4よりも後側へ転動するのを阻止し

易くすることができ、外枠側下ヒンジ部材 70 の部位に遊技球が留まり難くすることができる。

【0117】

[2-8. 連結部材]

外枠 2 の連結部材 85 は、上枠部材 10 と左枠部材 30 とを連結する左上連結部材 85 A と、上枠部材 10 と右枠部材 40 とを連結する右上連結部材 85 B と、下枠部材 20 と左枠部材 30 とを連結する左下連結部材 85 C と、下枠部材 20 と右枠部材 40 とを連結する右下連結部材 85 D と、がある。

【0118】

連結部材 85 は、水平に延びた平板状の水平固定部 86 と、水平固定部 86 の左右側辺の何れか一方から上方へ延出している平板状の上横固定部 87 と、水平固定部 86 における上横固定部 87 が延出している部位と同じ側から下方へ延出している平板状の下横固定部 88 と、を備えている。この連結部材 85 は、平板状の金属板を屈曲させて形成されている。

【0119】

左上連結部材 85 A 及び右上連結部材 85 B では、水平固定部 86 の前後方向の中央から上横固定部 87 が上方へ延出していると共に、上横固定部 87 の前後両側から下横固定部 88 が下方へ延出している。つまり、左上連結部材 85 A 及び右上連結部材 85 B では、下横固定部 88 が前後に離間して二つ備えられている。左上連結部材 85 A 及び右上連結部材 85 B の水平固定部 86 は、上枠部材 10 の下面に当接した状態で上枠部材 10 に固定される。また、左上連結部材 85 A 及び右上連結部材 85 B の上横固定部 87 は、上枠部材 10 の係合切欠部 11 内に挿入されて、上枠部材 10 の左右方向の端部に固定される。また、左上連結部材 85 A 及び右上連結部材 85 B の前側の下横固定部 88 は、左枠部材 30 又は右枠部材 40 突出部 32, 42 よりも前側の内側側面に固定される。更に、左上連結部材 85 A 及び右上連結部材 85 B の後側の下横固定部 88 は、左枠部材 30 又は右枠部材 40 突出部 32, 42 内に挿入されて外側側面から掬込まれるビスにより左枠部材 30 又は右枠部材 40 に固定される。

【0120】

左下連結部材 85 C 及び右下連結部材 85 D では、上横固定部 87 の後端が、水平固定部 86 の後端よりも後方へ突出していると共に、上横固定部 87 の水平固定部 86 よりも後方へ突出している部位の下端から下横固定部 88 が水平固定部 86 よりも下方へ延出している。また、左下連結部材 85 C 及び右下連結部材 85 D では、上横固定部 87 の後端から水平固定部 86 と同じ側へ突出している屈曲部 89 を更に備えている。左下連結部材 85 C 及び右下連結部材 85 D の水平固定部 86 は、下枠部材 20 の上面に当接した状態で固定される。また、左下連結部材 85 C 及び右下連結部材 85 D の上横固定部 87 は、左枠部材 30 又は右枠部材 40 の突出部 32, 42 よりも前側の内側側面に固定される。更に、左下連結部材 85 C 及び右下連結部材 85 D の下横固定部 88 は、下枠部材 20 の係合切欠部 21 内に挿入されて下枠部材 20 の左右方向の端面に固定される。

【0121】

[2-9. 外枠側上ヒンジ部材のロック機構]

次に、本実施形態のパチンコ機 1 の外枠 2 において、外枠側上ヒンジ部材 60 におけるロック部材 66 による本体枠 4 の本体枠側上ヒンジ部材 620 に対するロック機構について、図 16 及び図 17 を参照して説明する。図 16 は (a) は外枠の外枠側上ヒンジ部材に対して本体枠の本体枠側上ヒンジ部材が取外されている状態を拡大して示す斜視図であり、(b) は外側上ヒンジ部材に本体側上ヒンジ部材が取付けられている状態を拡大して示す斜視図である。図 17 は外枠におけるロック部材の作用を示す説明図である。

【0122】

外枠 2 におけるロック部材 66 は、外枠側上ヒンジ部材 60 の前方延出部 62 に取付けた状態 (通常の状態) では、弾性部 66 c の先端が垂下部 65 の内周面と当接しており、ロック本体 66 a がく字状に屈曲した軸受溝 63 の一部を閉塞するようになっていると共

10

20

30

40

50

に、ロック本体 6 6 a の先端部分が、軸受溝 6 3 の最深部分を閉塞した状態とはならず、軸受溝 6 3 の最深部分に本体枠 4 の本体枠側上ヒンジ部材 6 2 0 の本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を挿入可能な空間が形成された状態となっている。

【0123】

本実施形態における外枠側上ヒンジ部材 6 0 とロック部材 6 6 とを用いた本体枠上ヒンジピン 6 2 2 の支持機構は、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 が軸受溝 6 3 の最深部分に挿入されてロック本体 6 6 a の前端の右側面が、右側の垂下部 6 5 と接近している状態（この状態ではロック本体 6 6 a の前端の右側面と右側の垂下部 6 5 との間に僅かな隙間があり当接した状態となっていない）である通常の軸支状態においては、屈曲している軸受溝 6 3 の最深部分に位置する本体枠上ヒンジピン 6 2 2 とロック本体 6 3 の前端面との夫々の中心が斜め方向にずれて対向した状態となっている。

10

【0124】

そして、この通常の軸支状態においては、重量のある本体枠 4 を軸支している本体枠上ヒンジピン 6 2 2 が軸受溝 6 3 の前端部分に当接した状態となっているので、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 からロック部材 6 6 a の前端面への負荷がほとんどかかっていない。つまり、ロック部材 6 6 の弾性部 6 6 c に対し負荷がかかっていない状態となっている。なお、ロック本体 6 6 a の前端面が円弧状に形成されているため、ロック部材 6 6 を回動させるために操作部 6 6 b を回動操作した時に、ロック部材 6 6 がスムーズに回動するようになっている。また、図示では、ロック本体 6 6 a の前端面の円弧中心が、取付孔 6 6 d の中心（ロック部材 6 6 の回転中心）とされている。

20

【0125】

従って、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 がく字状に形成された軸受溝 6 3 の傾斜に沿って抜ける方向に作用力 F がかかって、ロック本体 6 6 a の円弧状の前端面に当接したとき、その作用力 F を、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 と円弧状の前端面との当接部分に作用する分力 F_1 （ロック本体 6 6 a の前端面の円弧の法線方向）と、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 と軸受溝 6 3 の一側内面との当接部分に作用する分力 F_2 と、に分けたときに、分力 F_1 の方向が取付孔 6 6 d（取付ビス 6 7）の中心（ロック部材 6 6 の回転中心）を向くため、ロック部材 6 6 のロック本体 6 6 a の前端が、右側の垂下部 6 5 から離れる方向に回転させるモーメントが働かず、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 がロック部材 6 6 のロック本体 6 6 a の前端部と軸受溝 6 3 の一側内面との間に挟持された状態が保持される。

30

【0126】

このため、通常の軸支状態、或は、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 の作用力がロック部材 6 6 にかかった状態でも、ロック部材 6 6 の弾性部 6 6 c に常時負荷がかからず、合成樹脂で一体形成される弾性部 6 6 c のクリープによる塑性変形を防止し、長期間に亘って本体枠上ヒンジピン 6 2 2 の軸受溝 6 3 からの脱落を防止することができる。なお、仮に無理な力がかかってロック部材 6 6 のロック本体 6 6 a の前端部が右方へ移動する方向へ回転させられても、ロック本体 6 6 a の前端右側面が垂下部 6 5 に当接してそれ以上回転しないので、ロック部材 6 6 が前方延出部 6 2 の外側にはみ出ないようになっている。

【0127】

なお、ロック本体 6 6 a の前端面の形状は円弧状でなくても、上記した分力 F_1 の作用により回転モーメントが生じない位置又はロック部材 6 6 をその前端部が前方突出部 6 2 の外側に向って回転させる回転モーメントが生ずる位置にロック部材 6 6 の回転中心（取付ビス 6 7 により固定される軸）を位置させることにより、常時ロック部材 6 6 の弾性部 6 6 c に対しても負荷がかかることはないし、ロック部材 6 6 が回転してもロック本体 6 6 a の前端の右側面が垂下部 6 5 に当接するだけであるため、ロック部材 6 6 が前方延出部 6 2 の外側にはみ出ることもない。

40

【0128】

外枠側上ヒンジ部材 6 0 の軸受溝 6 3 に、本体枠側上ヒンジ部材 6 2 0 の本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を支持させる場合は、軸受溝 6 3 の開放されている側から軸受溝 6 3 内に本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を挿入する。軸受溝 6 3 内に本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を挿入す

50

ると、ロック部材 6 6 のロック本体 6 6 a の右側面に本体枠上ヒンジピン 6 2 2 が当接し、弾性部 6 6 c の付勢力に抗してロック本体 6 6 a の前端が左方へ移動するようにロック部材 6 6 が取付ビス 6 7 を中心に回転する。これにより、軸受溝 6 3 を閉鎖していたロック本体 6 6 a が後退して軸受溝 6 3 が開放され、軸受溝 6 3 の最深部（前端）へ本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を移動させることができるようになる。

【0129】

そして、軸受溝 6 3 の最深部に本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を移動させると、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 とロック部材 6 6 のロック本体 6 6 a との当接が解除され、弾性部 6 6 c の付勢力によってロック本体 6 6 a の前端が右方へ移動するようにロック部材 6 6 が回転し、ロック部材 6 6 が通常の状態に復帰する。これにより、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 が、軸受溝 6 3 内におけるロック本体 6 6 a の前端よりも前側の空間に収容された状態となり、本体枠上ヒンジピン 6 2 2 が、軸受溝 6 3 の最深部において回転可能な状態で保持（ロック）された状態となる。

【0130】

軸受溝 6 3 内から本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を取外す場合は、ロック部材 6 6 の操作部 6 6 b を操作して、ロック本体 6 6 a の前端が左方へ移動するようにロック部材 6 6 を回転させ、弾性部 6 6 c の付勢力に抗して軸受溝 6 3 からロック本体 6 6 a を後退させる。これにより、軸受溝 6 3 の最深部と開口部とが連通した状態となり、軸受溝 6 3 から本体枠上ヒンジピン 6 2 2 を取外すことができる。

【0131】

〔2-10. 外枠側下ヒンジ部材の部位における防犯機構と球噛み防止機構〕

本実施形態のパチンコ機 1 における外枠 2 の外枠側下ヒンジ部材 7 0 の部位における防犯機構と外枠 2 と本体枠 4 との間に遊技球が挟まれるのを防止するための球噛み防止機構について、図 18 を参照して説明する。図 18（a）は図 1 における A-A 断面図であり、（b）は（a）において外枠に対して扉枠と共に本体枠を開いた状態を示す断面図である。

【0132】

外枠 2 は、組立てた状態では、幕板部材 5 0 の上面における正面視左端部に外枠側下ヒンジ部材 7 0 が取付けられている。外枠側下ヒンジ部材 7 0 の水平部 7 1 は、幕板部材 5 0 の上面の左端付近と後方延出部 5 1 の上面とに載置された状態で取付けられている。この幕板部材 5 0 には、上面の後端から上方へ立上っている立壁部 5 4 を備えている。これにより、外枠側下ヒンジ部材 7 0 と本体枠側下ヒンジ部材 6 4 0 との間の隙間を通して、本体枠 4（パチンコ機 1）の後側へピアノ線等の不正な工具を侵入させようとしても、不正な工具の先端が幕板部材 5 0 の上面の後端から上方へ延出している立壁部 5 4 に当接するため、不正な工具がこれ以上後側へ挿入されるのを阻止することができ、外枠側下ヒンジ部材 7 0 の部位を介して不正行為が行われるのを防止することができる。

【0133】

また、立壁部 5 4 の上端に、前方へ延出している返し部 5 5 を備えているため、立壁部 5 4 に当接した不正な工具が上方へ曲がった場合、返し部 5 5 によって不正な工具の先端を更に前方へ折返させることができるため、本体枠 4 の後側に不正な工具が侵入させられるのを阻止することができ、外枠側下ヒンジ部材 7 0 の部位を介して不正行為が行われるのを確実に阻止することができる。

【0134】

ところで、幕板部材 5 0 の上面の後端に上方へ延出している立壁部 5 4 を備えるようにした場合、図 18（b）に示すように、外枠 2 に対して本体枠 4 を開いている状態で、遊技球が外枠側下ヒンジ部材 7 0（水平部 7 1）上に落下した場合、水平部 7 1 上の遊技球が、立壁部 5 4 の存在によって水平部 7 1 の後端から後方へ排出されないため、外枠 2 と本体枠 4 との間に挟まれてしまう虞がある。これに対して、本実施形態では、外枠側下ヒンジ部材 7 0 の水平部 7 1 と、幕板部材 5 0 の後方延出部 5 1 とに、遊技球が通過可能な排出孔 7 4、右排出孔 5 2、及び左排出孔 5 3 を備えているため、外枠側下ヒンジ部材 7

0の水平部71上の遊技球を、排出孔74等から下方へ排出することができ、外枠2と本体枠4との間に遊技球が挟まれるのを低減させることができる。

【0135】

従って、外枠2と本体枠4との間に遊技球が挟まれることで、外枠側下ヒンジ部材70の周りが破損したり、本体枠4が正常な状態で閉まらずに外枠2と本体枠4との間に隙間ができてしまい、その隙間を使って不正行為が行われてしまったりするのを防止することができる。

【0136】

[3. 扉枠の全体構成]

パチンコ機1の扉枠3について、図19乃至図25を参照して説明する。図19はパチンコ機における扉枠の正面図であり、図20は扉枠の背面図である。図21は扉枠を右前から見た斜視図であり、図22は扉枠を左前から見た斜視図であり、図23は扉枠を後ろから見た斜視図である。図24は扉枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図25は扉枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【0137】

扉枠3は、正面視の外形が四角形で枠状の扉枠ベースユニット100と、扉枠ベースユニット100の前面下部に取付けられる皿ユニット200と、扉枠ベースユニット100の前面上部に取付けられるトップユニット350と、扉枠ベースユニット100の前面左部に取付けられる左サイドユニット400と、扉枠ベースユニット100の前面右部に取付けられる右サイドユニット450と、扉枠ベースユニット100の前面右下部に皿ユニット200を貫通して取付けられるハンドルユニット500と、を備えている。

【0138】

また、扉枠3は、扉枠ベースユニット100の後面下部に取付けられるファールカバーユニット520と、扉枠ベースユニット100の後面下部に取付けられる球送りユニット540と、扉枠ベースユニット100の後面に取付けられ貫通口111を閉鎖するガラスユニット560と、ガラスユニット560の後面下部を覆う防犯カバー580と、を備えている。

【0139】

扉枠3の扉枠ベースユニット100は、図24及び図25に等々示すように、外形が縦長の長方形で前後に貫通している貫通口111を有した板状の扉枠ベース110と、扉枠ベース110の前面で正面視右下隅に取付けられておりハンドルユニット500を取付けるための筒状のハンドル取付部材120と、扉枠ベース110の後側に取付けられている枠状の補強ユニット130と、補強ユニット130の正面視左端側の上下両端に取付けられており前方へ突出して本体枠4の本体枠側上ヒンジ部材620及び本体枠側下ヒンジ部材640に回転可能に取付けられる扉枠側上ヒンジ部材140及び扉枠側下ヒンジ部材150と、扉枠ベース110の後側に回動可能に取付けられておりガラスユニット560を着脱可能に取付けるためのガラスユニット取付部材160と、を備えている。

【0140】

扉枠3の皿ユニット200は、詳細は後述するが、上下に列設されており前方へ膨出しており遊技球を貯留可能な上皿201及び下皿202と、上皿201及び下皿202が取付けられていると共に扉枠ベースユニット100の前面に取付けられる板状の皿ユニットベース210と、上皿201の前側で皿ユニットベース210に取付けられ画像を表示可能な上皿液晶表示装置244、遊技者が操作可能なタッチパネル246及び上皿演出ボタン257を有している演出操作ユニット220と、上皿201及び下皿202を前側から覆う皿ユニットカバー260と、正面視上皿201の右側に配置されており遊技状態に応じて回転する扉右下回転体270Aを有している扉右下演出ユニット270と、扉右下演出ユニット270を前側から覆う透明な演出ユニットカバー300と、上皿201に貯留されている遊技球を下皿202へ抜くための上皿球抜きユニット310と、下皿202に貯留されている遊技球を下方へ抜くための下皿球抜きユニット320と、遊技ホールの島設備においてパチンコ機1と隣接して配置される球貸機（図示は省略する。CRユニット

とも称す) を操作するための球貸操作ユニット 330 と、皿ユニットベース 210 の上部に取付けられており発光装飾可能な上皿トップ装飾部材 340 と、を主に備えている。

【0141】

扉枠 3 のトップユニット 350 は、図 24 及び図 25 等に示すように、扉枠ベースユニット 100 の前面において上辺に沿って取付けられる一部が透光性を有したユニットベース 360 と、ユニットベース 360 の前面で左右の中央に取付けられており前方へ膨出している透光性を有したトップ装飾部材 370 と、トップ装飾部材 370 内に取付けられており高音域のサウンドを出力するトップスピーカ (図示は省略) と、ユニットベース 360 の後側に取付けられており前面に複数の LED が取付けられている扉枠上装飾基板 380 と、を備えている。

10

【0142】

扉枠 3 の左サイドユニット 400 は、図 24 及び図 25 等に示すように、扉枠ベースユニット 100 の前面で貫通口 111 の左側外周縁に沿って取付けられる平板状のユニットベース 410 と、ユニットベース 410 の前面に取付けられており上端がトップユニット 350 のトップ装飾部材 370 の左端まで延びている透光性を有した左サイド装飾部材 420 と、左サイド装飾部材 420 の前側で正面視扉枠 3 の左上隅となる位置に取付けられており左スピーカ (図示は省略) を有した左スピーカユニット 430 と、ユニットベース 410 の後側に取付けられており前面に複数の LED が取付けられた扉枠左装飾基板 440 と、を備えている。

【0143】

20

扉枠 3 の右サイドユニット 450 は、図 24 及び図 25 等に示すように、扉枠ベースユニット 100 の前面で貫通口 111 の右側外周縁に沿って取付けられる平板状のユニットベース 460 と、ユニットベース 460 の前側に取付けられており上端がトップユニット 350 のトップ装飾部材 370 の右端まで延びている透光性を有した右サイド装飾部材 470 と、右サイド装飾部材 470 の前面で正面視扉枠 3 の右上隅となる位置に取付けられており右スピーカ (図示は省略) を有した右スピーカユニット 480 と、ユニットベース 460 と右サイド装飾部材 470 との間に取付けられており前面に複数の LED が取付けられた扉枠右装飾基板 (図示は省略) と、を備えている。

【0144】

30

扉枠 3 のハンドルユニット 500 は、図 24 及び図 25 等に示すように、扉枠ベースユニット 100 のハンドル取付部材 120 に取付けられるハンドル本体 502 と、ハンドル本体 502 に回動可能に取付けられており遊技者が回動操作可能なハンドルレバー 504 と、ハンドルレバー 504 の前側からハンドル本体 502 に取付けられておりハンドル本体 502 と協働してハンドルレバー 504 を回動可能に支持しているハンドルカバー 506 と、を備えている。また、ハンドルユニット 500 は、図示は省略するが、ハンドル本体 502 内に取付けられておりハンドルレバー 504 の回転角度を検知するハンドル操作センサ 507 (図 142 を参照) と、ハンドル本体 502 に取付けられており遊技者が操作可能なストップボタンと、ハンドル本体 502 内に取付けられており遊技者とハンドルレバー 504 との接触を検知する接触検知センサ 509 (図 142 を参照) と、を備えている。

40

【0145】

扉枠 3 のファールカバーユニット 520 は、図 24、図 25、及び図 54 乃至図 56 等に示すように、扉枠ベースユニット 100 の後側に取付けられ前側が開放された浅い箱状のユニット本体 522 と、ユニット本体 522 の前面に取付けられている平板状の蓋部材 524 と、を主に備えている。ファールカバーユニット 520 は、正面視左上隅において前後に貫通しており本体枠 4 の下部満タン球経路ユニット 860 の通常誘導路と皿ユニット 200 の上皿球供給口 210a とを連通させる貫通球通路 526 と、貫通球通路 526 の正面視右側で後方へ向かって開口しており本体枠 4 の下部満タン球経路ユニット 860 の満タン誘導路と連通可能な満タン球受口 528 と、満タン球受口 528 の正面視右側で上方へ向かって開口しており本体枠 4 の球発射装置 680 により発射されにも関わらず遊

50

技領域 5 a 内へ到達しなかった遊技球（ファール球）を受けるファール球受口 5 3 0 と、正面視右下隅で前方へ向かって開口しており満タン球受口 5 2 8 及びファール球受口 5 3 0 に受入れられた遊技球を放出すると共に皿ユニット 2 0 0 の下皿球供給口 2 1 0 c と連通する球放出口 5 3 2 と、を備えている。

【0146】

扉枠 3 の球送りユニット 5 4 0 は、図 2 4 及び図 2 5 等 to 示すように、左右に延びており後側が開放された箱状のユニット本体 5 4 2 と、ユニット本体 5 4 2 の後側に取り付けられており前側が開放された箱状でファールカバーユニット 5 2 0 の正面視右側で扉枠ベースユニット 1 0 0 の後側に着脱可能に取り付けられるユニットカバー 5 4 4 と、前方へ向かって開口しており皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 に貯留されている遊技球が進入する球進入口 5 4 6 と、球進入口 5 4 6 に進入した遊技球を放出可能とされており後方へ向かって開口している球放出口 5 4 8 と、球進入口 5 4 6 に進入した遊技球を排出可能とされており球進入口 5 4 6 の下側で前方へ向かって開口している球排出口 5 5 0 と、を備えている。また、球送りユニット 5 4 0 は、図示は省略するが、球進入口 5 4 6 から進入した遊技球を一つずつ球放出口 5 4 8 から放出させるための球送りソレノイド 5 5 1（図 1 4 2 を参照）と、球進入口 5 4 6 から進入した遊技球を球放出口 5 4 8 側又は球排出口 5 5 0 側の何れかに切替える切換機構と、を備えている。

【0147】

扉枠 3 のガラスユニット 5 6 0 は、図 2 4 及び図 2 5 等 to 示すように、扉枠ベースユニット 1 0 0 の貫通口 1 1 1 よりも大きい枠状のユニット枠 5 6 2 と、ユニット枠 5 6 2 の前後両側に取り付けられておりユニット枠 5 6 2 の枠内を閉鎖する一対のガラス板 5 6 4 と、を備えている。

【0148】

[3-1. 皿ユニットの全体構成]

扉枠 3 の皿ユニット 2 0 0 について、図 2 6 乃至図 4 1 を参照して詳細に説明する。図 2 6 は扉枠の皿ユニットを前から見た斜視図であり、図 2 7 は皿ユニットを後ろから見た斜視図である。図 2 8 は皿ユニットを主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 2 9 は皿ユニットを主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。図 3 0（a）は皿ユニットの演出操作ユニットを前から見た斜視図であり、（b）は演出操作ユニットを後ろから見た斜視図である。図 3 1 は演出操作ユニットを主な部材毎に分解して上から見た斜視図であり、図 3 2 は演出操作ユニットを主な部材毎に分解して下から見た分解斜視図である。図 3 3 は演出操作ユニットの取付ベースユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図 3 4 は取付ベースユニットを分解して下から見た分解斜視図である。

【0149】

また、図 3 5 は演出操作ユニットのタッチユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図 3 6 はタッチユニットを分解して下から見た分解斜視図である。図 3 7 は演出操作ユニットのボタンユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図 3 8 はボタンユニットを分解して下から見た分解斜視図である。図 3 9 は皿ユニットの平面図であり、図 4 0 は図 3 9 における B-B 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図であり、図 4 1 は図 3 9 における C-C 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。

【0150】

更に、図 4 2（a）は皿ユニットの扉右下演出ユニットの正面図であり、（b）は扉右下演出ユニットの右側面図であり、図 4 3（a）は扉右下演出ユニットを前から見た斜視図であり、（b）は扉右下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図 4 4 は、図 4 2（b）の扉右下演出ユニットにおける D-D 断面図である。図 4 5 は扉右下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図 4 6 は扉右下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図 4 7 は扉右下演出ユニットの回転体内部ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図 4 8 は回転体内部ユニットを分解して後ろから見た分解

斜視図である。図49(a)は扉右下演出ユニットの扉右下回転体が前を向いた状態の正面図であり、(b)は扉右下回転体が後ろを向いた状態の正面図である。

【0151】

また、図50(a)は皿ユニットの上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で前から見た斜視図であり、(b)は上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で後ろから見た斜視図である。図51は上皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図52は上皿球抜きユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図53(a)は皿ユニットの下皿球抜きユニットを前から見た斜視図であり、(b)下皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【0152】

皿ユニット200は、扉枠ベースユニット100から前方へ膨出している。この皿ユニット200は、払出装830から払出され遊技領域5a内に打込むための遊技球を貯留する上皿201と、上皿201の下側に配置されており上皿201から供給される遊技球を貯留可能な下皿202と、を備えている。また、皿ユニット200は、扉枠ベースユニット100に取付けられる平板状の皿ユニットベース210と、皿ユニットベース210の前面上部に取付けられると共に左右中央より左側が前方へ大きく膨出しており上皿201を形成している上皿本体212と、皿ユニットベース210の前面下部で左右中央に取付けられると共に前方へ大きく膨出しており下皿202を形成している下皿本体214と、を備えている。

【0153】

また、皿ユニット200は、上皿本体212の前側及び皿ユニットベース210の前面に取付けられる演出操作ユニット220と、上皿本体212、下皿本体214、及び演出操作ユニットの前側及び下側を覆い皿ユニットベース210の前面に取付けられる皿ユニットカバー260と、演出操作ユニット220の右側に配置されており皿ユニットベース210の前面右部に取付けられる扉右下演出ユニット270と、扉右下演出ユニット270の前側を覆い皿ユニットベース210の前面に取付けられる演出ユニットカバー300と、皿ユニットベース210を前後から挟むように取付けられており上皿本体212の上皿201内に貯留されている遊技球を下皿202へ抜き取るための上皿球抜きユニット310と、下皿本体214の下側に取付けられており下皿202に貯留されている遊技球を下方へ排出するための下皿球抜きユニット320と、を備えている。

【0154】

更に、皿ユニット200は、演出操作ユニット220の上面に取付けられており遊技ホールの島設備においてパチンコ機1と隣接して配置される球貸機を操作するための球貸操作ユニット330と、皿ユニットベース210の上部に取付けられており発光装飾可能な上皿トップ装飾部材340と、皿ユニットカバー260の後側で皿ユニットベース210の前面左側に取付けられており前方へ向かって光を照射可能な複数のLEDを備えている皿ユニット左装飾基板345と、演出ユニットカバー300の後側且つ扉右下演出ユニット270の下側で皿ユニットベース210の前面右側に取付けられており前方へ向かって光を照射可能な複数のLEDを備えている皿ユニット右装飾基板346と、皿ユニットベース210の後側に取付けられており後述する上皿前装飾基板233、上皿後装飾基板235、上皿液晶基板241、加振装置242、タッチパネル246、演出ボタン装飾基板251、演出ボタン押圧センサ258、扉右下中継基板281、皿ユニット左装飾基板345、及び皿ユニット右装飾基板346と遊技盤5の図示しない周辺制御基板1510との接続を中継する皿ユニット中継基板347と、を備えている。

【0155】

[3-1a. 皿ユニットベース]

皿ユニット200の皿ユニットベース210は、図28及び図29に示すように、扉枠ベースユニット100の全幅に亘って左右に長く延びている。皿ユニットベース210は、正面視左上隅付近で前後に貫通していると共に後方へ筒状に延びている上皿球供給口210aと、上皿球供給口210aの下側で前後に貫通していると共に上下に延びている複

10

20

30

40

50

数の長穴からなるスピーカスリット 2 1 0 b と、正面視左右中央の下部において前後に貫通していると共に後方へ筒状に延びている下皿球供給口 2 1 0 c と、下皿球供給口 2 1 0 c の正面視右上側で前後に貫通していると共に上下に延びており上部が上皿本体 2 1 2 の右端に位置する上皿球送り口 2 1 0 d と、を備えている。

【0156】

また、皿ユニットベース 2 1 0 は、上皿球送り口 2 1 0 d の正面視左側で前後に貫通している内周が四角形の透口 2 1 0 e と、透口 2 1 0 e の下辺から前方へ板状に突出している受片 2 1 0 f と、上皿球送り口 2 1 0 d の正面視右上側で前後に貫通している逃し口 2 1 0 g と、正面視右下隅で前後に貫通しており扉枠ベースユニット 1 0 0 のハンドル取付部材 1 2 0 が挿通されるハンドル挿通口 2 1 0 h と、正面視右隅付近で前後に貫通しており施錠ユニット 7 0 0 の鍵シリンダ 7 1 0 が挿通されるシリンダ挿通口 2 1 0 i と、筒状の下皿球供給口 2 1 0 c の正面視右側の側面において後端から前方へ向かって切欠かれている切欠部 2 1 0 j と、を備えている。

【0157】

[3-1b. 上皿本体]

皿ユニット 2 0 0 の上皿本体 2 1 2 は、図 2 8 及び図 2 9 に示すように、正面視左右の中央より左側の方が大きく前方へ膨出しており、上方及び後方へ開放された容器状に形成されている。上皿本体 2 1 2 は、正面視右端側に左方及び後方へのみ開放されており遊技球が流通可能な誘導通路部 2 1 2 a を備えている。この上皿本体 2 1 2 は、底面が全体的に右端が低くなるように傾斜している。詳述すると、上皿本体 2 1 2 を皿ユニットベース 2 1 0 に取付けた状態で、上皿本体 2 1 2 の底面が、上皿球供給口 2 1 0 a の下側の位置から上皿球送り口 2 1 0 d の上端から遊技球の外径よりも若干下側の位置へ向かって低くなるように傾斜している。これにより、上皿球供給口 2 1 0 a から前方へ放出された遊技球を、上皿本体 2 1 2 内に受けて貯留することができると共に、受けた遊技球を誘導通路部 2 1 2 a の右端側から上皿球送り口 2 1 0 d へ供給することができる。

【0158】

また、上皿本体 2 1 2 は、底面の後端側で左右の中央から右端付近まで延びている金属製のアース金具 2 1 2 b を備えている。このアース金具 2 1 2 b は、図示は省略するが、電氣的に接地（アース）されており、遊技球が接触することで、遊技球に帯電した静電気を除去することができる。

【0159】

[3-1c. 下皿本体]

皿ユニット 2 0 0 の下皿本体 2 1 4 は、図 2 8 及び図 2 9 に示すように、前端辺に対して後端辺が長い平面視台形で、上方及び後方が開放された容器状に形成されている。下皿本体 2 1 4 は、底面に上下に貫通しており下皿球抜きユニット 3 2 0 によって閉鎖可能とされている球抜き孔 2 1 4 a を備えており、球抜き孔 2 1 4 a へ向かって低くなるように底面が傾斜している。この下皿本体 2 1 4 は、皿ユニットベース 2 1 0 の下皿球供給口 2 1 0 c から前方へ放出された遊技球を受けて貯留することができると共に、球抜き孔 2 1 4 a から遊技球を皿ユニット 2 0 0 の下方へ排出することができる。

【0160】

[3-1d. 演出操作ユニットの全体構成]

皿ユニット 2 0 0 の演出操作ユニット 2 2 0 は、図 3 0 乃至図 3 2 に示すように、正面視左右の中央で皿ユニットベース 2 1 0 及び上皿本体 2 1 2 に取付けられる取付ベースユニット 2 2 0 A と、取付ベースユニット 2 2 0 A に取付けられるタッチユニット 2 2 0 B と、タッチユニット 2 2 0 B の正面視左側で取付ベースユニット 2 2 0 A に取付けられるボタンユニット 2 2 0 C と、タッチユニット 2 2 0 B と取付ベースユニット 2 2 0 A との間に介装される円筒状の複数のダンパ 2 2 2 と、タッチユニット 2 2 0 B 及びボタンユニット 2 2 0 C の外周を上側から覆うように取付ベースユニット 2 2 0 A に取付けられるユニットカバー 2 2 4 と、取付ベースユニット 2 2 0 A の正面視右端に取付けられる装飾部材 2 2 6 と、を備えている。

【0161】

演出操作ユニット220のダンパ222は、円筒状に形成されており、外周面における軸方向の中央に溝222aが全周に亘って形成されている。本実施形態におけるダンパ222は、合成ゴムによって形成されている。複数のダンパ222によって、タッチユニット220Bが叩かれた時の衝撃を緩和させて取付ベースユニット220Aや皿ユニットベース210側へ作用する負荷（衝撃）を低減させることができると共に、タッチユニット220Bの後述する加振装置242による振動が、取付ベースユニット220Aや皿ユニットベース210側へ伝達されるのを低減させることができる。

【0162】

[3-1d-1. 取付ベースユニット]

10

演出操作ユニット220の取付ベースユニット220Aは、図31乃至図34に示すように、皿ユニットベース210の前面に取付けられ上方が開放された浅い箱状の取付ベース230と、取付ベース230の上側に取付けられると共に後端が上皿本体212の前端に取付けられ上側からタッチユニット200Bを収容可能な上方が開放された浅い箱状のユニットケース231と、ユニットケース231の前端に取付けられる横長の上皿前レンズ部材232と、上皿前レンズ部材232とユニットケース231との間に配置され前面に複数のLEDを備えた上皿前装飾基板233と、上皿前レンズ部材232の前側を覆いユニットカバー224に取付けられる透光性を有した上皿前装飾部材234と、を備えている。

【0163】

20

また、取付ベースユニット220Aは、ユニットケース231の後端に取付けられており上方へ向かって光を照射可能な複数のLEDを備えた上皿後装飾基板235と、上皿後装飾基板235の上側に配置されユニットカバー224に取付けられる透光性を有した上皿後装飾部材236と、上皿後装飾部材236の前側においてユニットカバー224とユニットケース231とによって挟持され上皿後装飾基板235からの光を導いて上端が線状に発光可能な線状発光レンズ部材237と、上皿後装飾部材236の正面視右側でユニットカバー224に取付けられる筒状のボタン取付部材238と、ボタン取付部材238によって上下にスライド可能に取付けられる上皿球抜きボタン239と、を備えている。

【0164】

30

取付ベース230は、前後の略中央から前側に、前方へ向かうに従って低くなるように傾斜している平板状の取付側受部230aと、取付側受部230aを貫通しており左右に離間した二つの貫通口230bと、貫通口230bの周縁から下方へ延出している筒状の筒状受部230cと、を備えている。貫通口230bは、内周が四角形に形成されている。筒状受部230cは、下方へ向かうに従って窄まるように角錐筒状に形成されている（図41を参照）。詳述すると、筒状受部230cは、前側の内周壁が取付側受部230aの面に対して略垂直に延びており、後側の内周壁が取付側受部230aの面に対して下方へ向かうに従って前方へ向かうように傾斜して延びている。また、筒状受部230cは、左右両側の内周壁が取付側受部230aの面の垂直に対して下端（先端）同士が僅かに接近するように傾斜して延びている。

【0165】

40

ユニットケース231は、上方へ開放されておりタッチユニット220Bを収容可能な収容凹部231aと、収容凹部231aの底面の正面視左右両端付近から夫々前後に離間して一対ずつ上方へ円柱状に突出している横支持ピン231bと、収容凹部231aの底面の前端付近から左右に離間して上方へ円柱状に突出している一対の前支持ピン231cと、収容凹部231aにおいて底面の前後端側の左右中央から上方へ突出している中央支持突起231dと、収容凹部231aの底面の下側から下方へ向かうに従って窄まるように角錐状に突出しており左右に離間した二つの受突部231eと、を備えている。

【0166】

50

また、ユニットケース231は、収容凹部231aよりも正面視左側で上下に円形に貫通しておりボタンユニット220Cの下部が挿通される挿通孔231fと、上面における

挿通孔 2 3 1 f の周りに配置されておりボタンユニット 2 2 0 C を取付けるためのボタンユニット取付部 2 3 1 g と、収容凹部 2 3 1 a の後側の外周壁において左右に延びていると共に上端から下方へ窪み線状発光レンズ部材 2 3 7 の線状発光部 2 3 7 b が配置される切欠部 2 3 1 h と、を備えている。

【0167】

ユニットケース 2 3 1 の収容凹部 2 3 1 a は、平面視の形状が、左右に延びた四角形と、その四角形の左右両辺から外側へ突出した台形とを組合せた形状に形成されている。また、収容凹部 2 3 1 a は、左右両側の台形の部位の底面に対して、四角形の部位の底面が、下方へ低く形成されている。この収容凹部 2 3 1 a の底面の段差は、ダンパ 2 2 2 の高さ（軸方向の長さ）よりも若干低く形成されている。

10

【0168】

四つの横支持ピン 2 3 1 b は、収容凹部 2 3 1 a における台形の部位の底面から上方へ突出しており、筒状のダンパ 2 2 2 内へ挿入可能に形成されている。また、横支持ピン 2 3 1 b は、上端側に、上端側へ向かうに従って直径が小さくなる円錐台状のテーパ部 2 3 1 i を備えている（図 40 を参照）。横支持ピン 2 3 1 b は、収容凹部 2 3 1 a の底面からテーパ部 2 3 1 i の中間までの距離が、ダンパ 2 2 2 の長さと同じとされており、全体がダンパ 2 2 2 よりも長く形成されている。一对の前支持ピン 2 3 1 c は、筒状のダンパ 2 2 2 内へ挿入可能とされており、ダンパ 2 2 2 の半分の長さよりも若干長く形成されている。

【0169】

中央支持突起 2 3 1 d の上端は、収容凹部 2 3 1 a における台形の部位の底面と同じ高さまで突出している。受突部 2 3 1 e は、外周が四角形の円錐台状に形成されている。二つの受突部 2 3 1 e は、取付ベース 2 3 0 の二つの貫通口 2 3 0 b と対応した位置に形成されている。受突部 2 3 1 e は、前側の外周壁が収容凹部 2 3 1 a の底面に対して略垂直に延びており、後側の外周壁が収容凹部 2 3 1 a の底面に対して下方へ向かうに従って前方へ向かうように傾斜して延びている。また、受突部 2 3 1 e は、左右両側の外周壁が収容凹部 2 3 1 a の面の垂直に対して下端（先端）同士が僅かに接近するように傾斜して延びている。受突部 2 3 1 e の外周壁の形状は、取付ベース 2 3 0 の筒状受部 2 3 0 c の内周壁の形状と対応している。この受突部 2 3 1 e は、組立てた状態で、下端が取付ベース 2 3 0 の貫通口 2 3 0 a 内に挿入されると共に、筒状受部 2 3 0 c の内周壁との間に僅かな隙間が形成される。

20

30

【0170】

上皿前装飾部材 2 3 4 は、皿ユニット 2 0 0 が組立てられた状態で、前面が外部に露出する。上皿後装飾基板 2 3 5 は、上皿後装飾部材 2 3 6 を発光装飾させるための複数の装飾用 LED 2 3 5 a と、線状発光レンズ部材 2 3 7 を発光装飾させるための複数の周縁用 LED 2 3 5 b と、を備えている。

【0171】

線状発光レンズ部材 2 3 7 は、上皿後装飾部材 2 3 6 よりも左右が長く形成されており、上皿後装飾基板 2 3 5 の複数の周縁用 LED 2 3 5 b の上側に配置される受光部 2 3 7 a と、受光部 2 3 7 a と連続しユニットケース 2 3 1 の切欠部 2 3 1 h に嵌め込まれる平板状の線状発光部 2 3 7 b と、を備えている。線状発光レンズ部材 2 3 7 は、線状発光部 2 3 7 b をユニットケース 2 3 1 の切欠部 2 3 1 h に嵌め込むことで、線状発光部 2 3 7 a の前面が収容凹部 2 3 1 a の内周壁の一部を形成する。また、線状発光レンズ部材 2 3 7 は、皿ユニット 2 0 0 が組立てられた状態で、線状発光部 2 3 7 b の上端が外部に露出する。この線状発光レンズ部材 2 3 7 は、周縁用 LED 2 3 5 b からの光を受光部 2 3 7 a で受光することができ、受光部 2 3 7 a で受光した光を線状発光部 2 3 7 b へ導光して線状発光部 2 3 7 b の上端全体を（線状に）発光させることができる。

40

【0172】

上皿球抜きボタン 2 3 9 は、ボタン取付部材 2 3 8 によって上下にスライド可能に取付けられ、ボタン取付部材 2 3 8 よりも下方へ延出している延出片 2 3 9 a を備えている。

50

この上皿球抜きボタン 239 を下方へ押圧することで、上皿球抜きユニット 310 を動作させて上皿 201 内に貯留されている遊技球を、上皿 201 から下皿 202 へ排出する（抜く）ことができる。

【0173】

取付ベースユニット 220A は、四つの横支持ピン 231b と二つの前支持ピン 231c に夫々挿入されたダンパ 222 によって、タッチユニット 220B を弾性的に支持することができる。また、タッチユニット 220B が取付けられるユニットケース 231 の下方へ突出している二つの受突部 231e の外周面と、ユニットケース 231 の下側で受突部 231e の下端が挿入されている取付ベース 230 の筒状受部の内周面との間に僅かな隙間を形成している。これにより、タッチユニット 220B 側からユニットケース 231 が下方へ移動するような力（衝撃）が作用した時に、その力が直ちに取付ベース 230 の取付側受部 230a に伝達されず、ユニットケース 231 の収容凹部 231a の底面が下方へある程度撓んで受突部 231e の下端の外周面が筒状受部 230c の内周面に当接することで、取付ベース 230 側へ力が伝達される。つまり、ユニットケース 231 から取付ベース 230 へ力を伝達させる際に、ユニットケース 231 が撓むため、その撓みによって力のある程度減衰させて取付ベース 230 へ伝達させることができる。

10

【0174】

また、ユニットケース 231 の受突部 231e 及び取付ベース 230 の筒状受部 230c は、それらが形成されている面（タッチユニット 220B の上面と平行な面）に対して傾斜した外周面及び内周面を備えているため、受突部 231e から筒状受部 230c へ伝達される力の一部が、筒状受部 230c が備えられている取付側受部 230a の底面に沿った方向へ作用する。これにより、受突部 231e（ユニットケース 231）側からの力が分散し、取付ベース 230 に対して一方向へ大きな力が作用するのを回避させることができ、取付ベース 230 が破損し難くなる。

20

【0175】

[3-1d-2. タッチユニット]

演出操作ユニット 220 のタッチユニット 220B は、図 35 及び図 36 に示すように、上方が開放された浅い箱状の下ケース 240 と、下ケース 240 内に上側から取付けられる上皿液晶基板 241 と、下ケース 240 内において上皿液晶基板 241 の左右両外側に配置される一对の加振装置 242 と、一对の加振装置 242 及び上皿液晶基板 241 の上側を覆うと共に下ケース 240 に取付けられ上方が開放された浅い箱状のベース部材 243 と、ベース部材 243 内に上側から挿入され上皿液晶基板 241 によって制御され画像を表示可能な上皿液晶表示装置 244 と、上皿液晶表示装置 244 の外周を覆う薄い金属板からなる枠状のアース金具 245 と、アース金具 245 及び上皿液晶表示装置 244 の上面を覆う透明なタッチパネル 246 と、タッチパネル 246 の外周を上側から覆いベース部材 243 を通して下ケース 240 に取付けられる枠状の上カバー 247 と、を備えている。

30

【0176】

また、タッチユニット 220B は、下ケース 240、ベース部材 243 及び上カバー 247 を組立てた状態で、それらの後端面において、下ケース 240 の下端から上カバー 247 の上端まで上下に延びていると共に、下ケース 240 等の後端面の左右の略全長に亘って延びており、下ケース 240、ベース部材 243 及び上カバー 247 の後端面に貼付けられている防水性を有したシート状の防水シール 248 を備えている。

40

【0177】

下ケース 240 は、外形がユニットケース 231 の収容凹部 213a の内形と対応しており、収容凹部 213a 内に収容可能に形成されている。下ケース 240 は、左右に延びた長方形の基板取付部 240a と、基板取付部 240a の左右両側から夫々台形に突出している平板状の突出部 240b と、各突出部 240b をダンパ 222 の外径と同じ内形で上下に貫通していると共に一部が左右方向外側へ開放されており前後に離間して形成された一对のダンパ取付凹部 240c と、ダンパ取付凹部 240c の内周面から突出してい

50

るフランジ部 240 d と、突出部 240 b における一对のダンパ取付凹部 240 c の間で基板取付部 240 a 寄りに配置され加振装置 242 が取付けられる加振装置取付部 240 e と、を備えている。

【0178】

下ケース 240 のダンパ取付凹部 240 c は、平面視の形状が C 字状に形成されており、C 字の開放されている側からダンパ 222 を挿入させることができる。また、フランジ部 240 d は、ダンパ取付凹部 240 c の上下の略中央で、ダンパ取付凹部 240 c の C 字状の内周面の全周に亘って備えられている。このフランジ部 240 d は、ダンパ 222 の溝 222 a 内に挿入可能とされている。

【0179】

加振装置 242 は、小型の加振駆動モータ 242 a と、加振駆動モータ 242 a の回転軸に重心が偏芯して取付けられる錘 242 b と、を備えている。この加振装置 242 は、加振駆動モータ 242 a によって錘 242 b を回転させることで、振動を発生させることができる。

【0180】

ベース部材 243 は、上皿液晶表示装置 244 が上側から挿入され浅い箱状に形成された液晶取付凹部 243 a と、液晶取付凹部 243 a の左右両側から外方へ延出している延出部 243 b と、延出部 243 b の先端で下ケース 240 のダンパ取付凹部 240 c と対応する位置で上下に貫通しており上側が大径に座グリされたネジ孔 243 c と、ネジ孔 243 c の下端側に形成されており下端へ向かうに従って直径が大きくなる C 面取り状のテーパ部 243 d (図 40 を参照) と、を備えている。

【0181】

ベース部材 243 のネジ孔 243 c の下側の内径は、ユニットケース 231 における横支持ピン 231 b のテーパ部 231 i よりも先端側が通過することができると共に、テーパ部 231 i よりも基端側(下側)が通過することができない大きさに形成されている。

【0182】

タッチパネル 246 は、衝撃に強く割れ難い強化ガラスと、強化ガラスの上面に備えられた静電容量方式の透明なセンサシートと、強化ガラス及びセンサシートの外周を覆う枠状の保護カバーと、を備えている。

【0183】

タッチユニット 220 B は、下ケース 240 の左右に夫々一对ずつ備えられたダンパ取付凹部 240 c 内に、C 字の開放されている側からダンパ 222 を挿入して、ダンパ 222 を取付けることができる。この際に、ダンパ取付凹部 240 c の内周面から突出しているフランジ部 240 d が、ダンパ 222 の溝 222 a 内に挿入される。これにより、ダンパ取付凹部 240 c 内のダンパ 222 が、軸方向へ移動するのが規制される。ダンパ取付凹部 240 c にダンパ 222 を取付けた状態では、ダンパ 222 の上端がベース部材 243 の延出部 243 b の下面に当接すると共に、ダンパ 222 の下端が下ケース 240 の下端(下面)よりも下方へ突出する。

【0184】

また、タッチユニット 220 B は、一对の加振装置 242 の加振駆動モータ 242 a が、下ケース 240 とベース部材 243 との間に挟持されている。一对の加振装置 242 は、夫々独立して振動を発生させることができる。

【0185】

また、タッチユニット 220 B は、タッチパネル 246 を通して上皿液晶表示装置 244 に表示される画像を上側から視認することができる。そして、上皿液晶表示装置 244 にボタン等の画像を表示させ、遊技者がその画像のボタンを操作するようにタッチパネル 246 に触れることで、画像のボタンを操作することができる。

【0186】

更に、タッチユニット 220 B は、後側の外周面に防止水シール 248 が貼付けられているため、皿ユニット 200 上で飲み物等の液体をこぼした時に、その液体がタッチユニ

10

20

30

40

50

ット 220 B 内に浸入するのを防止することができ、タッチユニット 220 B が液体の浸入によって破損するのを防止することができる。

【0187】

[3-1d-3. ボタンユニット]

演出操作ユニット 220 のボタンユニット 220 C は、図 37 及び図 38 に示すように、取付ベースユニット 220 A におけるユニットケース 231 のボタンユニット取付部 231 g に取付けられる円筒状のユニット本体 250 と、ユニット本体 250 の下側に配置され上面に LED が備えられた演出ボタン装飾基板 251 と、演出ボタン装飾基板 251 の下側を覆いユニット本体 250 の下側に取付けられる基板カバー 252 と、を備えている。

10

【0188】

また、ボタンユニット 220 C は、ユニット本体 250 内に上側から上下へスライド可能に挿入される筒状のボタンベース 253 と、ボタンベース 253 とユニット本体 250 との間に配置されボタンベース 253 を上方へ付勢するバネ部材 254 と、ボタンベース 253 内に挿入され演出ボタン装飾基板 251 の LED からの光を上方へ導くことが可能な導光部材 255 と、導光部材 255 の上側に配置され複数の微小なプリズムを備えたシート状の拡散レンズ部材 256 と、拡散レンズ部材 256 の上側を覆いボタンベース 253 に取付けられる透光性を有した上皿演出ボタン 257 と、演出ボタン装飾基板 251 の上面に取付けられておりボタンベース 253 の下降端への移動を検知する演出ボタン押圧センサ 258 と、を備えている。

20

【0189】

ユニット本体 250 は、外周面の下端から外方へ延出しボタンユニット取付部 231 g に取付けられる三つの取付片 250 a と、内周面の下端から内方へ延出しているフランジ状の柵部 250 b と、内周面に沿って柵部 250 b を貫通している一対の貫通口 250 c と、を備えている。

【0190】

ボタンベース 253 は、柵部 250 b の内周に挿入される筒状の下筒部 253 a と、下筒部 253 a の上端から上方へ向かうに従って直径が大きくなる円錐筒状の上筒部 253 b と、上筒部 253 b の上端から下方へ延出しており下端がユニット本体 250 の貫通口 250 c を貫通可能とされていると共に下端から外方へ突出しユニット本体 250 の下面と係合（当接）可能な爪を有する一対の係合爪部 253 c と、上筒部 253 b の外周面から上端の外径よりも短く外方へ放射状に突出しており下端がユニット本体 250 の柵部 250 b の上面と当接可能な複数の平板状の当接片 253 d と、下筒部 253 a 及び上筒部 253 b の外周面から外方へ平板状に延出しており演出ボタン押圧センサ 258 に検知される検知片 253 e と、を備えている。

30

【0191】

バネ部材 254 は、図示するように、コイルバネとされている。このバネ部材 254 は、下端がユニット本体 250 の柵部 250 b の上面に当接され、上端がボタンベース 253 における複数の当接片 253 d によって支持される。

【0192】

導光部材 255 は、ボタンベース 253 における上筒部 253 b の上部に嵌め込まれる円盤状の本体部 255 a と、本体部 255 a の下面から下方へボタンベース 253 の下筒部 253 a の下端付近まで延びている円柱状の複数の導光部 255 b と、を備えている。複数の導光部 255 b は、演出ボタン装飾基板 251 の LED と対応するように備えられており、LED からの光を導いて本体部 255 a の上面全体から放出させることができる。

40

【0193】

このボタンユニット 220 C は、ボタンベース 253、導光部材 255、拡散レンズ部材 256、及び上皿演出ボタン本体が一体的に組立てられており、それらが一緒にユニット本体 250 内を上下にスライドすることができる。これらボタンベース 253 等は、バ

50

ネ部材 254 の付勢力によって、上皿演出ボタン 257 の上面がユニット本体 250 の上端よりも上方へ突出すると共に、ボタンベース 253 の一对の係合爪部 253c がユニット本体 250 の下面と係合することで、これ以上の上昇が規制され、上皿演出ボタン 257 等が上昇端に位置した状態となる。

【0194】

バネ部材 254 の付勢力に抗して上皿演出ボタン 257 を下方へ押圧すると、上皿演出ボタン 257 等が下降し、ボタンベース 253 の検知片 253e が、演出ボタン押圧センサ 258 によって検知され、上皿演出ボタン 257 の押圧操作が検知される。上皿演出ボタン 257 の押圧により、ボタンベース 253 が下降すると、ボタンベース 253 の複数の当接片 253d の下端が、ユニット本体 250 の棚部 250b の上面に当接し、これ以上の下降が規制され、上皿演出ボタン 257 等が下降端に位置した状態となる。

10

【0195】

また、ボタンユニット 220C は、演出ボタン装飾基板 251 の LED を発光させることで、上皿演出ボタン 257 を発光装飾させることができる。演出ボタン装飾基板 251 の LED は、フルカラー LED とされており、上皿演出ボタン 257 を様々な色に発光装飾させることができる。

【0196】

[3-1d-4. 演出操作ユニットの特徴]

本実施形態の演出操作ユニット 220 は、図 40 に示すように、組立てた状態で、タッチユニット 220B の下ケース 240 のダンパ取付凹部 240c に取付けられたダンパ 222 の下端が、下ケース 240 の下面よりも下方へ突出していることから、取付ベースユニット 220A のユニットケース 231 の収容凹部 231a の底面と、タッチユニット 220B の下ケース 240 の下面との間に、隙間が形成される。また、ユニットケース 231 の四つの横支持ピン 231b の先端面（上端面）は、ベース部材 243 のネジ孔 243c の座グリの底面と一致しており、横支持ピン 231b に対するタッチユニット 220B の上方へ移動が、横支持ピン 231b の上端にねじ込まれたビス 227 の頭部の平座金によって規制されている。また、横支持ピン 231b の上端側に形成されたテーパ部 231i と、ベース部材 243 のネジ孔 243c の下端側に形成されたテーパ部 243d とは、互いに離間している。

20

【0197】

また、演出操作ユニット 220 は、図 41 に示すように、ユニットケース 231 の前支持ピン 231c に挿入されているダンパ 222 の上面は、収容凹部 231a の底面における横支持ピン 231b 側の底面よりも若干上方へ突出している。また、ユニットケース 231 の収容凹部 231a の底面と、下ケース 240 の下面との間に隙間が形成されていることから、ユニットケース 231 の前支持ピン 231c に挿入されたダンパ 222 の上面と、下ケース 240 の下面との間にも隙間が形成されている。また、ユニットケース 231 の中央支持突起 231d の上面と下ケース 240 の下面との間にも隙間が形成されている。つまり、タッチユニット 220B は、左右両側の横支持ピン 231b に挿入されたダンパ 222 によって、下面が宙に浮いた状態で取付ベースユニット 220A に取付けられている。

30

40

【0198】

更に、演出操作ユニット 220 は、取付ベースユニット 220A の取付ベース 230 における下方へ窄まる角錐筒状の筒状受部 230c 内に、上側からタッチユニット 220B が取付けられているユニットケース 231 における下方へ窄まる角錐状の受突部 231e の下端が挿入されている。この筒状受部 230c の内周壁と、受突部 231e の外周壁との間には、僅かな隙間が形成されている。これにより、通常の状態では、取付ベース 230 には、ユニットケース 231 の内側（収容凹部 231a の中央側）が宙に浮いた状態で、ユニットケース 231 の外周付近のみが取付けられている。

【0199】

また、演出操作ユニット 220 は、図 30 等 に示すように、タッチユニット 220B に

50

において遊技領域 5 a に近い後側の辺に沿って線状発光レンズ部材 2 3 7 の線状発光部 2 3 7 b の上端が線状（带状）に露出している。線状発光部 2 3 7 b の上端の長さは、タッチユニット 2 2 0 B の後辺の長さの約 $2/3$ である。このタッチユニット 2 2 0 B の後辺に沿って露出している線状発光部 2 3 7 b の上端の後側に、上皿後装飾部材 2 3 6 が配置されている。また、上皿後装飾部材 2 3 6 の正面視右側に、上皿球抜きボタン 2 3 9 が配置されている。更に、タッチユニット 2 2 0 B の正面視左側に、ボタンユニット 2 2 0 C が配置されている。

【0200】

この演出操作ユニット 2 2 0 は、遊技領域 5 a 内に遊技球を打込むことで変化する遊技状態に応じて、遊技者に対して様々な演出を提示することができる。例えば、タッチユニット 2 2 0 B の上皿液晶表示装置 2 4 4 に画像を表示させることで、透明なタッチパネル 2 4 6 を通して画像（演出画像）を遊技者に提示して楽しませることができる。

10

【0201】

この上皿液晶表示装置 2 4 4 に表示される画像として、操作ボタンを模した画像を表示させると共に、タッチパネル 2 4 6 のセンサシート 2 4 6 b によるタッチの検知を受付可能とすることで、遊技者に対して画像の操作ボタンを操作させることができ、タッチパネル 2 4 6 を用いた演出を楽しむことができる。タッチパネル 2 4 6 を用いた演出の際に上皿液晶表示装置 2 4 4 に表示される画像は、操作ボタンに限定するものではなく、様々な画像を表示させることができる。

【0202】

また、演出操作ユニット 2 2 0 では、タッチユニット 2 2 0 B を複数のダンパ 2 2 2 によってユニットケース 2 3 1 から浮いた状態で支持しているため、遊技状態に応じて加振装置 2 4 2 を動作させることで、タッチユニット 2 2 0 B を振動させることができる。タッチパネル 2 4 6 を用いた演出の際に、加振装置 2 4 2 によってタッチパネル 2 4 6 （タッチユニット 2 2 0 B ）を振動させることで、加振装置 2 4 2 による振動をタッチパネル 2 4 6 に接触している遊技者の指や手等に伝達させて、遊技者に対して画像の操作ボタンを操作しているにも関わらず恰も実体のある操作ボタンを操作しているように錯覚させて驚かせることができ、タッチパネル 2 4 6 と振動による演出を遊技者に楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0203】

更に、演出操作ユニット 2 2 0 では、タッチユニット 2 2 0 B の正面視左側にボタンユニット 2 2 0 C を備えているため、遊技状態に応じて遊技者に上皿演出ボタン 2 5 7 を押圧操作させて、上皿演出ボタン 2 5 7 の操作を楽しませることができる。詳述すると、タッチパネル 2 4 6 における画像の操作ボタンでは、タッチパネル 2 4 6 に触れるだけであるため実際の操作ボタンと比較して操作感に欠ける嫌いがあるが、上皿演出ボタン 2 5 7 では現実には押圧操作することができるため、上皿演出ボタン 2 5 7 の操作に違和感を与えてしまうことがなく、上皿演出ボタン 2 5 7 の操作を快適に楽しませることができ、遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

30

【0204】

この演出操作ユニット 2 2 0 は、前方へ膨出している皿ユニット 2 0 0 において上皿 2 0 1 が備えられている部位に配置されているため、タッチユニット 2 2 0 B やボタンユニット 2 2 0 C を用いた演出中以外においても、遊技者がタッチユニット 2 2 0 B 等を上から叩く虞がある。これに対して、演出操作ユニット 2 2 0 では、タッチユニット 2 2 0 B をダンパ 2 2 2 によって下側のユニットケース 2 3 1 から浮いた状態で支持しているため、タッチユニット 2 2 0 B が上から叩かれても、ダンパ 2 2 2 の弾性力によってその衝撃をある程度吸収することができる。詳述すると、タッチユニット 2 2 0 B が叩かれたり等して上から衝撃（荷重）が作用すると、左右の横支持ピン 2 3 1 b が挿入されているダンパ 2 2 2 に伝達され、タッチユニット 2 2 0 B が下降しながらダンパ 2 2 2 が圧縮される。横支持ピン 2 3 1 b に支持されたダンパ 2 2 2 が圧縮されることで、タッチユニット 2 2 0 B からの衝撃が吸収される。

40

50

【0205】

そして、更に、衝撃によってタッチユニット220Bが下降すると、下ケース240の下面が前支持ピン231cが挿入されているダンパ222の上端に当接し、タッチユニット220Bの下降に伴って前支持ピン231cに支持されているダンパ222が下方へ圧縮される。これにより、横支持ピン231bに支持されているダンパ222に加えて、前支持ピン231cに支持されているダンパ222によっても、タッチユニット220Bからの衝撃が吸収される。

【0206】

タッチユニット220Bに作用する衝撃によってタッチユニット220Bが更に下降すると、タッチユニット220Bの下ケース240の下面がユニットケース231における収容凹部231aの左右両側の底面と中央支持突起231dの上面とに当接する。これにより、タッチユニット220Bからの衝撃が、複数のダンパ222介さず、タッチユニット220Bからユニットケース231へ直接作用することとなる。

10

【0207】

更に、タッチユニット220Bが下降すると、中央支持突起231dからの荷重によってユニットケース231の収容凹部231aの底面が、その中央が下方へ移動するように撓むこととなる。この収容凹部231aの底面の撓みによる弾性力によって、タッチユニット220Bからの衝撃が吸収される。この収容凹部231aの底面が撓むことで、収容凹部231aの底面の下側から下方へ突出している一对の受突部231eが下降する。そして、タッチユニット220Bからの衝撃によって受突部231eが更に下降すると、受突部231eの外周壁の下端側が、取付ベース230の筒状受部230cの内周壁に当接し、タッチユニット220Bからの衝撃が、ユニットケース231から取付ベース230へ伝達されることとなる。

20

【0208】

受突部231eの外周壁と筒状受部230cの内周壁は、夫々が下方へ窄まる角錐状に形成されていることから、受突部231eから筒状受部230c（取付ベース230側）へ伝達される荷重が、取付ベース230の取付側受部230aの底面に沿った方向と底面に垂直な方向とに分散されて伝達される。このように、タッチユニット220Bに作用した衝撃が、取付ベース230に伝達されるまでに、その衝撃を吸収する構成が幾重にも配置されているため、タッチユニット220Bに作用した衝撃を十分に吸収して緩和させることができ、その衝撃によって、タッチユニット220B、ユニットケース231、取付ベース230等を破損し難くすることができる。

30

【0209】

また、演出操作ユニット220は、遊技状態に応じて上皿後装飾基板235の周縁用LED235bによりタッチユニット220Bの後側の外周縁に沿って延びている線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの上端を線状に発光させることができる。これにより、遊技者の関心をタッチユニット220Bへ引付けることができ、タッチユニット220Bにおける上皿液晶表示装置244に表示される画像や、タッチパネル246を用いたタッチ演出等を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0210】

また、遊技状態に応じて、上皿後装飾基板235の装飾用LED235aによりタッチパネル220Bの後側（線状発光部237bよりも後側）に配置されている上皿後装飾部材236を発光装飾させることができる。この上皿後装飾部材236を発光装飾させることで、線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの発光と同様に、遊技者の関心をタッチユニット220B等の演出操作ユニット220へ引付けることができ、演出操作ユニット220によって提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

40

【0211】

更に、上皿液晶基板241や上皿液晶表示装置244を備えたタッチユニット220Bを、取付ベースユニット220Aの取付ベース230とユニットケース231とによって

50

皿ユニットカバー 260 の後述する上皿下被覆部 262 の上面よりも高い位置に配置していると共に、タッチユニット 220 B の後側の外周面に防水シール 248 を貼付けている。これにより、上皿 201 において、外気に触れることで上皿本体 212 や遊技球の表面で結露した水（水滴）が、上皿 201 の下方（上皿下被覆部 262 上）へ流動しても、タッチユニット 220 B 内へ結露した水が浸入するのを防止することができ、タッチユニット 220 B において不具合が発生するのを防止することができる。

【0212】

また、図 41 に示すように、上皿後装飾部材 236 や線状発光レンズ部材 237 を発光装飾させる上皿後装飾基板 235 を、上皿 201 の底面よりも高い位置に配置しているため、上皿 201 で結露した水滴にさらされることがなく、上皿後装飾基板 235 において

10

【0213】

[3-1e. 皿ユニットカバー]

皿ユニット 200 の皿ユニットカバー 260 は、図 26 乃至図 29 に示すように、左右に延びていると共に、左右の中央が前方へ膨出しており、後方へ開放された殻状に形成されている。皿ユニットカバー 260 は、左右の略中央で前方へ開口しており後端が皿ユニットベース 210 によって閉鎖される下皿開口部 261 と、下皿開口部 261 の内周壁における天板側（上側）を形成しており上皿本体 212 及び演出操作ユニット 220 の下側を覆う上皿下被覆部 262 と、下皿開口部 261 の正面視左側に配置されており本体枠 4 のスピーカユニット 920 の低音スピーカからの音を透過させるスピーカグリル 263 と

20

【0214】

下皿開口部 261 は、内周壁の底板側（下側）が下皿本体 214 によって閉鎖される。スピーカグリル 263 及び皿ユニット左装飾部材 264 は、金属板に複数の孔を設けたパンチングメタルによって構成されている。

30

【0215】

この皿ユニットカバー 260 は、正面視左側の表面が滑らかな感じに形成されているのに対して、右側の表面がゴツゴツした感じに形成されている。また、正面視の右側は、略全体的に透光性を有している。

【0216】

皿ユニットカバー 260 は、皿ユニット 200 に組立てた状態で、タッチユニット 220 B の上面と上皿下被覆部 262 の下面との間が、片手で掴むことが可能な間隔に形成されている。これにより、遊技者が、タッチユニット 220 B をタッチ操作する際に、下皿開口部 261 の上側を掴むことで、タッチする指（手や腕）を安定させることができ、タッチユニット 220 B のタッチ操作を行い易くできる。

40

【0217】

詳述すると、組立てた状態では、タッチユニット 220 B の前端上面と上皿下被覆部 262 の下面との間の厚さが約 25 mm に、タッチユニット 220 B の後端上面と上皿下被覆部 262 の下面との間の厚さが約 50 mm に、上皿下被覆部 262 の前端からタッチユニット 220 B の後端までの前後の距離が約 60 mm に、夫々形成されている。また、タッチユニット 220 B の上面が、水平に対して約 20 度傾斜している。これにより、タッチユニット 220 B の上面と上皿下被覆部 262 の下面との間を、遊技者の手で掴むことができる。

【0218】

[3-1f. 扉右下演出ユニット]

50

皿ユニット２００の扉右下演出ユニット２７０は、図４２乃至図４９に示すように、ハンドルユニット５００の上側、且つ、演出操作ユニット２００の右側に配置されており、遊技状態に応じて回転すると共に発光装飾する球状の扉右下回転体２７０Ａを備えている。扉右下演出ユニット２７０は、皿ユニットベース２１０の前面で逃し口２１０ｇを閉鎖するように取付けられ扉右下回転体２７０Ａを回転可能に支持するユニットベース２７１と、ユニットベース２７１に取付けられている扉右下駆動モータ２７２と、扉右下駆動モータ２７２の回転軸に固定されている駆動ギア２７３と、駆動ギア２７３と噛合し扉右下回転体２７０Ａに取付けられている従動ギア２７４と、従動ギア２７４を回転可能に支持しておりユニットベース２７１に取付けられている軸部材２７５と、を備えている。

【０２１９】

また、扉右下演出ユニット２７０は、従動ギア２７４とは扉右下回転体２７０Ａの反対側に取付けられておりユニットベース２７１に回転可能に支持されている回転体側軸受部材２７６と、扉右下回転体２７０Ａの従動ギア２７４とは反対側をユニットベース２７１と協働して回転可能に支持しているベース側軸受部材２７７と、ユニットベース２７１に取付けられており扉右下回転体２７０Ａの回転位置を検知可能な二つの回転検知センサ２７８と、扉右下回転体２７０Ａの正面視左側でユニットベース２７１に取付けられている装飾部材２７９と、ユニットベース２７１の後側に取付けられており前面に複数のＬＥＤを備えた扉右下ベース装飾基板２８０と、ユニットベース２７１の後側に取付けられており扉右下駆動モータ２７２、回転検知センサ２７８、扉右下ベース装飾基板２８０、及び後述する扉右下回転体装飾基板２９１と周辺制御基板１５１０との接続を中継する扉右下中継基板２８１と、を備えている。

【０２２０】

扉右下回転体２７０Ａは、外殻を構成し夫々が半球殻状の前外殻部材２８５及び後外殻部材２８６と、前外殻部材２８５と後外殻部材２８６との間に配置される回転体内部ユニット２９０と、を備えている。前外殻部材２８５及び後外殻部材２８６は、回転軸を中心に半円形状の切欠部２８５ａ、２８６ａが夫々形成されている。前外殻部材２８５は、透光性を有した半球殻状の表面に、金属光沢を有し周方向へ帯状に延びている帯装飾２８５ｂと、帯装飾２８５ｂの中央に配置されているハート形のハート装飾２８５ｃと、を備えている。一方、後外殻部材２８６は、透光性を有した半球殻状の表面に、金属光沢を有し周方向へ帯状に延びている帯装飾２８６ｂを備えている。前外殻部材２８５と後外殻部材２８６とを合わせた時に、前外殻部材２８５の帯装飾２８５ｂと後外殻部材２８６の帯装飾２８６ｂとが繋がるように形成されている。

【０２２１】

回転体内部ユニット２９０は、図４７及び図４８に示すように、円盤状で両面に複数のＬＥＤが備えられている扉右下回転体装飾基板２９１と、扉右下回転体装飾基板２９１の中心に取付けられており扉右下回転体装飾基板２９１の面に対して垂直に延びており先端が軸部材２７５に取付けられる円柱状の第一固定軸部材２９２と、第一固定軸部材２９２とは扉右下回転体装飾基板２９１の反対側に取付けられており扉右下回転体装飾基板２９１の面に対して垂直に延びており先端がユニットベース２７１及びベース側軸受部材２７７に取付けられる円筒状の第二固定軸部材２９３と、を備えている。図示は省略するが、第二固定軸部材２９３の内部には、扉右下中継基板２８１と扉右下回転体装飾基板２９１とを接続する配線コードが挿入されている。

【０２２２】

また、回転体内部ユニット２９０は、扉右下回転体装飾基板２９１の両側に配置されており前外殻部材２８５及び後外殻部材２８６の内側に取付けられる平板で円環状の透明なリフレクタベース２９４と、リフレクタベース２９４に取付けられており円環状で軸方向外側へ開いた朝顔状の第一リフレクタ２９５と、第一リフレクタ２９５の円環内を通してリフレクタベース２９４に取付けられており中心に六角形の貫通孔２９６ａを有した第二リフレクタ２９６と、を備えている。第一リフレクタ２９５及び第二リフレクタ２９６は、表面に金属光沢を有したメッキ層が備えられており、扉右下回転体装飾基板２９１から

の光を反射させることができる。また、第一リフレクタ 295 及び第二リフレクタ 296 には、放射状に延びた平板状のリブが複数備えられている。

【0223】

この回転体内部ユニット 290 は、扉右下回転体装飾基板 291、第一固定軸部材 292、及び第二固定軸部材 293 と、リフレクタベース 294、第一リフレクタ 295、及び第二リフレクタ 296 とが、相対回転可能に互いに分離している。

【0224】

ユニットベース 271 は、扉右下回転体 270 A の後側に配置される環状のリング部 271 a と、リング部 271 a の外周におけるリング部 271 a の中心に対して正面視斜め右上の部位から前方へ平板状に突出している第一突出片 271 b と、リング部 271 a の外周における第一突出片 271 b とは反対側の部位から前方へ平板状に突出している第二突出片 271 c と、第二突出片 271 c の前端から後方へ向かって U 字状に窪み第二固定軸部材 293 の先端が挿入される軸受溝 271 d と、を備えている。

【0225】

扉右下駆動モータ 272 は、第一突出片 271 b の外側の側面（右側の側面）に、回転軸が貫通した状態で取付けられる。従動ギア 274 は、駆動ギア 273 よりも大径に形成されている。軸部材 275 は、第一突出片 271 b の前端に取付けられる取付部 275 a と、取付部 275 a から筒状に突出している筒状軸部 275 b と、を備えている。この軸部材 275 は、筒状軸部 275 b の外周によって従動ギア 274 を回転可能に支持できると共に、筒状軸部 275 b の内周によって第一固定軸部材 292 の先端を回転不能に支持

【0226】

回転体側軸受部材 276 は、第二固定軸部材 293 が回転可能に挿入される軸受孔 276 a と、外方へ延出している平板状の検知片 276 b と、を備えている。ベース側軸受部材 277 は、ユニットベース 271 における第二突出片 271 c の前端の U 字状の軸受溝 271 d の開放されている前端側を閉鎖するように、第二突出片 271 c の前端に取付けられる。二つの回転検知センサ 278 は、扉右下回転体 270 A の回転軸を挟んで対称に第二突出片 271 c に取付けられる。二つの回転検知センサ 275 は、扉右下回転体 270 A のハート装飾 285 c が前方を向く回転位置（図 49（a）を参照）と、ハート装飾 285 c が後方を向く回転位置（図 49（b）を参照）とを、夫々検知することができる。

【0227】

本実施形態の扉右下演出ユニット 270 は、遊技状態に応じて、扉右下駆動モータ 272 によって扉右下回転体 270 A を回転させることができると共に、ハート装飾 285 c が前方を向くように停止するか否かで、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0228】

また、扉右下演出ユニット 270 は、扉右下回転体 270 A 内部の扉右下回転体装飾基板 291 が回転不能に取付けられていることから、扉右下回転体 270 A の回転中に、扉右下回転体装飾基板 291（の LED）を発光させると、扉右下回転体 270 A の回転につれて扉右下回転体装飾基板 291 から照射される光の位置が移動すると共に、第一リフレクタ 295 や第二リフレクタ 296 によって反射誘導される光の方向が変化するため、扉右下回転体装飾基板 291 の LED を点滅させなくても、光が点滅しているように扉右下回転体 270 A を発光装飾させたり、LED から多様な色の光を照射することで扉右下回転体 270 A を虹色に発光装飾させたりすることができ、遊技者を楽しませることができる。

【0229】

[3-1 g. 演出ユニットカバー]

皿ユニット 200 の演出ユニットカバー 300 は、図 28 及び図 29 に示すように、扉右下演出ユニット 270 における球状の扉右下回転体 270 A の前側を覆う半球状で透明

10

20

30

40

50

な回転体カバー部 301 と、回転体カバー部 301 の外周に形成されており皿ユニットカバー 260 の正面視右側の装飾と連続した装飾部 302 と、回転体カバー部 301 の下部右側において前後に貫通しており施錠ユニット 700 の鍵シリンダ 710 が挿通されるシリンダ挿通口 303 と、を備えている。

【0230】

演出ユニットカバー 300 は、全体が後方が開放された容器状で、透光性を有している。この演出ユニットカバー 300 は、回転体カバー部 301 の上側が扉右下演出ユニット 270 の扉右下ベース装飾基板 280 によって発光装飾されると共に、回転体カバー部 301 の下側が皿ユニット右装飾基板 346 によって発光装飾される。

【0231】

[3-1h. 上皿球抜きユニット]

皿ユニット 200 の上皿球抜きユニット 310 は、図 50 乃至図 52 に示すように、皿ユニットベース 210 の透口 210e 及び受片 210f を前側から覆うように皿ユニットベース 210 の前面に取付けられ後方が開放された縦長箱状で上部に上皿球抜きボタン 239 の延出片 239a が挿通可能な挿通口 311a を有しているカバー 311 と、カバー 311 内における皿ユニットベース 210 の透口 210e の正面視左上となる位置に取付けられている前ベース部材 312 と、前ベース部材 312 によって回転可能に支持されており上皿球抜きボタン 239 の押圧により回動する押圧伝達部材 313 と、押圧伝達部材 313 を上皿球抜きボタン 239 が上昇する方向へ付勢している第一バネ部材 314 と、を備えている。

【0232】

また、上皿球抜きユニット 310 は、皿ユニットベース 210 の上皿球送り口 210d を後側から閉鎖するように皿ユニットベース 210 の後側に取付けられている後ベース部材 315 と、後ベース部材 315 と皿ユニットベース 210 との間に配置されていると共に後ベース部材 315 によって昇降可能に取付けられており上側から押圧伝達部材 313 が接触している上皿球抜きスライダ 316 と、上皿球抜きスライダ 316 を上方へ付勢している第二バネ部材 317 と、を備えている。

【0233】

前ベース部材 312 は、皿ユニットベース 210 の前面と平行に延びておりカバー 311 に取付けられる平板状のベース部 312a と、ベース部 312a の左右両辺から前方へ平板状に延出している一对の延出片 312b と、延出片 312b の前端から後方へ U 字状に凹んだ軸支部 312c と、ベース部 312a の前面下端付近に備えられており第一バネ部材 314 の後端が係止される鉤状のバネ係止部（図示は省略）と、を備えている。

【0234】

押圧伝達部材 313 は、両端が前ベース部材 312 の一对の軸支部 312c 内へ回転可能に挿入される横長円柱状の軸部 313a と、軸部 313a から後方へ平板状に延出している後方延出片 313b と、後方延出片 313b の上面における正面視左端付近から上方へ平板状に延出しており上皿球抜きボタン 239 の延出片 239c の下端が当接可能な上方延出片 313c と、後方延出片 313b の下面における正面視右端から下方へ平板状に延出している下方延出片 313d と、軸部 313a における正面視左端付近の下側から下方へ突出しており第一バネ部材 314 の前端が係止される鉤状のバネ係止部 313e と、を備えている。下方延出片 313d は、後方へ向かうに従って下方へ延びる三角形に形成されており、下端が上皿球抜きスライダ 316 と当接可能とされている。

【0235】

後ベース部材 315 は、皿ユニットベース 210 の後面と平行に平板状に延びており皿ユニットベース 210 に取付けられるベース部 315a と、ベース部 315a の前面で左右に離間して備えられており上皿球抜きスライダ 316 の左右両端をスライド可能に支持するスライダ支持部 315b と、ベース部 315a の上端における皿ユニットベース 210 の上皿球送り口 210d の上部と対応する位置に前方へ開口していると共にベース部 315a の後側で下方へ開口し遊技球が流通可能な上部入口 315c と、を備えている。

【0236】

また、後ベース部材315は、ベース部315aの後側で上部入口315cと連続して下方へ延びていると共に後方へ開放されており下端が後方へ湾曲している第一誘導路315dと、第一誘導路315dの下側から下方へ延びた後に正面視左方へ延びて左端が左方へ開放されており全体が後方へ開放されているL字状の第二誘導路315eと、第二誘導路315eにおける左方へ延びた部位の後端側を閉鎖している平板状の通路蓋315fと、L字状の第二誘導路315eに二辺が囲まれるようにベース部315aを前後に貫通している開口部315gと、ベース部315aの前面から前方へボス状に突出しており第二バネ部材317の上端が係止されるバネ係止部315hと、を備えている。

【0237】

後ベース部材315におけるL字状の第二誘導路315eは、左方へ延びた部位が、左方へ向かうに従って低くなるように傾斜している。この第二誘導路315eの左端は、図50(b)に示すように、皿ユニットベース210における筒状の下皿球供給口210cの切欠部210jに挿入されており、第二誘導路315eと下皿球供給口210cとが互いに連通している。

【0238】

上皿球抜きスライダ316は、平板状で左右両端が後ベース部材315のスライダ支持部315bにスライド可能に支持されるスライダベース316aと、スライダベース316aの上端における正面視中央より左側から前方へ皿ユニットベース210の透口210eを通して受片210fの上側へ延出し上面に押圧伝達部材313の下方延出片313dの下端が当接可能な伝達片316bと、伝達片316bの下側でスライダベース316aの後側から下方へ向かうに従って後方へ突出している三角状の作動伝達部316cと、スライダベース316aの前面から突出しており第二バネ部材317の下端が係止される鉤状のバネ係止部316dと、を備えている。

【0239】

上皿球抜きユニット310は、皿ユニット200を組立てた状態で、後ベース部材315の上部入口315cが、上皿本体212の誘導通路部212aの正面視右端側となる下端に開口している。これにより、上皿201内の遊技球を、上部入口315cからベース部315aの後側の第一誘導部315dを介して球送りユニット540へ供給することができる。

【0240】

また、上皿球抜きユニット310は、上皿球抜きボタン239を下方へ押圧すると、上皿球抜きボタン239の延出片239aによって押圧伝達部材313が、第一バネ部材314の付勢力に抗して軸部313aを中心に、下方延出片313dの下端が下方へ移動する方向へ回動する。押圧伝達部材313の回動に伴って下方延出片313dの下端が下方へ移動すると、下方延出片313dの下端が当接している上皿球抜きスライダ316の伝達片316bによって上皿球抜きスライダ316が第二バネ部材317の付勢力に抗して下方へスライドする。

【0241】

この上皿球抜きスライダ316が下方へスライドすることで、作動伝達部316cが、球送りユニット540の切換機構を動作させて球送りユニット540内での流路が切換えられて、第一誘導路315d側が第二誘導路315e側と連通した状態となる。これにより、上皿201内の遊技球が、上部入口315c、第一誘導路315d、球送りユニット540、及び第二誘導路315eを通過して、下皿球供給口210cから下皿202へ排出され、上皿201内の遊技球を抜くことができる。

【0242】

なお、上皿球抜きボタン239の下方への押圧を解除すると、第一バネ部材314及び第二バネ部材317の付勢力によって、上皿球抜きスライダ316や上皿球抜きボタン239が上昇し、元の状態に復帰することができる。

【0243】

〔３－１ｉ．下皿球抜きユニット〕

皿ユニット２００の下皿球抜きユニット３２０は、図５３等に応示するように、皿ユニットカバー２６０の底板開口部２６７を閉鎖するように下皿本体２１４の下側に取付けられ下皿本体２１４の球抜き孔２１４ａと一致する開口部３２１ａを有している平板状の下皿球抜きベース３２１と、下皿球抜きベース３２１上を左右にスライドし開口部３２１ａを閉鎖可能な平板状のスライド蓋３２２と、スライド蓋３２２の前端に取付けられており皿ユニットカバー２６０の前面から外部へ露出する摘み部３２３と、スライド蓋３２２によって開口部３２１ａを閉鎖する方向へスライド蓋３２２を付勢しているバネ部材３２４と、バネ部材３２４の付勢力に抗してスライド蓋３２２を開口部３２１ａを開放している位置に保持する保持装置３２５と、を備えている。

10

【０２４４】

下皿球抜きベース３２１の開口部３２１ａは、正面視左右中から右寄りの位置に形成されている。この下皿球抜きベース３２１は、下皿本体２１２に取付けることで、下皿球抜きベース３２１と下皿本体２１２との間でスライド蓋３２２を左右へスライド可能に支持することができる。スライド蓋３２２は、正面視左端側に保持装置３２５によって保持される保持突起３２２ａを備えている。

【０２４５】

保持装置３２５は、下皿球抜きベース３２１に取付けられる本体３２５ａと、本体３２５ａから開閉可能に突出しており保持突起３２２ａを掴むことができる一対の保持爪３２５ｂと、を備えている。保持装置３２５は、開いている一対の保持爪３２５ａの間に、保持突起３２２ａを挿入して本体３２５ａ側へ押圧すると、一対の保持爪３２５ｂが閉じて保持突起３２２ａを保持すると共に、一対の保持爪３２５ｂが閉じた状態で維持される。この状態で、保持突起３２２ａを本体３２５ａ側へ移動させると、一対の保持爪３２５ａが開いた状態となり、保持突起３２２ａの保持が解除される。

20

【０２４６】

この下皿球抜きユニット３２０は、摘み部３２３（スライド蓋３２２）が正面視右側へ移動している状態では、開口部３２１ａと下皿本体２１４の球抜き孔２１４ａとの間にスライド蓋３２２が位置し、下皿２０２内の遊技球が、球抜き孔２１４ａから下方へ抜けることがなく、下皿２０２内に遊技球を貯留させることができる。

【０２４７】

この状態から、摘み部３２３を左側へ操作することでスライド蓋３２２が左方へスライドし、開口部３２１ａと球抜き孔２１４ａとが連通する。これにより、下皿２０２内の遊技球が球抜き孔２１４ａ及び開口部３２１ａを通して皿ユニット２００の下方へ抜けるようになり、下皿２０２内の遊技球を抜くことができる。この際に、スライド蓋３２２の保持突起３２２ａが、保持装置３２５の一対の保持爪３２５ｂによって保持されるため、摘み部３２３の操作をやめてもスライド蓋３２２が開いたままの状態となり、下皿２０２内の遊技球を抜き続けることができる。

30

【０２４８】

スライド蓋３２２を閉めるには、摘み部３２３を左側へ僅かに操作すると、一対の保持爪３２５ｂが開いて保持突起３２２ａの保持が解除され、バネ部材３２４の付勢力によってスライド蓋３２２が右側へスライドして、球抜き孔２１４ａを閉鎖する。このように、下皿球抜きユニット３２０の摘み部３２３を操作することで、下皿２０２に遊技球を貯留させたり、下皿２０２に貯留された遊技球を抜いたりすることができる。

40

【０２４９】

〔３－１ｊ．球貸操作ユニット〕

皿ユニット２００の球貸操作ユニット３３０は、図２８及び図２９等に応示するように、演出操作ユニット２２０における正面視右端付近の上面に取付けられ透光性を有しているユニットケース３３１と、ユニットケース３３１の上面に露出しており遊技者が操作可能な球貸ボタン３３２と、球貸ボタン３３２の後側でユニットケース３３１の上面に露出しており遊技者が操作可能な返却ボタン３３３と、返却ボタン３３３の後側でユニットケース

50

3 3 1 の上面を通して遊技者側から視認可能とされている表示部 3 3 4 と、を備えている。

【0 2 5 0】

この球貸操作ユニット 3 3 0 は、パチンコ機 1 に隣接して設けられた球貸機に対して現金やプリペイドカードを投入した上で、球貸ボタン 3 3 2 を押すと、所定数の遊技球を皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 内へ貸出す（払出す）ことができると共に、返却ボタン 3 3 3 を押すと貸出された分の残りを引いた上で投入した現金の残金やプリペイドカードが返却される。また、表示部 3 3 4 には、球貸機に投入した現金やプリペイドカードの残数、或は、球貸機が故障した時のエラーコード等、が表示される。

【0 2 5 1】

[3-1 k. 上皿トップ装飾部材]

皿ユニット 2 0 0 の上皿トップ装飾部材 3 4 0 は、図 2 8 及び図 2 9 等に示すように、皿ユニットベース 2 1 0 の上端における左右中央に取付けられ左右に帯状に延びた透光性を有する上皿トップレンズ 3 4 0 a と、上皿トップレンズ 3 4 0 a の下側に取付けられており上面に複数の L E D が取付けられた上皿トップ装飾基板 3 4 0 b と、を備えている。

【0 2 5 2】

この上皿トップ装飾部材 3 4 0 は、上皿トップ装飾基板 3 4 0 b の L E D を発光させることで、上皿トップレンズ 3 4 0 a を帯状に発光させることができる。この上皿トップ装飾部材 3 4 0 は、演出操作ユニット 2 0 0 の後側に配置されていることから、上皿後装飾部材 2 3 6 や線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光装飾と同様に、上皿トップ装飾部材 3 4 0 を発光装飾させることで、遊技者の関心をタッチユニット 2 2 0 B 等の演出操作ユニット 2 2 0 へ引付けることができ、演出操作ユニット 2 2 0 によって提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0 2 5 3】

[3-1 l. 皿ユニットの特徴的な作用効果]

本実施形態の皿ユニット 2 0 0 は、遊技領域 5 a の下側の遊技球を貯留する上皿 2 0 1 を有した皿ユニット 2 0 0 の上面における演出操作ユニット 2 2 0 のタッチユニット 2 2 0 B に、遊技領域 5 a 内に遊技球を打込むことで変化する遊技状態に応じて上皿液晶表示装置 2 4 4 に画像を表示させる際に、上皿液晶表示装置 2 4 4 の遊技領域 5 a に近い側の後側の外周縁に沿って帯状の線状発光レンズ部材 2 3 7、上皿後装飾部材 2 3 6、及び上皿トップ装飾部材 3 4 0 等を発光させることができるため、遊技者の視線が遊技領域 5 a 内に集中していても、視線（視界）の外側から入る線状発光レンズ部材 2 3 7 等の光に気付くことができ、遊技者の視線（関心）を線状発光レンズ部材 2 3 7 等つまり上皿液晶表示装置 2 4 4 側へ引き付けることができる。従って、上皿液晶表示装置 2 4 4 において、遊技状態に応じて画像等の演出を提示する際に、線状発光レンズ部材 2 3 7 等を発光させることで、遊技者に対して上皿液晶表示装置 2 4 4 による演出の提示に気付かせることができ、上皿液晶表示装置 2 4 4 による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0 2 5 4】

また、皿ユニット 2 0 0 に遊技状態に応じて画像を表示可能な上皿液晶表示装置 2 4 4 を備えていることから、チャンスの到来を示唆する画像を表示させるようにした場合、遊技領域 5 a 外に配置されている上皿液晶表示装置 2 4 4 によってチャンスの到来が示唆されることとなるため、遊技者に対して遊技領域 5 a 内での遊技と、遊技領域 5 a 外の上皿液晶表示装置 2 4 4 での演出との両方を気に掛けさせることができる。従って、遊技領域 5 a 内と遊技領域 5 a 外（上皿液晶表示装置 2 4 4）とを気に掛けさせることで、スピード感のあるタイトな遊技を楽しませることができ、遊技者の興味が低下するのを抑制することができる。上皿液晶表示装置 2 4 4 においてチャンスの到来を示唆する画像を表示する時に、線状発光レンズ部材 2 3 7 等を発光させることで、遊技者を上皿液晶表示装置 2 4 4 に注目させることができ、チャンスの到来を確実に認識させて遊技者を楽しませることができる。この場合、遊技者によっては、遊技領域 5 a 内と遊技領域 5 a 外との

両方が気になることで、どちらにも集中できなくなって興味を低下させてしまう虞があるが、遊技状態（チャンスの到来）に応じて線状発光レンズ部材 2 3 7 等が発光するため、線状発光レンズ部材 2 3 7 等が発光するまでは遊技領域 5 a 内へ集中することができ、遊技領域 5 a 内での遊技を楽しませることができると共に、線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光時には上皿液晶表示装置 2 4 4 での演出を楽しませることができ、遊技にメリハリを付けて飽き難くすることができる。

【0 2 5 5】

また、遊技領域 5 a の下側で遊技者側へ膨出した皿ユニット 2 0 0 に上皿液晶表示装置 2 4 4 を備えているため、上皿液晶表示装置 2 4 4 が遊技者から近い位置に配置されることがとなる。これにより、本パチンコ機 1 の正面に位置している遊技者によって上皿液晶表示装置 2 4 4 が隠れ易くなり、上皿液晶表示装置 2 4 4 を隣や後ろの他の遊技者からは見え難くなるため、上皿液晶表示装置 2 4 4 により提示される演出を当該遊技者のみに楽しむことができる。従って、上皿液晶表示装置 2 4 4 による演出を楽しんでいる時に、他の遊技者によって覗かれることで、不快に感じて興味を低下させてしまうのを低減させることができると共に、上皿液晶表示装置 2 4 4 による演出の提示の際に線状発光レンズ部材 2 3 7 等が発光することで、上皿液晶表示装置 2 4 4 による演出を見逃し難くすることができ、上皿液晶表示装置 2 4 4 による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0 2 5 6】

更に、線状発光レンズ部材 2 3 7 等を带状に発光させるようにしているため、点状に発光させる場合と比較して、線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光を目立ち易くすることができ、遊技者の意識が遊技領域 5 a 内に集中していても、線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光に気付かせ易くすることができ、上皿液晶表示装置 2 4 4 やタッチパネル 2 4 6 等による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。また、線状発光レンズ部材 2 3 7 等を带状に発光させるため、他の発光装飾体等の発光とは異なる発光態様となり、発光装飾体等の発光と誤認してしまうのを低減させることができ、確実に線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光に気付かせることができる。

【0 2 5 7】

また、上皿液晶表示装置 2 4 4 の外周縁のうち遊技領域 5 a に近い後側の位置に線状発光レンズ部材 2 3 7 等を配置しているため、線状発光レンズ部材 2 3 7 等が発光させた時に、線状発光レンズ部材 2 3 7 等の光を遊技者の視界に入り易くすることができ、線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光に気付かせて上皿液晶表示装置 2 4 4 の演出を楽しませることができる。

【0 2 5 8】

また、上皿 2 0 1 等を有している皿ユニット 2 0 0 の上面に上皿液晶表示装置 2 4 4 等を有した演出操作ユニット 2 0 0 を備えており、皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 は遊技領域 5 a 内に打込むための遊技球の量を確認するための遊技者がある程度の頻度で視線を向けることから、上皿 2 0 1 へ視線を向けた際に上皿液晶表示装置 2 4 4 や線状発光レンズ部材 2 3 7 等が視界に入り易く、線状発光レンズ部材 2 3 7 の発光に気付き易くなる。また、遊技者が上皿 2 0 1 へある程度の頻度で視線を向けることから、視線を遊技領域 5 a 内から上皿 2 0 1 （上皿液晶表示装置 2 4 4 ）へ向け易い。従って、線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光に気付いた時に、即座に視線を上皿液晶表示装置 2 4 4 へ移すことができ、上皿液晶表示装置 2 4 4 により提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0 2 5 9】

更に、遊技領域 5 a の下側に演出操作ユニット 2 0 0 を配置しており、下側から遊技者へ線状発光レンズ部材 2 3 7 等からの光が照射されるため、遊技領域 5 a の上側に配置した場合と比較して、遊技者の目に入り易く線状発光レンズ部材 2 3 7 等の発光に気付かせ易くすることができ、遊技者を上皿液晶表示装置 2 4 4 に確実に注目させることが可能となり、演出操作ユニット 2 0 0 による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制すること

ができる。

【0260】

また、遊技領域5aの左右方向の中央と対応する位置に演出操作ユニット200（上皿液晶表示装置244）を配置しているため、遊技者の視線の中心が遊技領域5a内のどの位置にあっても、線状発光レンズ部材237等からの光に気付き易くすることができ、遊技者を確実に上皿液晶表示装置244へ注目させることが可能となり、演出操作ユニット200による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0261】

また、演出操作ユニット200にタッチパネル246を備えているため、画像による演出の他に、遊技者にタッチパネル246を操作させる演出も行うことができ、多彩な演出によって遊技者を楽しませることができると共に、遊技者にタッチパネル246を操作させることで、演出に参加させることができ、遊技者に対して能動的に演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0262】

更に、タッチユニット220Bの後側の外周縁に沿って配置された線状発光レンズ部材237（線状発光部237b）が、上皿201における遊技球を球送りユニット540（球発射装置680）へ送る誘導通路部212aに沿って配置されていると共に、誘導通路部212aとの間に上皿球抜きユニット310を動作させる上皿球抜きボタン239を配置されている。つまり、遊技者が遊技に必要な遊技球を確認する場所の近傍に線状発光レンズ部材237が備えられており、遊技中でも遊技者が気にする位置に線状発光レンズ部材237を配置した構成としているため、線状発光レンズ部材237の発光に気付かせることができ、遊技者の関心をタッチユニット220Bに引付けてタッチユニット220Bによる演出（上皿液晶表示装置244による演出画像、タッチパネル246のタッチ操作、等）のタイミングに気付き易くすることができる。

【0263】

また、上皿液晶基板241や上皿液晶表示装置244を備えたタッチユニット220Bを、取付ベースユニット220Aの取付ベース230とユニットケース231とによって、皿ユニットカバー260の上皿下被覆部262の上面よりも高い位置に配置していると共に、タッチユニット220Bの後側の外周面に防水シール248を貼付けているため、上皿201において、外気に触れることで上皿本体212や遊技球の表面で結露した水（水滴）が、上皿201の下方（上皿下被覆部262上）へ流動しても、タッチユニット220B内へ結露した水が浸入するのを防止することができ、タッチユニット220Bにおいて不具合が発生するのを防止することができる。

【0264】

また、図41に示すように、上皿後装飾部材236や線状発光レンズ部材237を発光装飾させる上皿後装飾基板235を、上皿201の底面よりも高い位置に配置しているため、上皿201で結露した水滴にさらされることがなく、上皿後装飾基板235においてショートや腐蝕等の不具合が発生するのを防止することができる。

【0265】

更に、皿ユニット200の演出操作ユニット220において、加振装置242によってタッチパネル246と上皿液晶表示装置244とを備えたタッチユニット220Bを振動させた際に、タッチユニット220Bが複数（二つ）のダンパ222を挟んで浮いた状態で取付ベースユニット220Aのユニットケース231に取付けられているため、タッチユニット220B（加振装置242）の振動がダンパ222によって吸収・減衰されて取付ベースユニット220Aに伝わることとなり、取付ベースユニット220Aの振動を低減させることができる。従って、タッチユニット220Bのタッチパネル246をタッチ操作した際に、加振装置242によってタッチユニット220Bを振動させると、タッチユニット220Bのみが振動することとなるため、遊技者に対してタッチユニット220Bのタッチパネル246の操作感を十分に付与することができ、遊技者にタッチパネル246のタッチ操作を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0266】

また、加振装置242によってタッチユニット220Bを振動させることができるため、遊技者に対してタッチパネル246の操作感の他に、タッチユニット220Bの振動によって驚かせたり、タッチパネル246を操作するタイミングを示唆したりすることができ、タッチユニット220Bのタッチパネル246による操作演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0267】

更に、タッチユニット220Bを複数のダンパ222によって下側から支持しているため、タッチユニット220Bを上側から叩いたり強く押したりしてタッチユニット220Bに衝撃や荷重等が加えられても、ダンパ222によってその衝撃等を吸収することが可能となるため、衝撃等によってタッチユニット220Bや取付ベースユニット220A等が破損してしまうのを低減させることができ、タッチユニット220B等の破損により遊技が中断することで遊技者の興味が低下してしまうのを抑制することができる。

10

【0268】

また、タッチユニット220Bの操作する部位をタッチパネル246としていることから、遊技者が操作する際には、ボタンを押圧操作する場合と比較して、タッチパネル246に触れている時間が長くなるため、タッチパネル246に触れた時に加振装置242でタッチユニット220Bを振動させると、その振動を遊技者の指(手)に確実に伝達させることができる。従って、遊技者の指が振動することでタッチパネル246を操作していることを遊技者に実感させることができるため、十分な操作感を付与することができ、遊技者にタッチパネル246の操作を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0269】

また、タッチユニット220Bの上皿液晶表示装置244に表示される画像を変更することで、タッチ操作(ボタン)の種類を簡単に変更することができ、多様な演出に対応することが可能となり、多様な演出によって遊技者を飽き難くして興味が低下するのを抑制することができる。更に、タッチユニット220Bにタッチパネル246を備えているため、従来の押圧ボタンと比較して、タッチ、タップ(シングルタップ、ダブルタップ)、ドラッグ、フリック、ピンチ(ピンチアウト、ピンチイン)、スワイプ、タッチアンドホールド、等の様々な操作を行うことができる。これにより、より多彩な操作演出を行うことができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

30

【0270】

更に、タッチユニット220Bを、取付ベースユニット220A(ユニットケース231)に対して上方へ移動不能且つ下方へ移動可能に取付けるようにしており、複数のダンパ222の弾性力(付勢力)によってタッチユニット220Bが上側の移動端に押し付けられた状態となるため、タッチパネル246の操作中にタッチユニット220Bを動き難くすることができ、タッチパネル246の操作を的確に行い易くすることができる。また、タッチユニット220Bが動き難くなることから、遊技者に対してタッチユニット220Bが動かないものであると思わせることができ、動かないと思っていたタッチユニット220Bが遊技状態に応じて加振装置242により振動することで遊技者を驚かせることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

40

【0271】

また、互いに離間した複数の加振装置242によってタッチユニット220Bを振動させるようにしているため、例えば、タッチパネル246において遊技者が操作する部位に近い位置の加振装置242を駆動させることで、強い振動を伝達させることができる。従って、タッチパネル246において、遊技者が操作すべき位置と異なる位置を操作した場合、遊技者に伝達される振動が異なることとなるため、遊技者に対して、操作を間違えていることを知らせることが可能となり、遊技者に対して正しい操作を行わせることができ、タッチパネル246を用いた操作演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

50

【0272】

また、互いに離間した複数の加振装置242を備えているため、各加振装置242の振動の周波数や強さ等を適宜制御することで、タッチパネル246の任意の位置で共振現象が発生させることができる。従って、遊技者が操作した任意の位置で共振現象が発生するように各加振装置242を制御することで、より一層の操作感を付与したり、遊技者を大いに驚かせたりすることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0273】

更に、タッチユニット220Bが上側から叩かれたり強く押されたりしてタッチユニット220Bに衝撃や荷重等が作用した場合、タッチユニット220Bの左右両端側がダンパ222を挟んでユニットケース231に取付けられているため、ダンパ222とタッチユニット220Bの撓りとによって上側からの衝撃等のある程度吸収して（減衰させて）ユニットケース231側へ伝達させることができる。また、ユニットケース231側では、ユニットケース231の外縁が下側の取付ベース230に取付けられているため、ユニットケース231を介したタッチユニット220B側からの衝撃や荷重等を、取付ベース230に対して広く分散させて伝達させることができる。この際に、ユニットケース231の下面から下方へ突出した受突部231eの外周壁と、取付ベース230の取付側受部230aの底面において受突部231eが挿入されている筒状受部230cの内周壁との間に隙間が形成されているため、タッチユニット220Bからの衝撃や荷重等によって、ユニットケース231が下方へ撓んだ後に、受突部231eと筒状受部230cとが当接してユニットケース231から取付ベース230へ衝撃等が伝達されることとなり、ユニットケース231の撓みによって、衝撃等が更に減衰された状態で取付ベース230に伝達される。この受突部231eの外周壁と筒状受部230cの内周壁は、下方へ窄まっているため、受突部231eと筒状受部230cとが当接すると、受突部231e（ユニットケース231）側からの衝撃や荷重等が、取付ベース230の取付側受部230aの底面に対して斜め方向へ伝達され、取付ベース230の取付側受部230aの底面に垂直な方向と底面に沿った方向とに分解されることとなり、取付ベース230を撓ませようする底面に垂直な方向（下方向）の力が小さくなって取付ベース230側へ伝達される。従って、タッチユニット220Bが上側から叩かれたり強く押されたりしても、複数のダンパ222、ユニットケース231、取付ベース230によって、その衝撃等を効果的に減衰させることができ、タッチユニット220Bや取付ベースユニット220Aが破損するのを抑制することができる。

【0274】

〔3-2. ファールカバーユニット〕

扉枠3のファールカバーユニット520について、図54乃至図56を参照して詳細に説明する。図54（a）は扉枠のファールカバーユニットを前から見た斜視図であり、（b）はファールカバーユニットを後ろから見た斜視図である。また、図55（a）はファールカバーユニットを蓋部材を外して前から見た分解斜視図であり、（b）はファールカバーユニットを蓋部材を外して後ろから見た分解斜視図である。更に、図56は、蓋部材を外した状態のファールカバーユニットの正面図である。

【0275】

本実施形態のファールカバーユニット520は、図示するように、扉枠ベースユニット100の後側に取付けられ前側が開放された浅い箱状のユニット本体522と、ユニット本体522の前面に取付けられている平板状の蓋部材524と、を備えている。ファールカバーユニット520は、正面視左上隅において前後に貫通しており本体枠4の下部満タン球経路ユニット860の通常誘導路861と皿ユニット200の上皿球供給口210aとを連通させる貫通球通路526と、貫通球通路526の正面視右側で後方へ向かって開口しており本体枠4の下部満タン球経路ユニット860の満タン誘導路862と連通可能な満タン球受口528と、を備えている。

【0276】

また、ファールカバーユニット 520 は、満タン球受口 528 の正面視右側で上方へ向かって開口しており本体枠 4 の球発射装置 680 により発射されにも関わらず遊技領域 5a 内へ到達しなかった遊技球（ファール球）を受けるファール球受口 530 と、正面視右下隅で前方へ向かって開口しており満タン球受口 528 及びファール球受口 530 に受入れられた遊技球を放出すると共に皿ユニット 200 の下皿球供給口 210c と連通する球放出口 532 と、を備えている。

【0277】

更に、ファールカバーユニット 520 は、ユニット本体 522 及び蓋部材 524 とによって、満タン球受口 528 及びファール球受口 530 と球放出口 532 との間に形成されており所定量の遊技球を貯留可能な広さを有している貯留通路 533 と、貯留通路 533 の内壁の一部を構成しており下端が回動可能にユニット本体 522 に取付けられている平板状の可動片 534 と、可動片 534 の貯留通路 533 から遠ざかる方向への回動を検知する満タン検知センサ 535 と、可動片 534 を貯留通路 533 の中心側へ付勢しているバネ 536 と、を備えている。

【0278】

このファールカバーユニット 520 は、皿ユニット 200 の下皿 202 内が遊技球で一杯になって、球放出口 532 から遊技球が下皿 202 側へ放出されなく無くと、貯留通路 533 内にある程度の数の遊技球を貯留することができる。そして、貯留通路 533 内にある程度の数の遊技球が貯留されると、遊技球の重さによって可動片 534 の上端が貯留通路 533 から遠ざかる方向へ移動するように可動片 534 が回動し、その回動が満タン検知センサ 535 によって検知される。これにより、下皿 202 が遊技球で満タンになっていると判断することができるため、満タン検知センサ 535 により満タンが検知されると、これ以上の遊技球の払出しを停止させると共に、その旨を遊技者や遊技ホールの係員等に報知して、下皿 202 の満タンを解消させるように促すことができる。

【0279】

また、ファールカバーユニット 520 は、ユニット本体 522 の後側で貫通球通路 526 の下側に取付けられており、本体枠 4 の後述する払出ユニット 800 における下部満タン球経路ユニット 860 の誘導路開閉扉 863 の作動突部 863e が当接可能な扉開閉当接部 537 を備えている（図 79 を参照）。扉開閉当接部 537 は、後面が下方へ向かうに従って前方へ移動するように傾斜している。この扉開閉当接部 537 は、本体枠 4 に対して扉枠 3 を閉じると、誘導路扉部材 863 の作動突部 863e が当接するように形成されている。この扉開閉当接部 537 に誘導路開閉部 863 の作動突部 863e が当接することで、誘導路扉部材 863 が回動して通常誘導路 861 及び満タン誘導路 862 の下流端（前側開口）を開放させることができる。

【0280】

[4. 本体枠の全体構成]

本実施形態のパチンコ機 1 における本体枠 4 について、図 57 乃至図 60 を参照して説明する。図 57 は本体枠を前から見た斜視図であり、図 58 は本体枠を後ろから見た斜視図である。また、図 59 は本体枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 60 は本体枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。本実施形態の本体枠 4 は、図示するように、前方が開放された箱状に形成されており、内部に遊技盤 5 が着脱可能に収容される。この本体枠 4 は、正面左辺側前端の上下において、遊技ホールの島設備に取付けられる枠状の外枠 2 に開閉可能に取付けられると共に、開放された前面側が閉鎖されるように扉枠 3 が開閉可能に取付けられるものである。

【0281】

本実施形態の本体枠 4 は、一部が外枠 2 の枠内に挿入可能とされると共に遊技盤 5 の外周を支持可能とされた枠状の本体枠ベース 600 と、本体枠ベース 600 の正面視左側の上下両端に取付けられ外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 及び外枠側下ヒンジ部材 70 に夫々回転可能に取付けられると共に扉枠 3 の扉枠側上ヒンジ部材 140 及び扉枠側下ヒンジ部材 150 が夫々回転可能に取付けられる本体枠側上ヒンジ部材 620 及び本体枠側下ヒ

ンジ部材 640 と、本体枠ベース 600 の正面視左側面に取付けられる補強フレーム 660 と、を備えている。

【0282】

また、本体枠 4 は、本体枠ベース 600 の前面下部に取付けられており遊技盤 5 の遊技領域 5a 内に遊技球を打込むための球発射装置 680 と、本体枠ベースの正面視右側面に取付けられており外枠 2 と本体枠 4、及び扉枠 3 と本体枠 4 の間を施錠する施錠ユニット 700 と、本体枠ベース 600 の正面視上辺及び左辺に沿って後側に取付けられており遊技者側へ遊技球を払出す逆 L 字状の払出ユニット 800 と、本体枠ベース 600 の後面下部に取付けられている基板ユニット 900 と、本体枠ベース 600 の後側に開閉可能に取付けられ本体枠ベース 600 に取付けられた遊技盤 5 の後側を覆う裏カバー 980 と、を

10

【0283】

[4-1. 本体枠ベース]

本実施形態における本体枠 4 の本体枠ベース 600 は、図 57 乃至図 60 に示すように、正面視の形状が上下に延びた長方形に形成されている。この本体枠ベース 600 は、上端よりやや下側の位置から全高の約 3/4 の高さの範囲で前後に貫通しており遊技盤 5 が前側から挿入される遊技盤挿入口 601 と、遊技盤挿入口 601 の下辺を形成しており遊技盤 5 が載置される遊技盤載置部 602 と、遊技盤載置部 602 の左右方向中央から上方へ突出しており遊技盤 5 の下端の左右及び後方への移動を規制する遊技盤規制部 603 と、を備えている。

20

【0284】

また、本体枠 4 は、遊技盤載置部 602 の正面視右下側に形成されている球発射装置 680 を取付けるための発射装置取付部 604 と、発射装置取付部 604 の正面視右側で前後に貫通しており施錠ユニット 700 の鍵シリンダ 710 が挿通されるシリンダ挿通口 605 と、遊技盤載置部 602 の正面視左右中央から左寄り下側で前後に貫通しており基板ユニット 900 の低音スピーカを前方へ臨ませる接続用開口部 606 と、遊技盤載置部 602 の正面視左下側で前後に貫通しており基板ユニット 900 におけるスピーカユニット 920 を前方へ臨ませる円形状のスピーカ用開口部 607 と、を備えている。

【0285】

更に、本体枠 4 は、遊技盤挿入口 601 の正面視右辺から後方へ板状に延出しており、右側面に施錠ユニット 700 が取付けられると共に、後端に裏カバー 980 が回動可能に取付けられる後方延出部 608 を備えている。また、本体枠 4 は、後面における正面視左端の上下両端部付近に形成されており、本体枠側上ヒンジ部材 620 及び本体枠側下ヒンジ部材 640 を取付けるための上ヒンジ取付部 609 及び下ヒンジ取付部 610 を備えている。

30

【0286】

また、本体枠 4 は、接続用開口部 606 を開閉可能に閉鎖する開口カバー 615 と、遊技盤載置部 602 の正面視左右中央より左側でやや下側の位置に回動可能に取付けられ、遊技盤挿通口 601 に挿通された遊技盤 5 の前方への移動を規制可能な遊技盤ロック部材 616 と、を備えている。

40

【0287】

[4-2. 本体枠側上ヒンジ部材及び本体枠側下ヒンジ部材]

本実施形態における本体枠 4 の本体枠側上ヒンジ部材 620 と本体枠側下ヒンジ部材 640 について、図 46 乃至図 49 を参照して説明する。この本体枠側上ヒンジ部材 620 及び本体枠側下ヒンジ部材 640 は、本体枠 4 の上ヒンジ取付部 609 及び下ヒンジ取付部 610 に取付けられるものである。

【0288】

本体枠側上ヒンジ部材 620 は、水平に延びた平板状の板材の後部が下方へ L 字状に折り曲げられている上ヒンジ本体 621 と、上ヒンジ本体 621 の前端から上方へ円柱状に突出しており外枠側上ヒンジ部材 60 に軸支される本体枠上ヒンジピン 622 と、本体枠

50

上ヒンジピン 6 2 2 の正面視左側で上ヒンジ本体 6 2 1 を貫通しており扉枠側上ヒンジ部材 1 4 0 を軸支するための扉枠用上ヒンジ孔 6 2 3 と、を備えている。本体枠側上ヒンジ部材 6 2 0 は、上ヒンジ本体 6 2 1 における下方へ折り曲げられた部位が、本体枠 4 の上ヒンジ取付部 6 0 9 に取付けられる。

【0289】

本体枠側下ヒンジ部材 6 4 0 は、水平に延びた平板状の板材の後部が上方へ L 字状に折り曲げられている下ヒンジ第一本体 6 4 1 と、下ヒンジ第一本体 6 4 1 の前端で上下に貫通しており外枠 2 の外枠側下ヒンジ部材 7 0 に軸支される外枠用下ヒンジ孔（図示は省略）と、下ヒンジ第一本体 6 4 1 の上側に配置されており水平に延びた平板状の板材の後部が上方へ L 字状に折り曲げられて下ヒンジ第二本体 6 4 3 と、下ヒンジ第二本体 6 4 3 の前端で上下に貫通しており扉枠 3 の扉枠側下ヒンジ部材 1 5 0 を軸支するための扉枠用下ヒンジ孔 6 4 4 と、下ヒンジ第二本体 6 4 3 の水平に延びている部位における扉枠用下ヒンジ孔 6 4 4 よりも後側で左端から上方へ延出しており扉枠 3 の回動範囲を規制するための規制片 6 4 5 と、を備えている。

【0290】

下ヒンジ第二本体 6 4 3 は、水平に延びた部位が、下ヒンジ第一本体 6 4 1 の水平に延びた部位の上側に一定の間隔を開けた状態で、上方へ折り曲げられた部位が下ヒンジ第一本体 6 4 1 の上方へ折り曲げられた部位の前面に当接している。この本体側下ヒンジ部材 6 4 0 は、下ヒンジ第一本体 6 4 1 及び下ヒンジ第二本体 6 4 3 の上方へ折り曲げられた部位が、本体枠 4 の下ヒンジ取付部 6 1 0 に取付けられる。

【0291】

[4-3. 補強フレーム]

本実施形態における本体枠 4 の補強フレーム 6 6 0 について、図 4 6 乃至図 4 9 を参照して説明する。補強フレーム 6 6 0 は、本体枠ベース 6 0 0 の左側面に取付けられるものである。この補強フレーム 6 6 0 は、平面視の断面形状が、右側が開放されたコ字状に形成されており、一定の断面形状で上下に延びている。また、補強フレーム 6 6 0 には、前端から右方へ延びている部位の後側に、本体枠ベース 6 0 0 の遊技盤挿入口 6 0 1 に挿入された遊技盤 5 が前方及び上下に移動するのを規制する左位置決め部材 6 6 1 が、上下に離間して一組取付けられている。

【0292】

この補強フレーム 6 6 0 によって本体枠ベース 6 0 0 のヒンジ側（正面視左側）を補強することができると共に、外枠 2 と本体枠 4 の間を通した左側からの本体枠 4 内（遊技盤 5）への不正な工具の差し込みを防止することができる。

【0293】

[4-4. 球発射装置]

本実施形態における本体枠 4 の球発射装置 6 8 0 について、図 5 7、図 5 9 及び図 6 0 を参照して説明する。球発射装置 6 8 0 は、皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 に貯留されている遊技球を、本体枠 4 に取付けられた遊技盤 5 の遊技領域 5 a 内に打込むための装置である。この球発射装置 6 8 0 は、扉枠 3 の前面右下隅のハンドルユニット 5 0 0 のハンドルレバー 5 0 4 の回動角度に応じて、遊技球の打込強さが変化する。

【0294】

球発射装置 6 8 0 は、本体枠ベース 6 0 0 の発射装置取付部 6 0 4 に取付けられる平板状の発射ベース 6 8 1 と、発射ベース 6 8 1 の正面視右部の後面に取付けられており回転軸が発射ベース 6 8 1 を貫通して前方へ延出しているロータリーソレノイドからなる発射ソレノイド 6 8 2 と、発射ソレノイド 6 8 2 の回転軸に基端が取付けられている打球槌 6 8 3 と、打球槌 6 8 3 の先端付近から左斜め上方へ延出するように発射ベース 6 8 1 の前面に取付けられており遊技球が転動可能な発射レール 6 8 4 と、を備えている。

【0295】

この球発射装置 6 8 0 は、扉枠 3 の球送りユニット 5 4 0 から遊技球が発射レール 6 8 4 の上面右端に供給されるようになっており、発射レール 6 8 4 の上面右端に遊技球が供

給されている状態で、ハンドルレバー 504 を回動操作すると、その回動操作角度に応じた強さで発射ソレノイド 682 が駆動して、打球槌 683 により遊技球を打球する。そして、打球槌 683 により打たれた遊技球は、発射レール 684 を通って遊技盤 5 の外レール 1001 及び内レール 1002 に案内されて遊技領域 5a 内に打込まれる。

【0296】

なお、遊技球の打込強さ等の関係で、打球した遊技球が遊技領域 5a 内に到達しなかった場合は、発射レール 684 と遊技盤 5（外レール 1001 及び内レール 1002）との間から、下方のファールカバーユニット 520 のファール球受口 530 へ落下し、ファールカバーユニット 520 内を通して下皿 202 に排出される。

【0297】

〔4-5. 施錠ユニット〕

本実施形態における本体枠 4 の施錠ユニット 700 について、図 57 乃至図 60 を参照して説明する。本実施形態の施錠ユニット 700 は、本体枠 4 に取付けられ、本体枠 4 と扉枠 3、本体枠 4 と外枠 2、との間を施錠することができる。施錠ユニット 700 は、本体枠ベース 600 の後方延出部 608 の右側面に取り付けられ上下に延びているユニットベース 701 と、ユニットベース 701 から前方へ突出しており扉枠 3 と係止可能な複数の扉枠用鉤 702 と、ユニットベース 701 から後方へ突出しており外枠 2 と係止可能な複数の外枠用鉤 703 と、ユニットベース 701 の下部にから前方に円柱状に突出しており前側から挿入した開錠鍵の回動方向に応じて扉枠用鉤 702 又は外枠用鉤 703 の何れかの係止を開錠させる鍵シリンダ 710 と、を備えている。

【0298】

〔4-6. 払出ユニット〕

本実施形態における本体枠 4 の払出ユニット 800 について、図 61 乃至図 72 を参照して説明する。図 61 は払出ユニットを前から見た斜視図であり、図 62 は払出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図 63 は払出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 64 は払出ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図 65 (a) は払出ユニットの球誘導ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は球誘導ユニットを後ろから見た斜視図である。更に、図 66 は、球誘導ユニットの分解斜視図である。また、図 67 (a) は払出ユニットの払出装置を前から見た斜視図であり、(b) は払出装置を後ろから見た斜視図である。また、図 68 は払出装置を分解して前から見た分解斜視図であり、図 69 は払出装置を分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図 70 (a) は払出装置の正面図であり、(b) は (a) における E-E 線で切断した断面図である。また、図 71 (a) は払出装置において球抜き可動片により球抜き通路を閉鎖した状態を示す説明図であり、(b) は球抜き可動片により球抜き通路を開放した状態を示す説明図である。図 72 は、払出装置における払出羽根の部位を拡大して示す説明図である。

【0299】

また、図 73 (a) は払出ユニットにおける上部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は上部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図 74 (a) は上部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、(b) は上部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図 75 (a) は払出ユニットにおける下部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は下部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図 76 は下部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図 77 は下部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図 78 (a) は下部満タン球経路ユニットにおいて誘導路開閉扉が閉じている状態を示す説明図であり、(b) は誘導路開閉扉が開いている状態を示す説明図である。また、図 79 は、扉枠のファールカバーユニットと下部満タン球経路ユニットとの関係を示す説明図である。図 80 は、払出ユニットにおける遊技球の流れを示す説明図である。

【0300】

本実施形態の払出ユニット800は、図61及び図62等に示すように、本体枠ベース600の後側に取付けられる逆L字状の払出ユニットベース801と、払出ユニットベース801の上部に取付けられており上方へ開放された左右に延びた箱状で図示しない遊技ホールの島設備から供給される遊技球を貯留する球タンク802と、球タンク802の下側で払出ユニットベース801に取付けられており球タンク802内の遊技球を正面視左方向へ誘導する左右に延びたタンクレール803と、を備えている。タンクレール803内では、遊技球を左方へ誘導させながら、上方から揺動可能に垂下している球均し部材804（図80を参照）によって、前後二列に整列させる。

【0301】

また、払出ユニット800は、払出ユニットベース801における正面視左側上部の後面に取付けられタンクレール803からの遊技球を蛇行状に下方へ誘導する球誘導ユニット820と、球誘導ユニット820の下側で払出ユニットベース801から着脱可能に取付けられており球誘導ユニット820により誘導された遊技球を払出制御基板ボックス950に収容された払出制御基板951からの指示に基づいて一つずつ払出す払出装置830と、を備えている。タンクレール803から払出装置830までは、遊技球が二列で流通し、払出装置830からは、遊技球が一つずつ払出される。

【0302】

更に、払出ユニット800は、払出ユニットベース801の後面に取付けられ払出装置830によって払出された遊技球を下方へ誘導すると共に皿ユニット200における上皿201での遊技球の貯留状態に応じて遊技球を通常放出口850d又は満タン放出口850eの何れかから放出させる上部満タン球経路ユニット850と、払出ユニットベース801の下端に取付けられ上部満タン球経路ユニット850の通常放出口850dから放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の貫通球通路526へ誘導する通常誘導路861、満タン放出口850eから放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の満タン球受口530へ誘導する満タン誘導路862、及び通常誘導路861及び満タン誘導路862の前端開口を本体枠4に対する扉枠3の開閉に応じて開閉する誘導路開閉扉863、を有した下部満タン球経路ユニット860と、を備えている。

【0303】

[4-6a. 球誘導ユニット]

本実施形態における払出ユニット800の球誘導ユニット820について、図65及び図66を参照して説明する。球誘導ユニット820は、上下に延びており後側が開放された箱状の前ケース821と、前ケース821の後側に取付けられており前側が開放された箱状の後ケース822と、前ケース821と後ケース822との間に取付けられており前ケース821と後ケース822と間を仕切る平板状の仕切板823と、仕切板823を貫通して前後両端が前ケース821及び後ケース822に取付けられている棒状の軸部材824と、軸部材824によって回動可能に取付けられており前ケース内及び後ケース内に夫々配置されている一対の可動片部材前825及び可動片部材後826と、前ケース821内に取付けられており一対の可動片部材前825及び可動片部材後826の回動位置を検知可能な球切れ検知センサ827と、を備えている。

【0304】

前ケース821は、右側面の上部において遊技球が通過可能に開口している球誘導入口821aと、底面の左右方向中央よりも右寄りの位置で遊技球が通過可能に開口している球誘導出口821bと、球誘導入口821aと球誘導出口821bとを連通しており遊技球が流通可能な誘導通路821cと、を備えている。誘導通路821cは、球誘導入口821aから左端付近まで水平に対して小さい角度で低くなるように斜めに延びている導入部821dと、導入部821dから前ケース821の左辺に沿って高さの中央付近まで下方へ真っ直ぐ延びている検知部821eと、検知部821dから前ケース821の左右の幅で蛇行状に延びている蛇行部821fと、で構成されている。また、前ケース821は、誘導通路821cにおける検知部821eの正面視右側の壁に切欠部821gを備えている。

10

20

30

40

50

【0305】

後ケース822は、右側面の上部において遊技球が通過可能に開口している球誘導入口822aと、底面の左右方向中央よりも右寄りの位置で遊技球が通過可能に開口している球誘導出口822bと、球誘導入口822aと球誘導出口822bとを連通しており遊技球が流通可能な誘導通路822cと、を備えている。誘導通路822cは、球誘導入口822aから左端付近まで水平に対して小さい角度で低くなるように斜めに延びている導入部822dと、導入部822dから後ケース822の左辺に沿って高さの中央付近まで下方へ真っ直ぐ延びている検知部822eと、検知部822dから後ケース822の左右の幅で蛇行状に延びている蛇行部822fと、で構成されている。また、後ケース822は、誘導通路822cにおける検知部822eの正面視右側の壁に切欠部822gを備えている。

10

【0306】

この後ケース822は、前ケース821に対して左右に略対称に形成されており、球誘導ユニット820を組立てた状態で、誘導通路821cと誘導通路822cとが前後に一致するように形成されている。

【0307】

軸部材824は、前ケース821及び後ケース822における切欠部821g、822gの上端の下側且つ誘導通路821c、822cの外側の位置に前後の端部が取り付けられている。

【0308】

可動片部材前825は、上下に延びた平板状の可動片825aと、可動片825aの右側の面の上端で前後に貫通しており軸部材824が挿通される軸孔825bと、可動片825aの上端から可動片825aの右面に対して直角に右方向へ延びている延出部825cと、延出部825cと可動片825aとを連結しており軸孔825bを中心に扇状に延びている連結部825dと、延出部825cの上部及び連結部825dの外周の中央付近から外方へ夫々突出しており前後に貫通している貫通孔を有した錘取付部825eと、延出部825cの右側先端から外方へ平板状に延出しており球切れ検知センサ827により検知可能な検知片825fと、連結部825dの外周における可動片825aに近い位置から外方へ平板状に延出しているストッパ片825gと、を備えている。

20

【0309】

この可動片部材前825は、軸孔825bに軸部材824を通すと、その自重によって、連結部825dの外周から突出している錘取付部825eが、軸孔825bの直下に位置するように回動し、可動片825aが軸孔825bの部位から斜め下方へ延出した状態となる。従って、球誘導ユニット820を組立てた状態では、連結部825dが前ケース821の切欠部821gに挿通されて、可動片825aの下端が誘導通路821c内に突出した状態となると共に、ストッパ片825gが誘導通路821c（検知部821e）の外壁に当接した状態となる。このストッパ片825gが誘導通路821cの外壁に当接することで、可動片825aの下端が、誘導通路821c内へ突出する方向（正面視左方向）へこれ以上回動するのが規制される。また、可動片部材前825は、可動片825aの下端を、誘導通路821cの壁に接近させる方向（正面視右方向）へ回動させると、可動片825aの左側の面が、誘導通路821cの内面と一致する。この状態では、可動片部材前825の検知片825fは、球切れ検知センサ827に対して非検知の状態となる。つまり、誘導通路821c内に遊技球がある時は、球切れ検知センサ827が非検知となる。

30

【0310】

可動片部材後826は、上下に延びた平板状の可動片826aと、可動片826aの右側の面の上端で前後に貫通しており軸部材824が挿通される軸孔826bと、可動片826aの上端から可動片826aの右面に対して直角に右方向へ延びている延出部826cと、延出部826cと可動片826aとを連結しており軸孔826bを中心に扇状に延びている連結部826dと、延出部826cの上部及び連結部826dの外周の中央付近

40

50

から外方へ夫々突出しており前後に貫通している貫通孔を有した錘取付部 8 2 6 e と、延出部 8 2 6 c の右側先端から外方へ平板状に延出しており球切れ検知センサ 8 2 7 により検知可能な検知片 8 2 6 f と、連結部 8 2 6 d の外周における可動片 8 2 6 a に近い位置から外方へ平板状に延出しているストッパ片 8 2 6 g と、を備えている。

【0311】

この可動片部材後 8 2 6 は、軸孔 8 2 6 b に軸部材 8 2 4 を通すと、その自重によって、連結部 8 2 6 d の外周から突出している錘取付部 8 2 6 e が、軸孔 8 2 6 b の直下に位置するように回動し、可動片 8 2 6 a が軸孔 8 2 6 b の部位から斜め下方へ延出した状態となる。従って、球誘導ユニット 8 2 0 を組立てた状態では、連結部 8 2 6 d が後ケース 8 2 2 の切欠部 8 2 2 g に挿通されて、可動片 8 2 6 a の下端が誘導通路 8 2 2 c 内に突出した状態となると共に、ストッパ片 8 2 6 g が誘導通路 8 2 2 c (検知部 8 2 2 e) の外壁に当接した状態となる。このストッパ片 8 2 6 g が誘導通路 8 2 2 c の外壁に当接することで、可動片 8 2 6 a の下端が、誘導通路 8 2 2 c 内へ突出する方向 (正面視左方向) へこれ以上回動するのが規制される。また、可動片部材前 8 2 6 は、可動片 8 2 6 a の下端を、誘導通路 8 2 2 c の壁に接近させる方向 (正面視右方向) へ回動させると、可動片 8 2 6 a の左側の面が、誘導通路 8 2 2 c の内面と一致する。この状態では、可動片部材前 8 2 6 の検知片 8 2 6 f は、球切れ検知センサ 8 2 7 に対して非検知の状態となる。つまり、誘導通路 8 2 2 c 内に遊技球がある時は、球切れ検知センサ 8 2 7 が非検知となる。

【0312】

本実施形態の球誘導ユニット 8 2 0 は、タンクレール 8 0 3 によって複数の遊技球が前後に夫々一列で並ばされた状態で供給され、複数の遊技球が一列に並んだ状態で、前ケース 8 2 1 及び後ケース 8 2 2 によって、前後に二列の状態下方の払出装 8 3 0 へ誘導することができる (図 8 0 を参照)。この際に、前ケース 8 2 1 と後ケース 8 2 2 とは仕切板 8 2 3 によって仕切られているため、夫々の誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c を流通する遊技球が、互いに干渉し合うことはなく、良好に流通することができる。

【0313】

また、球誘導ユニット 8 2 0 の誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内を遊技球が流通すると、遊技球が可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a に当接し、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の壁面と一致する方向へ可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 が回動する。これにより、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の検知片 8 2 5 f, 8 2 6 f が球切れ検知センサ 8 2 7 に対して非検知の状態となり、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に遊技球があることが判る。

【0314】

そして、球誘導ユニット 8 2 0 の下流側の払出装 8 3 0 により遊技球の払出し等が行われると、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の遊技球が下流へ流れることとなる。誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内を遊技球が流れると、導入部 8 2 1 d, 8 2 2 d を流れる遊技球の勢いが強くなり、導入部 8 2 1 d, 8 2 2 d を流れた遊技球が、検知部 8 2 1 e, 8 2 2 e の上部で可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a 側へ跳ね返り、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a に当接することとなる。この遊技球の当接により、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が振動することとなるため、その振動により可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a と誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の切欠部 8 2 1 g, 8 2 2 g との間に挟まれたり侵入したりした埃やゴミ等を除去することができ、自重等によって可動片 8 2 5, 8 2 6 a が良好に回動できるようになる。

【0315】

また、球誘導ユニット 8 2 0 は、各誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内を流通する遊技球を夫々別々の可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 によって検知するようにしていると共に、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の夫々の検知片 8 2 5 f, 8 2 6 f を一つの球切れ検知センサ 8 2 7 で検知するようにしているため、何れかの誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の遊技球がなくなると、可動片部材前 8 2 5 又は可動片部材後 8 2 6 の可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内へ突出するように回動し、遊技

球のなくなった側の検知片 8 2 5 f, 8 2 6 f が球切れ検知センサ 8 2 7 で検知される。従って、遊技球の球切れを早期に検知することができるため、速やかに遊技球を補充させることができ、遊技が中断する時間を可及的に短くすることで、遊技者の興趣の低下を抑制することができる。

【0316】

更に、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e に、錘として金属ビスを振じ込んで取付けることで、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 と錘の重量とによって、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端側を、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に突出する方向へ回動させ易くすることができる。また、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端を誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の外側で回動可能に取付けて、下端側が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に突出するようにしているため、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の埃やゴミ等が、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端や下端に付着することがない。従って、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の壁側に回動しても、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端と壁との間に埃やゴミ等が噛み込むことはないため、自重等によって良好に回動することができ、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が回動しなくなるような不具合の発生を抑制することができる。

【0317】

このように、本実施形態の球誘導ユニット 8 2 0 は、自重によって下端側が遊技球の流通する誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内へ突出する可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a において、遊技球と当接する面の反対側の錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e に金属ビスからなる錘を取付けることで、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材 8 2 6 の自重と錘の重量とによって、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端側を誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に回動（突出）させ易くすることができる。また、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端を誘導通路 8 2 2 c の外側で回動可能に取付けて、下端側が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に突出するようにしているため、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の埃やゴミ等が、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端や下端に付着することがない。従って、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の壁側に回動しても、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端と壁との間に埃やゴミ等が噛み込むことはないため、自重等によって良好に回動することができ、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 （可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6）が回動しなくなるような不具合の発生を抑制することができる。

【0318】

また、錘としての金属ビスを、貫通孔とされた錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e に振じ込んで取付けるため、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 が頻繁に回動しても、錘が可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 （錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e）から外れることがなく、長期に亘って可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 を良好な状態に維持することができる。また、錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e に金属ビスを振じ込むだけで、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 に錘を容易に取付けることができるため、錘の取付けの手間を簡略化することができ、パチンコ機 1 の組立てに係るコストを低減させることができる。

【0319】

更に、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内において可動片 8 2 5 a, 8 2 5 c が内部に突出する部位よりも上流側に、可動片 8 2 5 a, 8 2 5 c へ向かって遊技球を誘導させる導入部 8 2 2 d を備えていることから、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内を遊技球が流れることで、遊技球が可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a に当接するため、遊技球の当接によって可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a を振動させることができる。従って、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の振動により、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a と誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の壁との間に挟まれたり侵入したりした埃やゴミ等を除去することができ、自重等によって可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 が良好に回動するようにできる。

【0320】

従って、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 を良好に回動させることができる

ため、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の遊技球の状態（有無）を確実に検知させることができ、遊技球の誤検知等による不具合の発生を抑制させることができる。また、払出装置 8 3 0 へ供給される遊技球が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内からなくなっても、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a を介して確実に誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の有無を検知することができるため、速やかに遊技球を補充させることができ、遊技が中断する時間を可及的に短くすることで、遊技者の興趣の低下を抑制することができる。

【0 3 2 1】

〔4－6 b. 払出装置〕

本実施形態における払出ユニット 8 0 0 の払出装置 8 3 0 について、図 6 7 乃至図 7 2 を参照して説明する。払出装置 8 3 0 は、後側が開放されている箱状で、上面における左右方向中央に遊技球が通過可能に開口している払出入口 8 3 1 a、底面における正面視左端付近で遊技球が通過可能に開口している払出出口 8 3 1 b、底面における正面視右端付近で遊技球が通過可能に開口している球抜き出口 8 3 1 c、払出入口 8 3 1 a と払出出口 8 3 1 b とを連通しており遊技球が流通可能な払出通路 8 3 1 d、及び払出通路 8 3 1 d の途中から分岐して球抜き出口 8 3 1 c と連通しており遊技球が流通可能な球抜き通路 8 3 1 e、を有している前箱 8 3 1 と、前箱 8 3 1 の後側に取付けられており前側が開放されている箱状で、上面における左右方向中央に遊技球が通過可能に開口している払出入口 8 3 2 a、底面における正面視左端付近で遊技球が通過可能に開口している払出出口 8 3 2 b、底面における正面視右端付近で遊技球が通過可能に開口している球抜き出口 8 3 2 c、払出入口 8 3 2 a と払出出口 8 3 2 b とを連通しており遊技球が流通可能な払出通路 8 3 2 d、及び払出通路 8 3 2 d の途中から分岐して球抜き出口 8 3 2 c と連通しており遊技球が流通可能な球抜き通路 8 3 2 e、を有している後箱 8 3 2、を備えている。

【0 3 2 2】

また、払出装置 8 3 0 は、前箱 8 3 1 の前側に取付けられており後側が開放されている浅い箱状の前カバー 8 3 3 と、前箱 8 3 1 内に取付けられており回転軸が前箱 8 3 1 を貫通して前カバー 8 3 3 内に延出している払出モータ 8 3 4 と、払出モータ 8 3 4 の回転軸に取付けられている駆動ギア 8 3 5 と、駆動ギア 8 3 5 と噛合しており前箱 8 3 1 と前カバー 8 3 3 とで回転可能に取付けられている平歯車状の中間ギア 8 3 6 と、中間ギア 8 3 6 と噛合している従動ギア 8 3 7 と、従動ギア 8 3 7 が回転可能に貫通しており前端が前カバー 8 3 3 に取付けられていると共に後端が前箱 8 3 1 を貫通して後箱 8 3 2 に取付けられている軸部材 8 3 8 と、軸部材 8 3 7 を貫通して回転可能に取付けられていると共に前箱 8 3 1 及び後箱 8 3 2 の払出通路 8 3 1 d, 8 3 2 d 内に配置されており従動ギア 8 3 7 と一体回転する払出羽根 8 3 9 と、前箱 8 3 1 と後箱 8 3 2 との間に取付けられており払出羽根 8 3 9 の回転を検知する羽根回転検知センサ 8 4 0 と、を備えている。

【0 3 2 3】

更に、払出装置 8 3 0 は、前箱 8 3 1 と後箱 8 3 2 の間に取付けられており前箱 8 3 1 の払出通路 8 3 1 d と後箱 8 3 2 の払出通路 8 3 2 d とを仕切る平板状の仕切板 8 4 1 と、前箱 8 3 1 と後箱 8 3 2 との間に取付けられており払出羽根 8 3 9 の回転により払出されて払出出口 8 3 1 b, 8 3 2 b から放出される遊技球を検知する払出検知センサ 8 4 2 と、払出通路 8 3 1 d, 8 3 2 d と球抜き通路 8 3 1 e, 8 3 2 e とが分岐している部位で前箱 8 3 1 と後箱 8 3 2 とによって回動可能に取付けられており球抜き通路 8 3 1 e, 8 3 2 e を閉鎖可能な球抜き可動片 8 4 3 と、前箱 8 3 1 及び後箱 8 3 2 の正面視右側面上部で上下にスライド可能に取付けられており球抜き可動片 8 4 3 を回動可能又は回動不能とする球抜きレバー 8 4 4 と、を備えている。

【0 3 2 4】

前箱 8 3 1 の払出通路 8 3 1 d は、払出入口 8 3 1 a から球抜き出口 8 3 1 c へ向かうように正面視右下へ斜めに延び、前箱 8 3 1 の全高に対して上面から約 1/3 の高さのところで下方へ垂直に延びるように折れ曲がり、全高の中央付近で左方へ略水平に延びるように曲がった後に、前箱 8 3 1 の左右の幅に対して左端から約 1/3 のところで再び下方へ垂直に延びるように折れ曲がっており、前箱 8 3 1 の全高に対して底面から約 1/4 の

高さのところで払出出口 8 3 1 b の直上へ位置するようにクランク状に折れ曲がって払出出口 8 3 1 b へ垂直に延びている。払出通路 8 3 1 d 内のクランク状に折れ曲がっている部位に払出羽根 8 3 9 が配置される。

【0 3 2 5】

一方、球抜き通路 8 3 1 e は、払出通路 8 3 1 d において払出入口 8 3 1 a から右下へ斜めに延びている部位を更に延長する形態で、前箱 8 3 1 の全高に対して上面から約 1 / 3 の高さから中央付近の高さまでの間で分岐している。

【0 3 2 6】

また、前箱 8 3 1 は、払出通路 8 3 1 d 内の払出出口 8 3 1 b へ向かって垂直に延びている部位において下方へ向かうに従って後方へ突出している誘導柵 8 3 1 f と、正面視右側面 10 の上部に形成されており球抜きレバー 8 4 4 を上下にスライド可能に取付けるためのレバー取付部 8 3 1 g と、を備えている。

【0 3 2 7】

後箱 8 3 2 の払出通路 8 3 2 d は、払出入口 8 3 2 a から球抜き出口 8 3 2 c へ向かうように正面視右下へ斜めに延び、後箱 8 3 2 の全高に対して上面から約 1 / 3 の高さのところで下方へ垂直に延びるように折れ曲がり、全高の中央付近で左方へ略水平に延びるように曲がった後に、後箱 8 3 2 の左右の幅に対して左端から約 1 / 3 のところで再び下方へ垂直に延びるように折れ曲がっており、後箱 8 3 2 の全高に対して底面から約 1 / 4 の高さのところで払出出口 8 3 2 b の直上へ位置するようにクランク状に折れ曲がって払出出口 8 3 2 b へ垂直に延びている。払出通路 8 3 2 d 内のクランク状に折れ曲がっている 20 部位に払出羽根 8 3 9 が配置される。

【0 3 2 8】

一方、球抜き通路 8 3 2 e は、払出通路 8 3 2 d において払出入口 8 3 2 a から右下へ斜めに延びている部位を更に延長する形態で、後箱 8 3 2 の全高に対して上面から約 1 / 3 の高さから中央付近の高さまでの間で分岐している。

【0 3 2 9】

また、後箱 8 3 2 は、払出通路 8 3 2 d 内の払出出口 8 3 2 b へ向かって垂直に延びている部位において下方へ向かうに従って前方へ突出している誘導柵 8 3 2 f と、正面視右側面 30 の上部に形成されており球抜きレバー 8 4 4 を上下にスライド可能に取付けるためのレバー取付部 8 3 2 g と、を備えている。

【0 3 3 0】

前箱 8 3 1 及び裏箱 8 3 2 の払出通路 8 3 1 d , 8 3 2 d と球抜き通路 8 3 1 e , 8 3 2 e は、同じ形状に形成されている。払出通路 8 3 1 d , 8 3 2 d は、払出羽根 8 3 9 が配置されている部位の上流までが仕切板 8 4 1 によって仕切られている。また、誘導柵 8 3 1 f , 8 3 2 f と払出出口 8 3 1 b , 8 3 2 b との間に、払出検知センサ 8 4 2 が取付けられている。つまり、前箱 8 3 1 の払出通路 8 3 1 d を流通した遊技球と、後箱 8 3 2 の払出通路 8 3 2 d を流通した遊技球とは、夫々の誘導柵 8 3 1 f , 8 3 2 f によって前箱 8 3 1 と後箱 8 3 2 との前後の境界付近に寄せられて、一つの払出検知センサ 8 4 2 により検知される。

【0 3 3 1】

従動ギア 8 3 7 は、中間ギア 8 3 6 と噛合する平歯車状のギア部 8 3 7 a と、ギア部 8 3 7 a の後面から周方向へ 6 0 度の角度の間隔で放射状に突出しており羽根回転検知センサ 8 4 0 によって検知可能な複数の検知片 8 3 7 b と、ギア部 8 3 7 a の中心から後方へ円筒状に突出していると共に後端の周面に凹凸が形成されており払出羽根 8 3 9 と連結可能な連結部 8 3 7 c と、を備えている。

【0 3 3 2】

払出羽根 8 3 9 は、前後に円筒状に延びており軸部材 8 3 8 が挿通されるベース筒部 8 3 9 a と、ベース筒部 8 3 9 a の前端から周方向に一定間隔でベース筒部 8 3 9 a の軸直角方向へ突出している複数（三つ）の前羽根 8 3 9 b と、ベース筒部 8 3 9 a の後端から前羽根 8 3 9 b とは互い違いとなるように周方向に一定間隔でベース筒部 8 3 9 a の軸直 50

角方向へ突出している複数（三つ）の後羽根 839c と、ベース筒部 839a の前端から前方へ筒状に突出していると共に前端の周面に従動ギア 837 の連結部 387c と連結可能な凹凸が形成されている被連結部 839d と、を備えている。

【0333】

払出羽根 839 の前羽根 839b 及び後羽根 839c は、周方向へ 120 度の角度の間隔で夫々三つずつ備えられており、互い違いとなるように、前羽根 839b に対して後羽根 839c が、周方向へ 60 度の角度でオフセットして外方へ延出している。本実施形態の払出羽根 839 は、三つの前羽根 839b（後羽根 839c）同士の間が中心側へ窪んだ円弧によって結ばれており、その円弧の直径が遊技球の直径と同じか若干大きい。これにより、前羽根 839b（後羽根 839c）同士の間には、遊技球が一つのみ収容することが可能な球収容部 839e が形成されている。

10

【0334】

また、三つの前羽根 839b 及び後羽根 839c は、ベース筒部 839a の軸を中心としたそれらの外周の直径 D1 が、遊技球の外径の 1～1.4 倍に形成されている。また、前羽根 839b（後羽根 839c）同士の間円弧の部位（球収容部 839e）におけるベース筒部 839a の軸に最も接近した部位までの、ベース筒部 839a の軸を中心とした直径 D2 は、遊技球の外径の約 0.3～0.4 倍に形成されている（図 72 を参照）。つまり、前羽根 839b 及び後羽根 839c の外周から球収容部 839e の最も凹んだ部位までの深さ $[(\text{直径 } D1 - \text{直径 } D2) / 2]$ が、遊技球の外径の 0.1～0.4 倍とされている。

20

【0335】

従って、前羽根 839b（後羽根 839c）同士の間円弧の部位（球収容部 839e）により、遊技球の外周の約 $3/10$ （ $1/4 \sim 1/3$ の間）を保持することができる。換言すると、遊技球の外径の約 $1/5$ （ $1/7 \sim 1/4$ ）の深さを収容することができる。これにより、払出通路 831d、832d 内の遊技球を、速やかに前羽根 839b（後羽根 839c）同士の間（球収容部 839e）に収容することができる。

【0336】

本実施形態の払出羽根 839 は、払出装置 830 を組立てた状態で、前羽根 839b が前箱 831 の払出通路 831d 内に、後羽根 839c が後箱 832 の払出通路 832d 内に位置し、夫々の払出通路 831d、832d 内の遊技球を、夫々払出すことができる。また、払出羽根 839 は、払出通路 831d、832d において、前箱 821 及び後箱 832 の全高の中央よりも下側でクランク状に折れ曲がっている部位に配置されている。詳しくは、払出通路 831d、832d において、前箱 821 及び後箱 832 の全高の中央付近から下方へ垂直に延びている部位の直下に、払出羽根 839 の回転中心が位置している。そして、払出通路 831d、832d のクランク状に折れ曲がっている部位では、払出羽根 839 から遠い側の壁（内壁）が、払出羽根 839 の回転中心を中心とし、前羽根 839b 及び後羽根 839c の外周から遊技球の外径よりも小さい距離 S だけ離れた円弧状に形成されている（図 61 を参照）。なお、本実施形態では、距離 S が、遊技球の外径の 0.7～0.9 倍とされている。換言すると、球収容部 839e の最も凹んだ部位から払出通路 831d、832d の円弧状に形成されている部位までの距離が、遊技球の外径の 1.03～1.1 倍とされている。

30

40

【0337】

これにより、払出装置 830 は、払出羽根 839 上に流下してきた遊技球が、前羽根 839b、839c の外周に当接すると、払出通路 831d、832d のクランク状に折れ曲がっている部位を通ることができず、払出出口 831b、832b から下方へ放出されることはない。一方、遊技球が、球収容部 839e に収容されると、払出羽根 839 の回転と共に移動し、払出通路 831d、832d のクランク状に折れ曲がっている部位を通ることができ、払出出口 831b、832b から下方へ放出される。

【0338】

また、払出装置 830 では、前羽根 839b 及び後羽根 839c の直径 D1 を、遊技球

50

の外径の約 1.2 ～ 1.4 倍とすると共に、球収容部 839e により遊技球の外径の $1/7 \sim 1/4$ の深さを収容するようにしているため、払出羽根 839 の外径を可及的に小さくしつつ、遊技球の収容にかかる時間を短くすることができる。これにより、払出羽根 839 を速く回転させても、球収容部 839e に遊技球を収容させて、払出出口 831b, 832b 側へ送ることができる。従って、従来よりも単位時間当りの遊技球の払出数を多くすることができ、遊技球の払出しにかかる時間を短縮することができる。

【0339】

球抜き可動片 843 は、上下及び前後に板状に延びており下部が折れ曲がって正面視く字状に形成されている本体部 843a と、本体部 843a の上端で前後に筒状に延びており両端が夫々前箱 831 及び後箱 832 に回動可能に取付けられる軸筒部 843b と、本体部 843a のく字状に折れ曲がっている外側面の上部から突出している突出部 843c と、本体部 843c のく字状に折れ曲がっている下部において前後に貫通している貫通孔からなる錘取付部 843d (図 71 を参照) と、を備えている。

10

【0340】

球抜き可動片 843 は、払出装置 830 を組立てた状態では、本体部 843a の下部が正面視斜め左下へ延びるような向きで、上端の軸筒部 843b が、前箱 831 及び後箱 832 の払出通路 831d, 832d において、払出入口 831a, 832a から正面視右下へ斜めに延びている部位で、且つ、下方へ折れ曲がる部位よりもやや上側の正面視右側の壁の外側の位置で、回動可能に取付けられている。

【0341】

20

本実施形態の払出装置 830 は、通常の状態では、球抜きレバー 844 を下方へスライドさせた状態としており、球抜きレバー 844 の下部が球抜き可動片 843 の突出部 843c に正面視右側から当接している。これにより、球抜き可動片 843 は、正面視反時計回りへの回動が規制されている (図 71 (a) を参照)。

【0342】

この通常の状態では、球抜き可動片 843 のく字状に折れ曲がっている本体部 843a において、曲がっている部位よりも上側が垂直に延びていると共に、曲がっている部位の下側が正面視斜め左下へ延びている。そして、本体部 843a の下端は、払出通路 831d, 832d と球抜き通路 831e, 832e とが分岐している部位の近傍に位置している。従って、球抜き可動片 843 (本体部 843a) によって、球抜き通路 831e, 832e を閉鎖していると共に、本体部 843a の左側を向いた面が、払出通路 831d, 832d の一部の壁を形成している。

30

【0343】

本実施形態の球抜き可動片 843 は、通常の状態において、球抜き可動片 843 の重心が、軸筒部 843b の中心を通る垂直線の正面視左側に位置するように形成されており、自重によって正面視反時計回りに回転させようとする力が作用しているが、球抜きレバー 844 によって反時計回りへの回動が規制されているため、通常の状態が維持される。

【0344】

通常の状態から、球抜きレバー 844 を上方へスライドさせると、球抜きレバー 844 の下部が、球抜き可動片 843 の突出部 843c から離れ、球抜き可動片 843 の正面視反時計回りへの回動の規制が解除される。従って、球抜き可動片 843 は、重心が軸筒部 843b の直下へ位置するように、自重によって反時計回りへ回動することとなる。なお、球抜き可動片 843 は、本体部 843a の下部の右側側面が、前箱 831 及び後箱 832 の右側面を形成している部材の左面に当接するまで、反時計回りに回動することができる (図 60 (b) を参照)。これにより、球抜き通路 831e, 832e が開放された状態となり、払出入口 831a, 832a から進入した遊技球が、払出通路 831d, 832d の途中で、球抜き可動片 843 の本体部 843a に当接して球抜き可動片 843 を正面視反時計回りへ回動させて球抜き通路 831e, 832e を開放し、開放された球抜き通路 831e, 832e を流通して球抜き出口 831c, 832c から下方へ放出されることとなる。

40

50

【0345】

本実施形態では、球抜き可動片843に錘取付部843dを備えているため、この錘取付部843dに金属ビスからなる錘を振り込んで取付けることで、球抜きレバー844を上方へスライドさせて、正面視反時計回りへの回動の規制を解除した時に、球抜き可動片843の自重と錘の重量とによって、球抜き可動片843の下端を球抜き通路831e、832e内へ突出する方向へ（正面視反時計回りに）回動させ易くすることができる。

【0346】

また、球抜きレバー844を下方へスライドさせて球抜き通路831e、832eを閉鎖している通常の状態において、払出入口831a、832aから進入した遊技球が、球抜き可動片843の本体部843aに当接するようにしているため、遊技球の当接によって球抜き可動片843を振動させることができる。従って、球抜き可動片843の下端と球抜き通路831e、832eの内面との間に挟まれたり侵入したりした埃やゴミ等を、球抜き可動片843の振動によって除去することができ、埃やゴミ等を噛み込んで球抜き可動片843が回動できなくなるのを防止することができる。

10

【0347】

また、錘としての金属ビスを、貫通孔とされた錘取付部843dに振り込んで取付けることができるため、球抜き可動片843が頻繁に回動しても、錘が球抜き可動片843（錘取付部843d）から外れることがなく、長期に亘って球抜き可動片843を良好な状態に維持することができる。また、錘取付部843dに金属ビスを振り込むだけで、球抜き可動片843に錘を容易に取付けることができるため、錘の取付けの手間を簡略化することができ、パチンコ機1の組立てに係るコストを低減させることができる。

20

【0348】

ところで、球抜き可動片843によって球抜き通路831e、832eを長期に亘って閉鎖していると、球抜き可動片843の回転軸に微細な埃が付着したり回転軸が錆びたりして、球抜き可動片843が回動し辛くなることがある。これに対して、本実施形態では、払出入口831a、832aから進入した遊技球が、球抜き可動片843の本体部843aに当接するようにしているため、球抜き可動片843により球抜き通路831e、832eを閉鎖している状態から、閉鎖を解除する球抜きレバー844を上方へスライドさせてロックを外した時に、遊技球が球抜き可動片843に当接することで、その当接の衝撃によって球抜き可動片843を回動させることができ、球抜き通路831e、832eを確実に開放させることができる。

30

【0349】

従って、球抜きレバー844を操作して球抜き通路831e、832eを開放させる際に、球抜き可動片843が良好に回動することができるため、遊技球の抜き取り作業を確実に行うことができ、メンテナンス等の際の作業性を良くすることができる。

【0350】

〔4-6c. 上部満タン球経路ユニット〕

本実施形態における払出ユニット800の上部満タン球経路ユニット850について、図73及び図74を参照して詳細に説明する。上部満タン球経路ユニット850は、払出ユニットベース801において、払出装置830の下側の位置に取付けられるものである。この上部満タン球経路ユニット850は、払出ユニットベース801に取付けられ後側が開放された箱状の上部満タンベース851と、上部満タンベース851の後側に取付けられており前側が開放された箱状の上部満タンカバー852と、上部満タンカバー852の後側に回転可能に取付けられており払出装置830を上方へ押圧可能な払出装置押圧部材853と、を備えている。

40

【0351】

また、上部満タン球経路ユニット850は、上面における正面視左右中央から左側の部位で遊技球が通過可能に上方へ開口している上部払出球受口850aと、上面における正面視左右中央から右側の部位で遊技球が通過可能に上方へ開口している上部球抜き入口850bと、上部満タンベース851と上部満タンカバー852との間に形成されており上

50

部払出球受口 850a に受けられた遊技球が流通する所定広さの上部球貯留通路 850c と、上部球貯留通路 850c の下端における上部払出球受口 850a の直下の部位で下方へ開口している通常放出口 850d と、上部球貯留通路 850c の下端における通常放出口 850d を除いた部位で下方へ開口している満タン放出口 850e と、通常放出口 850d と満タン放出口 850e との間から上方へ突出しており上部球貯留通路 850c 内の下部を左右に仕切っている仕切片 850f と、を備えている。

【0352】

また、上部満タン球経路ユニット 850 は、上部球抜き入口 850b から進入した遊技球を下方へ誘導する上部球抜き通路 850g と、上部球抜き通路 850g の下端で下方へ向かって開口している上部球抜き出口 850h と、を備えている。この上部満タン球経路ユニット 850 は、正面視で左側から、通常放出口 850d、満タン放出口 850e、上部球抜き出口 850h が順に並んで下方へ開口している。また、上部満タン球経路ユニット 850 は、上部満タンベース 851 の右端に裏カバー 980 を取付けるための裏カバー取付部 854 を備えている。

【0353】

この上部満タン球経路ユニット 850 は、払出ユニット 800 に組立てた状態で、上部払出球受口 850a が、払出装置 830 の払出出口 831b の直下に位置していると共に、上部球抜き入口 850b が、払出装置 830 の球抜き出口 831c の直下に位置している。また、上部満タン球経路ユニット 850 は、払出ユニット 800 に組立てた状態で、通常放出口 850d、満タン放出口 850e、及び上部球抜き出口 850h は、下部満タン球経路ユニット 860 の通常誘導路 861、満タン誘導路 862、及び下部球抜き誘導路 865 の夫々後端開口の直上に夫々開口している（図 80 を参照）。

【0354】

上部満タン球経路ユニット 850 は、払出装置 830 によって払出されて払出出口 831b から下方へ放出された遊技球が、上部払出球受口 850a から上部球貯留通路 850c 内へ進入する。上部球貯留通路 850c の下端の通常放出口 850d が閉鎖されていない状態では、上部払出球受口 850a から上部球貯留通路 850c 内へ進入した遊技球が、上部払出球受口 850a の直下に開口している通常放出口 850d から放出される。

【0355】

扉枠 3 の上皿 201 内が遊技球で満たされて遊技球を貯留させることができなくなり、更に、下部満タン球経路ユニット 860 の通常誘導路 861 内が遊技球で満たされると、通常放出口 850d が閉鎖された状態となる。この状態で上部球貯留通路 850c 内に遊技球が進入すると、通常放出口 850d の上側に貯留される。そして、通常放出口 850d の上側に貯留されている遊技球の量が、仕切片 850f よりも高くなると、新たに上部球貯留通路 850c 内に進入してきた遊技球は、仕切片 850f を乗り越えて満タン放出口 850e から下方へ放出されることとなり、下部満タン球経路ユニット 860 の満タン誘導路 862 を通って下皿 202 に送られることとなる。

【0356】

このように、上部満タン球経路ユニット 850 は、払出装置 830 から払出された遊技球を、扉枠 3 における上皿 201 での遊技球の貯留量に応じて、自動的に上皿 201 から下皿 202 へ振分けることができる。

【0357】

[4-6d. 下部満タン球経路ユニット]

本実施形態における払出ユニット 800 の下部満タン球経路ユニット 860 について、図 75 乃至図 79 を参照して詳細に説明する。下部満タン球経路ユニット 860 は、払出ユニットベース 801 における上部満タン球経路ユニット 850 の下側に取付けられるものである。下部満タン球経路ユニット 860 は、上部満タン球経路ユニット 850 の通常放出口 850d から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠 3 の貫通球通路 526 へ誘導する通常誘導路 861 と、上部満タン球経路ユニット 850 の満タン放出口 850e から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠 3 の満タン球受口 530 へ誘導

する満タン誘導路 8 6 2 と、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を本体枠 4 に対する扉枠 3 の開閉に応じて開閉する誘導路開閉扉 8 6 3 と、誘導路開閉扉 8 6 3 を通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を閉鎖する方向へ付勢している閉鎖バネ 8 6 4 と、を備えている。

【0358】

また、下部満タン球経路ユニット 8 6 0 は、上部満タン球経路ユニット 8 5 0 の上部球抜き出口 8 5 0 h から放出された遊技球を前方へ誘導し前後方向の中央右端から基板ユニット 9 0 0 の基板ユニットベース 9 1 0 上へ放出する下部球抜き誘導路 8 6 5 を、備えている。

【0359】

下部満タン球経路ユニット 8 6 0 は、通常誘導路 8 6 1、満タン誘導路 8 6 2、及び下部球抜き誘導路 8 6 5 が、正面視において、左側から順に右側へ並んでいる。これら通常誘導路 8 6 1、満タン誘導路 8 6 2、及び下部球抜き誘導路 8 6 5 は、後端が上方へ向かって開口している。また、通常誘導路 8 6 1、及び満タン誘導路 8 6 2 は、左右に遊技球が複数並ぶ幅で、前端側が低くなるように本体枠 4 の前端付近まで前方へ延びている。更に、満タン誘導路 8 6 2 は、通常誘導路 8 6 1 よりも低い位置で前方へ延びている。これら通常誘導路 8 6 1、満タン誘導路 8 6 2、及び下部球抜き誘導路 8 6 5 は、図示するように、上下に分割可能な上ケース 8 6 6 及び下ケース 8 6 7 によって形成されている。

【0360】

誘導路開閉扉 8 6 3 は、下ケース 8 6 7 の前端における通常誘導路 8 6 1 と満タン誘導路 8 6 2 との間の部位に、回動可能に取付けられており、閉鎖バネ 8 6 4 によって正面視時計回りの方向へ付勢されている。更に詳述すると、下部満タン球経路ユニット 8 6 0 の前端において、正面視で通常誘導路 8 6 1 の前端開口の右側に開口している満タン誘導路 8 6 2 は、通常誘導路 8 6 1 に対して一つの遊技球の高さ分低い位置に配置されている。そして、誘導路開閉扉 8 6 3 は、通常誘導路 8 6 1 の下側で、且つ、満タン誘導路 8 6 2 の左側の位置で、前後に延びた軸周りに対して回動可能に取付けられている。

【0361】

誘導路開閉扉 8 6 3 は、回転可能に取付けられる円盤状の基部 8 6 3 a と、基部 8 6 3 a から斜め左上側に平板状に延びており通常誘導路 8 6 1 の前端開口を閉鎖可能な第一扉板部 8 6 3 b と、基部 8 6 3 a から右側に平板状に延びており満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を閉鎖可能な第二扉板部 8 6 3 c と、基部 8 6 3 a から斜め左下側に平板状に延びている延出部 8 6 3 d と、延出部 8 6 3 d の先端部前面から前方へ突出しており扉枠 3 におけるファールカバーユニット 5 2 0 の扉開閉当接部 5 3 7 と当接可能な作動突部 8 6 3 e と、を備えている。

【0362】

ここで、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を閉鎖するとは、開口を密閉する必要はなく、遊技球が通過不能となれば良いことである。作動突部 8 6 3 e は、正面視の形状が、基部 8 6 3 a を中心とした短い円弧状に形成されており、前端面が、反時計回りの方向の端部側へ近づくに従って前方へ突出するように傾斜している。

【0363】

誘導路開閉扉 8 6 3 は、閉鎖バネ 8 6 4 によって正面視時計回りの方向へ付勢されており、第二扉板部 8 6 3 c が、下カバー 8 6 7 の前端における満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の下側から前方へ突出しているボス部 8 6 7 a に当接することで、時計回りの方向への回動が規制される。

【0364】

本実施形態の下部満タン球経路ユニット 8 6 0 は、パチンコ機 1 を組立てた状態で、前端が、扉枠 3 のファールカバーユニット 5 2 0 における貫通球通路 5 2 6、満タン球受口 5 3 0、及び扉開閉当接部 5 3 7 と対向する位置に取付けられている（図 7 9 を参照）。そして、誘導路開閉扉 8 6 3 は、本体枠 4 に対して扉枠 3 が開いている状態では、作動突部 8 6 3 e に何も当接していないため、誘導路開閉扉 8 6 3 は閉鎖バネ 8 6 4 の付勢力に

10

20

30

40

50

よって、正面視時計回りの方向へ回動させられ、第二扉板部 8 6 3 c が下ケース 8 6 7 のボス部 8 6 7 a に当接した状態で停止する。この状態では、第一扉板部 8 6 3 b と第二扉板部 8 6 3 c が、通常誘導路 8 6 1 と満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の前面に位置しており、前端開口を閉鎖している（図 7 8 (a) を参照）。従って、この状態では、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 内の遊技球が、前端開口から前方へ移動することができず、扉枠 3 を開けても、通常誘導路 8 6 1 や満タン誘導路 8 6 2 から遊技球がこぼれることはない。

【0365】

そして、本体枠 4 に対して扉枠 3 を閉じると、誘導路開閉扉 8 6 3 の作動突部 8 6 3 e の前端面に、扉枠 3 におけるファールカバーユニット 5 2 0 の扉開閉当接部 5 3 7 が当接し、作動突部 8 6 3 e の前端面の傾斜によって、閉鎖パネ 8 6 4 の付勢力に抗して誘導路開閉扉 8 6 3 を正面視反時計回りの方向へ回動させようとする力が作用する。これにより、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を閉鎖していた第一扉板部 8 6 3 b と第二扉板部 8 6 3 c が、前端開口から離れる方向へ回動し、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口が開放された状態となる（図 7 8 (b) を参照）。この状態では、図示するように、第一扉板部 8 6 3 b が通常誘導路 8 6 1 の前端開口の下側に、第二扉板部 8 6 3 c が満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の上側に位置している。

【0366】

この通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を開放させた状態では、本体枠 4 に対して扉枠 3 が完全に閉じられた状態となっており、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の前側に、扉枠 3 におけるファールカバーユニット 5 2 0 の貫通球通路 5 2 6 及び満タン球受口 5 2 8 が位置しており、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 側から、貫通球通路 5 2 6 及び満タン球受口 5 2 8 側へ遊技球を受渡すことができる。

【0367】

このように、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を上下方向に異ならせると共に、誘導路開閉扉 8 6 3 を回動させることで通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を開閉させるようにしているため、誘導路開閉扉 8 6 3 の動作範囲を可及的に狭くすることができ、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の開閉機構を小型化することができる。従って、相対的に他の部材のためのスペースを広くすることができ、パチンコ機 1 の内部空間をより有効活用することができる。

【0368】

本実施形態の払出ユニット 8 0 0 は、扉枠 3 の上皿 2 0 1 が遊技球で一杯になり、上皿 2 0 1 へ遊技球を放出することができなくなった状態で、払出装置 8 3 0 から更に多くの遊技球が払出されると、下部満タン球経路ユニット 8 6 0 の通常誘導路 8 6 1 内が遊技球で一杯になるまで遊技球を貯留することができる。そして、通常誘導路 8 6 1 が遊技球で一杯になった状態で払出装置 8 3 0 から更に遊技球が払出されると、上部満タン球経路ユニット 8 5 0 の上部球貯留通路 8 5 0 c 内において、遊技球が通常放出口 8 5 0 d よりも上側に留って仕切片 8 5 0 f を超えると、満タン放出口 8 5 0 e 側へ流通するようになり、満タン放出口 8 5 0 e から、下部満タン球経路ユニット 8 6 0 の満タン誘導路 8 6 2、ファールカバーユニット 5 2 0 を通って下皿 2 0 2 へ遊技球の払出しが自動的に切換えられる。その後、払出装置 8 3 0 から更に遊技球が払出されて、上皿 2 0 1 に加えて下皿 2 0 2 も遊技球で一杯になって下皿 2 0 2 へ遊技球を供給することができなくなると、ファールカバーユニット 5 2 0 の貯留通路 5 3 3 内に遊技球が貯留される。そして、貯留通路 5 3 3 内に遊技球が貯留されることで可動片 5 3 4 が回動して満タン検知センサ 5 3 5 により検知されると、上皿 2 0 1 及び下皿 2 0 2 が遊技球で満タンであることが報知されると共に、満タン検知センサ 5 3 5 による可動片 5 3 4 の検知が解除されるまで払出装置 8 3 0 による遊技球の払出しが一時的に停止される。

【0369】

なお、満タン検知センサ 5 3 5 による可動片 5 3 4 の検知に対する払出装置 8 3 0 によ

10

20

30

40

50

る遊技球の払出しの停止を、例えば、ファールカバーユニット 5 2 0 の貯留通路 5 3 3 内に可動片 5 3 4 が検知されるまで遊技球が貯留されている状態で、その上流側の貯留通路 5 3 3、下部満タン球経路ユニット 8 6 0 の満タン誘導路 8 6 2、及び上部満タン球経路ユニット 8 5 0 の上部球貯留通路 8 5 0 c 内を満たすことが可能な数の遊技球が払出されると、払出装置 8 3 0 による遊技球の払出しを停止させるようにしても良い。これにより、従来のパチンコ機よりも多くの遊技球を貯留することができるため、大当り遊技中等の多くの遊技球が払出される遊技状態において、遊技球の払出しによって上皿 2 0 1 や下皿 2 0 2 が遊技球で一杯になることに対して気に掛ける必要を低減させることができ、遊技者を大当り遊技に専念させて楽しませることができる。

【0370】

10

[4-7. 基板ユニット]

本実施形態における本体枠 4 の基板ユニット 9 0 0 について、図 5 7 乃至図 6 0 を参照して説明する。本体枠 4 の基板ユニット 9 0 0 は、本体枠ベース 6 0 0 の後側に取付けられる基板ユニットベース 9 1 0 と、基板ユニットベース 9 1 0 の正面視左側で本体枠ベース 6 0 0 の後側に取付けられ内部に低音スピーカを有したスピーカユニット 9 2 0 と、基板ユニットベース 9 1 0 の後側で正面視右側に取付けられ内部に電源基板が収容されている電源基板ボックス 9 3 0 と、スピーカユニット 9 2 0 の後側に取付けられており内部にインターフェイス制御基板が収容されているインターフェイス制御基板ボックス 9 4 0 と、電源基板ボックス 9 3 0 及びインターフェイス制御基板ボックス 9 4 0 に跨って取付けられており内部に遊技球の払出しを制御する払出制御基板 9 5 1 が収容された払出制御基板ボックス 9 5 0 と、を備えている。

20

【0371】

払出制御基板ボックス 9 5 0 内に収容された払出制御基板 9 5 1 によって、払出装置 8 3 0 が制御されている。

【0372】

[5. 遊技盤の全体構成]

次に、パチンコ機 1 の遊技盤 5 の全体構成について、図 8 1 乃至図 8 7 を参照して詳細に説明する。図 8 1 は、遊技盤の正面図である。図 8 2 は遊技盤を右前から見た斜視図であり、図 8 3 は遊技盤を左前から見た斜視図であり、図 8 4 は遊技盤を後ろから見た斜視図である。また、図 8 5 は遊技盤を主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 8 6 は遊技盤を主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図 8 7 は、遊技盤における前構成部材及び表ユニットを遊技領域内の前後方向の略中央で切断した正面図である。

30

【0373】

本実施形態の遊技盤 5 は、遊技者がハンドルユニット 5 0 0 のハンドルレバー 5 0 4 を操作することで遊技球が打込まれる遊技領域 5 a を有している。また、遊技盤 5 は、遊技領域 5 a の外周を区画し外形が正面視略四角形状とされた前構成部材 1 0 0 0 と、前構成部材 1 0 0 0 の後側に取付けられており遊技領域 5 a の後端を区画する板状の遊技パネル 1 1 0 0 と、遊技パネル 1 1 0 0 の後側下部に取付けられている基板ホルダ 1 2 0 0 と、基板ホルダ 1 2 0 0 の後面に取付けられており遊技球を遊技領域 5 a 内へ打込むことで行われる遊技内容を制御する主制御基板 1 3 1 0 (図 1 4 2 を参照) を有している主制御ユニット 1 3 0 0 と、を備えている。遊技パネル 1 1 0 0 の前面において遊技領域 5 a 内となる部位には、遊技球と当接する複数の障害釘が所定のゲージ配列で植設されている (図示は省略)。

40

【0374】

また、遊技盤 5 は、主制御基板 1 3 1 0 からの制御信号に基づいて遊技状況を表示し前構成部材 1 0 0 0 の左下隅に遊技者側へ視認可能に取付けられている機能表示ユニット 1 4 0 0 と、遊技パネル 1 1 0 0 の後側に取付けられている周辺制御ユニット 1 5 0 0 と、正面視において遊技領域 5 a の中央に配置されており所定の演出画像を表示可能なメイン液晶表示装置 1 6 0 0 と、遊技パネル 1 1 0 0 の前面に取付けられる表ユニット 2 0 0 0

50

と、遊技パネル１１００の後面に取付けられる裏ユニット３０００と、を更に備えている。裏ユニット３０００の後面にメイン液晶表示装置１６００が取付けられていると共に、メイン液晶表示装置１６００の後面に周辺制御ユニット１５００が取付けられている。

【０３７５】

遊技パネル１１００は、外周が枠状の前構成部材１０００の内周よりもやや大きく形成されていると共に透明な平板状のパネル板１１１０と、パネル板１１１０の外周を保持しており前構成部材１０００の後側に取付けられると共に後面に裏ユニット３０００が取付けられる枠状のパネルホルダ１１２０と、を備えている。

【０３７６】

表ユニット２０００は、遊技領域５ａ内に打込まれた遊技球を受入可能に常時開口している複数の一般入賞口２００１と、複数の一般入賞口２００１とは遊技領域５ａ内の異なる位置で遊技球を受入可能に常時開口している第一始動口２００２と、遊技領域５ａ内の所定位置に取付けられており遊技球の通過を検知するゲート部２００３と、遊技球がゲート部２００３を通過することにより抽選される普通抽選結果に応じて遊技球の受入れが可能となる第二始動口２００４と、第一始動口２００２又は第二始動口２００４への遊技球の受入れにより抽選される第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果に応じて遊技球の受入れが何れかにおいて可能となる第一大入賞口２００５及び第二大入賞口２００６と、を備えている。第二大入賞口２００６は、遊技球が流通する一つの流路に配置された第二上大入賞口２００６ａと第二下大入賞口２００６ｂとの二つの大入賞口により構成されている（図８７を参照）。

【０３７７】

また、表ユニット２０００は、技領域５ａ内の左右方向中央でアウト口１１１１の直上に取付けられており第一始動口２００２及び第一大入賞口２００５を有している始動口ユニット２１００と、始動口ユニット２１００の正面視左方で内レール１００２に沿って取付けられており三つの一般入賞口２００１を有しているサイドユニット下２２００と、サイドユニット下２２００の正面視左端上方に取付けられているサイドユニット上２３００と、遊技領域５ａ内の略中央に取付けられており一つの一般入賞口２００１、ゲート部２００３、第二始動口２００４、及び第二大入賞口２００６を有している枠状のセンター役物２５００と、を備えている。

【０３７８】

裏ユニット３０００は、パネルホルダ１１２０の後面に取付けられ前方が開放されている箱状で後壁に四角い開口部３０１０ａを有している裏箱３０１０と、裏箱３０１０内の所定位置に配置されており表ユニット２０００の一般入賞口２００１に受入れられた遊技球を検知する複数の一般入賞口センサ３０１５と、裏箱３０１０の後面に取付けられておりメイン液晶表示装置１６００を着脱可能に取付けるためのロック機構３０２０と、裏箱３０１０内の正面視右端に取付けられておりセンター役物２５００の一般入賞口２００１や第二始動口２００４に受入れられた遊技球を排出するための右球通路ユニット３０３０と、裏箱３０１０内の正面視右下隅の前端付近に取付けられておりセンター役物２５００の第二大入賞口２００６や第二アウト口２５４３ｃに受入れられた遊技球を排出するための右下球通路ユニット３０３５と、を備えている。

【０３７９】

また、裏ユニット３０００は、裏箱３０１０の後面に取付けられている上中継基板３０４０と、上中継基板３０４０の後側を覆う上中継基板カバー３０４１と、裏箱３０１０の後面に回動可能に取付けられている箱状の演出駆動基板ボックス３０４２と、演出駆動基板ボックス３０４２内に収容されている演出駆動基板３０４３と、裏箱３０１０の後面に取付けられているパネル中継基板３０４４と、パネル中継基板３０４４の後側を覆うパネル中継基板カバー３０４５と、を備えている。

【０３８０】

更に、裏ユニット３０００は、裏箱３０１０内の前端で正面視左辺側の上下方向中央から上寄りに取付けられている裏左中装飾ユニット３０５０と、裏箱３０１０内における開

口部 3 0 1 0 a の下方で裏箱 3 0 1 0 の後壁付近に取付けられている裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 と、裏箱 3 0 1 0 内における開口部 3 0 1 0 a の上方で正面視左側に取付けられている裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 と、裏箱 3 0 1 0 内で開口部 3 0 1 0 a の正面視左側に取付けられている裏左可動演出ユニット 3 3 0 0 と、裏箱 3 0 1 0 内における開口部 3 0 1 0 a の上方で左右方向中央から正面視右端までにかけて取付けられている裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 と、裏箱 3 0 1 0 内における開口部 3 0 1 0 a の下方で裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の前方に取付けられている裏下前可動演出ユニット 3 5 0 0 と、を備えている。

【0381】

[5-1. 前構成部材]

次に、前構成部材 1 0 0 0 について、主に図 8 5 及び図 8 6 を参照して説明する。前構成部材 1 0 0 0 は、正面視の外形が略正方形とされ、内形が略円形状に前後方向へ貫通しており、内形の内周によって遊技領域 5 a の外周を区画している。この前構成部材 1 0 0 0 は、正面視で左右方向中央から左寄りの下端から時計回りの周方向へ沿って円弧状に延び正面視左右方向中央上端を通り過ぎて右斜め上部まで延びた外レール 1 0 0 1 と、外レール 1 0 0 1 に略沿って前構成部材 1 0 0 0 の内側に配置され正面視左右方向中央下部から正面視左斜め上部まで円弧状に延びた内レール 1 0 0 2 と、内レール 1 0 0 2 の下端の正面視右側で遊技領域 5 a の最も低くなった位置に形成されており後方へ向かって低くなるように傾斜しているアウト誘導部 1 0 0 3 と、を備えている。

【0382】

また、前構成部材 1 0 0 0 は、アウト誘導部 1 0 0 3 の正面視右端から前構成部材 1 0 0 0 の右辺付近まで右端側が僅かに高くなるように直線状に傾斜している右下レール 1 0 0 4 と、右下レール 1 0 0 4 の右端から前構成部材 1 0 0 0 の右辺に沿って外レール 1 0 0 1 の上端の下側まで延びており上部が前構成部材 1 0 0 0 の内側へ湾曲している右レール 1 0 0 5 と、右レール 1 0 0 5 の上端と外レール 1 0 0 1 の上端とを繋いでおり外レール 1 0 0 1 に沿って転動して来た遊技球が当接する衝止部 1 0 0 6 と、を備えている。

【0383】

また、前構成部材 1 0 0 0 は、内レール 1 0 0 2 の上端に回動可能に軸支され、外レール 1 0 0 1 との間を閉鎖するように内レール 1 0 0 2 の上端から上方へ延出した閉鎖位置と正面視時計回りの方向へ回動して外レール 1 0 0 1 との間を開放した開放位置との間でのみ回動可能とされると共に閉鎖位置側へ復帰するように図示しないバネによって付勢された逆流防止部材 1 0 0 7 を、備えている。

【0384】

[5-2. 遊技パネル]

次に、遊技パネル 1 1 0 0 について、主に図 8 5 及び図 8 6 を参照して説明する。遊技パネル 1 1 0 0 は、外周が枠状の前構成部材 1 0 0 0 の内周よりもやや大きく形成されていると共に透明な合成樹脂で形成されている平板状のパネル板 1 1 1 0 と、パネル板 1 1 1 0 の外周を保持しており前構成部材 1 0 0 0 の後側に取付けられると共に後面に裏ユニット 3 0 0 0 が取付けられる枠状のパネルホルダ 1 1 2 0 と、を備えている。遊技パネル 1 1 0 0 のパネル板 1 1 1 0 は、遊技領域 5 a 内において最も低い位置となる部位に前後に貫通しているアウト口 1 1 1 1 が形成されている。また、パネル板 1 1 1 0 には、前後に貫通しており表ユニット 2 0 0 0 を取付けるための開口部 1 1 1 2 が複数形成されている。

【0385】

遊技パネル 1 1 0 0 のパネルホルダ 1 1 2 0 は、パネル板 1 1 1 0 を後側から着脱可能に保持している。また、パネルホルダ 1 1 2 0 は、裏ユニット 3 0 0 0 を取付けるための取付孔と、位置決め孔とが後面に複数形成されている。

【0386】

遊技パネル 1 1 0 0 を前構成部材 1 0 0 0 の後側に取付けた状態では、前構成部材 1 0 0 0 のアウト誘導部 1 0 0 3 の後側にパネル板 1 1 1 0 のアウト口 1 1 1 1 が開口した状

10

20

30

40

50

態となる。これにより、遊技領域 5 a の下端へ流下した遊技球が、アウト誘導部 1 0 0 3 によって後側のアウト口 1 1 1 1 へ誘導され、アウト口 1 1 1 1 を通って遊技パネル 1 1 0 0 の後側へ排出される。

【0387】

[5-3. 基板ホルダ]

次に、基板ホルダ 1 2 0 0 について、図 8 2 乃至図 8 6 を参照して説明する。基板ホルダ 1 2 0 0 は、上方及び前方が開放された横長の箱状に形成されており、底面が左右方向中央へ向かって低くなるように傾斜している。この基板ホルダ 1 2 0 0 は、遊技盤 5 に組立てた状態では、遊技パネル 1 1 0 0 の後側に取付けられている裏ユニット 3 0 0 0 の下部を下側から覆うことができる。これにより、アウト口 1 1 1 1 を通って遊技パネル 1 1 0 0 の後側へ排出された遊技球、及び、表ユニット 2 0 0 0 及び裏ユニット 3 0 0 0 から下方へ排出された遊技球、を全て受けることができ、底面に形成された排出部 1 2 0 1 (図 8 5 を参照) から下方へ排出させることができる。

【0388】

[5-4. 主制御基板ユニット]

次に、主制御ユニット 1 3 0 0 について、図 8 2 乃至図 8 6、及び図 1 4 2 を参照して説明する。主制御ユニット 1 3 0 0 は、基板ホルダ 1 2 0 0 の後面に着脱可能に取付けられている。この主制御ユニット 1 3 0 0 は、遊技内容及び遊技球の払出し等を制御する主制御基板 1 3 1 0 と、主制御基板 1 3 1 0 を収容しており基板ホルダ 1 2 0 0 に取付けられる主制御基板ボックス 1 3 2 0 と、を備えている。

【0389】

主制御基板ボックス 1 3 2 0 は、複数の封印機構を備えており、一つの封印機構を用いて主制御基板ボックス 1 3 2 0 を閉じると、次に、主制御基板ボックス 1 3 2 0 を開けるためにはその封印機構を破壊する必要がある、主制御基板ボックス 1 3 2 0 の開閉の痕跡を残すことができる。従って、開閉の痕跡を見ることで、主制御基板ボックス 1 3 2 0 の不正な開閉を発見することができ、主制御基板 1 3 1 0 への不正行為に対する抑止力が高められている。

【0390】

[5-5. 機能表示ユニット]

次に、機能表示ユニット 1 4 0 0 について、図 8 1 乃至図 8 3 を参照して説明する。機能表示ユニット 1 4 0 0 は、図示するように、遊技領域 5 a の外側で前構成部材 1 0 0 0 の左下隅に取付けられている。この機能表示ユニット 1 4 0 0 は、遊技盤 5 をパチンコ機 1 に組立てた状態で、扉枠 3 の貫通口 1 1 1 を通して前方(遊技者側)から視認することができる(図 1 を参照)。この機能表示ユニット 1 4 0 0 は、主制御基板 1 3 1 0 からの制御信号に基づき複数の LED を用いて、遊技状態(遊技状況)や、普通抽選結果や特別抽選結果等を表示するものである。

【0391】

機能表示ユニット 1 4 0 0 は、詳細な図示は省略するが、遊技状態を表示する一つの LED からなる状態表示器と、ゲート部 2 0 0 3 に対する遊技球の通過により抽選される普通抽選結果を表示する二つの LED からなる普通図柄表示器と、ゲート部 2 0 0 3 に対する遊技球の通過に係る保留数を表示する二つの LED からなる普通保留表示器と、第一始動口 2 0 0 2 への遊技球の受入れにより抽選された第一特別抽選結果を表示する八つの LED からなる第一特別図柄表示器と、第一始動口 2 0 0 2 への遊技球の受入れに係る保留数を表示する二つの LED からなる第一特別保留数表示器と、第二始動口 2 0 0 4 への遊技球の受入れにより抽選された第二特別抽選結果を表示する八つの LED からなる第二特別図柄表示器と、第二始動口 2 0 0 4 への遊技球の受入れに係る保留数を表示する二つの LED からなる第二特別保留数表示器と、第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果が「当たり」等の時に、第一大入賞口 2 0 0 5 や第二大入賞口 2 0 0 6 の開閉パターンの繰返し回数(ラウンド数)を表示する二つの LED からなるラウンド表示器と、を主に備えている。

【0392】

この機能表示ユニット1400では、備えられているLEDを、適宜、点灯、消灯、及び、点滅、等させることにより、保留数や図柄等を表示することができる。

【0393】

〔5-6. 周辺制御ユニット〕

次に、周辺制御ユニット1500について、図84及び図86を参照して説明する。周辺制御ユニット1500は、裏ユニット3000の裏箱3010の後面に取付けられている。周辺制御ユニット1500は、主制御基板1310からの制御信号に基いて遊技者に提示する演出を制御する周辺制御基板1510（図142を参照）と、周辺制御基板1510を収容している周辺制御基板ボックス1520と、を備えている。周辺制御基板1510は、発光演出、サウンド演出、及び可動演出、等を制御するための周辺制御部1511と、演出画像を制御するための液晶表示制御部1512と、を備えている（図142を参照）。

10

【0394】

〔5-7. メイン液晶表示装置〕

次に、メイン液晶表示装置1600について、図81乃至図87を参照して説明する。メイン液晶表示装置1600は、正面視において遊技領域5aの中央に配置されており、遊技パネル1100の後側に裏ユニット3000の裏箱3010を介して取付けられている。詳述すると、メイン液晶表示装置1600は、裏箱3010の後壁の略中央の後面に対して、着脱可能に取付けられている。このメイン液晶表示装置1600は、遊技盤5を組立てた状態で、枠状のセンター役物2500の枠内を通して、前側（遊技者側）から視認することができる。このメイン液晶表示装置1600は、白色LEDをバックライトとしたフルカラーの表示装置であり、静止画像や動画を表示することができる。

20

【0395】

メイン液晶表示装置1600は、図85及び図86に示すように、正面視左側面から外方へ突出している二つの左固定片1601と、正面視右側面から外方へ突出している右固定片1602と、を備えている。このメイン液晶表示装置1600は、液晶画面を前方へ向けた状態で、後述する裏箱3010の枠状の液晶取付部内の正面視左内周面に開口している二つの固定溝3010cに、裏箱3010の斜め後方から二つの左固定片1601を挿入した上で、右固定片1602側を前方へ移動させて、右固定片1602をロック機構3020の開口部内に挿入し、ロック機構3020を下方へスライドさせることにより、裏箱3010に取付けられる。

30

【0396】

〔5-8. 表ユニットの全体構成〕

次に、表ユニット2000について、主に図81乃至図83、図85乃至図87を参照して説明する。遊技盤5の表ユニット2000は、遊技パネル1100のパネル板1110に、前方から取付けられており、前端がパネル板1110の前面よりも前方へ突出していると共に、後端が開口部1112を貫通してパネル板1110の後面よりも後方へ突出している。本実施形態の表ユニット2000は、遊技領域5a内に打込まれた遊技球を受入可能としており常時開口している複数の一般入賞口2001と、複数の一般入賞口2001とは遊技領域5a内の異なる位置で遊技球を受入可能に常時開口している第一始動口2002と、遊技領域5a内の所定位置に取付けられており遊技球の通過を検知するゲート部2003と、遊技球がゲート部2003を通過することにより抽選される普通抽選結果に応じて遊技球の受入れが可能となる第二始動口2004と、第一始動口2002又は第二始動口2004への遊技球の受入れにより抽選される第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果に応じて何れかにおいて遊技球の受入れが可能となる第一大入賞口2005及び第二大入賞口2006と、を備えている。

40

【0397】

複数（ここでは四つ）の一般入賞口2001は、三つが遊技領域5a内の下部に配置されており、残りの一つが遊技領域5a内における正面視右上付近に配置されている。第一

50

始動口 2002 は、遊技領域 5a 内の左右方向中央でアウト口 1111 の直上に配置されている。ゲート部 2003 は、遊技領域 5a 内における正面視右上で衝止部 1006 の略直下に配置されている。第二始動口 2004 は、ゲート部 2003 の直下から正面視右寄りに配置されている。上述した複数の一般入賞口 2001 のうち遊技領域 5a 内の正面視右上付近に配置されている一般入賞口 2001 は、第二始動口 2004 の直上に配置されている。第一大入賞口 2005 は、第一始動口 2002 とアウト口 1111 との間に配置されている。第二大入賞口 2006 は、第一始動口 2002 の正面視右方で第一大入賞口 2005 よりも上方に配置されている。

【0398】

表ユニット 2000 における第二大入賞口 2006 は、図 87 に示すように、遊技球が流通する一つの流路に沿って配置された第二上大入賞口 2006a と第二下大入賞口 2006b とにより構成されている。第二大入賞口 2006 は、第二上大入賞口 2006a が遊技領域 5a 内における正面視右下付近に配置されており、第二下大入賞口 2006b が第二上大入賞口 2006a の正面視左側で下方に配置されている。

【0399】

また、表ユニット 2000 は、技領域 5a 内の左右方向中央でアウト口 1111 の直上に取付けられており第一始動口 2002 及び第一大入賞口 2005 を有している始動口ユニット 2100 と、始動口ユニット 2100 の正面視左方で内ルール 1002 に沿って取付けられており三つの一般入賞口 2001 を有しているサイドユニット下 2200 と、サイドユニット下 2200 の正面視左端上方に取付けられているサイドユニット上 2300 と、遊技領域 5a 内の略中央に取付けられており一つの一般入賞口 2001、ゲート部 2003、第二始動口 2004、及び第二大入賞口 2006 を有している枠状のセンター役物 2500 と、を備えている。

【0400】

[5-8a. 始動口ユニット]

次に、表ユニット 2000 の始動口ユニット 2100 について、主に図 88 を参照して説明する。図 88 (a) は表ユニットにおける始動口ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は始動口ユニットを後ろから見た斜視図である。始動口ユニット 2100 は、遊技領域 5a 内において、左右方向中央の下端部付近でアウト口 1111 の直上に配置されており、パネル板 1110 に前方から取付けられている。この始動口ユニット 2100 は、第一始動口 2002 及び第一大入賞口 2005 を有している。

【0401】

始動口ユニット 2100 は、パネル板 1110 の前面に取付けられ左右に延びた矩形状で前後に貫通している第一大入賞口 2005 を有した平板状のユニットベース 2101 と、ユニットベース 2101 における第一大入賞口 2005 の上方で左右方向略中央の上部から前方へ突出しており第一始動口 2002 を形成している球受部 2102 と、ユニットベース 2101 の後側に取付けられており第一始動口 2002 に受入れられた遊技球を下方へ誘導する球誘導部 2103 と、球誘導部 2103 に取付けられており第一始動口 2002 に受入れられた遊技球を検知する第一始動口センサ 2104 と、第一大入賞口 2005 を閉鎖するようにユニットベース 2101 の後面に取付けられている第一アタッカユニット 2110 と、を備えている。

【0402】

始動口ユニット 2100 の第一アタッカユニット 2110 は、第一大入賞口 2005 を後方から閉鎖するようにユニットベース 2101 の後面に取付けられ前端が第一大入賞口 2005 と略同じ大きさで前方に開放されている箱状のユニットケース 2111 と、第一大入賞口 2005 を開閉可能にユニットケース 2111 の前端で下辺が回動可能に支持されている横長矩形状で平板状の第一大入賞口扉部材 2112 と、ユニットケース 2111 内に取付けられており第一大入賞口扉部材 2112 を開閉駆動させる第一アタッカソレノイド 2113 と、ユニットケース 2111 内に取付けられており第一大入賞口 2005 に受入れられた遊技球を検知する第一大入賞口センサ 2114 と、ユニットケース 2111

の上面に取付けられており第一始動口センサ 2 1 0 4、第一アタッカソレノイド、及び第一大入賞口センサと主制御基板 1 3 1 0 との接続を中継する始動口ユニット中継基板 2 1 1 5 と、ユニットケース 2 1 1 1 の下部に取付けられており第一大入賞口 2 0 0 5 を発光装飾させるための始動口ユニット装飾基板（図示は省略）と、を備えている。

【0403】

第一始動口 2 0 0 2 を形成している球受部 2 1 0 2 は、遊技球を一度に一つのみ受入可能な大きさで上方に向かって開口している。ユニットベース 2 1 0 1 を貫通している第一大入賞口 2 0 0 5 は、遊技球を一度に複数（例えば、4 個～6 個）受入可能な大きさで前方に向かって開口している。

【0404】

始動口ユニット 2 1 0 0 は、球受部 2 1 0 2 により形成されている第一始動口 2 0 0 2 が上方に向かって開口しており、第一始動口 2 0 0 2 に受入れられた遊技球を、球誘導部 2 1 0 3 によりユニットベース 2 1 0 1 の後側で下方へ誘導し、第一始動口センサ 2 1 0 4 に検知させた後に、第一アタッカユニット 2 1 1 0 を貫通して下方へ排出させることができる。本実施形態では、第一始動口センサ 2 1 0 4 が二つ備えられており、主制御基板 1 3 1 0 では、所定の時間範囲内で二つの第一始動口センサ 2 1 0 4 が遊技球を検知すると、第一始動口 2 0 0 2 に遊技球が受入れられたと判断するようになっている。これにより、第一始動口 2 0 0 2 への不正な工具の挿入による不正行為を検知することができる。

【0405】

始動口ユニット 2 1 0 0 では、ユニットベース 2 1 0 1 の後面に第一アタッカユニット 2 1 1 0 を取付けることにより、第一アタッカユニット 2 1 1 0 の第一大入賞口扉部材 2 1 1 2 が、ユニットベース 2 1 0 1 に開口している第一大入賞口 2 0 0 5 内に後方から挿入されて、第一大入賞口 2 0 0 5 を閉鎖している。この第一大入賞口扉部材 2 1 1 2 は、第一大入賞口 2 0 0 5 を閉鎖している直立した状態で、下辺の左右両端部がユニットケース 2 1 1 1 によって回動可能に取付けられており、上辺が前方且つ下方へ移動するように回動させることで第一大入賞口 2 0 0 5 を閉状態から開状態とすることができる。

【0406】

第一アタッカユニット 2 1 1 0 の第一大入賞口扉部材 2 1 1 2 は、通常の状態（第一アタッカソレノイド 2 1 1 3 が非通电の状態）では直立して、第一大入賞口 2 0 0 5 を閉鎖している。そして、第一アタッカソレノイド 2 1 1 3 が遊技状態に応じて通电されると、上辺が前方且つ下方へ移動するように第一大入賞口扉部材 2 1 1 2 が回動して、上辺が下辺よりもやや上方へ位置した状態となる。つまり、第一大入賞口扉部材 2 1 1 2 が、第一大入賞口 2 0 0 5 の下辺から前方へ向かって高くなるように傾斜した状態となる。

【0407】

この状態で第一大入賞口 2 0 0 5 の前方を遊技球が流下して第一大入賞口扉部材 2 1 1 2 に当接すると、第一大入賞口扉部材 2 1 1 2 の傾斜により遊技球の流通方向が下方から後方へと変化し、第一大入賞口 2 0 0 5 に受入れられてユニットケース 2 1 1 1 内に進入することとなる。そして、第一大入賞口 2 0 0 5 に受入れられた遊技球は、第一大入賞口センサ 2 1 1 4 により検知された後に、ユニットケース 2 1 1 1 の下面から下方へ排出される。

【0408】

[5-8b. サイドユニット下]

次に、表ユニット 2 0 0 0 のサイドユニット下 2 2 0 0 について、主に図 8 9 を参照して説明する。図 8 9 (a) は表ユニットにおけるサイドユニット下及びサイドユニット上を前から見た斜視図であり、(b) はサイドユニット下及びサイドユニット上を後ろから見た斜視図である。サイドユニット下 2 2 0 0 は、遊技領域 5 a 内において、始動口ユニット 2 1 0 0 の左方で内レール 1 0 0 2 に沿って円弧状に延びており、パネル板 1 1 1 0 に前方から取付けられている。サイドユニット下 2 2 0 0 は、三つの一般入賞口 2 0 0 1 を有している。

【0409】

このサイドユニット下2200は、パネル板1110の前面に取付けられ内レール1002に沿うように円弧状に延びている平板状のユニットベース2201と、ユニットベース2201の前面から前方へ突出していると共に上方及び後方が開放されており夫々が一般入賞口2001を形成している三つの球受部2202と、球受部2202の後端と連通していると共にユニットベース2201の後面から後方へ突出しており一般入賞口2001に受入れられた遊技球を後方へ誘導する樋部2203と、を備えている。

【0410】

ユニットベース2201は、正面視左方へ向かうに従って高くなるように円弧状に延びている。三つの球受部2202は、互いに左右に離間してユニットベース2201の前面から突出している。一般入賞口2001を形成している球受部2202は、遊技球を一度に一つのみ受入可能な大きさで上方に向かって開口している。

10

【0411】

サイドユニット下2200は、遊技パネル1100（パネル板1110）に取付けた状態で、正面視最も左側の一般入賞口2001が、サイドユニット上2300の右端よりも若干右方に位置している。このサイドユニット下2200は、三つの一般入賞口2001に受入れられた遊技球を、樋部2203により夫々パネル板1112の後方へ誘導することができる。そして、パネル板1112の後方に誘導された遊技球は、裏ユニット3000の裏下前可動演出ユニット3500における裏左下球誘導ユニット3505内に取付けられている一般入賞口センサ3015（図125を参照）により検知されて下方に排出される。

20

【0412】

[5-8c. サイドユニット上]

次に、表ユニット2000のサイドユニット上2300について、主に図89を参照して説明する。サイドユニット上2300は、遊技領域5a内において、サイドユニット下2200の正面視左上方で上下方向中央からやや下寄りに前方からパネル板1110に取付けられている。

【0413】

サイドユニット上2300は、パネル板1110の前面に取付けられる平板状のユニットベース2301と、ユニットベース2301の前面から前方に突出していると共に正面視右端側が低くなるように左右に延びている棚部2302と、を備えている。棚部2302は、ユニットベース2301の左端から右端まで延びている。

30

【0414】

サイドユニット上2300は、パネル板1110の前面に取付けた状態で、棚部2302の左端が内レール1002に接近しており、内レール1002に沿って流下してきた遊技球を、棚部2302により右方（遊技領域5aの左右方向中央）へ誘導させることができる。

【0415】

[5-8d. センター役物]

次に、表ユニット2000のセンター役物2500について、主に図90乃至図93を参照して説明する。図90は表ユニットのセンター役物を前から見た斜視図であり、図91は表ユニットのセンター役物を後ろから見た斜視図である。また、図92は、センター役物における右側の流路を断面で示す説明図である。更に、図93（a）はセンター役物における第二アタッカユニット付近を拡大して示す正面図であり、（b）は（a）におけるF-F線で切断した断面図である。

40

【0416】

センター役物2500は、遊技領域5a内において、始動口ユニット2100、及びサイドユニット下2200よりも上方で、正面視略中央やや上寄りに配置されており、遊技パネル1100のパネル板1110の前面に取付けられている。センター役物2500は、枠状に形成されており、枠内を通して遊技パネル1100の後方に配置されたメイン液晶表示装置1600や裏ユニット3000に備えられている演出ユニット等を前方から視

50

認することができる。センター役物 2 5 0 0 は、一つの一般入賞口 2 0 0 1、ゲート部 2 0 0 3、第二始動口 2 0 0 4、及び第二大入賞口 2 0 0 6 を有している。

【0 4 1 7】

センター役物 2 5 0 0 は、パネル板 1 1 1 2 の中央で大きく前後に貫通している開口部 1 1 1 2 の周縁に沿ってパネル板 1 1 1 0 の前面に当接する平板枠状のフランジ部 2 5 1 1 と、フランジ部 2 5 1 1 から前方へ突出しており枠内への遊技球の浸入を阻止する前周壁部 2 5 1 2 と、フランジ部 2 5 1 1 から後方へ突出して開口部 1 1 1 2 内に挿入される後周壁部 2 5 1 3 と、を有している枠状のセンターベース 2 5 1 0 を備えている。前周壁部 2 5 1 2 は、下辺の一部を除いてフランジ部 2 5 1 1 の略全周に亘って形成されている。また、前周壁部 2 5 1 2 は、上辺における左右方向中央からやや左寄りの位置が最も高くなっている。

10

【0 4 1 8】

また、センター役物 2 5 0 0 は、センターベース 2 5 1 0 の前周壁部 2 5 1 2 において正面視左辺における上下方向の略中央の外周面で遊技領域 5 a 内の遊技球が進入可能に開口しているワープ入口 2 5 2 0 と、ワープ入口 2 5 2 0 に進入した遊技球を前周壁部 2 5 1 2 内で正面視左辺の下端に誘導するワープ通路 2 5 2 1 と、ワープ通路 2 5 2 1 を流通した遊技球を放出可能とされワープ通路 2 5 2 1 の下端において後方に向かって開口しているワープ出口 2 5 2 2 (図 8 7 を参照) と、ワープ出口 2 5 2 2 から放出された遊技球をフランジ部 2 5 1 1 よりも後方且つセンターベース 2 5 1 0 の枠内で下辺に沿って左右方向の中央側へ誘導する誘導路 2 5 2 3 と、誘導路 2 5 2 3 により誘導された遊技球が正面視左端から供給可能とされていると共にセンターベース 2 5 1 0 の左右方向の中央部の枠内で下辺に沿って左右に延びており供給された遊技球を左右方向に転動させた後に遊技領域 5 a 内へ放出するステージ 2 5 3 0 と、を備えている。

20

【0 4 1 9】

ステージ 2 5 3 0 は、正面視左右両端が高く遊技領域 5 a の左右方向中央に対応する部位の左右両側が最も低くなるように湾曲しており、最も低くなっている部位の間が若干高くなるように膨出している。つまり、ステージ 2 5 3 0 は、緩い傾斜の W 形状に形成されている。ステージ 2 5 3 0 は、遊技領域 5 a の左右方向中央に対応し若干高くなっている部位の頂点に形成されており前方へ向かって低くなると共に左右に若干広がる扇状の中央誘導部 2 5 3 1 と、中央誘導部 2 5 3 1 の左右両側の最も低くなっている二つの部位に夫々形成されており前方へ向かって低くなると共に左右へ広がる扇状のサイド誘導部 2 5 3 2 と、を備えている。

30

【0 4 2 0】

このステージ 2 5 3 0 は、遊技盤 5 を組立てた状態では、遊技領域 5 a 内においてワープ入口 2 5 2 0 に進入し、ワープ通路 2 5 2 1、ワープ出口 2 5 2 2、及び誘導路 2 5 2 3 を経てステージ 2 5 3 0 に供給された遊技球が、ステージ 2 5 3 0 の中央誘導部 2 5 3 1 又はサイド誘導部 2 5 3 2 の何れかから前方へ放出されて再び遊技領域 5 a 内に戻される(還流される)。また、ステージ 2 5 3 0 は、遊技盤 5 を組立てた状態では、中央誘導部 2 5 3 1 の直下に第一始動口 2 0 0 2 が位置しており、中央誘導部 2 5 3 1 から遊技領域 5 a 内へ遊技球が放出されると、極めて高い確率で第一始動口 2 0 0 2 に受入れられる。

40

【0 4 2 1】

センター役物 2 5 0 0 は、は、図 9 2 に示すように、センターベース 2 5 1 0 の上辺における正面視右端から上下方向の略中央付近まで前周壁部 2 5 1 2 の一部が下方へ略垂直に延出している右上垂壁部 2 5 1 2 a と、右上垂壁部 2 5 1 2 a の下端から遊技盤 5 を組立てた状態で遊技領域 5 a の内周付近(前構成部材 1 0 0 0 の右レール 1 0 0 5 付近)まで右端側が若干低くなるように前周壁部 2 5 1 2 の一部が右方に延出している右上横壁部 2 5 1 2 b と、右上横壁部の右端からステージ 2 5 3 0 と略同じ高さまで前周壁部 2 5 1 2 の一部が下方に延出している右下垂壁部 2 5 1 2 c と、右下垂壁部 2 5 1 2 c の下端から左右方向中央側に向かって若干低くなるように前周壁部 2 5 1 2 の一部が左方に延出し

50

ている右下横壁部 2 5 1 2 d と、を備えている。

【0 4 2 2】

また、センター役物 2 5 0 0 は、右上垂壁部 2 5 1 2 a 及び右上横壁部 2 5 1 2 b の外周側で前構成部材 1 0 0 0 の右レール 1 0 0 5 と協働して形成し遊技球が流通可能な右上流通空間 2 5 4 1 と、右上流通空間 2 5 4 1 と連通し右下垂壁部 2 5 1 2 c の正面視右側において遊技球が下方へ流通可能な右流通路 2 5 4 2 と、右流通路 2 5 4 2 と連通し右下横壁部 2 5 1 2 d の下方に形成され遊技球が流通可能とされると共に遊技領域 5 a と連通可能な右下流通空間 2 5 4 3 と、を備えている。これら右上流通空間 2 5 4 1、右流通路 2 5 4 2、及び右下流通空間 2 5 4 3 により、遊技領域 5 a 内における右打遊技領域 2 5 4 0 を形成している。

10

【0 4 2 3】

右上流通空間 2 5 4 1 は、上下方向及び左右方向の寸法が遊技球の外径よりも十分に大きい所定広さの空間とされており、遊技球を自由な経路で流下させることができる。右流通路 2 5 4 2 は、垂直に下方に延びた下端部付近が、正面視斜め左下に延びるように折れ曲がっていると共に、左右方向の寸法が遊技球の外径よりも若干広い幅の通路とされており、上下に一系列で遊技球を流下させることができる。

【0 4 2 4】

右下流通空間 2 5 4 3 は、右流通路 2 5 4 2 の下端と連通する部位の直下から正面視左端側が低くなるように左方に延びた後に、左方に開口している第二アタッカ通路 2 5 4 3 a と、第二アタッカ通路 2 5 4 3 a の正面視右端と連通していると共に下方に延びている排出通路 2 5 4 3 b と、排出通路 2 5 4 3 b の下端において遊技球が通過可能にフランジ部 2 5 1 1 を貫通して後方に開口している第二アウト口 2 5 4 3 c と、を備えている。右下流通空間 2 5 4 3 の第二アタッカ通路 2 5 4 3 a は、上下方向の寸法が遊技球の外径の約 2 倍の高さの通路とされており、排出通路 2 5 4 3 b は、左右の寸法が遊技球の外径よりも若干広い幅の通路とされている。この右下流通空間 2 5 4 3 は、遊技盤 5 に組立てた状態で、第二アタッカ通路 2 5 4 3 a の左端（下流端）が、始動口ユニット 2 1 0 0 の正面視左方で、第一始動口 2 0 0 2 と第一大入賞口 2 0 0 5 との間の高さで左方に向かって開口しており、第二アタッカ通路 2 5 4 3 a の左端から遊技球が遊技領域 5 a 内に放出される。一方、排出通路 2 5 4 3 b に進入した遊技球は、排出通路 2 5 4 3 b の下端に開口している第二アウト口 2 5 4 3 c を通ってフランジ部 2 5 1 1（遊技パネル 1 1 0 0）の後方に送られ、遊技領域 5 a 内に戻されることなく遊技盤 5 から排出される。

20

30

【0 4 2 5】

右上流通空間 2 5 4 1 は、全体的に前方が開放されており、後方における上下方向の略下半分の部位において、右上垂壁部 2 5 1 2 a 及び右上横壁部 2 5 1 2 b の外周面の後端から延出しているフランジ部 2 5 1 1 により閉鎖されている。右流通路 2 5 4 2 は、前方が右下垂壁部 2 5 1 2 c の外周面の前端の位置から正面視右方に延出している平板状の透明な右前装飾板 2 5 4 4 により閉鎖されており、後方が右下垂壁部 2 5 1 2 c の後端から延出しているフランジ部 2 5 1 1 により閉鎖されている。右下流通空間 2 5 4 3 は、前方が右下横壁部 2 5 1 2 d の外周面の前端の位置から下方に延出している平板状の透明な右下前装飾板 2 5 4 5 により閉鎖されており、後方が右下横壁部 2 5 1 2 d の外周面の後端から延出しているフランジ部 2 5 1 1 により閉鎖されている。

40

【0 4 2 6】

センター役物 2 5 0 0 は、右流通路 2 5 4 2 及び右下流通空間 2 5 4 3 の内部に突出しており、遊技球の流通方向に対して直角方向に延びている複数の減速リブ 2 5 4 6 を備えている。右流通路 2 5 4 2 では、複数の減速リブ 2 5 4 6 が、遊技球の流通方向に対して、右前装飾板 2 5 4 4 とフランジ部 2 5 1 1 の互いに対向している面から所定間隔で交互に突出している。この右流通路 2 5 4 2 内の複数の減速リブ 2 5 4 6 は、右前装飾板 2 5 4 4 側とフランジ部 2 5 1 1 側とで、減速リブ 2 5 4 6 同士の間隔が、遊技球の外径と略同じ間隔とされている。また、右前装飾板 2 5 4 4 から突出した減速リブ 2 5 4 6 の突出端と、フランジ部 2 5 1 1 から突出した減速リブ 2 5 4 6 の突出端との間の間隔は、遊技

50

球の外径よりも狭く形成されている。これらにより、垂直に延びている右流通路 2 5 4 2 内では、遊技球が必ずジグザグに流下して、重力による加速に対して十分な減衰力を作用させることができる。

【0 4 2 7】

一方、右下流通空間 2 5 4 3 では、複数の減速リブ 2 5 4 6 が、遊技球の流通方向に対して、右下装飾板 2 5 4 5 とフランジ部 2 5 1 1 の互いに対向している面から所定間隔で交互に突出している。この右下流通空間 2 5 4 3 内の複数の減速リブ 2 5 4 6 は、右下装飾板 2 5 4 5 側とフランジ部 2 5 1 1 側とで、減速リブ 2 5 4 6 同士の間隔が、遊技球の外径よりも若干大きい間隔とされている。また、右下装飾板 2 5 4 5 から突出した減速リブ 2 5 4 6 の突出端と、フランジ部 2 5 1 1 から突出した減速リブ 2 5 4 6 の突出端との間の間隔は、遊技球の外径よりも狭く形成されている。これらにより、右下流通空間 2 5 4 3 内でも、遊技球が必ずジグザグに流下し、遊技球の流通速度を減衰させて、遊技球の流通速度が早くなり過ぎるのを防止している。

【0 4 2 8】

本実施形態では、右上流通空間 2 5 4 1 に、一つの一般入賞口 2 0 0 1 と、ゲート部 2 0 0 3 と、第二始動口 2 0 0 4 とが備えられており、右下流通空間 2 5 4 3 に、第二大入賞口 2 0 0 6 が備えられている。

【0 4 2 9】

詳述すると、ゲート部 2 0 0 3 は、右上垂壁部 2 5 1 2 a の上部後端から正面視右方に延出しているフランジ部 2 5 1 1 の前面から前方に突出するように備えられており、遊技球が一つのみ上下方向に通過可能に形成されている。このゲート部 2 0 0 3 には、遊技球の通過を検知するゲートセンサ 2 5 4 7 が取付けられている。このゲート部 2 0 0 3 は、遊技盤 5 を組立てた状態で、前構成部材 1 0 0 0 の衝止部 1 0 0 6 の直下に対して正面視やや左寄りに配置されている。

【0 4 3 0】

センター役物 2 5 0 0 の一般入賞口 2 0 0 1 及び第二始動口 2 0 0 4 は、ゲート部 2 0 0 3 の下方で、右上流通空間 2 5 4 1 の後方の略下半分を閉鎖しているフランジ部 2 5 1 1 の前面から前方に突出するように備えられている。詳述すると、センター役物 2 5 0 0 は、当該フランジ部 2 5 1 1 の前面から前方に突出し、上端において一般入賞口 2 0 0 1 が上方及び後方が開放された容器状に形成されていると共に、一般入賞口 2 0 0 1 の直下で正面視左側面において第二始動口 2 0 0 4 が左方に向かって開口するように形成されている球受部材 2 5 4 8 と、球受部材 2 5 4 8 とフランジ部 2 5 1 1 とによって下端が前後に延びた軸周りに回転可能に取付けられており第二始動口 2 0 0 4 を開閉可能に閉鎖している第二始動口扉部材 2 5 4 9 と、フランジ部 2 5 1 1 の後面に取付けられており第二始動口扉部材 2 5 4 9 を開閉駆動させる始動口ソレノイド 2 5 5 0 (図 1 4 2 を参照) と、第二始動口 2 0 0 4 に受入れられた遊技球を検知する第二始動口センサ 2 5 5 1 と、を備えている。

【0 4 3 1】

センター役物 2 5 0 0 の一般入賞口 2 0 0 1 は、ゲート部 2 0 0 3 の直下に対して正面視右方で上方に向かって遊技球を一つのみ受入可能な大きさで開口している。この一般入賞口 2 0 0 1 に受入れられた遊技球は、フランジ部 2 5 1 1 よりも後方に誘導された後にセンター役物 2 5 0 0 から正面視右方へ排出される。

【0 4 3 2】

第二始動口 2 0 0 4 は、一般入賞口 2 0 0 1 の直下で正面視左方に向かって開口しており、第二始動口扉部材 2 5 4 9 が正面視反時計回りに回転することで、左方に開放されて遊技球の受入れが可能となる。第二始動口扉部材 2 5 4 9 は、正面視の外形状が、下部を構成している基端円と、その基端円よりも外側の一点からその基端円に接するように延びた二つの辺とで構成されているような所謂「流滴状」に形成されており、基端円の中心において回転可能に取付けられている。

【0 4 3 3】

第二始動口 2004 は、通常の状態では、始動口ソレノイド 2550 が非通電となっており、第二始動口扉部材 2549 が、先端側が基端円の略直上に位置した直立した状態となっており、第二始動口扉部材 2549 により遊技球が受入れられないように閉鎖されている。そして、ゲート部 2003 を遊技球が通過することで抽選された普通抽選結果に応じて始動口ソレノイド 2550 が通電されると、第二始動口扉部材 2549 の先端側が正面視左方に移動するように、第二始動口扉部材 2549 が回動し、先端側が若干高い状態で回動停止する。これにより、第二始動口 2004 が開いた状態となり、遊技球の受入れが可能な状態となる。なお、第二始動口扉部材 2549 が回動して開いた状態では、第二始動口扉部材 2549 の先端が、ゲート部 2003 の中心を通る垂直線と略一致した状態となる。

10

【0434】

第二始動口 2004 に受入れられた遊技球は、フランジ部 2511 の後方に誘導された後に、第二始動口センサ 2551 に検知されて、下方に排出される。

【0435】

第二大入賞口 2006 は、右下流通空間 2543 における第二アタッカ通路 2543a の底面において、上方に向かって開口するように配置されている。詳述すると、第二大入賞口 2006 を構成している第二上大入賞口 2006a が、第二アタッカ通路 2543a 内における正面視右端において上方に向かって開口しており、同じく第二大入賞口 2006 を構成している第二下大入賞口 2006b が、第二アタッカ通路 2543a 内における第二上大入賞口 2006a の正面視左方且つ下方において上方に向かって開口している。第二上大入賞口 2006a 及び第二下大入賞口 2006b は、左右の幅が、遊技球の外径の 3 倍～4 倍の範囲内に形成されている。

20

【0436】

センター役物 2500 は、上方に向かって開口している第二上大入賞口 2006a を開閉可能とするようにセンターベース 2510 により前後方向にスライド可能に支持されていると共に前端がフランジ部 2511 の前面よりも前方に突出して第二上大入賞口 2006a を閉鎖しており正面視左端側が低くなるように傾斜した平板状の第二上大入賞口扉部材 2552 と、センターベース 2510 の後面に取付けられており第二上大入賞口扉部材 2552 を開閉駆動させる第二上アタッカソレノイド 2553 と、第二上大入賞口 2006a に受入れられた遊技球を検知する第二上大入賞口センサ 2554 (図 142 を参照) と、上方に向かって開口している第二下大入賞口 2006b を開閉可能とするようにセンターベース 2510 により前後方向にスライド可能に支持されていると共に前端がフランジ部 2511 の前面よりも前方に突出して第二下大入賞口 2006b を閉鎖しており正面視左端側が低くなるように傾斜した平板状の第二下大入賞口扉部材 2555 と、センターベース 2510 の後面に取付けられており第二下大入賞口扉部材 2555 を開閉駆動させる第二下アタッカソレノイド 2556 と、第二下大入賞口 2006b に受入れられた遊技球を検知する第二下大入賞口センサ 2557 (図 142 を参照) と、を備えている。

30

【0437】

また、センター役物 2500 は、第二上大入賞口 2006a と第二下大入賞口 2006b との間に跨って左右方向に延びていると共にフランジ部 2511 の前面から前方に延出しており、正面視左端側が低くなるように傾斜し第二アタッカ通路 2543a の底面の一部を形成している平板状の渡板部 2558 と、フランジ部 2511 の前面から前方に延出していると共に第二下大入賞口 2006b の正面視左端から第二アタッカ通路 2543a の左端まで左端側が低くなるように左右方向に延びており第二アタッカ通路 2543a の底面の一部を形成している平板状の放出板部 2559 と、を備えている。渡板部 2558 は、左右方向の長さが、遊技球の外径の 2 倍～3 倍の範囲内に形成されている。放出板部 2559 は、左右の長さが、遊技球の外径の 3 倍～4 倍の範囲内に形成されている。

40

【0438】

第二アタッカ通路 2543a 内では、複数の減速リブ 2546 が上下に延びており、右下装飾版 2545 及びフランジ部 2511 の夫々の側では、遊技球の外径よりも若干広い

50

間隔で左右方向に列設されている。この第二アタッカ通路 2 5 4 3 a 内には、図 9 3 に示すように、遊技球の流れの上流側から、第一減速リブ 2 5 4 6 a、第二減速リブ 2 5 4 6 b、第三減速リブ 2 5 4 6 c、第四減速リブ 2 5 4 6 d、第五減速リブ 2 5 4 6 e、第六減速リブ 2 5 4 6 f、第七減速リブ 2 5 4 6 g、第八減速リブ 2 5 4 6 h、第九減速リブ 2 5 4 6 i、及び第十減速リブ 2 5 4 6 j、の十個の減速リブ 2 5 4 6 が備えられており、奇数番の減速リブ 2 5 4 6 がフランジ部 2 5 1 1 の前面に備えられていると共に、偶数番の減速リブ 2 5 4 6 が右下装飾板 2 5 4 5 の後面に備えられている。

【0 4 3 9】

更に、これら第一減速リブ 2 5 4 6 a～第十減速リブ 2 5 4 6 j と、第二上大入賞口 2 0 0 6 a 及び第二下大入賞口 2 0 0 6 b との位置関係について詳述する。第一減速リブ 2 5 4 6 a は、第二上大入賞口 2 0 0 6 a の正面視左端のやや右寄りに配置されている。第二減速リブ 2 5 4 6 b は、第二上大入賞口 2 0 0 6 a の正面視左端の左側で渡板部 2 5 5 8 の右端付近に配置されている。第三減速リブ 2 5 4 6 c は、渡板部 2 5 5 8 の左右方向略中央に配置されている。第四減速リブ 2 5 4 6 d は、第二下大入賞口 2 0 0 6 b の正面視右端の右側で渡板部 2 5 5 8 の左端付近に配置されている。第五減速リブ 2 5 4 6 e は、第二下大入賞口 2 0 0 6 の正面視右端の左側に配置されている。第六減速リブ 2 5 4 6 f は、第二下大入賞口 2 0 0 6 b の左右方向中央の正面視右寄りに配置されている。第七減速リブ 2 5 4 6 g は、第二下大入賞口 2 0 0 6 b の左右方向中央の正面視左寄りに配置されている。第八減速リブ 2 5 4 6 h は、第二下大入賞口 2 0 0 6 b の正面視左端よりも右寄りに配置されている。第九減速リブ 2 5 4 6 i は、第二下大入賞口 2 0 0 6 b の正面視左端から放出板部 2 5 5 9 の右端付近にかけて配置されている。第十減速リブ 2 5 4 6 j は、放出板部 2 5 5 9 の左右方向略中央に配置されている。

【0 4 4 0】

第一減速リブ 2 5 4 6 a～第十減速リブ 2 5 4 6 j のうち、フランジ部 2 5 1 1 の前面には、第一減速リブ 2 5 4 6 a～第九減速リブ 2 5 4 6 i までの奇数番の減速リブ 2 5 4 6 が備えられており、それら奇数番の減速リブ 2 5 4 6 は、第二アタッカ通路 2 5 4 3 a の底面から天井（右下横壁部 2 5 1 2 d）までの全高に亘って延びている。また、第一減速リブ 2 5 4 6 a～第十減速リブ 2 5 4 6 j のうち、右下装飾板 2 5 4 5 の後面には、第二減速リブ 2 5 4 6 b～第十減速リブ 2 5 4 6 j までの偶数番の減速リブ 2 5 4 6 が備えられており、それら偶数番の減速リブ 2 5 4 6 は、第二アタッカ通路 2 5 4 3 a の底面よりも上方の部位から天井付近まで延びている（図 9 3（a）を参照）。

【0 4 4 1】

右下装飾板 2 5 4 5 の後面に備えられている偶数番の減速リブ 2 5 4 6 のうち、第二上大入賞口 2 0 0 6 a 及び第二下大入賞口 2 0 0 6 b の夫々正面視左端に最も近い第二減速リブ 2 5 4 6 b 及び第八減速リブ 2 5 4 6 h は、図 9 3（a）に示すように、下端が第二アタッカ通路 2 5 4 3 a の底面（第二上大入賞口扉部材 2 5 5 2 の上面、及び、第二下大入賞口扉部材 2 5 5 5 の上面）から上方に、他の減速リブ 2 5 4 6 の下端よりも大きく離間している。詳述すると、第二減速リブ 2 5 4 6 b 及び第八減速リブ 2 5 4 6 h の下端は、第二上大入賞口 2 0 0 6 a 及び第二下大入賞口 2 0 0 6 b の正面視左端部から夫々遊技球の略外径と同じ距離、離間するように形成されている。

【0 4 4 2】

これにより、第二上大入賞口 2 0 0 6 a 又は第二下大入賞口 2 0 0 6 b が遊技球を受入可能な開状態から、受入不能な閉状態へ移行する際に、前方へスライドする第二上大入賞口扉部材 2 5 5 2 又は第二下大入賞口扉部材 2 5 5 5 の前端と、第二上大入賞口 2 0 0 6 a の正面視左端部又は第二下大入賞口 2 0 0 6 b の正面視左端部と、第二減速リブ 2 5 4 6 b の下端又は第八減速リブ 2 5 4 6 h の下端と、の間に遊技球が挟まれる球詰り（球噛み）の発生を防止することができる。

【0 4 4 3】

なお、第二上大入賞口扉部材 2 5 5 2 や第二下大入賞口扉部材 2 5 5 5 が前方へ突出して第二上大入賞口 2 0 0 6 a や第二下大入賞口 2 0 0 6 b を閉鎖している状態では、第二

10

20

30

40

50

上大入賞口 2006a や第二下大入賞口 2006b の左端部及び右端部の上面に第二上大入賞口扉部材 2552 や第二下大入賞口扉部材 2555 が載置されている状態となるため、第二上大入賞口扉部材 2552 や第二下大入賞口扉部材 2555 の上面と第二減速リブ 2546b や第八減速リブ 2546h の下端との間の隙間が、遊技球の外径よりも狭くなり、第二上大入賞口扉部材 2552 や第二下大入賞口扉部材 2555 の上面を流通（転動）している遊技球が、第二減速リブ 2546b や第八減速リブ 2546h に必ず当接し、十分な減衰効果が維持される。

【0444】

センター役物 2500 は、遊技盤 5 に組立てた状態で、前周壁部 2512 の上辺の左右方向略中央から正面視右側の部位と、遊技領域 5a の内周面（前構成部材 1000 の外レール 1001）との間に、遊技球が一つのみ流通可能な幅の空間が形成される。従って、遊技球が外レール 1001 に沿ってセンター役物 2500 の上部における左右方向中央よりも正面視右方に打込まれるように打込む（所謂、右打ちする）と、遊技領域 5a 内におけるセンター役物 2500 の正面視右側の右打遊技領域 2540 内に遊技球を流通させることができる。

【0445】

また、遊技盤 5 に組立てた状態では、遊技領域 5a 内におけるセンター役物 2500 の左方と下方、及び右打遊技領域 2540 の右上流通空間 2541 内に、図示しない複数の障害釘が植設されている。従って、遊技領域 5a 内に打込まれた遊技球が、複数の障害釘に当接することにより、様々な経路を通過して下方に流通する。

【0446】

[5-9. 裏ユニットの全体構成]

次に、遊技盤 5 における裏ユニット 3000 の全体構成について、主に図 94 乃至図 97 を参照して詳細に説明する。図 94 は裏ユニットを前から見た斜視図であり、図 95 は裏ユニットを後ろから見た斜視図である。図 96 は裏ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 97 は裏ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。図 98 (a) は遊技盤における裏箱等を前から見た斜視図であり、(b) は裏箱等を後ろから見た斜視図である。

【0447】

裏ユニット 3000 は、遊技パネル 1100 におけるパネルホルダ 1120 の後面に取付けられている。また、裏ユニット 3000 の後側にメイン液晶表示装置 1600 及び周辺制御ユニット 1500 が取付けられている。

【0448】

裏ユニット 3000 は、パネルホルダ 1120 の後面に取付けられ前方が開放されている箱状で後壁に四角い開口部 3010a を有している裏箱 3010 と、裏箱 3010 内の所定位置に配置されており表ユニット 2000 の一般入賞口 2001 に受入れられた遊技球を検知する複数の一般入賞口センサ 3015 と、裏箱 3010 の後面に取付けられておりメイン液晶表示装置 1600 を着脱可能に取付けるためのロック機構 3020 と、裏箱 3010 内の正面視右端に取付けられておりセンター役物 2500 の一般入賞口 2001 や第二始動口 2004 に受入れられた遊技球を排出するための右球通路ユニット 3030 と、裏箱 3010 内の正面視右下隅の前端付近に取付けられておりセンター役物 2500 の第二大入賞口 2006 や第二アウト口 2543c に受入れられた遊技球を排出するための右下球通路ユニット 3035 と、を備えている。

【0449】

複数の一般入賞口センサ 3015 のうちの 하나가、右球通路ユニット 3030 に取付けられている。右球通路ユニット 3030 は、センター役物 2500 の一般入賞口 2001 や第二始動口 2004 に受入れられた遊技球を、裏箱 3010 内の底部に誘導してから、その底部に沿って左右方向中央付近に誘導した後に、裏箱 3010 の前端に誘導して、裏箱 3010 の前端から基板ホルダ 1200 の排出部 1201 上へ落下させて排出する。右下球通路ユニット 3035 は、センター役物 2500 の第二大入賞口 2006 や第二アウト

ト口2543cに受入れられた遊技球を、裏箱3010内の底部に沿って正面視左方に誘導し、裏箱3010の左右方向中央付近から基板ホルダ1200の排出部1201上へ放出して排出する。

【0450】

また、裏ユニット3000は、裏箱3010の後面で開口部3010aの上方で背面視左側に取り付けられており周辺制御基板1510と接続されている演出駆動基板3043と裏上左可動演出ユニット3200の裏左上装飾基板3253との接続を中継する上中継基板3040と、上中継基板3040の後側を覆うように裏箱3010の後面に取り付けられている上中継基板カバー3041と、裏箱3010の後面で開口部3010aの下辺に沿って左右に延びた軸周りに回動可能に取り付けられている箱状の演出駆動基板ボックス3042と、演出駆動基板ボックス3042内に収容されており周辺制御基板1510からの制御コマンドに基づいて各駆動モータや装飾基板等を駆動する演出駆動基板3043と、裏箱3010の後面で背面視右下隅に取り付けられており主制御基板1310と各入賞口センサや各ソレノイド等との接続を中継しているパネル中継基板3044と、パネル中継基板3044の後側を覆うように裏箱3010の後面に取り付けられているパネル中継基板カバー3045と、を備えている。

10

【0451】

更に、裏ユニット3000は、裏箱3010内の前端で正面視左辺側の上下方向中央から上寄りに取り付けられている裏左中装飾ユニット3050と、裏箱3010内における開口部3010aの下方で裏箱3010の後壁付近に取り付けられている裏下後可動演出ユニット3100と、裏箱3010内における開口部3010aの上方で正面視左側に取り付けられている裏上左可動演出ユニット3200と、裏箱3010内で開口部3010aの正面視左側に取り付けられている裏左可動演出ユニット3300と、裏箱3010内における開口部3010aの上方で左右方向中央から正面視右端までにかけて取り付けられている裏上中可動演出ユニット3400と、裏箱3010内における開口部3010aの下方で裏下後可動演出ユニット3100の前方に取り付けられている裏下前可動演出ユニット3500と、を備えている。

20

【0452】

[5-9a. 裏箱]

次に、裏ユニット3000の裏箱3010について、主に図98等を参照して詳細に説明する。裏箱3010は、前方が開放されている箱状で後壁に四角く貫通している開口部3010aと、開口部3010aの周縁から間隔を開けて後方へ突出している平板枠状の液晶取付部3010bと、液晶取付部3010bにおける背面視左辺において枠内の内側から外方へ向かって窪んでおりメイン液晶表示装置1600の左固定片1601が挿入される二つの固定溝3010cと、液晶取付部3010bの背面視右辺の上下方向中央において後端から裏箱3010の後壁まで切欠かれロック機構3020が取り付けられる切欠部3010dと、を備えている。

30

【0453】

開口部3010aは、メイン液晶表示装置1600の表示画面と略同じ大きさに形成されている。また、液晶取付部3010bは、枠内にメイン液晶表示装置1600を嵌め込むことが可能な大きさに形成されている。裏箱3010は、後面における切欠部3010dの背面視左側にロック機構3020が上下にスライド可能に取り付けられる。

40

【0454】

また、裏箱3010は、前端から外方へ延出している平板状の固定片部3010eを備えている。この固定片部3010eは、前面が遊技パネル1100のパネルホルダ1120の後面に当接した状態で、パネルホルダ1120に取り付けられる。

【0455】

また、裏箱3010は、詳細な説明は省略するが、各可動演出ユニット等を取付けるためのボスや取付孔等が適宜位置に形成されている。

【0456】

50

〔５－９ｂ．裏左中装飾ユニット〕

次に、裏ユニット３０００の裏左中装飾ユニット３０５０について、主に図９６及び図９７等を参照して詳細に説明する。裏左中装飾ユニット３０５０は、裏箱３０１０内における正面視左側で上下方向中央から上寄りで前端付近に取付けられている。裏左中装飾ユニット３０５０は、裏箱３０１０に取付けられる透光性を有したユニットベース３０５１と、ユニットベース３０５１の前面に取付けられ麻雀の「中牌」を立体的に模した装飾が形成されている透光性を有する裏左中装飾体３０５２と、裏左中装飾体３０５２とユニットベース３０５１との間に取付けられており前面に複数のＬＥＤが実装されている裏左中装飾基板３０５３と、を備えている。

【０４５７】

この裏左中装飾ユニット３０５０は、裏左中装飾基板３０５３のＬＥＤを適宜発光させることで、裏左中装飾体３０５２を発光装飾させることができる。

【０４５８】

〔５－９ｃ．裏下後可動演出ユニット〕

次に、裏ユニット３０００の裏下後可動演出ユニット３１００について、主に図９９乃至図１０５を参照して詳細に説明する。図９９（ａ）は裏ユニットの裏下後可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、（ｂ）は裏下後可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図１００（ａ）は裏下後可動演出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、（ｂ）は裏下後可動演出ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。図１０１は裏下後可動演出ユニットの回転駆動ユニットを分解して裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体と共に前から見た分解斜視図であり、図１０２は回転駆動ユニットを分解して裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体と共に後ろから見た分解斜視図である。図１０３は、裏下後可動演出ユニットの駆動系を正面から示す説明図である。図１０４（ａ）は通常の状態における裏下後可動演出ユニットの正面図であり、（ｂ）は通常の状態から裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を一緒に回転させて裏下後第二装飾体の第二装飾面を正面に向けた状態の正面図であり、（ｃ）は（ｂ）の状態から裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を正面視左側の移動端まで移動させた状態の正面図である。また、図１０５（ｄ）は図１０４（ｃ）の状態から裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を一緒に回転させて裏下後第一装飾体の第一装飾面を正面に向けた状態の正面図であり、（ｅ）は（ｄ）の状態から裏下後第一装飾体を回転させて裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体とを開いて裏下後第一装飾体の第二装飾面と裏下後第二装飾体の第二装飾面とを正面に向けた状態の正面図である。

【０４５９】

裏下後可動演出ユニット３１００は、裏箱３０１０内において開口部３０１０ａの下方で後壁の前面に取付けられる。この裏下後可動演出ユニット３１００は、上下に延びている一つの側辺において上下に延びている軸線に対して同軸上でヒンジ回転可能に支持される裏下後第一装飾体３１１０及び裏下後第二装飾体３１２０と、裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体をヒンジ回転可能に取付けていると共に夫々を別々に回転駆動可能な回転駆動ユニット３１３０と、回転駆動ユニット３１３０を左右方向にスライド可能に取付けており裏箱３０１０内に取付けられるスライドユニット３１５０と、スライドユニット３１５０の前面に取付けられている裏下後固定装飾体３１６０と、を備えている。

【０４６０】

裏下後第一装飾体３１１０は、互いに背向して配置され互いに異なる装飾が形成されており透光性を有している第一装飾面３１１１及び第二装飾面３１１２と、第一装飾面３１１１と第二装飾面３１１２とを互いに背向するように支持しており厚さの薄い直方体状の第一装飾体本体３１１３と、第一装飾体本体３１１３内に取付けられており表示画面が第一装飾面３１１１から外方に臨んでいるサブ液晶表示装置３１１４と、直方体状の第一装飾体本体３１１３における上下に延びている四つの辺のうちの第二装飾面３１１２と接する辺から外方に突出しており上下に延びた軸線周りに対して回転するように支持可能とされた二つの第一ヒンジ部３１１５と、サブ液晶表示装置３１１４と第二装飾面３１１２と

10

20

30

40

50

の間で第一装飾体本体 3 1 1 3 内に取付けられており両面に複数の L E D が実装されている裏下後第一装飾基板（図示は省略）と、を備えている。

【0 4 6 1】

裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 は、枠状に形成されており、その枠内からサブ液晶表示装置 3 1 1 4 の表示画面が前方に臨んでいる。裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第二装飾面 3 1 1 2 は、「聖」の文字の左半部が施された装飾が形成されている。サブ液晶表示装置 3 1 1 4 は、周辺制御基板 1 5 1 0 の液晶表示制御部 1 5 1 2 により所定の演出画像（演出動画）を表示させることができる。

【0 4 6 2】

二つの第一ヒンジ部 3 1 1 5 は、上下に離間しており同軸上に取付けられている。これら第一ヒンジ部 3 1 1 5 は、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二ヒンジ部 3 1 2 4 によりヒンジ回転可能に支持される。裏下後第一装飾基板は、両面の L E D を適宜発光させることで、第一装飾面 3 1 1 1 や第二装飾面 3 1 1 2 を発光装飾させることができる。

【0 4 6 3】

裏下後第二装飾体 3 1 2 0 は、互いに背向して配置され互いに異なる装飾が形成されており透光性を有している第一装飾面 3 1 2 1 及び第二装飾面 3 1 2 2 と、第一装飾面 3 1 2 1 と第二装飾面 3 1 2 2 とを互いに背向するように支持しており厚さの薄い直方体状の第二装飾体本体 3 1 2 3 と、直方体状の第二装飾体本体 3 1 2 3 における上下に延びている四つの辺のうちの第二装飾面 3 1 2 2 と接する辺から外方に突出しており裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の二つの第一ヒンジ部 3 1 1 5 を上下に延びた軸線周りに対して回転するように支持可能とし上下に離間している三つの第二ヒンジ部 3 1 2 4 と、三つの第二ヒンジ部 3 1 2 4 のうちの最も下側の第二ヒンジ部 3 1 2 4 の下端から円筒状に下方へ突出している装飾体支持軸 3 1 2 5 と、装飾体支持軸 3 1 2 5 の下端外周に取付けられている第二装飾体側作動ギア 3 1 2 6 と、装飾体支持軸 3 1 2 5 の下端下面に取付けられている軸受部材 3 1 2 7 と、装飾体支持軸 3 1 2 5 の外周面から外方に延出している第二検知片 3 1 2 8 と、第一装飾面 3 1 2 1 と第二装飾面 3 1 1 2 との間で第二装飾体本体 3 1 2 3 内に取付けられており両面に複数の L E D が実装されている裏下後第二装飾基板（図示は省略）と、を備えている。

【0 4 6 4】

裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第一装飾面 3 1 2 1 は、縦書きの「天運」の文字が施された装飾が形成されている。裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 2 2 は、「聖」の文字の右半分が施された装飾が形成されている。裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾体本体 3 1 2 3 は、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾体本体 3 1 1 3 と略梁次大きさに形成されている。つまり、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 及び第二装飾面 3 1 1 2 と、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第一装飾面 3 1 2 1 及び第二装飾面 3 1 2 2 とは、外形寸法が略同じ大きさに形成されている。

【0 4 6 5】

裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の三つの第二ヒンジ部 3 1 2 4 は、夫々上下に離間していると共に同軸上に取付けられており、第二ヒンジ部 3 1 2 4 同士の間で裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一ヒンジ部 3 1 1 5 が位置して互いがヒンジ回転可能に取付けられる。これにより、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とは、ヒンジ回転により、互いに第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 1 同士が対面する閉じた状態と、互いの第一装飾面 3 1 1 1, 3 1 2 1 及び第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 が略同一面上となる開いた状態との間で回転（ヒンジ回転）することができる。そして、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを開いた状態では、互いに第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 が第一ヒンジ部 3 1 1 5 及び第二ヒンジ部 3 1 2 4 を挟んで左右に並んだ状態となり、夫々の装飾が一体化して「聖」の文字が現れるようになる。なお、第一ヒンジ部 3 1 1 5 及び第二ヒンジ部 3 1 2 4 には、詳細な図示は省略するが、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 における夫々の第一装飾面 3 1 1 1, 3 1 2 1 及び第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 に施された装飾と対応している装飾が施されており、裏下後第一装飾体 3 1 1

0と裏下後第二装飾体3120とを開いた時に、第一ヒンジ部3115及び第二ヒンジ部3124を目立ち難くしている。

【0466】

装飾体支持軸3125は、上端部に裏下後第一装飾体3110を裏下後第二装飾体3120とは独立してヒンジ回転させるための回転駆動ユニット3130の回転伝達部材3132が回転可能に挿入される。装飾体支持軸3125は、上端の回転伝達部材3132と下端の軸受部材3127とが、回転駆動ユニット3130における回転駆動ユニットベース3131の上軸受部3131cと下軸受部3131dにより支持される。この装飾体支持軸3125は、第一装飾面3111、3121及び第二装飾面3112、3122の高さに対して、75%～95%の長さ（高さ）に形成されている。更に、詳しくは、80%～90%の長さ（高さ）に形成されている。これにより、サブ液晶表示装置3114を備えることで重量の大きい裏下後第一装飾体3110等を、上下に延びた一方の辺側で偏芯させてヒンジ回転可能としても、裏下後第一装飾体3110等（装飾体支持軸3125）を倒れ難くすることができる。

10

【0467】

第二装飾体側作動ギア3126は、図102に示すように、外周上に一か所にギア歯よりも突出したストッパ3126aを有しており、一回転させることができないようになっている。裏下後第二装飾体3120の裏下後第二装飾基板は、両面のLEDを適宜発光させることで、第一装飾面3121や第二装飾面3122を発光装飾させることができる。

【0468】

20

裏下後可動演出ユニット3100の回転駆動ユニット3130は、前側が開放された箱状で装飾体支持軸3125を回転可能に支持すると共にスライドユニット3150に左右方向にスライド可能に取付けられる回転駆動ユニットベース3131と、回転駆動ユニットベース3131に回転可能に支持されると共に装飾体支持軸3125の上端部の外周に回転可能に取付けられる円筒状のスリーブ部3132a、スリーブ部3132aの上端から上方に突出し裏下後第一装飾体3110の下部に取付けられる連結部3132b、スリーブ部3132aの下端部外周において半周に亘って形成されている第一装飾体側作動ギア3132c、及び第一装飾体側作動ギア3132cの一方の終端から外方に延出している第一検知片3132dを有している回転伝達部材3132と、を備えている。

【0469】

30

また、回転駆動ユニット3130は、回転伝達部材3132の第一装飾体側作動ギア3132cと噛合する平歯車状の第一駆動ギア3133と、第一駆動ギア3133を回転駆動させる裏下後第一駆動モータ3134と、裏下後第一駆動モータ3134が取付けられると共に回転駆動ユニットベース3131内に取付けられる第一駆動モータブラケット3135と、裏下後第二装飾体3120の第二装飾体側作動ギア3126と噛合する平歯車状の第二駆動ギア3136と、第二駆動ギア3136を回転駆動させる裏下後第二駆動モータ3137と、裏下後第二駆動モータ3137が取付けられると共に回転駆動ユニットベース3131内に取付けられる第二駆動モータブラケット3138と、を備えている。

【0470】

40

更に、回転駆動ユニット3130は、第二駆動モータブラケット3138に取付けられており回転伝達部材3132の第一検知片3132dを検知可能な第一回転検知センサ3139と、第一回転検知センサ3139の下側で第二駆動モータブラケット3138に取付けられており裏下後第二装飾体3120の第二検知片3128を検知可能な第二回転検知センサ3140と、を備えている。

【0471】

また、回転駆動ユニット3130は、回転駆動ユニットベース3131内に取付けられておりサブ液晶表示装置3114、裏下後第一装飾基板、裏下後第二装飾基板、裏下後第一駆動モータ3134、裏下後第二駆動モータ3137、第一回転検知センサ3139、及び第二回転検知センサ3140と、スライドユニット3150の裏下後中継基板3158との接続を中継している回転駆動ユニット中継基板3141を、更に備えている。

50

【0472】

また、回転駆動ユニット3130は、回転駆動ユニットベース3131の前面を閉鎖している平板状のユニットカバー3142と、回転駆動ユニットベース3131の下面に取付けられており左右に長く延びたラックギア3143a、及びラックギア3143aの正面視右端に形成された平板状の検知片3143bを有したラック部材3143と、を備えている。

【0473】

回転駆動ユニット3130の回転駆動ユニットベース3131は、横長の直方体状で装飾体支持軸3125や、裏下後第一駆動モータ3134及び裏下後第二駆動モータ3137等が収容される主部3131aと、主部3131aの略半分の高さの略立方体状で主部3131aの正面視左側に配置され回転駆動ユニット中継基板3141が収容される副部3131bと、を備えている。回転駆動ユニットベース3131の主部3131aと副部3131bは、互いの底面が揃えられた状態で連通している。

【0474】

また、回転駆動ユニットベース3131は、主部3131aの天板部及び底板部に、前端側が開放され後方に向かって切欠かれているU字状の上軸受部3131c及び下軸受部3131dを備えている。上軸受部3131cは、上下に貫通しており、回転伝達部材3132のスリーブ部3132aが回転可能に挿入される。一方、下軸受部3131dは、上方から下方に窪んで上下に貫通しておらず、裏下後第二装飾体3120の軸受部材3127が挿入される。上軸受部3131c及び下軸受部3131dの開放されている前端側は、ユニットカバー3142により閉鎖される。

【0475】

裏下後第一駆動モータ3134は、第一駆動モータブラケット3135を介して、装飾体支持軸3125の正面視右方の位置で、回転駆動ユニットベース3131内に取付けられる。裏下後第二駆動モータ3137は、第二駆動モータブラケット3138を介して、装飾体支持軸3125の正面視左方の位置で、回転駆動ユニットベース3131内に取付けられる。

【0476】

裏下後第一駆動モータ3134は、第一駆動ギア3133を回転駆動させることで、第一駆動ギア3133と噛合している回転伝達部材3132の第一装飾体側作動ギア3132cと共に回転する連結部3132bを介して、裏下後第一装飾体3110を回転させることができる。一方、裏下後第二駆動モータ3137は、第二駆動ギア3136を回転駆動させることで、第二駆動ギア3136と噛合している装飾体支持軸3125下端の第二装飾体側作動ギア3126により、装飾体支持軸3125と共に裏下後第二装飾体3120を回転させることができる。

【0477】

裏下後可動演出ユニット3100のスライドユニット3150は、図100に示すように、裏箱3010内に取付けられ前方及び上方が開放された箱状のユニットベース3151と、ユニットベース3151内の上部に取付けられていると共に前面に回転駆動ユニット3130の回転駆動ユニットベース3131が取付けられ左右に延びたスライドガイド3152と、ユニットベース3151内における左右方向略中央で前後に延びた軸周りに回転可能に取付けられており回転駆動ユニット3130におけるラック部材3143のラックギア3143aと噛合するピニオンギア3153a、及びピニオンギア3153aと一体回転すると共にピニオンギア3153aよりも大径の平歯車状の従動ギア3153bを有した伝達ギア部材3153と、伝達ギア部材3153の従動ギア3153bと噛合する平歯車状の駆動ギア3154と、駆動ギア3154を回転駆動させユニットベース3151の後面に取付けられている裏下後第三駆動モータ3155と、ユニットベース3151内に取付けられており回転駆動ユニット3130におけるラック部材3143の検知片3143bを検知するスライド検知センサ3156と、ユニットベース3151における前方の開放されている部位の略下半分を閉鎖しユニットベース3151の前端に取付けら

れる横長平板状のスライドカバー 3 1 5 7 と、ユニットベース 3 1 5 1 の後面に取付けられており周辺制御基板 1 5 1 0 と回転駆動ユニット中継基板 3 1 4 1 との接続を中継する裏下後中継基板 3 1 5 8 と、を備えている。

【0478】

スライドユニット 3 1 5 0 のスライドガイド 3 1 5 2 は、回転駆動ユニット 3 1 3 0 を左右方向へスライド可能に支持している。裏下後第三駆動モータ 3 1 5 5 は、駆動ギア 3 1 5 4 を回転駆動させることで、駆動ギア 3 1 5 4 と噛合している伝達ギア部材 3 1 5 3 の従動ギア 3 1 5 3 b を介してピニオンギア 3 1 5 3 a を回転駆動させ、ピニオンギア 3 1 5 3 a と噛合している回転駆動ユニット 3 1 3 0 におけるラック部材 3 1 4 3 のラックギア 3 1 4 3 a により回転駆動ユニット 3 1 3 0 を左右方向へスライド移動させることができる。

10

【0479】

続いて、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の動作について詳細に説明する。裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 は、図 1 0 3 及び図 1 0 4 (a) 等に示すように、通常の状態では、スライドユニット 3 1 5 0 により回転駆動ユニット 3 1 3 0 が左右のスライド方向に対して正面視右端に位置している。また、通常の状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とが、互いに第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 を対面させて閉じた状態とした上で、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 (サブ液晶表示装置 3 1 1 4 の表示画面) を前方に向けている。この通常の状態では、上下に延びているヒンジ回転の軸線 (装飾体支持軸 3 1 2 5) に対して、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が、正面視右側に位置している。また、通常の状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 のヒンジ回転可能に支持されている装飾体支持軸 3 1 2 5 側とは反対側の側辺が、装飾体支持軸 3 1 2 5 の中心よりも前方に位置するように、全体が回転している。詳細な図示は省略するが、通常の状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が、平面視において、時計回りの方向に約 20 度回転している。

20

【0480】

この通常の状態では、図 1 0 3 に示すように、回転駆動ユニット 3 1 3 0 におけるラック部材 3 1 4 3 の検知片 3 1 4 3 b が、スライドユニット 3 1 5 0 のスライド検知センサ 3 1 5 6 により検知されている。また、通常の状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と一体回転する回転駆動ユニット 3 1 3 0 における回転伝達部材 3 1 3 2 の第一検知片 3 1 3 2 d は、第一回転検知センサ 3 1 3 9 による検知が非検知の状態となっている。更に、通常の状態では、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 における装飾体支持軸 3 1 2 5 の第二検知片 3 1 2 8 が、第二回転検知センサ 3 1 4 0 により検知されている。

30

【0481】

また、通常の状態では、図 8 1 等に示すように、遊技盤 5 に組立てた状態で、裏下後可動装飾体ユニット 3 1 0 0 の正面 (前方) を向いている裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 (サブ液晶表示装置 3 1 1 4) が、メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の前方且つ正面視右方で、センター役物 2 5 0 0 の枠内における正面視右隅下部に位置しており、遊技者側からサブ液晶表示装置 3 1 1 4 の表示画面を視認することができる。また、この通常の状態では、上述したように、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の右辺側がヒンジ回転の中心よりも前方に位置しており、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 の表示画面が遊技パネル 1 1 0 0 の面に対して遊技領域 5 a の中央を通る垂直線側を向くように傾斜している。

40

【0482】

この通常の状態では、回転駆動ユニット 3 1 3 0 の裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 により、第二駆動ギア 3 1 3 6、第二装飾体側作動ギア 3 1 2 6、及び装飾体支持軸 3 1 2 5 を介して、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の後方に向いている第二装飾面 3 1 2 2 が正面を向くように、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を平面視時計回りの方向に (160 度) 回転させると、閉じられて裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の前方に位置している裏下後第一装飾体 3 1 1 0

50

が裏下後第二装飾体 3 1 2 0 に押されて一緒に回転し、「天運」の装飾が施された裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 2 2 が正面を向いた状態となる（図 1 0 4（b）を参照）。また、通常の状態では正面を向いていた裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1（サブ液晶表示装置 3 1 1 4）は、後方を向いた状態となり遊技者側からは視認不能となる。なお、この状態からは、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の何れも、平面視時計回りの方向へこれ以上回転させることはできないようになっている。

【0 4 8 3】

この図 1 0 4（b）の状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と一体回転する回転伝達部材 3 1 3 2 の第一検知片 3 1 3 2 d が、第一回転検知センサ 3 1 3 9 により検知された状態となり、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 と一体回転する装飾体支持軸 3 1 2 5 の第二検知片 3 1 2 8 が、第二回転検知センサ 3 1 4 0 の検知に対して非検知の状態となる。

10

【0 4 8 4】

一方、スライドユニット 3 1 5 0 の裏下後第三駆動モータ 3 1 5 5 により駆動ギア 3 1 5 4 を正面視時計回りの方向に回転駆動させると、伝達ギア部材 3 1 5 3 の従動ギア 3 1 5 3 b、ピニオンギア 3 1 5 3 a、及びラック部材 3 1 4 3 のラックギア 3 1 4 3 a を介して、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 と一緒に回転駆動ユニット 3 1 3 0 を正面視左方端の位置までスライド移動させることができる。遊技盤 5 に組立てた状態において、回転駆動ユニット 3 1 3 0 を正面視左方端の位置にスライド移動させた状態では、ヒンジ回転の上下に延びている軸線（装飾体支持軸 3 1 2 5 の中心線）が、遊技領域 5 a の左右方向の中央と略一致している。

20

【0 4 8 5】

図 1 0 4（c）は、図 1 0 4（b）の状態のままで正面視左方端の位置へスライド移動させた状態を示している。また、図 1 0 5（d）は、図 1 0 4（a）の状態から正面視左方端の位置へ移動させると共に、裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 の駆動により、第一駆動ギア 3 1 3 3、回転伝達部材 3 1 3 2 の第一装飾体側作動ギア 3 1 3 2 c 及び連結部 3 1 3 2 b を介して、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 を平面視反時計回りの方向に所定角度（2 0 度）回転させて裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1（サブ液晶表示装置 3 1 1 4）を真正面に向けた状態、或いは、図 1 0 4（c）の状態から裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 の駆動により裏下後第一装飾体 3 1 1 0 を、平面視反時計回りの方向に 1 8 0 度回転させることで、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と一緒に裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を回転させて裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1（サブ液晶表示装置 3 1 1 4）を真正面に向けた状態を、示している。

30

【0 4 8 6】

続いて、図 1 0 4（c）の状態から、裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 の駆動により、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を平面視反時計回りの方向に 1 8 0 度回転させる、或いは、図 1 0 5（d）の状態から、裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 の駆動により、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 を平面視時計回りの方向に 1 8 0 度回転させると、図 1 0 5（e）に示すように、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第二装飾面 3 1 1 2 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 2 2 とが互いに対面して折畳まれた状態から、ヒンジ回転して裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が開いて、夫々の第二装飾面 3 1 1 2、3 1 2 2 が左右に並んで正面を向いた状態となる。

40

【0 4 8 7】

この図 1 0 5（e）の状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 0 と互いに重畳させて閉じている時と比較して、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の夫々の第二装飾面 3 1 1 2、3 1 2 2 が左右に並ぶことで、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 により形成される装飾の面が倍の大きさとなり、遊技領域 5 a 内において目立たせて遊技者の関心を強く引付けさせることができると共に、大きな装飾の出現により遊技者を驚かせることができる。また、図 1 0 5（e）の状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の夫々の第二装飾

50

面 3 1 1 2, 3 1 2 2 の装飾が一体となり、「聖」の文字の装飾が視認できるようになる。なお、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第一ヒンジ部 3 1 1 5 及び第二ヒンジ部 3 1 2 4 には、第一装飾面 3 1 1 1, 3 1 2 1 及び第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 に施された装飾と対応している装飾が施されており、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを開いた時に、第一ヒンジ部 3 1 1 5 及び第二ヒンジ部 3 1 2 4 を目立ち難くすることができ、「聖」の文字を良好な状態で遊技者に視認させることができる。

【0488】

なお、図示するように、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 により形成される一体の装飾には、「聖」の上に、「一」のような切出装飾 3 1 7 0 が形成されている。この切出装飾 3 1 7 0 は、一つの文字や絵柄の一部を切出して装飾としたものであり、切出装飾 3 1 7 0 上側に、後述する裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の固定装飾部材 3 2 1 1 の装飾と裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の第二装飾部材 3 2 2 2 の装飾とが左右に並んだ切出装飾 3 2 6 0 が位置すると、「雀」の文字の全体が完成する装飾である（図 1 3 4 を参照）。

【0489】

このように、本実施形態の裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 によると、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを互いの面を重畳させて閉じた状態から、互いの第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 を並べて開いた状態とした場合、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とによる装飾の面が正面視遊技領域 5 a 内において拡大（拡張）すると共に、閉じて遊技者側から見えなかった第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 が開くことで遊技者側から見えるようになる。詳述すると、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を閉じて裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1（サブ液晶表示装置 3 1 1 4）を前方に向けた状態で（図 1 0 5（d）を参照）、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 を回転させて裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の正面視左側に並ばせると、当初は裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 のみであった装飾の領域が左方に延びるように裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 の二つとなり装飾の領域が二倍に拡大されると共に、これまで見えなかった第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 が遊技者側から視認可能となる（図 1 0 5（e）を参照）。或いは、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を閉じて裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第一装飾面 3 1 2 1 を前方に向けた状態で（図 1 0 4（c）を参照）、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を回転させて裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の正面視右側に並ばせると、当初は裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第一装飾面 3 1 2 1 のみであった装飾の領域が右方に延びるように裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 の二つとなり装飾の領域が二倍に拡大されると共に、これまで見えなかった第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 が遊技者側から視認可能となる（図 1 0 5（e）を参照）。このように、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を閉じた状態から開くことで、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 による装飾範囲を拡大させることができると共に装飾を変化させることができるため、遊技者に強いインパクトを与えることができ、遊技者の関心を裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 により広げた装飾を楽しませることができると共に、遊技者に対して何か良いことがあるのではないかと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせて興趣の低下を抑制させることができる。

【0490】

また、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを互いに重畳させて閉じた状態で、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを一緒に回転させた場合、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 のヒンジ回転可能に取付けられている一方の上下延びている辺側を中心にして回転することから、当初の状態の後方を向いていた面（裏面）が前方を向くように回転させると、裏下後第一装飾体 3 1 1

0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の全体の位置がヒンジ回転の中心軸を挟んで反対側の位置に移動することとなる。詳述すると、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを閉じて裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 (サブ液晶表示装置 3 1 1 4) を前方に向けた状態で (図 1 0 4 (a) 及び図 1 0 5 (d) を参照)、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を一緒に回転させると、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の全体が正面視左方に移動すると共に裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第一装飾面 3 1 2 1 が前方を向いた状態となる (図 1 0 4 (b) 及び (c) を参照)。一方、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを閉じて裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第一装飾面 3 1 2 1 を前方に向けた状態で (図 1 0 4 (b) 及び (c) を参照)、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を一緒に回転させると、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の全体が正面視右方に移動すると共に裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 が前方を向いた状態となる (図 1 0 4 (a) 及び図 1 0 5 (d) を参照)。これにより、正面視遊技領域 5 a 内における裏下後第一装飾体 3 1 1 0 又は裏下後第二装飾体 3 1 2 0 による装飾の領域を移動させることができると共に、遊技者側から視認可能な装飾を変化させることができるため、遊技者の関心を裏下後第一装飾体 3 1 1 0 や裏下後第二装飾体 3 1 2 0 に強く引き付けることができ、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 や裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の動きや装飾を楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0 4 9 1】

また、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを互いに重畳させて閉じた状態で、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 又は裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の一方を回転させて開いたり、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を一緒に回転させたりする場合、何れの場合でも、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 における遊技者側から視認可能な面が回転を開始するため、回転開始の当初では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とが、開くのか、或は、一緒に回転するのかが、判り難く、遊技者に対して何れの動作をするのかでドキドキ・ワクワクさせることができ、遊技者の期待感を高めさせることができる。また、当初の状態では視認可能な装飾に対して、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを、開いた場合と、一緒に回転させた場合とでは、遊技者側から視認可能となる装飾の変化が異なることとなるため、様々なパターンで遊技者に装飾の変化を楽しませることができ、多様な演出により遊技者を飽き難くさせることができる。

【0 4 9 2】

上記のように、本実施形態の裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 は、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 をヒンジ回転させることで、異なる装飾が施された第一装飾面 3 1 1 1, 3 1 2 1 又は第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 を正面に向けることができると共に、スライドユニット 3 1 5 0 により裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を左右方向にスライド移動させることができ、多彩な演出を遊技者に提示することができる。

【0 4 9 3】

また、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 では、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 において四角形の外形の上下に延びている二辺のうちの一边側 (重心から偏芯している位置) でヒンジ回転の軸線と同軸上で下方に延びている装飾体支持軸 3 1 2 5 の上端部と下端部とを、回転駆動ユニット 3 1 3 0 における回転駆動ユニットベース 3 1 3 1 の上軸受部 3 1 3 1 c と下軸受部 3 1 3 1 d とで夫々回転可能に支持しており、可及的に上下に離れた位置の二か所で回転可能に支持している。従って、装飾体支持軸 3 1 2 5 が、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の重心に対して偏芯した位置から突出していることで、装飾体支持軸 3 1 2 5 の上側に取付けられている裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の重量により装飾体支持軸 3 1 2 5 を傾けようとする偏荷重が作用しても、装飾体支持軸 3 1 2 5 を傾き難くすることができ、装飾体支持軸 3 1 2 5 を真っ直ぐに支持して裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を回転させるこ

とができる。換言すると、下方に延びた装飾体支持軸 3 1 2 5 の上端部と下端部とを、回転駆動ユニットベース 3 1 3 1 の上軸受部 3 1 3 1 c と下軸受部 3 1 3 1 d とで回転可能に支持していることから、装飾体支持軸 3 1 2 5 が傾き難いため、互いにヒンジ回転可能に取付けられている重量の大きい裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を、そのヒンジ回転の軸線と同軸上の位置でも問題なく回転可能に支持することができる。

【0494】

[5-9d. 裏上左可動演出ユニット]

次に、裏ユニット 3 0 0 0 の裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 について、主に図 1 0 6 乃至図 1 0 9 を参照して詳細に説明する。図 1 0 6 (a) は裏ユニットの裏上左可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏上左可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図 1 0 7 は裏上左可動演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図 1 0 8 は裏上左可動演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図 1 0 9 (a) は裏上左可動演出ユニットを通常の状態を示す正面図であり、(b) は裏上左可動演出ユニットにおける裏上左第一装飾体及び裏上左第二装飾体を正面視右方端の位置に移動させた状態を示す正面図であり、(c) は(b)の状態から裏上左第一装飾体と裏上左第二装飾体を展開した状態を示す正面図である。

【0495】

裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 は、裏箱 3 0 1 0 内における開口部 3 0 1 0 a の上方で、正面視左端から中央付近にかけて取付けられている。裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 は、正面視の形状が四角形で前面に所定の装飾が施されている裏上左第一装飾体 3 2 1 0 と、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の正面視上下に延びている右辺においてヒンジ回転可能に取付けられており背向している二つの面に異なる装飾が施されている裏上左第二装飾体 3 2 2 0 と、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の上方に取付けられており裏上左第二装飾体 3 2 2 0 をヒンジ回転駆動させる回転駆動ユニット 3 2 3 0 と、回転駆動ユニット 3 2 3 0 と共に裏上左第一装飾体 3 2 1 0 及び裏上左第二装飾体 3 2 2 0 を左右方向にスライド移動させ裏箱 3 0 1 0 内に取付けられるスライドユニット 3 2 4 0 と、を備えている。

【0496】

裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の裏上左第一装飾体 3 2 1 0 は、前面に所定の装飾が施され透光性を有する平板状の固定装飾部材 3 2 1 1 と、固定装飾部材 3 2 1 1 の正面視右辺の前端側から外方に突出しており上下に延びた軸線に対して同軸上で上下に離間して三つ取付けられている円筒状の第一ヒンジ部 3 2 1 2 と、固定装飾部材 3 2 1 1 の後面全体を覆うように固定装飾部材 3 2 1 1 の後側に取付けられており固定装飾部材 3 2 1 1 よりも上方に突出している第一装飾体ベース 3 2 1 3 と、第一装飾体ベース 3 2 1 3 と固定装飾部材 3 2 1 1 との間に取付けられており前面に複数の LED が実装されている裏上左第一装飾基板 3 2 1 4 と、第一装飾体ベース 3 2 1 3 の上面に接続されており側面視が L 字状で第一装飾体ベース 3 2 1 3 の左端から右端よりも右方の位置まで延出している接続部 3 2 1 5 と、接続部 3 2 1 5 の上端に形成されており左右に延びているラックギア 3 2 1 6 と、接続部 3 2 1 5 の正面視左端付近から前方に延出している平板状の検知片 3 2 1 7 と、を備えている。

【0497】

裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の固定装飾部材 3 2 1 1 は、正面視の形状がやや縦長の四角形に形成されている。固定装飾部材 3 2 1 1 は、左右に延びている辺の長さが、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏下後第一装飾体 3 1 1 0 や裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の左右に延びている辺と同じ長さであり、上下に延びている辺の長さが、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 や裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の上下に延びている辺の長さよりも短い。この固定装飾部材 3 2 1 1 には、「雀」の文字の左半分が施された装飾が形成されている。なお、図 1 0 9 (c) に示すように、本実施形態では、「雀」の文字に対して、一番下側の「一」の部位の上側から下方が途切れている。

【0498】

三つの第一ヒンジ部 3 2 1 2 は、固定装飾部材 3 2 1 1 の上下両端と、上下方向中央から上寄りの位置に夫々備えられている。また、三つの第一ヒンジ部 3 2 1 2 は、固定装飾部材 3 2 1 1 の正面視右辺から、右方及び前方に突出している。第一装飾体ベース 3 2 1 3 には、固定装飾部材 3 2 1 1 よりも上方に突出している部位の前面に回転駆動ユニット 3 2 3 0 が取付けられる。接続部 3 2 1 5 には、側面視 L 字状における上下延びている部位の後面に、スライドユニット 3 2 4 0 のスライダ 3 2 4 3 が取付けられる。ラックギア 3 2 1 6 は、スライドユニット 3 2 4 0 のピニオンギア 3 2 4 8 と噛合する。

【0499】

この裏上左第一装飾体 3 2 1 0 は、裏上左第一装飾基板 3 2 1 4 に実装された L E D を適宜発光させることで、固定装飾部材 3 2 1 1 を発光装飾させることができる。

10

【0500】

裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の裏上左第二装飾体 3 2 2 0 は、外形が四角形で表面に所定の装飾が施された透光性を有する第一装飾部材 3 2 2 1 と、第一装飾部材 3 2 2 1 の裏面に取付けられており第一装飾部材 3 2 2 1 の表面と背向する面に第一装飾部材 3 2 2 1 とは異なる装飾が施された透光性を有する第二装飾部材 3 2 2 2 と、第一装飾部材 3 2 2 1 の左右のうちの一方の上下に延びている辺から外方に突出しており裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の第一ヒンジ部 3 2 1 2 にヒンジ回転可能に取付けられる二つの第二ヒンジ部 3 2 2 3 と、二つの第二ヒンジ部 3 2 2 3 のうちの上側の第二ヒンジ部 3 2 2 3 から上方に延出している軸部 3 2 2 4 と、軸部 3 2 2 4 の上端に取付けられている平歯車状の作動ギア 3 2 2 5 と、第一装飾部材 3 2 2 1 と第二装飾部材 3 2 2 2 との間に取付けられており両面に複数の L E D が実装されている裏上左第二装飾基板（図示は省略）と、を備えている。

20

【0501】

裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の第一装飾部材 3 2 2 1 は、表面に「ドクン」の文字が施された装飾が形成されている。第二装飾部材 3 2 2 2 は、第一装飾部材 3 2 2 1 の表面と背向する面に「雀」の文字の右半部が施された装飾が形成されている。この第二装飾部材 3 2 2 2 は、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の固定装飾部材 3 2 1 1 の正面視左側に位置することで、「雀」の文字として認識することができるようになる。詳しくは、固定装飾部材 3 2 1 1 と第二装飾部材 3 2 2 2 とによる装飾は、「雀」の文字に対して、一番下側の「一」の部位の上側から下方が途切れた切出装飾 3 2 6 0 とされており、この下側に、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 における裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 の装飾（切出装飾）が位置することで、「雀」の文字が完成される。なお、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 側の切出装飾 3 2 6 0 は、「雀」の文字の大半を占めているため、下部が切欠かれていても「雀」の文字として認識することができる。

30

【0502】

二つの第二ヒンジ部 3 2 2 3 は、第一装飾部材 3 2 2 1 の表面を正面に向けた状態で、第一装飾部材 3 2 2 1 の右辺側から右方且つ後方に突出している。また、二つの第二ヒンジ部 3 2 2 3 は、上下に離間しており、夫々が第一装飾部材 3 2 2 1 の上下両端から中央寄りの位置に備えられている。軸部 3 2 2 4 は、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の最も上側の第一ヒンジ部 3 2 1 2 内に回転可能に挿入される。作動ギア 3 2 2 5 は、軸部 3 2 2 4 及び上側の第二ヒンジ部 3 2 2 3 を介して、第一装飾部材 3 2 1 1 と一体回転するように取付けられている。この作動ギア 3 2 2 5 は、回転駆動ユニット 3 2 3 0 の伝達ギア 3 2 3 3 と噛合する。

40

【0503】

この裏上左第二装飾体 3 2 2 0 は、図示しない裏上左第一装飾基板に実装された L E D を適宜発光させることで、第一装飾部材 3 2 1 1 や第二装飾部材 3 2 2 2 を発光装飾させることができる。

【0504】

裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の回転駆動ユニット 3 2 3 0 は、裏上左第一装飾体 3

50

210の第一装飾体ベース3213の前面に取付けられる回転駆動ベース3231と、回転駆動ベース3231との間に空間を形成し回転駆動ベース3231の上側に取付けられる回転駆動カバー3232と、回転駆動カバー3232と回転駆動ベース3231との間で回転可能に取付けられており裏上左第二装飾体3220の作動ギア3225と噛合する平歯車状の伝達ギア3233と、伝達ギア3233と噛合する駆動ギア（図示は省略）と、駆動ギアを回転駆動させ回転駆動カバー3232の上面に取付けられている裏上左第一駆動モータ3235と、回転駆動ベース3231と回転駆動カバー3232との間に取付けられており駆動ギアの回転位置を検知する回転検知センサ（図示は省略）と、を備えている。

【0505】

10

回転駆動ユニット3230の回転駆動ベース3231は、裏上左第一装飾体3210の第一装飾体ベース3213における固定装飾部材3211よりも上側の位置に取付けられる。図示しない駆動ギアには、外方に延出した検知片を備えており、この検知片を回転検知センサにより検知することで、駆動ギアの回転位置を検知して、駆動ギア、伝達ギア3233、及び作動ギア3225を介して裏上左第二装飾体3220の回転位置を検知することができる。

【0506】

20

この回転駆動ユニット3230は、裏上左第一駆動モータ3235を回転駆動させることで、駆動ギア、伝達ギア3233、及び作動ギア3225を介して、裏上左第二装飾体3220をヒンジ回転させることができる。

【0507】

30

裏上左可動演出ユニット3200のスライドユニット3240は、裏箱3010内に取付けられる横長のユニットベース3241と、ユニットベース3241の前面に取付けられる横長のスライドレール3242と、スライドレール3242にスライド可能に取付けられており前面に裏上左第一装飾体3210の接続部3215が取付けられるスライダ3243と、ユニットベース3241との間に空間が形成されるようにユニットベース3241の前面に取付けられるベースカバー3244と、ベースカバー3244を貫通して回転軸がベースカバー3244とユニットベース3241との間に突出するようにベースカバー3244の前面に取付けられる裏上左第二駆動モータ3245と、裏上左第二駆動モータ3245の回転軸に取付けられる平歯車状の駆動ギア3246と、駆動ギア3246と噛合する小径の第一伝達ギア3247a、第一伝達ギア3247aと一体回転する大径の第二伝達ギア3247bとを有しユニットベース3241とベースカバー3244との間で回転可能に取付けられている伝達ギア部材3247と、伝達ギア部材3247の第二伝達ギア3247bと噛合していると共に裏上左第一装飾体3210のラックギア3216と噛合しユニットベース3241とベースカバー3244との間で回転可能に取付けられているピニオンギア3248と、ベースカバー3244に取付けられ裏上左第一装飾体3210の検知片3217を検知するスライド検知センサ3249と、を備えている。

【0508】

40

また、スライドユニット3240は、ベースカバー3244の前面で正面視左部に取付けられ裏上左第一装飾基板3214、裏上左第二装飾基板、裏上左第一駆動モータ3235、回転検知センサ、裏上左第二駆動モータ3245、及びスライド検知センサ3249と演出駆動基板3043との接続を中継している裏上左中継基板3250と、裏上左中継基板3250の前面を被覆しベースカバー3244の前面に取付けられる基板カバー3251と、基板カバー3251の前面に取付けられる裏左上装飾ベース3252と、裏左上装飾ベース3252の前面に取付けられ前面に複数のLEDが実装されている裏左上装飾基板3253と、裏左上装飾基板3253の前方を覆うように裏左上装飾ベース3252の前面に取付けられ所定の装飾が形成された透光性を有する裏左上装飾体3254と、を備えている。

【0509】

50

スライドユニット3240は、裏上左第二駆動モータ3245により駆動ギア3246

を回転駆動させると、伝達ギア部材 3 2 4 7、ピニオンギア 3 2 4 8、及びラックギア 3 2 1 6 を介して、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 を裏上左第二装飾体 3 2 2 0 及び回転駆動ユニット 3 2 3 0 と一緒に左右方向にスライド移動させることができる。また、裏左上装飾基板 3 2 5 3 の LED を適宜発光させることで、裏左上装飾体 3 2 5 4 を発光装飾させることができる。

【0510】

続いて、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の動作について説明する。裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 は、通常の状態では、図 1 0 9 (a) に示すように、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の前面を裏上左第二装飾体 3 2 2 0 が覆うように、裏上左第二装飾体 3 2 2 0 が回転駆動ユニット 3 2 3 0 により裏上左第一装飾体 3 2 1 0 側に折畳まれた状態となっており、裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の第一装飾部材 3 2 2 1 が正面を向いた状態となっている。また、通常の状態では、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 がスライドユニット 3 2 4 0 により正面視左方端に位置している。この通常の状態では、回転駆動ユニット 3 2 3 0 において裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の回転位置を検知するための図示しない駆動ギアの検知片を、同じく図示しない回転検知センサが検知している。また、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の検知片 3 2 1 7 が、スライドユニット 3 2 4 0 のスライド検知センサ 3 2 4 9 により検知されている。

10

【0511】

通常の状態では、遊技盤 5 に組立てた状態で、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 及び裏上左第二装飾体 3 2 2 0 が、裏左中装飾ユニット 3 0 5 0 の後方に位置しており、遊技者側からは視認不能な状態となっている（図 8 1 等を参照）。

20

【0512】

通常の状態では、スライドユニット 3 2 4 0 の裏上左第二駆動モータ 3 2 4 5 により駆動ギア 3 2 4 6、及び伝達ギア部材 3 2 4 7 を介してピニオンギア 3 2 4 8 を、正面視反時計回りの方向に回転駆動させると、ピニオンギア 3 2 4 8 と噛合しているラックギア 3 2 1 6 により裏上左第一装飾体 3 2 1 0 が、裏上左第二装飾体 3 2 2 0 及び回転駆動ユニット 3 2 3 0 と一緒に正面視右方にスライド移動し、右方端に到達するとスライド移動が停止する（図 1 0 9 (b) を参照）。この状態では、遊技盤 5 に組立てた状態で、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 及び裏上左第二装飾体 3 2 2 0 におけるヒンジ回転可能な上下に延びている軸線が、遊技領域 5 a の左右方向中央と略一致しており、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 がセンター役物 2 5 0 0 の枠内を通して遊技者側から視認可能な状態となっている（図 1 3 3 を参照）。

30

【0513】

そして、スライドユニット 3 2 4 0 により裏上左第一装飾体 3 2 1 0 を正面視右方端に位置させた状態で、回転駆動ユニット 3 2 3 0 の裏上左第一駆動モータ 3 2 3 5 により駆動ギア、及び伝達ギア 3 2 3 3 を介して作動ギア 3 2 2 5 を、平面視反時計回りの方向に 1 8 0 度回転させると、折畳まれて裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の前面を覆っていた裏上左第二装飾体 3 2 2 0 が展開するようにヒンジ回転して、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の正面視右側に並んだ状態となる（図 1 0 9 (c) を参照）。これにより、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 と裏上左第二装飾体 3 2 2 0 とが左右に並ぶことで、通常の状態に対して約 2 倍の大きさとなるため、遊技領域 5 a 内において目立たせて遊技者の関心を強く引付けさせることができると共に、大きな装飾の出現により遊技者を驚かせることができる。

40

【0514】

この状態では、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の固定装飾部材 3 2 1 1 と裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の第二装飾部材 3 2 2 2 とが左右に並んで正面を向いた状態となり、夫々の装飾が一体となって「雀」の文字の装飾が視認できるようになる。なお、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 及び裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の第一ヒンジ部 3 2 1 2 及び第二ヒンジ部 3 2 2 3 には、固定装飾部材 3 2 1 1 及び第二装飾部材 3 2 2 2 に施された装飾と対応している装飾が施されており、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 から裏上左第二装飾体 3 2 2 0 を開いた時に、第一ヒンジ部 3 2 1 2 及び第二ヒンジ部 3 2 2 3 を目立ち難くすることができ、「雀

50

」の文字を良好な状態で遊技者に視認させることができる。

【0515】

なお、一体となって視認できる「雀」の文字の装飾は、一番下側の「一」の部位よりも上側の位置から下側が途切れており、裏上左第一装飾体3210及び裏上左第二装飾体3220下方に位置した裏下後可動演出ユニット3100の裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の第二装飾面3112、3122の装飾と一体となることで、「雀」の文字が完全な状態となる（図134を参照）。

【0516】

このように、裏上左可動演出ユニット3200は、裏上左第一装飾体3210及び裏上左第二装飾体3220を左右方向にスライドさせたり、裏上左第二装飾体3220を上下に延びた軸線周りにヒンジ回転させることで、裏上左第一装飾体3210の前面を覆うように折畳んだり、裏上左第一装飾体3210の正面視右側に並ぶように展開させたりすることができる、多彩な演出を遊技者に提示することができる。

【0517】

[5-9e. 裏左可動演出ユニット]

次に、裏ユニット3000の裏左可動演出ユニット3300について、主に図110及び図111を参照して詳細に説明する。図110(a)は裏ユニットの裏左可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏左可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図111(a)は裏左可動演出ユニットを通常の状態を示す正面図であり、(b)は裏左可動演出ユニットにおける裏左可動装飾体を突出させた状態を示す正面図である。

【0518】

裏左可動演出ユニット3300は、裏箱3010内における開口部3010aの正面視左方に取付けられている。裏左可動演出ユニット3300は、前面に立体的な所定の装飾が施されている裏右固定装飾体3310と、裏右固定装飾体3310の後方で左右方向にスライド可能に支持されており所定の装飾が施された枠状の裏右可動装飾体3320と、裏右可動装飾体3320を左右方向へスライド移動させ裏箱3010内に取り付けられると共に前面に裏左固定装飾体3310が取付けられている裏左駆動ユニット3330と、を備えている。

【0519】

裏左可動演出ユニット3300の裏左固定装飾体3310は、正面視の形状が縦長の略四角形に形成されている。裏左固定装飾体3310は、立体的な装飾が施されており透光性を有する固定側装飾部材3311と、固定側装飾部材3311の後面に取り付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏左固定装飾基板3312と、を備えている。固定側装飾部材3311は、図示するように、一部に「發」牌の装飾が形成されている。この裏左固定装飾体3310は、裏左固定装飾基板3312のLEDを適宜発光させることで、固定側装飾部材3311を発光装飾させることができる。

【0520】

裏左可動演出ユニット3300の裏左可動装飾体3320は、正面視の形状が、裏左固定装飾体3310と略同じ大きさの縦長の四角形に形成されている。裏左可動装飾体3320は、前面に所定の装飾が施された枠状の可動側装飾部材3321と、可動側装飾部材3321の後面に取り付けられている透光性を有する枠状の装飾フレーム3322と、装飾フレーム3322の後側に取り付けられている枠状の可動ベース3323と、可動ベース3323と装飾フレーム3322との間に取り付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏左可動装飾基板3324と、を備えている。

【0521】

裏左可動装飾体3320の可動側装飾部材3321は、裏下後可動演出ユニット3100における裏下後第一装飾体3110の第一装飾面3111と同じ装飾が施されている。可動ベース3323は、下端側が可動側装飾部材3321及び装飾フレーム3322よりも下方に突出しており、この突出している部位が裏左駆動ユニット3330により左右方向にスライド可能に取り付けられている。裏左可動装飾基板3324は、図示は省略するが

、枠状の装飾フレーム 3 3 2 2 における正面視左右方向の中央より右側の部位に沿うようにコ字状に形成されている。この裏左可動装飾基板 3 3 2 4 の L E D を発光させることで、可動側装飾部材 3 3 2 1 を発光装飾させることができる。

【0522】

裏左可動演出ユニット 3 3 0 0 の裏左駆動ユニット 3 3 3 0 は、裏箱 3 0 1 0 内に取付けられるユニットベース 3 3 3 1 と、ユニットベース 3 3 3 1 の下部前面に取付けられており裏左可動装飾体 3 3 2 0 を左右方向にスライド可能に取付けている左右方向に延びたスライドガイド 3 3 3 2 と、回転軸が前方に延びるようにユニットベース 3 3 3 1 の後面に取付けられている裏左駆動モータ 3 3 3 3 と、裏左駆動モータ 3 3 3 3 の回転軸に基端側が取付けられており先端側が裏左可動装飾体 3 3 2 0 に連結されている棹状の作動アーム（図示は省略）と、作動アームの回動位置を検知しユニットベース 3 3 3 1 に取付けられているスライド検知センサ 3 3 3 5 と、ユニットベース 3 3 3 1 の後面に取付けられており裏左固定装飾基板 3 3 1 2、裏左可動装飾基板 3 3 2 4、裏左駆動モータ 3 3 3 3、及びスライド検知センサ 3 3 3 5 と演出駆動基板 3 0 4 3 との接続を中継する裏左中継基板 3 3 3 6 と、を備えている。

10

【0523】

裏左駆動ユニット 3 3 3 0 のユニットベース 3 3 3 1 は、正面視左端側において裏左固定装飾体 3 3 1 0 を裏左可動装飾体 3 3 2 0 よりも前方に取付けている。スライドガイド 3 3 3 2 は、裏左可動装飾体 3 3 2 0 における可動ベース 3 3 2 3 の下端部を左右方向へスライド可能に取付けている。裏左駆動モータ 3 3 3 3 は、ユニットベース 3 3 3 1 における背面視右上隅部に取り付けられている。図示しない作動アームは、裏左駆動モータ 3 3 3 3 の回転軸に取り付けられている基端側から先端側が枠状の裏左可動装飾体 3 3 2 0 における下辺の背面視右端付近まで延びている。また、図示は省略するが、作動アームは、先端に前後に貫通しその長手方向に延びたスリットが形成されている。このスリット内に裏左可動装飾体 3 3 2 0 の可動ベース 3 3 2 3 における背面視右下隅付近から後方に突出している案内ピンが摺動可能に挿入されている。

20

【0524】

続いて、裏左可動演出ユニット 3 3 0 0 の動作について説明する。裏左可動演出ユニット 3 3 0 0 は、通常の状態では、図 1 1 1 (a) に示すように、裏左固定装飾体 3 3 1 0 の後方に裏左可動装飾体 3 3 2 0 が位置しており、正面からは殆ど視認不能な状態となっている。つまり、裏左可動装飾体 3 3 2 0 が、視認不能な没入位置に位置している。この通常の状態では、図示しない作動アームがスライド検知センサ 3 3 3 5 により検知されている。また、通常の状態では、遊技盤 5 に組立てた状態で、前側に配置されている裏左固定装飾体の正面視右端の一部がセンター役物 2 5 0 0 の枠内に臨んでいると共に、裏左固定装飾体の前面の正面視左側の部位がセンター役物 2 5 0 0 の左方で透明な遊技パネル 1 1 0 0 を通して遊技者側から視認することができる。この裏左可動演出ユニット 3 3 0 0 は、裏左可動装飾体 3 3 2 0 が裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 と同じ高さとなる位置に取り付けられている。

30

【0525】

この通常の状態では、裏左駆動モータ 3 3 3 3 により作動アームを正面視反時計回りの方向に回動させると、作動アームの先端のスリット内に摺動可能に挿入された可動ベース 3 3 2 3 の案内ピンを、作動アームが正面視右方に押圧し、スライドガイド 3 3 3 2 を介して裏左可動装飾体 3 3 2 0 が正面視右方に真っ直ぐスライド移動する。そして、枠状の裏左固定装飾体 3 3 2 0 における正面視左辺を略残して右側の部位が、裏左固定装飾体 3 3 1 0 の正面視後方から右方に位置すると右方へのスライド移動が停止する。これにより、枠状の裏左可動装飾体 3 3 2 0 における左辺よりも右側の部位が、裏左固定装飾体 3 3 1 0 の右方に位置して、正面から視認できるようになる（図 1 1 1 (b) を参照）。つまり、裏左可動装飾体 3 3 2 0 が遊技者側から視認可能な出現位置に位置した状態となる。

40

【0526】

裏左可動装飾体 3 3 2 0 が右方にスライド移動して出現位置に位置した状態では、遊技

50

盤 5 に組立てた状態で、裏左可動装飾体 3 3 2 0 がセンター役物 2 5 0 0 の枠内を通して遊技者側から視認可能となると共に、裏左可動装飾体 3 3 2 0 の枠内を通して後方に配置されているメイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面を視認することができる。従って、メイン液晶表示装置 1 6 0 0 において、裏左可動装飾体 3 3 2 0 の真後ろとなる表示領域に所定の演出画像（演出動画）を表示させると、遊技者に対して、恰も裏左可動装飾体 3 3 2 0 の枠内に液晶表示装置が取付けられているように錯覚させることができる。これにより、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏下後第一装飾体 3 1 1 0 における第一装飾面 3 1 1 1 のサブ液晶表示装置 3 1 1 4 が左右に二つあるように遊技者を錯覚させることができる。

【0527】

10

[5-9f. 裏上中可動演出ユニット]

次に、裏ユニット 3 0 0 0 の裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 について、主に図 1 1 2 乃至図 1 2 3 を参照して詳細に説明する。図 1 1 2 (a) は裏ユニットの裏上中可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏上中可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図 1 1 3 (a) は裏上中可動演出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、(b) は裏上中可動演出ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。図 1 1 4 (a) は裏上中可動演出ユニットの裏上中装飾体ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏上中装飾体ユニットを後ろから見た斜視図である。図 1 1 5 は裏上中装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図 1 1 6 は裏上中装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図 1 1 7 (a) は裏上中装飾体ユニットの駆動構成を正面から示す説明図であり、(b) は (a) における G-G 線で切断した断面図である。図 1 1 8 (a) は通常の状態における裏上中装飾体ユニットの正面図であり、(b) は裏上中装飾体ユニットの一对の裏上中第一装飾体を外方へ半分開いた状態で示す正面図であり、(c) は裏上中装飾体ユニットの一对の裏上中第一装飾体を外方へ完全に開いた状態で示す正面図である。

20

【0528】

また、図 1 1 9 (a) は裏上中可動演出ユニットの裏上中駆動ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏上中可動演出ユニットの裏上中駆動ユニットを後ろから見た斜視図である。図 1 2 0 (a) は裏上中駆動ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、(b) は裏上中駆動ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。図 1 2 1 (a) は裏上中駆動ユニットの裏上中回転ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、(b) は裏上中駆動ユニットの裏上中回転ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図 1 2 2 は、裏上中可動演出ユニットの駆動系を概略で正面から示す説明図である。図 1 2 3 (a) は通常の状態における裏上中可動演出ユニットの正面図であり、(b) は裏上中可動演出ユニットにおいて裏上中装飾体ユニットを下降させた状態で示す正面図である。

30

【0529】

裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 は、裏箱 3 0 1 0 内における開口部 3 0 1 0 a の上方で左右方向略中央から右端にかけて取付けられている。裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 は、図 1 1 3 に示すように、開閉可能に取付けられている一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1、及び一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の後方に取付けられている裏上中第二装飾体 3 4 1 2 を有している裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 と、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 の後面に取付けられている回転接続部材 3 4 3 0 と、回転接続部材 3 4 3 0 を介して裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 が昇降可能且つ回転可能に取付けられており裏箱 3 0 1 0 内に取付けられる裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 と、裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 の前面に取付けられている裏右上装飾ユニット 3 4 8 0 と、裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 の後面に取付けられている裏上中中継基板 3 4 9 0 と、を備えている。

40

【0530】

裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 の裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 は、図 1 1 4 及び図 1 1 5 等に示すように、前面に所定の装飾が施され透光性を有する一对の裏上中第一装飾

50

体 3 4 1 1 と、一対の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の後方に配置され前面に所定の装飾が施された透光性を有する裏上中第二装飾体 3 4 1 2 と、一対の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の後面に夫々取付けられている透光性を有する平板状の一対のスライドベース 3 4 1 3 と、一対のスライドベース 3 4 1 3 の後面に夫々取付けられており前面に複数の L E D が実装されている一対の裏上中第一装飾基板 3 4 1 4 と、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の後面に取付けられ前面に複数の L E D が実装されている裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 と、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 の後面を覆い裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の後面に取付けられている基板カバー 3 4 1 6 と、基板カバー 3 4 1 6 との間にスライドベース 3 4 1 3 がスライド可能に収容される空間を形成するように基板カバー 3 4 1 6 の後側に取付けられている平板状のスライダカバー 3 4 1 7 と、スライダカバー 3 4 1 7 の後側に取付けられている装飾体ユニットベース 3 4 1 8 と、を備えている。

10

【0531】

また、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 は、装飾体ユニットベース 3 4 1 8 の後面に取付けられているモータベース 3 4 1 9 と、モータベース 3 4 1 9 の後面に取付けられておりモータベース 3 4 1 9 の前面に回転軸が突出している裏上中第一駆動モータ 3 4 2 0 と、裏上中第一駆動モータ 3 4 2 0 の回転軸に取付けられておりモータベース 3 4 1 9 と装飾体ユニットベース 3 4 1 8 の間に配置されている平歯車状の第一駆動ギア 3 4 2 1 と、第一駆動ギア 3 4 2 1 と噛合しており前端が装飾体ユニットベースよりも前方に突出するように装飾体ユニットベース 3 4 1 8 に回転可能に取付けられている平歯車状の第一伝達ギア 3 4 2 2 と、第一伝達ギア 3 4 2 2 と噛合しており装飾体ユニットベース 3 4 1 8 の前面に回転可能に取付けられている第一ピニオンギア 3 4 2 3 と、を備えている。

20

【0532】

更に、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 は、第一ピニオンギア 3 4 2 3 と噛合しており左右に延びているラックギア 3 4 2 4 a、及びスライダカバー 3 4 1 7 を貫通して一対のスライドベース 3 4 1 3 のうちの一方を取付ける取付ボス 3 4 2 4 b を有し、スライダカバー 3 4 1 7 と装飾体ユニットベース 3 4 1 8 との間で左右方向にスライド可能に取付けられている第一スライダ 3 4 2 4 と、第一スライダ 3 4 2 4 のラックギア 3 4 2 4 a とは第一ピニオンギア 3 4 2 3 を挟んで反対側で第一ピニオンギア 3 4 2 3 と噛合しており左右に延びているラックギア 3 4 2 5 a、及びスライダカバー 3 4 1 7 を貫通して一対のスライドベース 3 4 1 3 のうちの残り（他方）を取付ける取付ボス 3 4 2 5 b を有し、スライダカバー 3 4 1 7 と装飾体ユニットベース 3 4 1 8 との間で左右方向にスライド可能に取付けられている第二スライダ 3 4 2 5 と、装飾体ユニットベース 3 4 1 8 に後側から取付けられており第二スライダ 3 4 2 5 のスライド位置を検知するスライド検知センサ 3 4 2 6 と、を備えている。

30

【0533】

裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 の一対の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 は、夫々の正面視の形状が、左右に延びた四角形の長手方向の一方の端辺が外方に半円弧に膨らみ、反対側の端辺が内方に半円弧に窪んでおり、この半円弧に窪んだ部位が凹部 3 4 1 1 a とされている。また、一対の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 は、内方に半円弧状に窪んだ凹部 3 4 1 1 a が形成されている端辺を除いた外周辺が、後方へ板状に延出している。これら一対の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 は、凹部 3 4 1 1 a が形成された端辺同士が対向する状態で取付けられている。また、一対の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 は、全体が透光性を有する乳白色に形成されており、一方の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の前面には「龍」の頭部側の装飾が、残り（他方）の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の前面には「龍」の尾部側の装飾が、金属光沢を有するように夫々形成されている。

40

【0534】

裏上中第二装飾体 3 4 1 2 は、正面視の形状が、左右に延びた平板状で、一対の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 同士を合わせた（閉じた）時の大きさよりも若干小さく形成されている。裏上中第二装飾体 3 4 1 2 は、中央に裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の凹部 3 4 1 1 a 内に挿入可能とされた円形で前方に膨出している中央装飾部 3 4 1 2 a と、中央装飾部 3 4

50

1 2 a の左右両側で上下に離間して二つ夫々形成されている円形の中央横装飾部 3 4 1 2 b と、中央横装飾部 3 4 1 2 b の左右両外側に夫々形成されており中央横装飾部 3 4 1 2 b と同じ大きさの円形の間装飾部 3 4 1 2 c と、中間装飾部 3 4 1 2 c の左右両外側で左右の端部付近に夫々形成されており中間装飾部 3 4 1 2 c よりも大径の円形の端装飾部 3 4 1 2 d と、を備えている。裏上中第二装飾体 3 4 1 2 は、全体が透光性を有する乳白色に形成されており、前面における中央装飾部 3 4 1 2 a、中央横装飾部 3 4 1 2 b、中間装飾部 3 4 1 2 c、及び端装飾部 3 4 1 2 d の外周等に、金属光沢を有する線状の装飾が形成されている。この裏上中第二装飾体 3 4 1 2 は、「麻雀」の「点棒」を遊技者に想起させる装飾が施されている。

【0535】

一对のスライドベース 3 4 1 3 は、夫々が裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の外周形状と略対応した形状に形成されており、裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の後方に延出している外周辺の後端に取付けられている。これにより、裏上中第一装飾体 3 4 1 1 とスライドベース 3 4 1 3 とを組立てることで、裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の前面を形成している部位とスライドベース 3 4 1 3 との間に、裏上中第二装飾体 3 4 1 2、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5、及び基板カバー 3 4 1 6 を挿入可能な空間が形成される。また、一对のスライドベース 3 4 1 3 は、前後に貫通し左右に延びているスリット 3 4 1 3 a を、夫々備えている。なお、一对のスライドベース 3 4 1 3 のうちの、一方のスライドベース 3 4 1 3 ではスリット 3 4 1 3 a が上辺に近い側に、残りのスライドベース 3 4 1 3 ではスリット 3 4 1 3 a が下辺に近い側に、夫々形成されている。また、一对のスライドベース 3 4 1 3 は、透光性を有する乳白色に夫々形成されている。

【0536】

一对の裏上中第一装飾基板 3 4 1 4、及び裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 は、表面（全面）が白色の基板である。これにより、光を反射・拡散させ易くしていると共に、基板を目立ち難くしている。裏上中第一装飾体 3 4 1 4 は、裏上中第一装飾体 3 4 1 1 における前面を形成している部位から後方に離れたスライドベース 3 4 1 3 に取付けられていることから、LED からの光が裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の前面を形成している部位に届くまでに、光の照射範囲が広がるため、LED の数が少なくても裏上中第一装飾体 3 4 1 1 全体を均一に発光装飾させることができる。一方、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 は、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の全体を発光装飾させることができる他に、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の中央装飾部 3 4 1 2 a、中央横装飾部 3 4 1 2 b、中間装飾部 3 4 1 2 c、及び端装飾部 3 4 1 2 d を、夫々独立して発光装飾させることができる。

【0537】

基板カバー 3 4 1 6 は、後面における左右両端付近から後方に円柱状に突出しておりスライドベース 3 4 1 3 のスリット 3 4 1 3 a 内に挿入される取付ボス 3 4 1 6 a を備えている。この基板カバー 3 4 1 6 の取付ボス 3 4 1 6 a は、スライドベース 3 4 1 3 のスリット 3 4 1 3 a を貫通した後端が、スライダカバー 3 4 1 7 に取付けられる。また、基板カバー 3 4 1 6 の取付ボス 3 4 1 6 a は、回転可能に取付けられるブッシュ 3 4 2 7 を介して、スリット 3 4 1 3 a 内を左右方向へ相対的に摺動する。この基板カバー 3 4 1 6 は、透明である。

【0538】

スライダカバー 3 4 1 7 は、前後に貫通していると共に左右に延びており第一スライダ 3 4 2 4 の取付ボス 3 4 2 4 a が摺動可能に挿通される第一スリット 3 4 1 7 a と、前後に貫通していると共に左右に延びており第二スライダ 3 4 2 5 の取付ボス 3 4 2 5 a が摺動可能に挿通される第二スリット 3 4 1 7 b と、を備えている。第一スリット 3 4 1 7 a は、正面視において左右方向中央より左側で下辺付近に形成されている。第二スリット 3 4 1 7 b は、正面視において左右方向中央より右側で上辺付近に形成されている。

【0539】

第一ピニオンギア 3 4 2 3 は、正面視において左右方向中央からやや右寄りに配置されている（図 117 を参照）。第一スライダ 3 4 2 4 は、第一ピニオンギア 3 4 2 3 に対し

10

20

30

40

50

て下方からラックギア 3 4 2 4 a が噛合するように配置されており、正面視左端から左右に並んだ二つの取付ボス 3 4 2 4 b が前方に突出している。第一スライダ 3 4 2 4 の二つの取付ボス 3 4 2 4 b は、前端が、スライダカバー 3 4 1 7 の第一スリット 3 4 1 7 a を貫通して前方に突出し、「龍」の頭部側の装飾が施された裏上中第一装飾体 3 4 1 1 に取付けられているスライドベース 3 4 1 3 の後面に取付けられる。第二スライダ 3 4 2 5 は、第一ピニオンギア 3 4 2 3 に対して上方からラックギア 3 4 2 5 a が噛合するように配置されており、正面視右端から左右に並んだ二つの取付ボス 3 4 2 5 b が前方に突出している。第二スライダ 3 4 2 5 の二つの取付ボス 3 4 2 5 b は、前端が、スライダカバー 3 4 1 7 の第二スリット 3 4 1 7 b を貫通して前方に突出し、「龍」の尾部側の装飾が施された裏上中第一装飾体 3 4 1 1 に取付けられているスライドベース 3 4 1 3 のと後面に取付けられる。また、第二スライダ 3 4 2 5 は、正面視右端付近の上部から上方へ平板状に突出している検知片 3 4 2 5 c を備えている。この検知片 3 4 2 5 c は、スライド検知センサ 3 4 2 6 により検知される。

【0540】

続いて、裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 における裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 の動作について説明する。裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 は、通常の状態では、図 1 1 8 (a) 等に示すように、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の凹部 3 4 1 1 a 側の端辺同士が互いに当接して閉じている。この状態では、凹部 3 4 1 1 a により形成される円形の開口を通して裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の中央装飾部 3 4 1 2 a が前方の膨出しており、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 のその他の部位は前方から視認することができない。

【0541】

この通常の状態では、図 1 1 7 (a) に示すように、第一スライダ 3 4 2 4 の正面視左端部と、第二スライダ 3 4 2 5 の正面視右端部とが、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 における左右方向の中央付近に位置している。また第二スライダ 3 4 2 5 の検知片 3 4 2 5 c が、スライド検知センサ 3 4 2 6 により検知されている。通常の状態（閉状態）で、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 により中央装飾部 3 4 1 2 a を発光装飾させると、「麻雀」の「千点棒」を想起させる装飾を遊技者に見せることができる。また、通常の状態で、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 により裏上中第二装飾体 3 4 1 2 全体を発光装飾させると、裏上中第一装飾体 3 4 1 2 の前方を覆っている裏上中第一装飾体 3 4 1 1 を全体的に発光装飾させることができる。更に、通常の状態で、裏上中第一装飾体 3 4 1 4 の LED を発光させると、その光が白色に形成された裏上中第二装飾体 3 4 1 5 の後面、裏上中第一装飾体 3 4 1 4 の前面、等で反射・拡散し、裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の外周等を発光装飾させることができる。

【0542】

通常の状態から、裏上中第一駆動モータ 3 4 2 0 により、第一駆動ギア 3 4 2 1、及び第一伝達ギア 3 4 2 2 を介して第一ピニオンギア 3 4 2 3 を正面視時計回りの方向に回転駆動させると、第一ピニオンギア 3 4 2 3 に噛合している第一スライダ 3 4 2 4 のラックギア 3 4 2 4 a 及び第二スライダ 3 4 2 5 のラックギア 3 4 2 5 a により、第一スライダ 3 4 2 4 が正面視左方へスライド移動すると共に、第二スライダ 3 4 2 5 が正面視右方へスライド移動する。これにより、第一スライダ 3 4 2 4 の取付ボス 3 4 2 4 b を介して取付けられた「龍」の頭部側の装飾が施された裏上中第一装飾体 3 4 1 1 が正面視左方へスライド移動すると共に、第二スライダ 3 4 2 5 の取付ボス 3 4 2 5 b を介して取付けられた「龍」の尾部側の装飾が施された裏上中第一装飾体 3 4 1 1 が正面視右方へスライド移動することとなり、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 が互いに離反する方向にスライドして開くこととなる。

【0543】

一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 を互いに離反する方向へスライド移動させると、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の凹部 3 4 1 1 a 側の端辺同士の間から、裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の後方に配置されている裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の一部が前方に臨むようになる。そして、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の中央横装飾部 3 4 1 2 b が、一对の裏上中第一

装飾体 3 4 1 1 同士の間から前方に臨むようになった状態で、裏上中第一駆動モータ 3 4 2 0 の回転駆動を一旦停止させる。この状態（中間開状態）では、図 1 1 7（b）に示すように、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 同士の間から、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の中央装飾部 3 4 1 2 a と四つの中央横装飾部 3 4 1 2 b とが、前方へ臨んだ状態となる。この状態で、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 により中央装飾部 3 4 1 2 a と中央横装飾部 3 4 1 2 b を発光装飾させると、「麻雀」の「五千点棒」を想起させる装飾を遊技者に見せることができる。

【0 5 4 4】

この状態から、裏上中第一駆動モータ 3 4 2 0 により、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 が互いに離反する方向へスライド移動させて、最も離反した状態で回転駆動を停止させると、図 1 1 8（c）に示すように、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 同士の間から、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の略全体が前方に臨む状態となる（全開状態）。この状態では、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の中央装飾部 3 4 1 2 a、中央横装飾部 3 4 1 2 b、中間装飾部 3 4 1 2 c、及び端装飾部 3 4 1 2 d のすべてが前方に臨んでおり、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 により、中央装飾部 3 4 1 2 a、中央横装飾部 3 4 1 2 b、中間装飾部 3 4 1 2 c、及び端装飾部 3 4 1 2 d を発光装飾させると、「麻雀」の「万点棒」を想起させる装飾を遊技者に見せることができる。また、この状態で、裏上中第一装飾基板 3 4 1 4 及び裏上中第二装飾基板 3 4 1 5 により、裏上中第一装飾体 3 4 1 1 及び裏上中第二装飾体 3 4 1 2 を、全体的に発光装飾させることができる。

【0 5 4 5】

続いて、裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 の回転接続部材 3 4 3 0 は、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 における装飾体ユニットベース 3 4 1 8 の後面で長手方向中央に取付けられると共に、裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 の裏上中回転ユニット 3 4 6 0 における従動ピニオンギア 3 4 6 7 の前面に取付けられる接続ベース 3 4 3 1 と、接続ベース 3 4 3 1 に対して回転可能に取付けられる円筒状の接続ブッシュ 3 4 3 2 と、を備えている。接続ブッシュ 3 4 3 2 の外周面は、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 における回転ユニットベース 3 4 6 1 の挿入孔 3 4 6 1 b 内に挿入される。

【0 5 4 6】

続いて、裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 の裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 について、説明する。裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 は、図 1 2 0 等に示すように、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を回転駆動可能に取付ける裏上中回転ユニット 3 4 6 0 と、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 を前面側で回動可能に取付けており裏箱 3 0 1 0 内に取付けられるユニットベース 3 4 4 1 と、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 よりも前方でユニットベース 3 4 4 1 の前方を覆うようにユニットベース 3 4 4 1 に取付けられているベースカバー 3 4 4 2 と、ベースカバー 3 4 4 2 の前面に取付けられており回転軸がベースカバー 3 4 4 2 を貫通して後方に突出している裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3 と、裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3 の回転軸に取付けられている平歯車状の第二駆動ギア 3 4 4 4 と、第二駆動ギア 3 4 4 4 と噛合する大径で平歯車状の大径伝達ギア 3 4 4 5 a、及び大径伝達ギア 3 4 4 5 a と一体回転する小径で平歯車状の小径伝達ギア 3 4 4 5 b を有しており、ベースカバー 3 4 4 2 に回転可能に取付けられている第二伝達ギア 3 4 4 5 と、第二伝達ギア 3 4 4 5 の小径伝達ギア 3 4 4 5 b と噛合する平歯車状のギア部 3 4 4 6 a、及びギア部 3 4 4 6 a の後面から後方に突出している円柱状の駆動ピン 3 4 4 6 b を有しており、ベースカバー 3 4 4 2 に回転可能に取付けられている昇降駆動ギア 3 4 4 6 と、昇降駆動ギア 3 4 4 6 の駆動ピン 3 4 4 6 b が挿通されて後方に突出する円弧状のスリット 3 4 4 7 a を有しており、第二駆動ギア 3 4 4 4、第二伝達ギア 3 4 4 5、及び昇降駆動ギア 3 4 4 6 の後側を覆うようにベースカバー 3 4 4 2 の後面に取付けられていると共にベースカバー 3 4 4 2 と協働して第二駆動ギア 3 4 4 4、第二伝達ギア 3 4 4 5、及び昇降駆動ギア 3 4 4 6 を回転可能に取付けている平板状のギアカバー 3 4 4 7 と、を備えている。

【0 5 4 7】

また、裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 は、ユニットベース 3 4 4 1 に取付けられており裏

上中回転ユニット 3 4 6 0 の回転位置を検知する回転検知センサ 3 4 4 8 と、ユニットベース 3 4 4 1 と裏上中回転ユニット 3 4 6 0 との間に取付けられており裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 が上昇する方向へ裏上中回転ユニット 3 4 6 0 を付勢しているアシストバネ 3 4 4 9 と、全体が帯状で前後に貫通すると共に長手方向に延びているアシストスリット 3 4 5 0 a を有しており、基端側がユニットベース 3 4 4 1 の前面に回転可能に取付けられているアシストアーム 3 4 5 0 と、アシストアーム 3 4 5 0 を前方からユニットベース 3 4 4 1 側へ回転可能に押えておりユニットベース 3 4 4 1 の前面に取付けられているアーム押え 3 4 5 1 と、を備えている。

【0548】

裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 の裏上中回転ユニット 3 4 6 0 は、図 1 2 1 等に示すように、ユニットベース 3 4 4 1 に回転可能に取付けられる軸受部 3 4 6 1 a、前後に貫通しており所定方向に延びた長孔状で昇降駆動ギア 3 4 4 6 の駆動ピン 3 4 4 6 b が摺動可能に挿入される駆動スリット 3 4 6 1 b、回転接続部材 3 4 3 0 の接続ブッシュ 3 4 3 2 が挿入される挿入孔 3 4 6 1 c、及び後方に突出しておりアシストアーム 3 4 5 0 のアシストスリット 3 4 5 0 a 内に挿入される円柱状のアシストピン 3 4 6 1 d を有しており、後方が開放された浅い箱状の回転ユニットベース 3 4 6 1 と、回転ユニットベース 3 4 6 1 の開放されている後方側を閉鎖するように回転ユニットベース 3 4 6 1 の後側に取付けられている後方カバー 3 4 6 2 と、を備えている。

【0549】

また、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 は、後方カバー 3 4 6 2 と回転ユニットベース 3 4 6 1 との間に回転軸が突出するように回転ユニットベース 3 4 6 1 の前面に取付けられている裏上中第三駆動モータ 3 4 6 3 と、裏上中第三駆動モータ 3 4 6 3 の回転軸に取付けられている平歯車状の第三駆動ギア 3 4 6 4 と、第三駆動ギア 3 4 6 4 と噛合しており回転ユニットベース 3 4 6 1 と後方カバー 3 4 6 2 とにより回転可能に取付けられている平歯車状の駆動ピニオンギア 3 4 6 5 と、駆動ピニオンギア 3 4 6 5 と噛合しており回転ユニットベース 3 4 6 1 と後方カバー 3 4 6 2 との間で所定方向へスライド可能に取付けられている棹状の伝達ラックギア 3 4 6 6 と、伝達ラックギア 3 4 6 6 と噛合しており回転ユニットベース 3 4 6 1 の挿入孔 3 4 6 1 c と同軸上の位置で回転ユニットベース 3 4 6 1 と後方カバー 3 4 6 2 とにより回転可能に取付けられており前面に回転接続部材 3 4 3 0 の接続ベース 3 4 3 1 の後端が取付けられる平歯車状の従動ピニオンギア 3 4 6 7 と、を備えている。

【0550】

更に、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 は、従動ピニオンギア 3 4 6 7 の回転位置を検知し回転ユニットベース 3 4 6 1 に取付けられている回転検知センサ 3 4 6 8 と、内側に回転ユニットベース 3 4 6 1 のアシストピン 3 4 6 1 d が挿入されると共に外側がアシストアーム 3 4 5 0 のアシストスリット 3 4 5 0 a 内に摺動可能に挿入される鍔付円筒状のブッシュ 3 4 6 9 と、回転ユニットベース 3 4 6 1 のアシストピン 3 4 6 1 d の後端に取付けられアシストピン 3 4 6 1 d からブッシュ 3 4 6 9 が抜けるのを防止する抜止キャップ 3 4 7 0 と、を備えている。

【0551】

裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 のユニットベース 3 4 4 1 は、上下に延びた四角形の正面視左側辺の上部が左方に突出したような形状に形成されており、下部の前面から前方に突出し裏上中回転ユニット 3 4 6 0 を回転可能に取付けるための回転支持ピン 3 4 4 1 a を備えている。ユニットベース 3 4 4 1 の回転支持ピン 3 4 4 1 a は、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 における回転ユニットベース 3 4 6 1 の軸受部 3 4 6 1 a に挿入される。ユニットベース 3 4 4 1 には、前面の上端部で正面視右端付近に回転検知センサ 3 4 4 8 が取付けられると共に、正面視左端付近にアシストアーム 3 4 5 0 が取付けられる。

【0552】

裏上第二駆動モータ 3 4 6 3 は、ベースカバー 3 4 4 2 の前面における上端部付近に取付けられている。裏上第二駆動モータ 3 4 6 3 の回転駆動が、第二駆動ギア 3 4 4 4、及

び第二伝達ギア 3 4 4 5 を介して伝達される昇降駆動ギア 3 4 4 6 は、ユニットベース 3 4 4 1 及びベースカバー 3 4 4 2 の上下方向略中央の位置で回転可能に取付けられている（図 1 2 2 を参照）。

【0 5 5 3】

アシストバネ 3 4 4 9 は、コイル状のトーションバネとされており、ユニットベース 3 4 4 1 における回動支持ピン 3 4 4 1 a の外周を囲むように取付けられている。アシストアーム 3 4 5 0 は、アーム押え 3 4 5 1 によってユニットベース 3 4 4 1 側に押付けられることで、ガタツクことなく同一面上で回転することができる。

【0 5 5 4】

裏上中回転ユニット 3 4 6 0 の回転ユニットベース 3 4 6 1 は、左右に延びており、ユニットベース 3 4 4 1 の回動支持ピン 3 4 4 1 a が挿入される軸受部 3 4 6 1 a が正面視右下隅に形成されている。この軸受部 3 4 6 1 a は、金属製のベアリングにより形成されている。回転ユニットベース 3 4 6 1 の駆動スリット 3 4 6 1 b は、軸受部 3 4 6 1 a の上方に形成されており、上下に延びている。回転ユニットベース 3 4 6 1 の挿入孔 3 4 6 1 c は、正面視左端付近に形成されている。この回転ユニットベース 3 4 6 1 は、下辺に沿って左右に伝達ラックギア 3 4 6 6 よりも長く延びており伝達ラックギア 3 4 6 6 を摺動可能に収容するスライド溝 3 4 6 1 e と、正面視右端上部から上方に突出しており回動検知センサにより検知される検知片 3 4 6 1 f と、を備えている。

【0 5 5 5】

裏上中第三駆動モータ 3 4 6 3 は、回転ユニットベース 3 4 6 1 における軸受部 3 4 6 1 a と挿入孔 3 4 6 1 c との間の略中央に取付けられている。従動ピニオンギア 3 4 6 7 は、伝達ラックギア 3 4 6 6 と噛合する外周のギア歯が、全周の約 $3/4$ の範囲内のみ形成されており、一回転することはない。この従動ピニオンギア 3 4 6 7 は、外周におけるギア歯の形成されていない部位から外方に延出している扇状の検知片 3 4 6 7 a を備えており、この検知片 3 4 6 7 a が回転検知センサ 3 4 6 8 により検知される。

【0 5 5 6】

続いて、裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 の裏右上装飾ユニット 3 4 8 0 について説明する。裏右上装飾ユニット 3 4 8 0 は、裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 における裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3 よりも前方の位置でベースカバー 3 4 4 2 の前面に取付けられる装飾ベース 3 4 8 1 と、装飾ベース 3 4 8 1 の前面に取付けられており前面に複数の LED が実装されている裏右上装飾基板 3 4 8 2 と、裏右上装飾基板 3 4 8 2 よりも前方に配置され装飾ベース 3 4 8 1 の前面に取付けられている透光性を有する裏右上装飾体 3 4 8 3 と、を備えている。

【0 5 5 7】

この裏右上装飾ユニット 3 4 8 0 は、裏右上装飾基板 3 4 8 2 の LED を発光させることで、裏右上装飾体 3 4 8 3 を発光装飾させることができる。この裏右上装飾ユニット 3 4 8 0 の裏右上装飾体 3 4 8 3 は、遊技盤 5 に組立てた状態で、センター役物 2 5 0 0 の正面視右打遊技領域 2 5 4 0 内における右打流通空間 2 5 4 1 内のゲート部 2 0 0 3 と一般入賞口 2 0 0 1 との間に位置しており、右上流通空間 2 5 4 1 内を透明な遊技パネル 1 1 0 0 を通して後方から発光装飾させることができる。

【0 5 5 8】

裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 の裏上中中継基板 3 4 9 0 は、裏上中第一装飾基板 3 4 1 4、裏上中第二装飾基板 3 4 1 5、裏上中第一駆動モータ 3 4 2 0、スライド検知センサ 3 4 2 6、裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3、回動検知センサ 3 4 4 8、裏上中第三駆動モータ 3 4 6 3、回転検知センサ 3 4 6 8、及び裏右上装飾基板 3 4 8 2 と、周辺制御基板 1 5 1 0 に接続されている演出駆動基板 3 0 4 3 と、を接続している。

【0 5 5 9】

続いて、裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 の動作について裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 の動作と共に説明する。裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 は、通常の状態では、図 1 2 3 (a) に示すように、長手方向が水平となるように裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 が左右

10

20

30

40

50

に延びた状態で、その上辺が裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 におけるユニットベース 3 4 4 1 の上辺よりもやや下方に位置している。この通常の状態では、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 が互いに当接して閉じている。

【0 5 6 0】

この通常の状態では、図 1 2 2 に示すように、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 が上方側の回動端に位置しており、昇降駆動ギア 3 4 4 6 の駆動ピン 3 4 4 6 b が、回転ユニットベース 3 4 6 1 の駆動スリット 3 4 6 1 b 内の下端に位置している。この状態では、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 に、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 等の重量により回動支持ピン 3 4 4 1 a を中心として正面視反時計回りの方向へ回動させようとする回転モーメントが作用している。この回転モーメントにより、駆動スリット 3 4 6 1 b を介して駆動ピン 3 4 4 6 b が左方側へ押圧されている。そして、駆動ピン 3 4 4 6 b が押圧されることで昇降駆動ギア 3 4 4 6 が回転しようとするが、駆動ピン 3 4 4 6 b が、昇降駆動ギア 3 4 4 6 の回転中心を通り駆動スリット 3 4 6 1 b の延びている方向に対して直交する線よりも下方に位置していることから、昇降駆動ギア 3 4 4 6 が正面視時計回りの方向に回転しようとする。しかしながら、昇降駆動ギア 3 4 4 6 の駆動ピン 3 4 4 6 b が駆動スリット 3 4 6 1 b 内の下端に当接しているため、これ以上、昇降駆動ギア 3 4 4 6 が時計回りの方向に回転することができず、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 が通常の状態に維持され、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 が上昇した状態でロックされている。また、この状態では、回転モーメントの作用にも関わらず昇降駆動ギア 3 4 4 6 が回転しないため、第二伝達ギア 3 4 4 5 及び第二駆動ギア 3 4 4 4 を介して裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3 に負荷がかかることはなく、裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3 に通電していなくても裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を上昇端に維持することができる。

【0 5 6 1】

また、通常の状態では、回転ユニットベース 3 4 6 1 のスライド溝 3 4 6 1 e によりスライド可能に支持されている伝達ラックギア 3 4 6 6 が、回動支持ピン 3 4 4 1 a (軸受部 3 4 6 1 a) が遠ざかった移動端に位置していると共に、伝達ラックギア 3 4 6 6 と噛合している従動ピニオンギア 3 4 6 7 が、正面視で時計回りの方向への回動端付近に回転位置している。また、通常の状態では、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 の回転ユニットベース 3 4 6 1 の挿入孔 3 4 6 1 c (従動ピニオンギア 3 4 6 7) の中心が、軸受孔 3 4 6 1 a (回動支持ピン 3 4 4 1 a) の中心よりも上方に位置している。更に、通常の状態では、アシストアーム 3 4 5 0 が水平に延びており、アシストアーム 3 4 5 0 のアシストスリット 3 4 5 0 a 内に摺動可能に挿入されている回転ユニットベース 3 4 6 1 のアシストピン 3 4 6 1 d が、アシストスリット 3 4 5 0 a 内の基端側の端部付近に位置している。

【0 5 6 2】

また、通常の状態では、回転ユニットベース 3 4 6 1 の検知片 3 4 6 1 f が、回動検知センサ 3 4 4 8 により検知されていると共に、従動ピニオンギア 3 4 6 7 の検知片 3 4 6 7 a が、回転検知センサ 3 4 6 8 により検知されている。また、通常の状態では、遊技盤 5 に組立てた状態で、水平に延びて閉じている一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 が、正面視センター役物 2 5 0 0 の枠内におけるメイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面よりも上方で遊技者側から視認可能に位置している (図 8 1 等を参照)。

【0 5 6 3】

この通常の状態から、裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3 により第二駆動ギア 3 4 4 4、及び第二伝達ギア 3 4 4 5 を介して昇降駆動ギア 3 4 4 6 を、正面視反時計回りの方向に回動させると、昇降駆動ギア 3 4 4 6 の駆動ピン 3 4 4 6 b が駆動スリット 3 4 6 1 b 内を上昇するように反時計回りの方向に公転する。この駆動ピン 3 4 4 6 b が正面視反時計回りの方向に公転することで、駆動ピン 3 4 4 6 b が駆動スリット 3 4 6 1 b 内を左方に押圧し、駆動スリット 3 4 6 1 b を介して裏上中回転ユニット 3 4 6 0 が、回動支持ピン 3 4 4 1 a を中心にして正面視反時計回りの方向に回動することとなる。

【0 5 6 4】

この裏上中回転ユニット 3 4 6 0 が正面視反時計回りの方向に回動すると、回動支持ピン

ン 3 4 4 1 a (軸受部 3 4 6 1 a) よりも上方で正面視左方に位置している回転ユニットベース 3 4 6 1 の挿入孔 3 4 6 1 c (従動ピニオンギア 3 4 6 7) 側が、下方へ移動する。これにより、回転ユニットベース 3 4 6 1 の挿入孔 3 4 6 1 c を通した回転接続部材 3 4 3 0 を介して従動ピニオンギア 3 4 6 7 に取付けられている裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 が下降することとなる。この際に、回転ユニットベース 3 4 6 1 のアシストピン 3 4 6 1 d が、回動支持ピン 3 4 4 1 a を中心に正面視反時計回りの方向に公転するため、アシストピン 3 4 6 1 d によりアシストアーム 3 4 5 0 が正面視反時計回りの方向に回動すると共に、アシストピン 3 4 6 1 d がアシストスリット 3 4 5 0 a 内をその先端側に向かって摺動する。

【0565】

10

そして、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 が、通常の状態から正面視反時計回りに約 4 1 度回動すると、裏上中第二駆動モータ 3 4 4 3 の回転駆動が停止し、回転ユニットベース 3 4 6 1 の挿入孔 3 4 6 1 c (従動ピニオンギア 3 4 6 7) が、回動支持ピン 3 4 4 1 a よりも下方に位置し、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 が下降端に位置した状態となる (図 1 2 3 (b) を参照)。この状態では、回転ユニットベース 3 4 6 1 の一部が、ユニットベース 3 4 4 1 に当接すると共に、アシストピン 3 4 6 1 d が、アシストスリット 3 4 5 0 a 内の先端側の端部に当接しており、裏上中回転ユニット 3 4 6 0 がこれ以上回動するのが規制された状態となっている。

【0566】

20

裏上中回転ユニット 3 4 6 0 を正面視反時計回りの方向に回動させて、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を下降端に位置させた状態では、遊技盤 5 に組立てた状態で、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 の中心 (裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の中央装飾部 3 4 1 2 a) が、センター役物 2 5 0 0 の枠内の略中央に位置している (図 1 3 7 を参照)。

【0567】

裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を下降端に移動させた状態で、裏上中第三駆動モータ 3 4 6 3 により第三駆動ギア 3 4 6 4 を介して駆動ピニオンギア 3 4 6 5 を正面視時計回りの方向に回転駆動させると、駆動ピニオンギア 3 4 6 5 と噛合している伝達ラックギア 3 4 6 6 が、スライド溝 3 4 6 1 e 内で正面視右方向にスライドする。この伝達ラックギア 3 4 6 6 が右方向にスライドすることで、伝達ラックギア 3 4 6 6 と噛合している従動ピニオンギア 3 4 6 7 が正面視反時計回りの方向に回転し、従動ピニオンギア 3 4 6 7 の前面に取付けられている回転接続部材 3 4 3 0 の接続ベース 3 4 3 1 を介して裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 も正面視反時計回りの方向に回転することとなる。

30

【0568】

この裏上中回転ユニット 3 4 6 0 では、伝達ラックギア 3 4 6 6 がスライド溝 3 4 6 1 e の正面視右端に到達するまで、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を正面視反時計回りの方向に回転させることができる。本実施形態では、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を、通常の状態から、反時計回りの方向に約 1 9 3 度回転させることができる。従って、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を下降端に位置させた状態では、水平に延びている通常の状態に対して、正面視反時計回りの方向に 2 0 8 度回転させることができる (図 1 2 3 (b) を参照)。そして、この図 1 2 3 (b) の状態で、裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 の裏上中第一駆動モータ 3 4 2 0 を駆動して一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 を、互いに離反する方向にスライド移動させる (図 1 3 8 及び図 1 3 9 等を参照)。

40

【0569】

このように、裏上中可動演出ユニット 3 4 0 0 は、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 と裏上中第二装飾体 3 4 1 2 を有した裏上中装飾体ユニット 3 4 1 0 を、裏上中駆動ユニット 3 4 4 0 により昇降させることができると共に回転させることができる上に、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 同士を開いたり閉じたりすることができ、多彩な可動演出を遊技者に提示することができる。また、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 の開く度合いにより一对の裏上中第一装飾体同士の間から前方に臨む裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の装飾により表現される「麻雀」の「点棒」の点数を変化させることができるため、その「点棒」の点

50

数によって遊技者の遊技に対する期待感を高めさせることができる。

【0570】

[5-9 g. 裏下前可動演出ユニット]

次に、裏ユニット3000の裏下前可動演出ユニット3500について、主に図124乃至図131を参照して詳細に説明する。図124(a)は裏ユニットの裏下前可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏下前可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図125は裏下前可動演出ユニットを裏下前装飾体ユニット以外を分解して前から見た分解斜視図であり、図126は裏下前可動演出ユニットを裏下前装飾体ユニット以外を分解して後ろから見た分解斜視図である。図127は裏下前可動演出ユニットの裏下前装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図128は裏下前可動演出ユニットの裏下前装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図129は、裏下前可動演出ユニットにおける装飾体ユニット昇降機構を概略で示す正面図である。図130(a)は裏下前装飾体ユニットを上昇させた時の装飾体ユニット昇降機構の状態を概略で示す説明図であり、(b)は(a)においてユニット昇降ピンの部位を拡大して示す説明図であり、(c)は(b)を更に拡大してユニット昇降ピンと昇降用スリットとの関係を示す説明図である。図131(a)裏下前可動演出ユニットを通常の状態を示す正面図であり、(b)は(a)の状態から裏下前装飾体ユニットを上昇させた状態を示す正面図であり、(c)は(b)の状態から裏下前装飾体ユニットの裏下前第一装飾体を上昇させた状態を示す正面図である。

10

【0571】

20

裏下前可動演出ユニット3500は、裏箱3010内における開口部3010aの下方で裏下後可動演出ユニット3100の前面に取付けられている。裏下前可動演出ユニット3500は、所定の装飾が施されている裏下前装飾体ユニット3501と、裏下前装飾体ユニット3501を昇降させ裏下後可動演出ユニット3100の前面に取付けられる昇降ユニット3502と、昇降ユニット3502の正面視左端部前面に取付けられている裏左下装飾ユニット3503と、昇降ユニット3502の前面における正面視左右方向中央から左寄りに取付けられている裏下中装飾ユニット3504と、昇降ユニット3502の前面における裏下中装飾ユニット3504の正面視左方から下方にかけて取付けられている裏左下球誘導ユニット3505と、昇降ユニット3502の後面に取付けられている裏下前中継基板3506と、を備えている。

30

【0572】

裏下前可動演出ユニット3500の裏下前装飾体ユニット3501は、図127及び図128等に示すように、左右に延びた板状で両面に異なる装飾が施されている裏下前第一装飾体3510と、裏下前第一装飾体3510を左右に延びている上辺においてヒンジ回転可能に取付けていると共に昇降ユニット3502に昇降可能に取付けられており前面に装飾が施されている裏下前第二装飾体3520と、を備えている。

【0573】

裏下前装飾体ユニット3501の裏下前第一装飾体3510は、正面視の形状が左右に長く延びた四角形で前面に所定の装飾が形成されており後方側が開放された浅い箱状で透光性を有する第一表装飾部材3511と、第一表装飾部材3511の後面に取付けられていると共に後面に所定の装飾が形成されており前方側が開放された浅い箱状で透光性を有する第一裏装飾部材3512と、第一裏装飾部材3512と第一表装飾部材3511との間に取付けられており両面に複数のLEDが実装されている裏下前第一装飾基板3513と、第一裏装飾部材3512の上辺における正面視左右両端から左右に延びた軸線に対して同軸上となるように斜め上後方に突出している円筒状の二つの第一ヒンジ部3514と、第一裏装飾部材3512の正面視右側面から右方に円柱状に突出しており後述する裏下前第二装飾体3520における装飾体昇降アーム3533のスリット3533a内に摺動可能に挿入される装飾体昇降ピン3515と、第一裏装飾部材3512の正面視右辺から後方に突出している平板状の検知片3516と、を備えている。

40

【0574】

50

裏下前第一装飾体 3 5 1 0 は、二つの第一ヒンジ部 3 5 1 4 のうち、正面視右側の第一ヒンジ部 3 5 1 4 が、第一裏装飾部材 3 5 1 2 の正面視右端よりも若干左方寄りに取付けられている。なお、詳細な図示は省略するが、裏下前第一装飾体 3 5 1 1 の第一装飾部材 3 5 1 1 は、「麻雀」の「牌」が左右に複数並んだ装飾が施されている。

【0 5 7 5】

裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 の裏下前第二装飾体 3 5 2 0 は、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 よりも左右及び上下が大きく形成されていると共に前面に所定の装飾が形成されており後方側が開放された浅い箱状で透光性を有する第二装飾部材 3 5 2 1 と、第二装飾部材 3 5 2 1 の後面に取付けられており前面に複数の LED が実装されている裏下前第二装飾基板 3 5 2 2 と、裏下前第二装飾基板 3 5 2 2 の後方を覆って第二装飾部材 3 5 2 1 の後側 10 に取付けられている平板状の基板カバー 3 5 2 3 と、第二装飾部材 3 5 2 1 の左右に延びている上辺における正面視左右両端部付近から左右に延びた軸線に対して同軸上となるように斜め上前方に突出しており裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の第一ヒンジ部 3 5 1 4 をヒンジ回転可能に取付けるための円筒状の二つの第二ヒンジ部 3 5 2 4 と、二つの第二ヒンジ部 3 5 2 4 のうち正面視右側の第二ヒンジ部 3 5 2 4 内に左側から右端側が挿入されると共に左端側が裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の正面視右側の第一ヒンジ部 3 5 1 4 内に右側から挿入される円柱状のヒンジシャフト 3 5 2 5 と、第二装飾部材 3 5 2 1 の正面視左端の後面に取付けられ裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の正面視左側の第一ヒンジ部 3 5 1 4 内に左側から挿入されるヒンジシャフト 3 5 2 6 a を有したヒンジ押え 3 5 2 6 と、を備えている。 20

【0 5 7 6】

また、裏下前第二装飾体 3 5 2 0 は、第二装飾部材 3 5 2 1 の正面視右側面に取付けられ右方が開放された浅い箱状のギアベース 3 5 2 7 と、ギアベース 3 5 2 7 を貫通して回転軸が右方に突出するようにギアベース 3 5 2 7 の正面視左側面に取付けられている裏下前第一駆動モータ 3 5 2 8 と、裏下前第一駆動モータ 3 5 2 8 の回転軸に取付けられている平歯車状の第一駆動ギア 3 5 2 9 と、第一駆動ギア 3 5 2 9 と噛合しておりギアベース 3 5 2 7 に回転可能に取付けられている伝達第一ギア 3 5 3 0 と、伝達第一ギア 3 5 3 0 と噛合しておりギアベース 3 5 2 7 に回転可能に取付けられている伝達第二ギア 3 5 3 1 と、伝達第二ギア 3 5 3 1 と噛合しておりギアベース 3 5 2 7 に回転可能に取付けられている第一昇降ギア 3 5 3 2 と、ギアベース 3 5 2 7 の正面視左方において第一昇降ギア 3 5 3 2 と一体回転し左右方向に貫通していると共に回転中心を通る軸線上に延びており裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の装飾体昇降ピン 3 5 1 5 が摺動可能に挿入されるスリット 3 5 3 3 a を有している装飾体昇降アーム 3 5 3 3 と、第一駆動ギア 3 5 2 9 、伝達第一ギア 3 5 3 0 、伝達第二ギア 3 5 3 1 、及び第一昇降ギア 3 5 3 2 の正面視右方を覆うようにギアベース 3 5 2 7 の開放されている右端側を閉鎖しておりギアベース 3 5 2 7 に取付けられている平板状のギアカバー 3 5 3 4 と、を備えている。 30

【0 5 7 7】

更に、裏下前第二装飾体 3 5 2 0 は、第二装飾部材 3 5 2 1 の正面視左側面に取付けられており裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の検知片 3 5 1 6 を検知可能な装飾体昇降検知センサ 3 5 3 5 と、装飾体昇降検知センサ 3 5 3 5 を覆うように第二装飾部材 3 5 2 1 の正面視左側面に取付けられているセンサカバー 3 5 3 6 と、第二装飾部材 3 5 2 1 の正面視右端下部から下方に延出しているスライダ取付部 3 5 3 7 と、基板カバー 3 5 2 3 の後面の上部で背面視右端付近から円柱状に後方に突出しているガイドボス 3 5 3 8 と、を備えている。 40

【0 5 7 8】

裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 では、第一ヒンジピン 3 5 1 5 、装飾体昇降ピン 3 5 1 5 、第二ヒンジ部 3 5 2 4 、ヒンジシャフト 3 5 2 5 、 3 5 2 6 a 、裏下前第一駆動モータ 3 5 2 8 、第一駆動ギア 3 5 2 9 、伝達第一ギア 3 5 3 0 、伝達第二ギア 3 5 3 1 、第一昇降ギア 3 5 3 2 、及び装飾体昇降アーム 3 5 3 3 が、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 を左右に延びた軸線に対してヒンジ回転させて昇降させる装飾体昇降機構 3 5 0 1 A を構成し 50

ている。

【0579】

また、裏下前第二装飾体3520は、第二装飾部材3521における下部で正面視左右方向中央より左側に形成されており前後に貫通し左右に延びている長孔状の昇降用スリット3540を、備えている。この昇降用スリット3540は、図129及び図130等に表示するように、左右に延びている両端が同じ高さに形成されており、左右に延びている上辺において正面視左端から右方寄りの部位に下方へ突出しているロック突起3540aを有している。このロック突起3540aは、正面視左側の辺が、昇降用スリット3540の左端の半円弧の上端から水平に延びた線に接する円弧状に形成されており、正面視右側の辺が、昇降用スリット3540の右端の半円弧の上端から水平に左方へ若干延びた部位の左端に向かって斜めに延びた直線状に形成されている。なお、昇降用スリット3540の左右に延びている下辺は、上辺との間で略一定の間隔を形成するように、上辺に倣った形状に形成されている。

10

【0580】

裏下前可動演出ユニット3500の昇降ユニット3502は、裏下後可動演出ユニット3100の前面に取付けられる平板状のユニットベース3550と、ユニットベース3550との間に裏下前装飾体ユニット3501の裏下前第一装飾体3510よりも下側の部位を収容可能な隙間を空けてユニットベース3550の前面に取付けられているベースカバー3551と、ユニットベース3550とベースカバー3551との間に回転軸が突出するようにユニットベース3550の後面に取付けられている裏下前第二駆動モータ3552と、裏下前第二駆動モータ3552の回転軸に取付けられている平歯車状の第二駆動ギア3553と、第二駆動ギア3553と噛合しておりユニットベース3550とベースカバー3551とによって回転可能に取付けられている第二伝達ギア3554と、第二伝達ギア3554と噛合する円弧状の第二昇降ギア3555a、第二昇降ギア3555aの円弧と同心の略半円で平板状の本体部3555b、本体部3555bの中心で貫通しておりユニットベース3550とベースカバー3551とによって回転可能に取付けられる軸孔3555c、及び第二昇降ギア3555aから遠ざかる方向へ本体部3555bから延出しているアーム部3555dを有しているユニット昇降アーム3555と、ユニット昇降アーム3555におけるアーム部3555dの先端に前方から取付けられ裏下前装飾体ユニット3501の昇降用スリット3540内に摺動可能に挿入される円柱状のユニット昇降ピン3556a、ユニット昇降ピン3556aの前端からユニット昇降アーム3555のアーム部3555dに沿って軸孔3555c側へ延びている平板状の連結片3556b、及び連結片3556bの先端から後方に突出しており後端がユニット昇降アーム3555の本体部3555bの前面に取付けられる取付ボス3556cを有しているアーム補強部材3556と、を備えている。

20

30

【0581】

裏下前第二駆動モータ3552は、ユニットベース3550の正面視左下隅の後面に取付けられている。第二駆動ギア3553は、外方に延出した平板状の検知片3553aを備えている。ユニット昇降アーム3555は、ユニットベース3550における正面視左右方向中央から左寄りで上部付近の位置を中心にして回転するように取付けられている。ユニット昇降アーム3555は、軸孔3555cからアーム部3555dの先端までの距離が、第二昇降ギア3555aの半径よりも長く形成されている。

40

【0582】

また、昇降ユニット3502は、ユニットベース3550の前面に取付けられており第二駆動ギア3553の検知片3353aを検知可能なユニット昇降検知センサ3557と、ユニットベース3550の前面で正面視右端部に取付けられており上下延びているスライドベース3558と、スライドベース3558の前側に上下にスライド可能に取付けられている上下延びた棒状の中間スライダ3559と、中間スライダ3559の前側に上下にスライド可能に取付けられており前面が裏下前装飾体ユニット3501のスライダ取付部3537に取付けられる上下に延びた取付スライダ3560と、を備えている。

50

【0583】

この昇降ユニット3502では、裏下前第二駆動モータ3552、第二駆動ギア3553、第二伝達ギア3554、ユニット昇降アーム3555、アーム補強部材3556（ユニット昇降ピン3556a）、スライドベース3558、中間スライダ3559、及び取付スライダ3560により、裏下前装飾体ユニット3501を昇降させる装飾体ユニット昇降機構3502Aを構成している。

【0584】

更に、昇降ユニット3502は、ユニットベース3550の後面に基端側が回転可能に取付けられており前後に貫通し先端側へ向かって延びていると共に裏下前装飾体ユニット3501のガイドボス3538が挿通されるガイドスリット3561aを有しているガイドアーム3561と、ガイドアーム3561のガイドスリット3561a内に後方から摺動可能に挿入されると共に裏下前装飾体ユニット3501のガイドボス3538が挿入されるガイドブッシュ3562と、ガイドブッシュ3562の後方でガイドボス3538の後端に取付けられるバネベース3563と、ガイドアーム3561の基端側後面を回転可能に支持しておりユニットベース3550の後面に取付けられているアーム押え3564と、アーム押え3564とバネベース3563とに両端が夫々取付けられておりアーム押え3564とバネベース3563とが互いに接近する方向へ付勢しているアシストバネ3565と、を備えている。ガイドアーム3561は、ユニットベース3550の正面視左上で右寄りの位置の後面に回転可能に取付けられており、先端側が右方に延出している。

【0585】

裏下前可動演出ユニット3500の裏左下装飾ユニット3503は、ユニットベース3550の正面視左上隅に取付けられ前面に「麻雀」の「牌」を模した立体的な装飾が形成されている透光性を有した裏左下装飾体3560と、裏左下装飾体3560の後方でユニットベース3550の前面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏左下装飾基板3561と、を備えている。裏左下装飾ユニット3503は、裏左下装飾基板3561のLEDを適宜発光させることで裏左下装飾体3560を発光装飾させることができる。この裏左下装飾ユニット3503は、遊技盤5に組立てた状態では、サイドユニット上2300の後方に位置しており、遊技領域5a内におけるサイドユニット上2300付近を発光装飾させることができる。

【0586】

裏下前可動演出ユニット3500の裏下中装飾ユニット3504は、ベースカバー3551の前面における正面視左右方向中央より左側の部位に取付けられており「ドクン」の文字の装飾が形成されている透光性を有する裏下中装飾体3570と、裏下中装飾体3570の後方でベースカバー3551の前面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏下中装飾基板3571と、を備えている。裏下中装飾ユニット3504は、裏下中装飾基板3571のLEDを適宜発光させることで、裏下中装飾体3570を発光装飾させることができる。この裏下中装飾ユニット3504は、遊技盤5に組立てた状態では、正面視遊技領域5a内におけるサイドユニット下2200とセンター役物2500との間に位置している。

【0587】

裏下前可動演出ユニット3500の裏左下球誘導ユニット3505は、サイドユニット下2200の三つの一般入賞口2001に受入れられた遊技球を、下方に誘導して排出することができる。この裏左下球誘導ユニット3505は、ベースカバー3551の前面に取付けられており前面が開放されている透明な通路部材3580と、通路部材3580の開放されている前面を閉鎖している透明平板状のカバー3581と、通路部材3580の後方でベースカバー3551の前面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されているサイド後装飾基板3582と、を備えている。通路部材3580内には、サイドユニット下2200の一般入賞口2001に受入れられた遊技球を検知する一般入賞口センサ3015が取付けられている。また、裏左下球誘導ユニット3505は、遊技盤5に組立てた状態では、サイドユニット下2200の後方に位置しており、サイド後装飾基板35

８２のＬＥＤを適宜発光させることで、サイドユニット下２２００を発光装飾させることができる。

【０５８８】

裏下前可動演出ユニット３５００の裏下前中継基板３５０６は、裏下前第一装飾基板３５１３、裏下前第二装飾基板３５２２、裏下前第一駆動モータ３５２８、装飾体昇降検知センサ３５３５、裏下前第二駆動モータ３５５２、ユニット昇降検知センサ３５５７、裏左下装飾基板３５６１、裏下中装飾基板３５７１、及びサイド後装飾基板３５８２と、周辺制御基板１５１０と接続されている演出駆動基板３０４３との接続を中継している。

【０５８９】

続いて、裏下前可動演出ユニット３５００の動作について説明する。裏下前可動演出ユニット３５００は、図１３１（ａ）等に示すように、通常の状態では、裏下前装飾体ユニット３５０１が下降端に位置していると共に、裏下前装飾体ユニット３５０１における裏下前第一装飾体３５１０が、下降するようにヒンジ回転して裏下前第二装飾体３５２０の前方に位置している。この状態では、裏下前第一装飾体３５１０の第一表装飾部材３５１１が前方に臨んでいる。

10

【０５９０】

この通常の状態では、図１２９に示すように、昇降ユニット３５０２のユニット昇降アーム３５５５のアーム部３５５５ｄの先端が軸孔３５５５ｃよりも下方に位置していると共に、アーム部３５５５ｄの先端に取付けられ裏下前装飾体ユニット３５０１の昇降用スリット３５４０内に挿入されているアーム補強部材３５５６のユニット昇降ピン３５５６ａが、昇降用スリット３５４０内の正面視右端付近に位置している。また、ユニットベース３５５０に回転可能に取付けられているガイドアーム３５６１は、先端を正面視右方に向けて略水平に延びた状態となっており、ガイドアーム３５６１のガイドスリット３５６１ａ内に挿入されている裏下前装飾ユニット３５０１のガイドボス３５３８が、ガイドスリット３５６１ａ内の正面視左端に位置している。この状態では、第二駆動ギア３５５３の検知片３５５３ａが、ユニット昇降検知センサ３５５７により検知されている。

20

【０５９１】

また、詳細な図示は省略するが、通常の状態では、裏下前装飾体ユニット３５０１の裏下前第二装飾体３５２０における装飾体昇降アーム３５５３が、先端側が回転中心から下方に延びた状態となっており、装飾体昇降アーム３５５３のスリット３５３３ａ内に挿入されている裏下前第一装飾体３５１０の装飾体昇降ピン３５１５が、スリット３５３３ａ内における回転中心に近い側の端部に位置している。この通常の状態では、裏下前第一装飾体３５１０の検知片３５１６が、裏下前第二装飾体３５２０の装飾体昇降検知センサ３５３５により検知されている。

30

【０５９２】

この通常の状態では、遊技盤５に組立てた状態で、正面視メイン液晶表示装置１６００の表示画面よりも下方で、センター役物２５００の下辺の後方に位置しており、裏下前装飾体ユニット３５０１における裏下前第一装飾体３５１０の第一表装飾部材３５１１が、ステージ２５３０の上方に位置している。

【０５９３】

通常の状態では、昇降ユニット３５０２の裏下前第二駆動モータ３５５２により、第二駆動ギア３５５３、及び第二伝達ギア３５５４を介して、ユニット昇降アーム３５５５を正面視反時計回りの方向に回転させると、アーム部３５５５ｄ先端のユニット昇降ピン３５５６ａが、軸孔３５５５ｃを中心にして上昇する方向へ公転することとなる。このユニット昇降ピン３５５６ａが公転して上昇することで、ユニット昇降ピン３５５６ａが昇降用スリット３５４０内を上方へ押圧し、裏下前装飾体ユニット３５０１が上昇することとなる。この裏下前装飾体ユニット３５０１は、正面視右端部が、スライドベース３５５８、中間スライダ３５５９、及び取付スライダ３５６０を介してユニットベース３５５０に取付けられていることから、傾くことなく真っ直ぐに上昇する。

40

【０５９４】

50

この裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 が上昇するのに伴って、昇降用スリット 3 5 4 0 内に挿入されているユニット昇降ピン 3 5 5 6 a が、昇降用スリット 3 5 4 0 内を正面視左方へ摺動（移動）する。そして、ユニット昇降ピン 3 5 5 6 a が、昇降用スリット 3 5 4 0 内における下方に突出しているロック突起 3 5 4 0 a の最も下方に突出した部位よりも正面視左側へ移動すると、裏下前第二駆動モータ 3 5 5 2 の駆動が停止し、ユニット昇降アーム 3 5 5 5 の回転（ユニット昇降ピン 3 5 5 6 a の公転）も停止して、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 が駆動ユニット 3 5 0 2（装飾体ユニット昇降機構 3 5 0 2 A）による上昇端に位置（第一上昇位置）した状態となる（図 1 3 1（b）を参照）。

【0 5 9 5】

この状態では、ユニット昇降アーム 3 5 5 5 のアーム部 3 5 5 5 d の先端（ユニット昇降ピン 3 5 5 6 a）が、ユニット昇降アーム 3 5 5 5 の回転中心（軸孔 3 5 5 5 c）に対して正面視右上に位置していることから、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 の重量により、アーム部 3 5 5 5 d の先端にはユニット昇降アーム 3 5 5 5 を正面視時計回りの方向へ回転させようとする回転モーメントが作用している。そして、図 1 3 0（c）に示すように、昇降用スリット 3 5 4 0 の上辺におけるユニット昇降ピン 3 5 5 6 a が当接しているロック突起 3 5 4 0 a の正面視左側面では、当接している部位よりも右側の部位が、ユニット昇降ピン 3 5 5 6 a の旋回範囲の境界線 L（図中二点鎖線で示す）の内側に侵入しているため、ロック突起 3 5 4 0 a が下方へ移動するように公転するには、その侵入している部位が旋回範囲の境界線 L 外側へ移動するようにロック突起 3 5 4 0 a（裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1）を、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 の重量に抗して上方に移動させなければならず、ユニット昇降ピン 3 5 5 6 a に作用する回転モーメントが打ち消されて、ユニット昇降アーム 3 5 5 5 が正面視時計回りの方向に回転することなく、上昇端に位置したままの状態を維持（ロック）される。

【0 5 9 6】

昇降ユニット 3 5 0 2 により裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を上昇端に位置させた状態では、遊技盤 5 に組立てた状態で、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 の略全体が、正面視でセンター役物 2 5 0 0 の枠内に位置した状態となり、遊技者側から裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の第一表装飾部材 3 5 1 1 の装飾を良好に視認させることができる。

【0 5 9 7】

続いて、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を上昇端に位置させた状態で、裏下前第二装飾体 3 5 2 0 の裏下前第一駆動モータ 3 5 2 8 により、第一駆動ギア 3 5 2 9、伝達第一ギア 3 5 3 0、伝達第二ギア 3 5 3 1、及び第一昇降ギア 3 5 3 2 を介して、装飾体昇降アーム 3 5 3 3 を、右側面視時計回りの方向に回転させると、装飾体昇降アーム 3 5 3 3 のスリット 3 5 3 3 a により、スリット 3 5 3 3 a 内に挿入されている裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の装飾体昇降ピン 3 5 1 5 が前方に押圧され、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の下辺が前方且つ上方へ移動するように、第一ヒンジ部 3 5 1 4 及び第二ヒンジ部 3 5 2 4 を中心に裏下前第一装飾体 3 5 1 0 がヒンジ回転することとなる。

【0 5 9 8】

そして、装飾体昇降アーム 3 5 3 3 が右側面視時計回りの方向に約 1 8 0 度回転すると、裏下前第一駆動モータ 3 5 2 8 の回転が停止し、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 が裏下前第二装飾体 3 5 2 0 の上方に位置した状態となる（上昇位置、或は、開位置）。この状態では、当初前方を向いていた裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の第一表装飾部材 3 5 1 1 が、後方を向いた状態となり、代わりに、後方を向いて裏下前第二装飾体 3 5 2 0 の第二装飾部材 3 5 2 1 と対面していた第二裏装飾部材 3 5 1 2 が、第二装飾部材 3 5 2 1 の上方で前面が第二装飾部材 3 5 2 1 と略同一面上に位置して前方を向いている。これにより、第一裏装飾部材 3 5 1 2 の装飾と第二装飾部材 3 5 2 1 の装飾とが合体して一つの大きな装飾（「和了」の文字の装飾）を形成している状態となる（図 1 3 1（c）を参照）。

【0 5 9 9】

裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を上昇させると共に、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 を上昇するヒンジ回転させて開いた状態では、遊技盤 5 に組立てた状態で、正面視において、セ

ンター役物 2 5 0 0 の枠内（メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面）の略下半分を裏下前第一装飾体 3 5 1 0 と裏下前第二装飾体 3 5 2 0 とで閉鎖したような状態となる（図 1 4 1 を参照）。

【0 6 0 0】

このように、裏下前可動演出ユニット 3 5 0 0 は、裏下前第二駆動モータ 3 5 5 2 に通電していなくても、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を上昇端の位置に停止させたままの状態維持することができるため、裏下前第二駆動モータ 3 5 5 2 に作用する負荷を低減させることができる。また、上昇方向に公転しているユニット昇降ピン 3 5 5 6 a の途中でロックするようにしているため、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を上昇端の位置でロックする際に、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 が下がるような不自然な動きをすることはなく、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 の動きを遊技者に楽しませることができる。

10

【0 6 0 1】

また、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 において、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 を上昇させる動作として、左右に延びた軸線に対してヒンジ回転させて、上昇させるようにしているため、直線的にスライドさせるようにした場合と比較して、遊技者側から見える裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の部位が刻々と変化することから、目立たせることができ、遊技者の関心を強く引き付けることができると共に、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 をヒンジ回転させて開くことで、通常の状態では見ることができない裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の第一裏装飾部材 3 5 1 2 や裏下前第二装飾体 3 5 2 0 の第二装飾部材 3 5 2 1 を見せることができ、遊技者を驚かせることができる。

20

【0 6 0 2】

〔5-10. 遊技盤における演出〕

次に、本実施形態の遊技盤 5 における主な可動演出について、主に図 1 3 2 乃至図 1 4 1 を参照して詳細に説明する。図 1 3 2 は、裏ユニットの裏下後可動演出ユニットにおいて裏下後第一装飾体及び裏下後第二装飾体を通常的位置と一緒に回転させて第二装飾面を正面に向けた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 3 3 は、裏ユニットの裏下後可動演出ユニットの裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体とを閉じて裏下後第一装飾体の第一装飾面を正面に向けた状態で遊技領域内の左右方向略中央にスライド移動させると共に、裏上左可動演出ユニットの裏上左第一装飾体と裏上左第二装飾体とを遊技領域内の左右方向略中央にスライド移動させた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 3 4 は、図 1 3 3 の状態から裏下後可動演出ユニットの裏下後第一装飾体をヒンジ回転させて開いて裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体の夫々の第二装飾面を正面に向けると共に、裏上左可動演出ユニットの裏上左第二装飾体をヒンジ回転させて開いて裏上左第一装飾体の固定装飾部材と裏上左第二装飾体の第二装飾部材を正面に向けた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 3 5 は、図 1 3 3 の状態から裏下後可動演出ユニットの裏下後第一装飾体をヒンジ回転させて開いて裏下後第一装飾体と裏下後第二装飾体の夫々の第二装飾面を正面に向けた状態で示す遊技盤の正面図である。

30

【0 6 0 3】

図 1 3 6 は、裏ユニットの裏左可動演出ユニットの裏左可動装飾体を正面視右方端の出現位置にスライド移動させた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 3 7 は、裏ユニットにおける裏上中可動演出ユニットの裏上中装飾体ユニットを下降端の位置に移動させると共に裏上中装飾体ユニットを正面視左下がりで斜めに延びるように正面視反時計回りの方向に回転させた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 3 8 は、図 1 3 7 の状態から一对の裏上中第一装飾体を離反させて半開きの中間開状態の位置にスライド移動させた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 3 9 は、図 1 3 8 の状態から一对の裏上中第一装飾体を更に離反させて全開状態の位置にスライド移動させた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 4 0 は、裏ユニットの裏下前可動演出ユニットの裏下前装飾体ユニットを上昇端に位置させた状態で示す遊技盤の正面図である。図 1 4 1 は、図 1 4 0 の状態から裏下前第一装飾体をヒンジ回転させて裏下前第二装飾体の上方に上昇させた状態で示す遊技盤の正面図である。

40

50

【0604】

本実施形態の遊技盤5は、通常の状態では、図81等に示すように、センター役物2500の枠内を通して裏ユニット3000の後側に取付けられているメイン液晶表示装置1600の表示画面を、遊技者側（前方）から良好に視認することができる。この通常の状態では、裏ユニット3000の裏下後可動演出ユニット3100のヒンジ回転可能な裏下後第一装飾体3110と裏下後第二装飾体3120とが閉じて裏下後第一装飾体3110の第一装飾面3111のみが遊技者側から視認できるように前方へ向けており、メイン液晶表示装置1600の表示画面の右辺下部の右側に第一装飾面3111のサブ液晶表示装置3114の表示画面が前方に臨んでいる。

【0605】

また、通常の状態では、裏ユニット3000の裏上左可動演出ユニット3200の裏上左第一装飾体3210及び裏上左第二装飾体3220が、ヒンジ回転により裏上左第一装飾体3210の固定装飾部材3211の前方に裏上左第二装飾体3220が位置する折畳まれた状態で、左右のスライド方向に対して正面視左方端である裏左中装飾ユニット3050の後方に位置しており、前側が裏左中装飾ユニット3050により遊技者側から視認不能に遮られている。

【0606】

更に、通常の状態では、裏ユニットの裏左可動演出ユニット3300の裏左可動装飾体3321が、左右のスライド方向に対して正面視左方端である裏左固定装飾体3310の後方に位置しており、裏左固定装飾体3310の一部がセンター役物2500の枠内を通して僅かに前方に臨んでいる。また、通常の状態では、裏ユニット3000の裏上中可動演出ユニット3400の裏上中装飾体ユニット3410が、メイン液晶表示装置1600の表示画面の上辺よりも上方の上昇端に位置しており、正面視センター役物2500の枠内を通して一部が前方に視認可能に臨んでいる。

【0607】

また、通常の状態では、裏ユニット3000の裏下前可動演出ユニット3500の裏下前装飾体ユニット3501において、裏下前第一装飾体3510がヒンジ回転により裏下前第二装飾体3520の前方側に下降するように折畳まれた状態で、裏下前装飾体ユニット3501がセンター役物2500の枠内から前方に臨まないようにメイン液晶表示装置1600の下辺よりも正面視下方の下降端に位置している。

【0608】

この遊技盤5は、第一始動口2002や第二始動口2004に遊技球が受入れられることで抽選される第一特別抽選結果や第二特別抽選結果に応じて、裏ユニット3000の裏下後可動演出ユニット3100、裏上左可動演出ユニット3200、裏左可動演出ユニット3300、裏上中可動演出ユニット3400、及び裏下前可動演出ユニット3500が、所定の演出（可動演出や発光演出）を行う。

【0609】

具体的には、例えば、裏ユニット3000の裏下後可動演出ユニット3100を用いた演出として、回転駆動ユニット3130の裏下後第二駆動モータ3137により、裏下後第二装飾体3120を平面視時計回りの方向に回転させて、後方に向いていた第二装飾面3122を正面に向ける（図132を参照）。この際に、閉じられて裏下後第二装飾体3120の前方に位置している裏下後第一装飾体3110が裏下後第二装飾体3120に押されて一緒に回転する。これにより、裏下後第一装飾体3110と共に裏下後第二装飾体3120が、正面視において、メイン液晶表示装置1600の表示画面の右下隅部の前方に位置し、メイン液晶表示装置1600に表示されている演出画像の一部を遮ることとなり、裏下後第二装飾体3120を目立たせることができると共に、裏下後第二装飾体3120の第二装飾面3122に施された「天運」の装飾を遊技者に視認させることができ、遊技者に対して何か良いことがあるのではないかとと思わせて遊技に対する期待感を高めさせることができる。

【0610】

また、裏ユニット 3 0 0 0 の裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 と裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 とを用いた演出（可動演出）として、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 では、スライドユニット 3 1 5 0 の裏下後第三駆動モータ 3 1 5 5 により、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを閉じたまま回転駆動ユニット 3 1 3 0 を正面視左方端の位置までスライド移動させると共に、回転駆動ユニット 3 1 3 0 の裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 により裏下後第一装飾体 3 1 1 0 を平面視反時計回りの方向に少し回転させて第一装飾面 3 1 1 1（サブ液晶表示装置 3 1 1 4）を正面に向ける。これと同時に、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 では、ライドユニット 3 2 4 0 の裏上左第二駆動モータ 3 2 4 5 により裏上左第一装飾体 3 2 1 0 を、裏上左第二装飾体 3 2 2 0 を裏上左第一装飾体 3 2 1 0 に対して閉じて第一装飾部材 3 2 2 1 を正面に向けたまま、裏上左第二装飾体 3 2 2 0 と一緒に正面視右方端の位置にスライド移動させる（図 1 3 3 を参照）。 10

【0 6 1 1】

この図 1 3 3 に示す状態では、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏上左第一装飾体 3 2 1 0 及び裏上左第二装飾体 3 2 2 0 をヒンジ回転させるための上下に延びている軸線と、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の裏上左第一装飾体 3 2 1 0 に対して裏上左第二装飾体 3 2 2 0 をヒンジ回転させるための上下に延びている軸線とが、同軸上に位置して遊技領域 5 a の左右方向中央と略一致している。この状態では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏上左第二装飾体 3 2 2 0 とが、正面視においてセンター役物 2 5 0 0 の枠内で斜めに並んだ状態で、メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面の前方に位置している。これにより、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の中央側への移動と、裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の出現とにより、遊技者を驚かせることができる。 20

【0 6 1 2】

そして、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏上左第二装飾体 3 2 2 0 を、左右方向の中央に移動させた状態（図 1 3 3 の状態）で、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 における回転駆動ユニット 3 1 3 0 の裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 により折畳まれている裏下後第一装飾体 3 1 1 0 を、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 から前方に開くように平面視時計回りに回転させて、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の左側に裏下後第一装飾体 3 1 1 0 を並べてそれらの第二装飾面 3 1 1 2, 3 1 2 2 を正面に向けると共に、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 における回転駆動ユニット 3 2 3 0 の裏上左第一駆動モータ 3 2 3 5 により折畳まれている裏上左第二装飾体 3 2 2 0 を、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 から前方に開くように平面視反時計回りに回転させて、裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の右側に裏上左第二装飾体 3 2 2 0 を並べて固定装飾部材 3 2 1 1 と第二装飾部材 3 2 2 2 を正面に向ける（図 1 3 4 を参照）。 30

【0 6 1 3】

この図 1 3 4 の状態では、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の左右に並んだ裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 と、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の左右に並んだ裏上左第一装飾体 3 2 1 0 及び裏上左第二装飾体 3 2 2 0 とが、正面視においてセンター役物 2 5 0 0 の枠内の中央で上下に並んで合体したような状態となり、メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面の前方を略覆っている。また、正面に向いている裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 1 1, 3 1 2 1 と、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の裏上左第一装飾体 3 2 1 0 の固定装飾部材 3 2 1 1 及び裏上左第二装飾体 3 2 2 0 の第二装飾部材 3 2 2 2 に、夫々施されている装飾により、縦書きの「雀聖」の文字が遊技者側から視認できるようになる。これにより、センター役物 2 5 0 0 の枠内（メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面の前方）に、大きな装飾体が現れることとなるため、遊技者に大きなインパクトを与えて、「大当たり遊技」等のチャンスの到来を強く示唆させることができ、遊技に対する期待感を高めさせることができる。 40

【0 6 1 4】

ところで、上記では、裏下後可動ユニット 3 1 0 0 の裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と、裏上左可動演出ユニット 3 2 0 0 の裏上左第二装飾体 3 2 2 0 とを、同時に開く演出を説明 50

したが、図135に示すように、裏下後可動演出ユニット3100の裏下後第一装飾体3110のみを先に開くようにしても良い。これにより、裏下後可動演出ユニット3100の裏下後第一装飾体3110と裏下後第二装飾体3120とを先にヒンジ回転により開いてそれらの第二装飾面3112, 3122を正面に向けると、「聖」の文字が先に見えるようになる。この際に、「聖」の文字の上側に「一」のような切出装飾3170が施されているため、遊技者に対して、この上側に切出装飾3170を完成させるべき組となる装飾（切出装飾3260）があることを認識させることができ、その組となる装飾が現れるか否か（裏上左第二装飾体3220がヒンジ回転して開くか否か）で、遊技者をハラハラ・ドキドキさせることが可能となり、遊技者の期待感を高めさせることができる。

【0615】

また、裏ユニット3000の裏左可動演出ユニット3300を用いた演出としては、裏左駆動ユニット3330の裏左駆動モータ3333により裏左可動装飾体3320を正面視右方の出現位置にスライド移動させる。この状態では、裏左固定装飾体3310の真後ろに位置していた枠状の裏左可動装飾体3320の大半が、センター役物2500の枠内で正面視において裏左固定装飾体3310の右方に位置して遊技者側から視認可能な状態となる（図136を参照）。この状態で、後方に配置されているメイン液晶表示装置1600の表示画面における裏左可動装飾体3320の枠内と対応する領域に、所定の演出画像を表示させると、遊技者に対して、恰も演出画像が裏左可動装飾体3320の枠内に表示されているように錯覚させることができる。また、この裏左可動装飾体3320は、図示するように、裏下後可動演出ユニット3100における裏下後第一装飾体3110と同じ大きさで同じ装飾が施されていることから、裏左可動装飾体3320を出現させると、右側の裏下後第一装飾体3110（サブ液晶表示装置3114）と組となるように左側にも別の液晶表示装置が出現したように錯覚させて裏左可動装飾体3320と裏下後第一装飾体3110とに夫々表示される演出画像を大いに楽しませることができる。

【0616】

更に、裏ユニット3000の裏上中可動演出ユニット3400を用いた演出としては、裏上中駆動ユニット3440の裏上中第二駆動モータ3443により裏上中回転ユニット3460を正面視反時計回りの方向に回動させて、その先端に取付けられている裏上中装飾体ユニット3410を下降端に位置させると共に、裏上中回転ユニット3460の裏上中第三駆動モータ3463により裏上中装飾体ユニット3410を反時計回りの方向の回動端まで回動させる。この状態では、裏上中装飾体ユニット3410の中央が、正面視においてセンター役物2500の枠内の略中央に位置しており、裏上中装飾体ユニット3410がその右端側が上がった斜めに延びた状態となっている（図137）。これにより、メイン液晶表示装置1600の表示画面よりも上方に位置していた裏上中装飾体ユニット3410が、回転しながら中央の位置に下降するため、その動きにより遊技者を裏上中装飾体ユニット3410に注目させることができ、「麻雀」の「千点棒」を想起させる形態の裏上中装飾体ユニット3410の移動により、何か良いことがあるのではないかとかわせて遊技に対する期待感を高めさせることができる。

【0617】

そして、図137に示すように、裏上中装飾体ユニット3410を下降端に位置させて斜めに延びた状態から、裏上中装飾体ユニット3410の裏上中第一駆動モータ3420により閉じている一对の裏上中第一装飾体3411を互いに離反する方向にスライドさせて中間開状態とする。この状態では、図138に示すように、一对の裏上中第一装飾体3411同士の間から、裏上中第二装飾体3412の中央装飾部3412aと四つの中央横装飾部3412bとが、前方へ臨んだ状態となるため、遊技者に対して「麻雀」の「五千点棒」を想起させることができ、「大当り遊技」が発生する可能性が高まったように思わせて、期待感をより高めさせることができる。

【0618】

また、図138の状態から、裏上中第一駆動モータ3420により、一对の裏上中第一装飾体3411を更に離反する方向にスライドさせて全開状態とすると、図139に示す

ように、一对の裏上中第一装飾体 3 4 1 1 同士の間から、裏上中第二装飾体 3 4 1 2 の中央装飾部 3 4 1 2 a、中央横装飾部 3 4 1 2 b、中間装飾部 3 4 1 2 c、及び端装飾部 3 4 1 2 d のすべてが前方に臨んだ状態となるため、遊技者に「麻雀」の「万点棒」を想起させることができ、抽選された第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果が「大当り」であることを確信させることが可能となり、遊技者の興味を高めさせることができる。

【0619】

また、裏ユニット 3 0 0 0 の裏下前可動演出ユニット 3 5 0 0 を用いた演出としては、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 を裏下前第二装飾体 3 5 2 0 の前方にヒンジ回転して折畳んだままの状態、昇降ユニット 3 5 0 2 の裏下前第二駆動モータ 3 5 5 2 により裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を下降端の位置から上昇端の位置へ上昇させる。昇降ユニット 3 5 0 2 により裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を上昇端に位置させた状態では、裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 の略全体が、正面視でセンター役物 2 5 0 0 の枠内に位置した状態となり、遊技者側から裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の第一表装飾部材 3 5 1 1 の装飾が良好に視認することができる（図 1 4 0 を参照）。これにより、下方から裏下前第一装飾体 3 5 1 0 が上昇してメイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面の前面下部を覆うため、遊技者にチャンス到来を示唆させることができ、遊技に対する期待感を高めさせることができる。なお、詳細な図示は省略するが、裏下前第一装飾体 3 5 1 1 の第一表装飾部材 3 5 1 1 には、「麻雀」の「牌」が複数並んだ装飾が施されているため、この第一表装飾部材 3 5 1 1 が上昇して視認可能となることで、遊技者が自分の牌を並べているように錯覚させて楽しむことができる。

【0620】

そして、昇降ユニット 3 5 0 2 により裏下前装飾体ユニット 3 5 0 1 を上昇端の位置に上昇させた状態で、裏下前第二装飾体 3 5 2 0（装飾体昇降機構 3 5 0 1 A）の裏下前第一駆動モータ 3 5 2 8 により、裏下前第一装飾体 3 5 1 0 が上昇するように左右に延びた軸線に対してヒンジ回転させて、裏下前第二装飾体 3 5 2 0 の上方に位置させると、これまで見えなかった裏下前第二装飾体 3 5 2 0 の第二装飾部材 3 5 2 1 の上部と裏下前第一装飾体 3 5 1 0 の第一裏装飾部材とが上下に並んだ状態となる。この状態では、正面視において、センター役物 2 5 0 0 の枠内（メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面）の略下半分を裏下前第一装飾体 3 5 1 0 と裏下前第二装飾体 3 5 2 0 とで閉鎖しており、第一裏装飾部材 3 5 1 2 の装飾と第二装飾部材 3 5 2 1 の装飾とが合体して一つの大きな装飾（「和了」の文字の装飾）を形成している状態となる（図 1 4 1 を参照）。これにより、複数の「麻雀牌」が左右に並んだ装飾が施された第一表装飾部材 3 5 1 1 が、左右に延びた軸周りにヒンジ回転して「あがり」を意味する「和了」の文字の装飾が現れるため、遊技者に対して抽選された第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果が「大当り」であることを確信させることができ、「大当り遊技」の発生に対する期待感により興味を高めさせることができる。

【0621】

[6. 制御構成]

次に、パチンコ機 1 の各種制御を行う制御構成について、図 1 4 2 を参照して説明する。図 1 4 2 は、パチンコ機の制御構成を概略的に示すブロック図である。パチンコ機 1 の主な制御構成は、図示するように、遊技機 5 に取付けられる主制御基板 1 3 1 0 及び周辺制御基板 1 5 1 0 と、本体枠 4 に取付けられる払出制御基板 9 5 1 と、から構成されており、夫々の制御が分担されている。主制御基板 1 3 1 0 は、遊技動作（遊技の進行）を制御する。周辺制御基板 1 5 1 0 は、主制御基板 1 3 1 0 からのコマンドに基づいて遊技中の各種演出を制御する周辺制御部 1 5 1 1 と、周辺制御部 1 5 1 1 からのコマンドに基づいてメイン液晶表示装置 1 6 0 0 や上皿液晶表示装置 2 4 4 等での演出画像の表示を制御する液晶表示制御部 1 5 1 2 と、を備えている。払出制御基板 9 5 1 は、遊技球の払出し等を制御する払出制御部 9 5 2 と、ハンドルレバー 5 0 4 の回転操作による遊技球の発射を制御する発射制御部 9 5 3 と、を備えている。

【0622】

〔 6－1．主制御基板〕

遊技の進行を制御する主制御基板 1 3 1 0 は、詳細な図示は省略するが、各種処理プログラムや各種コマンドを記憶する R O M や一時的にデータを記憶する R A M 等が内蔵されるマイクロプロセッサである主制御 M P U と、入出力デバイス（I / O デバイス）としての主制御 I / O ポートと、各種検出スイッチからの検出信号が入力される主制御入力回路と、各種ソレノイドを駆動するための主制御ソレノイド駆動回路と、主制御 M P U に内蔵されている R A M に記憶された情報を完全に消去するための R A M クリアスイッチと、を備えている。主制御 M P U は、その内蔵された R O M や R A M のほかに、その動作（システム）を監視するウォッチドックタイマや不正を防止するための機能等も内蔵されている。

10

【 0 6 2 3 】

主制御基板 1 3 1 0 の主制御 M P U は、第一始動口 2 0 0 2 に受入れられた遊技球を検出する第一始動口センサ 2 1 0 4、第二始動口 2 0 0 4 に受入れられた遊技球を検出する第二始動口センサ 2 5 5 1、一般入賞口 2 0 0 1 に受入れられた遊技球を検出する一般入賞口センサ 3 0 1 5、ゲート部 2 0 0 3 を通過した遊技球を検知するゲートセンサ 2 5 4 7、第一大入賞口 2 0 0 5 に受入れられた遊技球を検知する第一大入賞口センサ 2 1 1 4、第二大入賞口 2 0 0 6 としての第二上大入賞口 2 0 0 6 a 及び第二下大入賞口 2 0 0 6 b に受入れられた遊技球を検知する第二上大入賞口センサ 2 5 5 4 及び第二下大入賞口センサ 2 5 5 7、及び遊技領域 5 a 内における不正な磁気を検知する磁気検出センサ、等からの検出信号が夫々主制御 I / O ポートを介して入力される。

20

【 0 6 2 4 】

主制御 M P U は、これらの検出信号に基づいて、主制御 I / O ポートから主制御ソレノイド駆動回路に制御信号を出力することにより、始動口ソレノイド 2 5 5 0、第一アタッカソレノイド 2 1 1 3、第二上アタッカソレノイド 2 5 5 3、及び第二下アタッカソレノイド 2 5 5 6 に駆動信号を出力したり、主制御 I / O ポートから機能表示ユニット 1 4 0 0 の第一特別図柄表示器、第二特別図柄表示器、第一特別図柄記憶表示器、第二特別図柄記憶表示器、普通図柄表示器、普通図柄記憶表示器、遊技状態表示器、ラウンド表示器、等に駆動信号を出力したりする。

【 0 6 2 5 】

なお、本実施形態において、第一始動口センサ 2 1 0 4、第二始動口センサ 2 5 5 1、ゲートセンサ 2 5 4 7、第一大入賞口センサ 2 1 1 4、第二上大入賞口センサ 2 5 5 4、及び第二下大入賞口センサ 2 5 5 7 には、非接触タイプの電磁式の近接スイッチを用いているのに対して、一般入賞口センサ 3 0 1 5 には、接触タイプの O N / O F F 動作式のメカニカルスイッチを用いている。これは、遊技球が、第一始動口 2 0 0 2 や第二始動口 2 0 0 4 に頻繁に入球すると共に、ゲート部 2 0 0 3 を頻繁に通過するため、第一始動口センサ 2 1 0 4、第二始動口センサ 2 5 5 1、及びゲートセンサ 2 5 4 7 による遊技球の検出も頻繁に発生する。このため、第一始動口センサ 2 1 0 4、第二始動口センサ 2 5 5 1、及びゲートセンサ 2 5 4 7 には、耐久性が高く寿命の長い近接スイッチを用いている。また、遊技者にとって有利となる有利遊技状態（「大当り」遊技、等）が発生すると、第一大入賞口 2 0 0 5 や第二大入賞口 2 0 0 6 が開放されて遊技球が頻繁に入球するため、第一大入賞口センサ 2 1 1 4、第二上大入賞口センサ 2 5 5 4、及び第二下大入賞口センサ 2 5 5 7 による遊技球の検出も頻繁に発生する。このため、第一大入賞口センサ 2 1 1 4、第二上大入賞口センサ 2 5 5 4、及び第二下大入賞口センサ 2 5 5 7 にも、耐久性が高く寿命の長い近接スイッチを用いている。これに対して、遊技球が頻繁に入球しない一般入賞口 2 0 0 1 には、一般入賞口センサ 3 0 1 5 による検出も頻繁に発生しない。このため、一般入賞口センサ 3 0 1 5 には、近接スイッチより寿命が短いメカニカルスイッチを用いている。

30

40

【 0 6 2 6 】

また、主制御 M P U は、遊技に関する各種情報（遊技情報）及び払出しに関する各種コマンド等を払出制御基板 9 5 1 に送信したり、この払出制御基板 9 5 1 からのパチンコ機

50

1の状態に関する各種コマンド等を受信したりする。更に、主制御MPUは、遊技演出の制御に関する各種コマンド及びパチンコ機1の状態に関する各種コマンドを、主制御I/Oポートを介して周辺制御基板1510の周辺制御部1511に送信したりする。なお、主制御MPUは、その詳細な説明は後述するが、払出制御基板951からパチンコ機1の状態に関する各種コマンドを受信すると、これらの各種コマンドを整形して周辺制御部1511に送信する。

【0627】

主制御基板1310には、詳細な説明は後述するが、電源基板ボックス930内の電源基板から各種電圧が供給されている。この主制御基板1310に各種電圧を供給する電源基板は、電源遮断時にでも所定時間、主制御基板1310に電力を供給するためのバックアップ電源としての電気二重層キャパシタ（以下、単に「キャパシタ」と記載する。）を備えている。このキャパシタにより主制御MPUは、電源遮断時にでも電源断時処理において各種情報をRAMに記憶することができる。この記憶した各種情報は、電源投入時に主制御基板1310のRAMクリアスイッチが操作されると、RAMから完全に消去（クリア）される。このRAMクリアスイッチの操作信号（検出信号）は、払出制御基板951にも出力される。

【0628】

また、主制御基板1310には、停電監視回路が設けられている。この停電監視回路は、電源基板から供給される各種電圧の低下を監視しており、それらの電圧が停電予告電圧以下となると、停電予告として停電予告信号を出力する。この停電予告信号は、主制御I/Oポートを介して主制御MPUに入力される他に、払出制御基板951等にも出力されている。

【0629】

[6-2. 払出制御基板]

遊技球の払出し等を制御する払出制御基板951は、詳細な図示は省略するが、払出しに関する各種制御を行う払出制御部952と、発射ソレノイド682による発射制御を行うとともに、球送りソレノイド551による球送り制御を行う発射制御部953と、パチンコ機1の状態を表示するエラーLED表示器と、エラーLED表示器に表示されているエラーを解除するためのエラー解除スイッチと、球タンク802、タンクレール803、球誘導ユニット820、及び払出装置830内の遊技球を、パチンコ機1の外部へ排出して球抜き動作を開始するための球抜きスイッチと、を備えている。

【0630】

[6-2a. 払出制御部]

払出制御基板951における払出しに関する各種制御を行う払出制御部952は、詳細な図示は省略するが、各種処理プログラムや各種コマンドを記憶するROMや一時的にデータを記憶するRAM等が内蔵されるマイクロプロセッサである払出制御MPUと、I/Oデバイスとしての払出制御I/Oポートと、払出制御MPUが正常に動作しているか否かを監視するための外部WDT（外部ウォッチドックタイマ）と、払出装置830の払出モータ834に駆動信号を出力するための払出モータ駆動回路と、払出しに関する各種検出スイッチからの検出信号が入力される払出制御入力回路と、を備えている。払出制御MPUには、その内蔵されたROMやRAMのほかに、不正を防止するため機能等も内蔵されている。

【0631】

払出制御部952の払出制御MPUは、主制御基板1310からの遊技に関する各種情報（遊技情報）及び払い出しに関する各種コマンドを払出制御I/Oポートを介してシリアル方式で受信したり、主制御基板1310からのRAMクリアスイッチの操作信号（検出信号）が払出制御I/Oポートを介して入力されたりする他に、満タン検知センサ535からの検出信号が入力されたり、球切れ検知センサ827、払出検知センサ842、及び羽根回転検知センサ840からの検出信号が入力される。

【0632】

10

20

30

40

50

払出装置 8 3 0 の球切れ検知センサ 8 2 7、払出検知センサ 8 4 2、及び羽根回転検知センサ 8 4 0 からの検出信号は、払出制御入力回路に入力され、払出制御 I / O ポートを介して払出制御 M P U に入力される。

【0633】

また、本体枠 4 に対する扉枠 3 の開放を検出する扉枠開放スイッチ、及び外枠 2 に対する本体枠 4 の開放を検出する本体枠開放スイッチからの検出信号は、払出制御入力回路に入力され、払出制御 I / O ポートを介して払出制御 M P U に入力される。

【0634】

また、ファールカバーユニット 5 2 0 の満タン検知センサ 5 3 5 からの検出信号は、払出制御入力回路に入力され、払出制御 I / O ポートを介して払出制御 M P U に入力される。

【0635】

払出制御 M P U は、払出モータ 8 3 4 を駆動するための駆動信号を、払出制御 I / O を介して払出モータ 8 3 4 に出力したり、パチンコ機 1 の状態をエラー L E D 表示器に表示するための信号を、払出制御 I / O ポートを介してエラー L E D 表示器に出力したり、パチンコ機 1 の状態を示すためのコマンドを、払出制御 I / O ポートを介して主制御基板 1 3 1 0 にシリアル方式で送信したり、実際に払出した遊技球の球数を払出制御 I / O ポートを介して外部端子板に出力したりする。この外部端子板は、遊技ホール側に設置されたホールコンピュータに接続されている。このホールコンピュータは、パチンコ機 1 が払出した遊技球の球数やパチンコ機 1 の遊技情報等を把握することにより遊技者の遊技を監視している。

【0636】

エラー L E D 表示器は、セグメント表示器であり、英数字や図形等を表示してパチンコ機 1 の状態を表示している。エラー L E D 表示器が表示して報知する内容としては、次のようなものがある。例えば、図形「一」が表示されているときには「正常」である旨を報知し、数字「0」が表示されているときには「接続異常」である旨（具体的には、主制御基板 1 3 1 0 と払出制御基板 9 5 1 との基板間の電氣的な接続に異常が生じている旨）を報知し、数字「1」が表示されているときには「球切れ」である旨（具体的には、球切れ検知センサ 8 2 7 からの検出信号に基づいて払出装置 8 3 0 内に遊技球がない旨）を報知し、数字「2」が表示されているときには「球がみ」である旨（具体的には、羽根回転検知センサ 8 4 0 からの検出信号に基づいて払出装置 8 3 0 の払出通路 3 8 1 d、3 8 2 d において払出羽根 8 3 9 と遊技球とがかみ合っ払出羽根 8 3 9 が回転困難となっている旨）を報知し、数字「3」が表示されているときには「計数スイッチエラー」である旨（具体的には、払出検知センサ 8 4 2 からの検出信号に基づいて払出検知センサ 8 4 2 に不具合が生じている旨）を報知し、数字「5」が表示されているときには「リトライエラー」である旨（具体的には、払出し動作のリトライ回数が予め設定された上限値に達した旨）を報知し、数字「6」が表示されているときには「満タン」である旨（具体的には、満タン検知センサ 5 3 5 からの検出信号に基づいてファールカバーユニット 5 2 0 内に貯留された遊技球で満タンである旨）を報知し、数字「7」が表示されているときには「C R 未接続」である旨（払出制御基板 9 5 1 から C R ユニットまでに亘るいずれかにおいて電氣的な接続が切断されている旨）を報知し、数字「9」が表示されているときには「ストック中」である旨（具体的には、まだ払出していない遊技球の球数が予め定めた球数に達している旨）を報知している。

【0637】

球貸ボタン 3 3 2 からの遊技球の球貸要求信号、及び返却ボタン 3 3 3 からのプリペイドカードの返却要求信号は、C R ユニットに入力される。C R ユニットは、球貸要求信号に従って貸し出す遊技球の球数を指定した信号を、払出制御基板 9 5 1 にシリアル方式で送信し、この信号が払出制御 I / O ポートで受信されて払出制御 M P U に入力される。また C R ユニットは、貸出した遊技球の球数に応じて挿入されたプリペイドカードの残度を更新するとともに、その残度を表示部 3 3 4 に表示するための信号を出力し、この信号が

表示部 3 3 4 に入力されて表示される。

【0 6 3 8】

[6 - 2 b . 発射制御部]

発射ソレノイド 6 8 2 による発射制御と、球送りソレノイド 5 5 1 による球送制御と、を行う発射制御部 9 5 3 は、詳細に図示は省略するが、発射に関する各種検出スイッチからの検出信号が入力される発射制御入力回路と、定時間毎にクロック信号を出力する発振回路と、このクロック信号に基づいて遊技球を遊技領域 5 a に向かって打ち出すための発射基準パルスを出力する発射タイミング制御回路と、この発射基準パルスに基づいて発射ソレノイド 6 8 2 に駆動信号を出力する発射ソレノイド駆動回路と、発射基準パルスに基づいて球送りソレノイド 5 5 1 に駆動信号を出力する球送りソレノイド駆動回路と、を備えている。発射タイミング制御回路は、発振回路からのクロック信号に基づいて、1 分当たり 1 0 0 個の遊技球が遊技領域 5 a に向かって打ち出されるよう発射基準パルスを生成して発射ソレノイド駆動回路に出力するとともに、発射基準パルスを所定数倍した球送基準パルスを生成して球送りソレノイド駆動回路に出力する。

10

【0 6 3 9】

ハンドルユニット 5 0 0 関係では、ハンドルレバー 5 0 4 に手のひらや指が触れているか否かを検出する接触検知センサ 5 0 9、及び遊技者の意志によって遊技球の打ち出しを強制的に停止するか否かを検出するストップボタンからの検出信号は、発射制御入力回路に入力された後に、発射タイミング制御回路に入力される。また C R ユニットと C R ユニット接続端子板とが電氣的に接続されると、C R 接続信号として発射制御入力回路に入力され、発射タイミング制御回路に入力される。ハンドルレバー 5 0 4 の回転位置に応じて遊技球を遊技領域 5 a に向かって打ち出す強度を電氣的に調節するハンドル操作センサ 5 0 7 からの信号は、発射ソレノイド駆動回路に入力され。

20

【0 6 4 0】

この発射ソレノイド駆動回路は、ハンドル操作センサ 5 0 7 からの信号に基づいて、ハンドルレバー 5 0 4 の回転位置に見合う打ち出し強度で遊技球を遊技領域 5 a に向かって打ち出すための駆動電流を、発射基準パルスが入力されたことを契機として、発射ソレノイド 6 8 2 に出力する。一方、球送りソレノイド駆動回路は、球送基準パルスが入力されたことを契機として、球送りソレノイド 5 5 1 に一定電流を出力することにより、皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 に貯留された遊技球を球送りユニット 5 4 0 内に 1 球受入れ、その球送基準パルスの入力が終了したことを契機として、その一定電流の出力を停止することにより受入れた遊技球を打球発射装置 6 8 0 側へ送る。このように、発射ソレノイド駆動回路から発射ソレノイド 6 8 2 に出力される駆動電流は可変に制御されるのに対して、球送りソレノイド駆動回路から球送りソレノイド 5 5 1 に出力される駆動電流は一定に制御されている。

30

【0 6 4 1】

なお、払出制御基板 9 5 1 に各種電圧を供給する電源基板は、電源遮断時にでも所定時間、主制御基板 1 3 1 0 に電力を供給するためのバックアップ電源としてのキャパシタを備えている。このキャパシタにより払出制御 M P U は、電源遮断時にでも電源断時処理において各種情報を払出制御基板 9 5 1 の R A M に記憶することができる。この記憶した各種情報は、電源投入時に主制御基板 1 3 1 0 の R A M クリアスイッチが操作されると、払出制御基板 9 5 1 の R A M から完全に消去（クリア）される。

40

【0 6 4 2】

[6 - 3 . 周辺制御基板]

周辺制御基板 1 5 1 0 は、図 1 4 2 に示すように、主制御基板 1 3 1 0 からのコマンドに基づいて演出制御を行う周辺制御部 1 5 1 1 と、この周辺制御部 1 5 1 1 からの制御データに基づいてメイン液晶表示装置 1 6 0 0、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 や上皿液晶表示装置 2 4 4 の描画制御を行う液晶表示制御部 1 5 1 2 と、を備えている。

【0 6 4 3】

[6 - 3 a . 周辺制御部]

50

周辺制御基板 1 5 1 0 における演出制御を行う周辺制御部 1 5 1 1 は、詳細な図示は省略するが、マイクロプロセッサとしての周辺制御 M P U と、各種処理プログラムや各種コマンドを記憶する周辺制御 R O M と、高音質の演奏を行う音源 I C と、この音源 I C が参照する音楽及び効果音等の音情報が記憶されている音 R O M と、を備えている。

【 0 6 4 4 】

周辺制御 M P U は、パラレル I / O ポート、シリアル I / O ポート等を複数内蔵しており、主制御基板 1 3 1 0 から各種コマンドを受信すると、この各種コマンドに基づいて、遊技盤 5 の各装飾基板に設けられたカラー L E D 等への点灯信号、点滅信号又は階調点灯信号を出力するための遊技盤側発光データをランプ駆動基板用シリアル I / O ポートから演出駆動基板 3 0 4 3 に送信したり、遊技盤 5 に設けられた各種演出ユニットを作動させる駆動モータへの駆動信号を出力するための遊技盤側駆動データを遊技盤装飾駆動基板用シリアル I / O ポートから演出駆動基板 3 0 4 3 に送信したり、扉枠 3 に設けられた加振装置 2 4 2 や扉右下駆動モータ 2 7 2 等の電氣的駆動源への駆動信号を出力するための扉側駆動データと、扉枠 3 の各装飾基板に設けられたカラー L E D 等への点灯信号、点滅信号又は階調点灯信号を出力するための扉側発光データと、から構成される扉側駆動発光データを枠装飾駆動基板用シリアル I / O ポートから扉枠 3 側に送信したり、メイン液晶表示装置 1 6 0 0 や上皿液晶表示装置 2 4 4 に表示させる画面を示す制御データ（表示コマンド）を液晶制御部用シリアル I / O ポートから液晶表示制御部 1 5 1 2 に送信したり、するほかに、音 R O M から音情報を抽出するための制御信号（音コマンド）を音源 I C に出力したりする。

【 0 6 4 5 】

遊技盤 5 に設けられた各種演出ユニットの位置を検出するための各種位置検出センサからの検出信号は、裏箱の後面に取付けられた演出駆動基板 3 0 4 3 を介して周辺制御 M P U に入力されている。また、扉枠 3 に設けられた演出操作ユニット 2 2 0 のタッチパネル 2 4 6、演出ボタン押圧センサ 2 5 8 からの検出信号は、周辺制御 M P U に入力されている。

【 0 6 4 6 】

また周辺制御 M P U は、液晶表示制御部 1 5 1 2 が正常に動作している旨を伝える信号（動作信号）が液晶表示制御部 1 5 1 2 から入力されており、この動作信号に基づいて液晶表示制御部 1 5 1 2 の動作を監視している。

【 0 6 4 7 】

音源 I C は、周辺制御 M P U からの制御データ（音コマンド）に基づいて音 R O M から音情報を抽出し、扉枠 3 や本体枠 4 等に設けられたスピーカ 9 2 1 等から各種演出に合せた音楽及び効果音等が流れるように制御を行う。なお、周辺制御基板 1 5 1 0 が収容された周辺制御基板ボックス 1 5 2 0 から後方へ突出しているボリュームを回転操作することで、音量を調整することができるようになっている。本実施形態では、扉枠 3 側の複数のスピーカと本体枠 4 の低音用のスピーカ 9 2 1 とに、音情報としての音響信号（例えば、2 c h ステレオ信号、4 c h ステレオ信号、2 . 1 c h サラウンド信号、或いは、4 . 1 c h サラウンド信号、等）を送ることで、従来よりも臨場感のある音響効果（音響演出）を提示することができる。

【 0 6 4 8 】

なお、周辺制御部 1 5 1 1 は、周辺制御 M P U に内蔵された内蔵 W D T（ウォッチドックタイマ）のほかに、図示しない、外部 W D T（ウォッチドックタイマ）も備えており、周辺制御 M P U は、内蔵 W D T と外部 W D T とを併用して自身のシステムが暴走しているか否かを診断している。

【 0 6 4 9 】

この周辺制御 M P U から液晶表示制御部 1 5 1 2 に出力される表示コマンドはシリアル入出力ポートにより行われ、本実施形態では、ビットレート（単位時間あたりに送信できるデータの大きさ）として 1 9 . 2 キロ（k）ビーピーエス（b i t s p e r s e c o n d、以下、「b p s」と記載する）が設定されている。一方、周辺制御 M P U から裏

10

20

30

40

50

箱の後面に取付けられた演出駆動基板 3043 に出力される、初期データ、扉枠側点灯点滅コマンド、遊技盤側点灯点滅コマンド、可動体駆動コマンド、表示コマンドと異なる複数のシリアル入出力ポートにより行われ、本実施形態では、ビットレートとして 250 kbps が設定されている。

【0650】

この演出駆動基板 3043 は、受信した扉枠側点灯点滅コマンドに基いた点灯信号又は点滅信号を、扉枠 3 に備えられた各装飾基板の LED に出力したり、受信した遊技盤側点灯点滅コマンドに基いた点灯信号又は点滅信号を遊技盤 5 に備えられた各装飾基板の LED に出力したりする。

【0651】

また、演出駆動基板 3043 は、受信した駆動コマンドに基いた駆動信号を、扉枠 3 に備えられた加振装置 242 及び扉右下駆動モータ 272 や、遊技盤 5 に備えられた各駆動モータ等に出力したりする。

【0652】

[6-4. 演出表示制御部]

次に、周辺制御基板 1510 におけるメイン液晶表示装置 1600、サブ液晶表示装置 3114 や上皿液晶表示装置 244 の描画制御を行う液晶表示制御部 1512 は、詳細な図示は省略するが、マイクロプロセッサとしての表示制御 MPU と、各種処理プログラム、各種コマンド及び各種データを記憶する表示制御 ROM と、メイン液晶表示装置 1600 や上皿液晶表示装置 244 を表示制御する VDP (Video Display Processor の略) と、メイン液晶表示装置 1600、サブ液晶表示装置 3114 や上皿液晶表示装置 244 に表示される画面の各種データを記憶する画像 ROM と、この画像 ROM に記憶されている各種データが転送されてコピーされる画像 RAM と、を備えている。

【0653】

この表示制御 MPU は、パラレル I/O ポート、シリアル I/O ポート等を内蔵しており、周辺制御部 1511 からの制御データ (表示コマンド) に基づいて VDP を制御してメイン液晶表示装置 1600、サブ液晶表示装置 3114 や上皿液晶表示装置 244 の描画制御を行っている。なお、表示制御 MPU は、正常に動作していると、その旨を伝える動作信号を周辺制御部 1511 に出力する。また表示制御 MPU は、VDP から実行中信号が入力されており、この実行中信号の出力が 16 ms ごとに停止されたことを契機として、割り込み処理を行っている。

【0654】

表示制御 ROM は、メイン液晶表示装置 1600、サブ液晶表示装置 3114 や上皿液晶表示装置 244 に描画する画面を生成するための各種プログラムのほかに、周辺制御部 1511 からの制御データ (表示コマンド) と対応するスケジュールデータ、その制御データ (表示コマンド) と対応する非常駐領域転送スケジュールデータ等を複数記憶している。スケジュールデータは、画面の構成を規定する画面データが時系列に配列されて構成されており、メイン液晶表示装置 1600、サブ液晶表示装置 3114 や上皿液晶表示装置 244 に描画する画面の順序が規定されている。非常駐領域転送スケジュールデータは、画像 ROM に記憶されている各種データを画像 RAM の非常駐領域に転送する際に、その順序を規定する非常駐領域転送データが時系列に配列されて構成されている。この非常駐領域転送データは、スケジュールデータの進行に従ってメイン液晶表示装置 1600、サブ液晶表示装置 3114 や上皿液晶表示装置 244 に描画される画面データを、前もって、画像 ROM から画像 RAM の非常駐領域に各種データを転送する順序が規定されている。

【0655】

表示制御 MPU は、周辺制御部 1511 からの制御データ (表示コマンド) と対応するスケジュールデータの先頭の画面データを表示制御 ROM から抽出して VDP に出力した後に、先頭の画面データに続く画面データを表示制御 ROM から抽出して VDP に出力す

10

20

30

40

50

る。このように、表示制御MPUは、スケジュールデータに時系列に配列された画面データを、先頭の画面データから1つずつ表示制御ROMから抽出してVDPに出力する。

【0656】

VDPは、表示制御MPUから出力された画面データが入力されると、この入力された画面データに基づいて画像RAMからスプライトデータを抽出してメイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に表示する描画データを生成し、この生成した描画データを、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に出力する。またVDPは、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244が、表示制御MPUからの画面データを受入れないときに、その旨を伝える実行中信号を表示制御MPUに出力する。なお、VDPは、ラインバッファ方式が採用されている。この「ラインバッファ方式」とは、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244の左右方向を描画する1ライン分の描画データをラインバッファに保持し、このラインバッファに保持した1ライン分の描画データを、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に出力する方式である。

【0657】

画像ROMには、極めて多くのスプライトデータが記憶されており、その容量が大きくなっている。画像ROMの容量が大きくなると、つまり、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に描画するスプライトの数が増えると、画像ROMのアクセス速度が無視できなくなり、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に描画する速度に影響することとなる。そこで、本実施形態では、アクセス速度の速い画像RAMに、画像ROMに記憶されているスプライトデータを転送してコピーし、この画像RAMからスプライトデータを抽出している。なお、スプライトデータは、スプライトをビットマップ形式に展開する前のデータである基データであり、圧縮された状態で画像ROMに記憶されている。

【0658】

ここで、「スプライト」について説明すると、「スプライト」とは、メイン液晶表示装置1600や上皿液晶表示装置244に、纏まった単位として表示されるイメージである。例えば、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に、種々の人物（キャラクタ）を表示させる場合には、夫々の人物を描くためのデータを「スプライト」と呼ぶ。これにより、メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に複数人の人物を表示させる場合には、複数のスプライトを用いることとなる。また人物のほかに、背景を構成する家、山、道路等もスプライトであり、背景全体を1つのスプライトとすることもできる。これらのスプライトは、画面に配置される位置やスプライト同士が重なる場合の上下関係（以下、「スプライトの重ね合わせの順序」と記載する。）が設定されてメイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244に描画される。

【0659】

なお、スプライトは縦横それぞれ64画素の矩形領域を複数張り合わせて構成されている。この矩形領域を描くためのデータを「スプライトキャラクタ」と呼ぶ。小さなスプライトの場合には1つのスプライトキャラクタを用いて表現することができるし、人物など比較的大きいスプライトの場合には、例えば横2×縦3などで配置した合計6個のスプライトキャラクタを用いて表現することができる。背景のように更に大きいスプライトの場合には更に多数のスプライトキャラクタを用いて表現することができる。このように、スプライトキャラクタの数及び配置は、スプライトごとに任意に指定することができるようになっている。

【0660】

メイン液晶表示装置1600、サブ液晶表示装置3114や上皿液晶表示装置244は、その正面から見て左から右に向かって順次、画素に沿った一方向に画素ごとの表示状態を設定する主走査と、その一方向と交差する方向に主走査を繰り返し行う副走査と、によ

10

20

30

40

50

って駆動される。メイン液晶表示装置 1 6 0 0、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 や上皿液晶表示装置 2 4 4 は、液晶表示制御部 1 5 1 2 から出力された 1 ライン分の描画データが入力されると、主走査としてメイン液晶表示装置 1 6 0 0、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 や上皿液晶表示装置 2 4 4 の正面から見て左から右に向かって順次、1 ライン分の画素にそれぞれ出力する。そして 1 ライン分の出力が完了すると、メイン液晶表示装置 1 6 0 0、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 や上皿液晶表示装置 2 4 4 は、副走査として直下のラインに移行し、同様に次ライン分の描画データが入力されると、この次ライン分の描画データに基づいて主走査としてメイン液晶表示装置 1 6 0 0、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 や上皿液晶表示装置 2 4 4 の正面から見て左から右に向かって順次、1 ライン分の画素にそれぞれ出力する。

10

【0 6 6 1】

[7. 遊技内容]

次に、本実施形態のパチンコ機 1 による遊技内容について、主に図 8 1、図 8 7、図 9 2 及び図 1 4 2 等を参照して説明する。本実施形態のパチンコ機 1 は、扉枠 3 の前面右下隅に配置されたハンドルユニット 5 0 0 のハンドルレバー 5 0 4 を遊技者が回転操作することで、皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 に貯留された遊技球が、遊技盤 5 における外ルール 1 0 0 1 と内ルール 1 0 0 2 との間を通過して遊技領域 5 a 内の上部へと打ち込まれて、遊技球による遊技が開始される。遊技領域 5 a 内の上部へ打ち込まれた遊技球は、その打込強さによってセンター役物 2 5 0 0 の左側、或いは、右側の何れかを流下する。なお、遊技球の打込み強さは、ハンドルレバー 5 0 4 の回転量によって調整することができ、時計回りの方向へ回転させるほど強く打込むことができ、連続で一分間に最大 1 0 0 個の遊技球、つまり、0. 6 秒間隔で遊技球を打込むことができる。

20

【0 6 6 2】

また、遊技領域 5 a 内には、適宜位置に所定のゲージ配列で複数の障害釘（図示は省略）が遊技パネル 1 1 0 0（パネル板 1 1 1 0）の前面に植設されており、遊技球が障害釘に当接することで、遊技球の流下速度が抑制されると共に、遊技球に様々な動きが付与されて、その動きを楽しませられるようになっている。また、遊技領域 5 a 内には、障害釘の他に、遊技球の当接により回転する風車（図示は省略）が適宜位置に備えられている。

【0 6 6 3】

センター役物 2 5 0 0 の上部へ打込まれた遊技球は、センター役物 2 5 0 0 の前周壁部 2 5 1 2 の外周面のうち、最も高くなった部位よりも正面視左側へ進入すると、図示しない複数の障害釘に当接しながら、センター役物 2 5 0 0 よりも左側の領域を流下することとなる。そして、センター役物 2 5 0 0 の左側の領域を流下する遊技球が、センター役物 2 5 0 0 の前周壁部 2 5 1 2 の外周面に開口しているワープ入口 2 5 2 0 に進入すると、ワープ通路 2 5 2 1 を通ってセンター役物 2 5 0 0 の枠内に開口しているワープ出口 2 5 2 2 から誘導路 2 5 2 3 を通ってステージ 2 5 3 0 に供給される。

30

【0 6 6 4】

ワープ出口 2 5 2 2 からステージ 2 5 3 0 に供給された遊技球は、ステージ 2 5 3 0 上を転動して左右に行ったり来たりして、左右方向中央の中央誘導部 2 5 3 1、又は、その左右にあるサイド誘導部 2 5 3 2 の何れかから後方に放出される。ステージ 2 5 3 0 の中央誘導部 2 5 3 1 から遊技球が遊技領域 5 a 内に放出されると、この中央誘導部 2 5 3 1 が第一始動口 2 0 0 2 の直上に位置していることから、中央誘導部 2 5 3 1 から放出された遊技球は、高い確率で第一始動口 2 0 0 2 に受入れられる。この第一始動口 2 0 0 2 に遊技球が受入れられると、主制御基板 1 3 1 0 及び払出制御基板 9 5 1 を介して払出装置 8 3 0 から所定数（例えば、3 個）の遊技球が、上皿 2 0 1 に払出される。

40

【0 6 6 5】

ステージ 2 5 3 0 を転動している遊技球が、サイド誘導部 2 5 3 2 から遊技領域 5 a 内に放出されると、始動口ユニット 2 1 0 0 へ向かって流下する。センター役物 2 5 0 0 のステージ 2 5 3 0 から遊技領域 5 a 内に放出された遊技球は、始動口ユニット 2 1 0 0 の第一始動口 2 0 0 2 や、開状態の第一大入賞口 2 0 0 5 等に受入れられる可能性がある。

50

【0666】

ところで、センター役物2500の左側へ流下した遊技球が、ワープ入口2520に進入しなかった場合、サイドユニット上2300の棚部2302により左右方向中央側へ寄せられ、サイドユニット下2200の一般入賞口2001や第一始動口2002等に入られる可能性がある。そして、一般入賞口2001に遊技球が入られると、主制御基板1310及び払出制御基板951を介して払出装置830から所定数（例えば、10個）の遊技球が、上皿201に払出される。

【0667】

一方、遊技領域5a内においてセンター役物2500の上部に打込まれた遊技球が、センター役物2500の前周壁部2512の外周面の最も高くなった部位よりも右側に進入する（打込まれる）と、右打遊技領域2540の右上流通空間2541内に進入する。この右上流通空間2541内には、図示は省略するが、複数の障害釘が植設されており、遊技球が障害釘に当接してその流下方向を様々に変化させながら流通する。この右上流通空間3541内には、上部にゲート部2003が、下部に一般入賞口2001と通常は第二始動口扉部材2549により閉鎖されている第二始動口2004が備えられている。

【0668】

右上流通空間2541内を流下した遊技球は、その下流側の右流通路2542を通過して右下流通空間2543内に進入する。この右下流通空間2543に進入した遊技球は、第二大入賞口2006として左右に並んだ第二上大入賞口2006aと第二下大入賞口2006bを閉鎖している第二上大入賞口扉部材2552と第二下大入賞口扉部材2555の上面が底面を形成している第二アタッカ通路2543aを通り、低くなっている正面視左側の放出板部2559の左端から遊技領域5a内に放出される。第二アタッカ通路2543aの下流端（放出板部2559）は、始動口ユニット2100の第一大入賞口2005へ遊技球が向かうように開口しており、第一大入賞口2005が開状態の時に、第二アタッカ通路2543aから遊技領域5a内に遊技球が放出されると、高い確率で遊技球が第一大入賞口2005に入られる。

【0669】

この右流通路2542及び右下流通空間2543を流通する遊技球は、複数の減速リブ2546により、流通速度の増加が抑制されながら流下する。なお、ごくまれに、右下流通空間2543内において、第二アタッカ通路2543aの上流端付近で分岐している排出通路2543bに進入することがあり、排出通路2543bに進入した遊技球は遊技領域5a内に戻されることなく第二アウト口2543cから遊技盤5外に排出される。

【0670】

右打して右上流通空間2541内に進入した遊技球が、ゲート部2003を通過してゲートセンサ2547により検知されると、主制御基板1310において普通抽選が行われ、抽選された普通抽選結果が「普通当り」の場合、第二始動口扉部材2549が所定時間（例えば、0.3～10秒）の間、正面視反時計回りの方向に回動して第二始動口2004を開状態とし、第二始動口2004への遊技球の受入れが可能となる。そして、第二始動口2004に遊技球が入られると、主制御基板1310及び払出制御基板951を介して払出装置830から所定数（例えば、4個）の遊技球が、上皿201に払出される。

【0671】

本実施形態では、ゲート部2003を遊技球が通過することで行われる普通抽選において、普通抽選を開始してから普通抽選結果を示唆するまでにある程度の時間を設定している（例えば、0.01～60秒、普通変動時間とも称す）。この普通抽選結果の示唆は、遊技盤5の機能表示ユニット1400に表示される。第二始動口2004では、普通変動時間の経過後に第二始動口扉部材2549が回動して開状態となる。

【0672】

また、遊技球がゲート部2003を通過してから普通抽選結果が示唆されるまでの間に、遊技球がゲート部2003を通過すると、普通抽選結果の示唆を開始することができな

10

20

30

40

50

いため、普通抽選結果の示唆の開始を、先の普通抽選結果の示唆が終了するまで保留するようにしている。また、普通抽選結果の保留数は、4つまでを上限とし、それ以上については、ゲート部2003を遊技球が通過しても、保留せずに破棄している。これにより、保留が貯まることで遊技ホール側の負担の増加を抑制している。

【0673】

本実施形態のパチンコ機1は、第一始動口2002及び第二始動口2004に遊技球が受入れられると、主制御基板1310において、遊技者に有利な有利遊技状態（例えば、「大当たり」、「中当たり」、「小当たり」、「確率変動当たり」、「時間短縮当たり」、等）を発生させる特別抽選結果の抽選が行われる。そして、抽選された特別抽選結果を、所定時間（例えば、0.1～360秒、特別変動時間とも称す）かけて遊技者に示唆する。なお、第一始動口2002及び第二始動口2004に遊技球が受入れられることで抽選される特別抽選結果には、「ハズレ」、「小当たり」、「2R大当たり」、「5R大当たり」、「15R大当たり」、「確変（確率変更）当たり」、「時短（時間短縮）当たり」、「確変時短当たり」、「確変時短無し当たり」、等がある。

【0674】

第一始動口2002及び第二始動口2004への遊技球の受入れにより抽選された特別抽選結果（第一特別抽選結果及び第二特別抽選結果）が、有利遊技状態を発生させる特別抽選結果の場合、特別変動時間の経過後に、第一大入賞口2005及び第二大入賞口2006の何れが所定の開閉パターンで遊技球の受入れが可能な状態となる。第一大入賞口2005や第二大入賞口2006が開状態の時に、第一大入賞口2005や第二大入賞口2006に遊技球が受入れられると、主制御基板1310及び払出基板によって払出装置830から所定数（例えば、10個、又は、13個）の遊技球が、上皿201に払出される。従って、第一大入賞口2005や第二大入賞口2006が遊技球を受入可能としている時に、第一大入賞口2005や第二大入賞口2006に遊技球を受入れさせることで、多くの遊技球を払出させることができ、遊技者を楽しませることができる。

【0675】

特別抽選結果が「小当たり」の場合、第一大入賞口2005が、所定短時間（例えば、0.2秒～0.6秒の間）の間、遊技球を受入可能な開状態となってから閉鎖する開閉パターンを複数回（例えば、2回）繰返す。一方、特別抽選結果が「大当たり」の場合、第一大入賞口2005又は第二大入賞口2006が、遊技球を受入可能な開状態となった後に、所定時間（例えば、約30秒）経過、或いは、第一大入賞口2005又は第二大入賞口2006への所定個数（例えば、10個）の遊技球の受入れ、の何れかの条件が充足すると、遊技球を受入不能な閉状態とする開閉パターン（一回の開閉パターンを1ラウンドと称す）を、所定回数（所定ラウンド数）繰返す。例えば、「2R大当たり」であれば2ラウンド、「5R大当たり」であれば5ラウンド、「15R大当たり」であれば15ラウンド、夫々繰返して、遊技者に有利な有利遊技状態を発生させる。

【0676】

ところで、本実施形態では第二大入賞口2006が、左右に並んだ第二上大入賞口2006aと第二下大入賞口2006bとで構成されており、第二大入賞口2006が用いられる「大当たり」の場合、例えば、初めのラウンド（1R目）は第二上大入賞口2006aが開いて遊技球を受入可能とし、受入不能とする条件の充足により閉鎖されて、次に受入可能とするまでの間（インターバルの間）、第二下大入賞口2006bを開いて遊技球を受入可能とする次のラウンド（2R目）を開始させ、第二下大入賞口2006bが受入不能となると、その間にインターバルの期間が経過しているため、第二上大入賞口2006aを再び開いて遊技球を受入可能とする。そして、第二上大入賞口2006aと第二下大入賞口2006bとを、所定ラウンド数の消化まで交互に開閉させる。これにより、第二アタッカ通路2543a内では、「大当たり」中は第二上大入賞口2006a及び第二下大入賞口2006bの何れかが遊技球を受入可能な状態となっているため、この状態で右打して第二アタッカ通路2543a内に遊技球を流通させると、その遊技球が必ず第二大入賞口2006に受入れられることとなり、遊技球の取りこぼしをなくして、遊技者を楽し

ませることができる。

【0677】

なお、「大当たり」では、大当たり遊技の終了後に、「大当たり」等の特別抽選結果が抽選される確率を変更（「確変当たり」）したり、特別抽選結果を示唆する演出画像の表示時間を変更（「時短当たり」）したりする「当たり」がある。

【0678】

本実施形態では、第一始動口2002及び第二始動口2004への遊技球の受入れにより特別抽選の開始から抽選された特別抽選結果が示唆されるまでの間に、第一始動口2002及び第二始動口2004に遊技球が受入れられると、特別抽選結果の示唆を開始することができないため、先に抽選された特別抽選結果の示唆が完了するまで、特別抽選結果の示唆の開始が保留される。この保留される特別抽選結果の保留数は、第一始動口2002及び第二始動口2004に対して、夫々4つまでを上限とし、それ以上については、第一始動口2002及び第二始動口2004に遊技球が受入れられても特別抽選結果を保留せずに、破棄している。これにより、保留が貯まることで遊技ホール側の負担の増加を抑制している。

【0679】

この特別抽選結果の示唆は、機能表示ユニット1400とメイン液晶表示装置1600とで行われる（サブ液晶表示装置3114も用いても良い）。機能表示ユニット1400では、主制御基板1310によって直接制御されて特別抽選結果の示唆が行われる。機能表示ユニット1400での特別抽選結果の示唆は、複数のLEDを、点灯・消灯を繰返して所定時間点滅させ、その後、点灯しているLEDの組み合わせによって特別抽選結果を示唆する。

【0680】

一方、メイン液晶表示装置1600では、主制御基板1310からの制御信号に基づいて、周辺制御基板1510によって間接的に制御され演出画像として特別抽選結果の示唆が行われる。メイン液晶表示装置1600での特別抽選結果を示唆する演出画像は、複数の図柄からなる図柄列を、左右方向へ三つ並べて表示した状態で、各図柄列を変動させ、変動表示されている図柄列を順次停止表示させ、停止表示される三つの図柄列の図柄が、特別抽選結果と対応した組み合わせとなるように夫々の図柄列が停止表示される。特別抽選結果が「ハズレ」以外の場合は、三つの図柄列が停止して各図柄が停止表示された後に、特別抽選結果を示唆する確定画像がメイン液晶表示装置1600に表示されて、抽選された特別抽選結果に応じた有利遊技状態（例えば、小当たり遊技、大当たり遊技、等）が発生する。

【0681】

なお、機能表示ユニット1400での特別抽選結果を示唆する時間（LEDの点滅時間（変動時間））と、メイン液晶表示装置1600での特別抽選結果を示唆する時間（図柄列が変動して確定画像が表示されるまでの時間）とは、異なっており、機能表示ユニット1400の方が短い時間に設定されている。

【0682】

また、周辺制御基板1510では、メイン液晶表示装置1600による特別抽選結果を示唆するための演出画像の表示の他に、抽選された特別抽選結果に応じて、センター役物2500の装飾体、裏左中装飾ユニット3050、裏下後可動演出ユニット3100、裏上左可動演出ユニット3200、裏左可動演出ユニット3300、裏上中可動演出ユニット3400、及び裏下前可動演出ユニット3500、等を適宜用いて、発光演出、可動演出、表示演出、等を行うことが可能であり、各種の演出によっても遊技者を楽しませることができ、遊技者の遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

【0683】

〔8. 本実施形態と本発明の関係〕

本実施形態の裏ユニット3000における裏下後演出ユニット3100の裏下後第一装飾体3110は本発明の第一装飾体に、本実施形態における裏下後第二装飾体3120は

本発明の第二装飾体に、本実施形態におけるサブ液晶表示装置 3 1 1 4 は本発明の演出表示装置に、本実施形態における裏下後第一装飾体 3 1 1 0、裏下後第二装飾体 3 1 2 0、及びサブ液晶表示装置 3 1 1 4 は本発明の装飾部材に、本実施形態における装飾体支持軸 3 1 2 5 は本発明の支持軸に、本実施形態における第二装飾体側作動ギア 3 1 2 6 は本発明の軸下ギアに、本実施形態における裏下後第一装飾体 3 1 1 0、サブ液晶表示装置 3 1 1 4、裏下後第二装飾体 3 1 2 0、装飾体支持軸 3 1 2 5、及び第二装飾体側作動ギア 3 1 2 6 は本発明の装飾ユニットに、夫々相当している。

【0684】

また、本実施形態の裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 における回転駆動ユニット 3 1 3 0 の第一装飾体側作動ギア 3 1 3 2 c は本発明の軸上ギアに、本実施形態における第一駆動ギア 3 1 3 3 は本発明の上駆動ギアに、本実施形態における裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 は本発明の上駆動モータに、本実施形態における第二駆動ギア 3 1 3 6 は本発明の下駆動ギアに、本実施形態における裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 は本発明の下駆動モータに、本実施形態における裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 及び裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 は本発明の駆動モータに、夫々相当している。

【0685】

[9. 本実施形態の特徴的な作用効果]

このように、本実施形態のパチンコ機 1 によると、遊技者が遊技球を遊技領域 5 a 内に打込んで第一始動口 2 0 0 2 や第二始動口 2 0 0 4 に受入れさせると、第一始動口 2 0 0 2 や第二始動口 2 0 0 4 への遊技球の受入れにより抽選される第一特別抽選結果や第二特別抽選結果（単に、特別抽選結果とも称する）に応じて、裏ユニット 3 0 0 0 の裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 における回転駆動ユニット 3 1 3 0 の裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 及び裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 と、スライドユニット 3 1 5 0 の裏下後第三駆動モータ 3 1 5 5 とにより、互いにヒンジ回転可能に取付けられている裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を、重畳した状態で一緒に回転させたり、重畳した状態から開かせたり、開いた状態から重畳させたり、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を左右にスライドさせたりすることができると共に、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 においてサブ液晶表示装置 3 1 1 4 が臨んでいる第一装飾面 3 1 1 1 を遊技者側から視認可能に向けている時に遊技者に演出画像を見せることができるため、多彩な演出を遊技者に提示して楽しませることができ、遊技者を飽き難くさせることができる。この際に、裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の上下に延びてヒンジ回転可能に取付けられている辺の下端から下方に突出している装飾体支持軸 3 1 2 5 の上端部と下端部とを、回転駆動ユニット 3 1 3 0 における回転駆動ユニットベース 3 1 3 1 の上軸受部 3 1 3 1 c と下軸受部 3 1 3 1 d とで夫々回転可能に支持しており、可及的に上下に離れた位置の二か所で回転可能に支持しているため、装飾体支持軸 3 1 2 5 が裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の重心に対して偏芯した位置から突出していることで装飾体支持軸 3 1 2 5 を傾けようとする偏荷重が作用しても、装飾体支持軸 3 1 2 5 を傾き難くすることができ、装飾体支持軸 3 1 2 5 を真っ直ぐに支持して裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を回転させることができると共に、上軸受部 3 1 3 1 c 及び下軸受部 3 1 3 1 d の二か所で下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 からの荷重を分担して受けることで偏摩耗を低減させて下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を長期に亘って良好な状態で回転させることができ、下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を用いた演出を遊技者に楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0686】

また、装飾体支持軸 3 1 2 5 の長さを下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の高さの 0.5 倍～1 倍の範囲内の長さとして、その上端部と下端部とにおいて回転駆動ユニット 3 1 3 0 における回転駆動ユニットベース 3 1 3 1 の上軸受部 3 1 3 1 c と下軸受部 3 1 3 1 d との二か所で回転可能に支持しており、装飾体支持軸 3 1 2 5 に作用する偏荷重を二か所で分担して支持しているため、下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後

第二装飾体 3 1 2 0 とサブ液晶表示装置 3 1 1 4 とで全体が重くなっても、装飾体支持軸 3 1 2 5 が傾くことなく良好な状態で回転可能に支持することができる。

【0687】

また、装飾体支持軸 3 1 2 5 の下端部では、第二装飾体側作動ギア 3 1 2 6 に対して、正面視遊技領域 5 a の中央に近い側から裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 の回転軸に取付けられた第二駆動ギア 3 1 3 6 を噛合させて、装飾体支持軸 3 1 2 5 を裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 により回転させるようにしており、通常の状態において、下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 からの荷重により装飾体支持軸 3 1 2 5 の下端側に作用する遊技領域 5 a の中央に近づく方向へ移動（倒れ）させようする力を、裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 で受けることができる。一方、装飾体支持軸 3 1 2 5 の上端部では、回転伝達部材 3 1 3 2 の第一装飾体側作動ギア 3 1 3 2 c に対して、正面視遊技領域 5 a の中央から遠い側から裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 の回転軸に取付けられた第一駆動ギア 3 1 3 3 を噛合させて、装飾体支持軸 3 1 2 5 を裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 により回転させるようにしているため、通常の状態において、下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 からの荷重により装飾体支持軸 3 1 2 5 の上端側に作用する遊技領域 5 a の中央から遠ざかる方向へ移動（倒れ）させようする力を、裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 で受けることができる。従って、装飾体支持軸 3 1 2 5 を倒れさせようとする力（偏荷重）を、回転駆動ユニットベース 3 1 3 1 の下軸受部 3 1 3 1 d 及び上軸受部 3 1 3 1 c に加えて、裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 及び裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 でも受けるようにしているため、装飾体支持軸 3 1 2 5 をより一層倒れ難くすることができ、装飾体支持軸 3 1 2 5 を介して下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を良好な状態で回転可能に支持することができる。

【0688】

更に、互いにヒンジ回転可能に取付けられている下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 に対して、ヒンジ回転の軸線と同軸上で装飾体支持軸 3 1 2 5 及び回転伝達部材 3 1 3 2 により回転させるようにしていることから、例えば、下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを重畳させて一方側の面（裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1）を前方に向けた状態で、装飾体支持軸 3 1 2 5 を介して下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを一緒に約 180 度回転させて反対側の面（裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の第二装飾面 3 1 2 2）を前方に向けた状態とすると、重畳された下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 における左右方向の移動距離が可及的に長くなり、当初の位置から下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の左右方向の大きさと略同じ距離を移動した位置に移動させることができるため、後方に配置された他の部材（演出画像を表示可能なメイン液晶表示装置 1600）の邪魔にならない位置と邪魔になる位置との間で大きく移動させることが可能となり、位置（遊技状態）に応じて後方のメイン液晶表示装置 1600 を目立たせたり下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を目立たせたりすることができ、多彩な演出を遊技者に提示して遊技者が飽き難い遊技機とすることができる。

【0689】

また、回転駆動ユニット 3 1 3 0 では、装飾体支持軸 3 1 2 5 を間にして遊技領域 5 a の中央から遠い側に裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 を、中央に近い側に裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 を、夫々取付けるようにしているため、回転駆動ユニットベース 3 1 3 1 内において裏下後第一駆動モータ 3 1 3 4 と裏下後第二駆動モータ 3 1 3 7 とが干渉することとはなく、上述した作用効果を奏するパチンコ機 1 を具現化し易くすることができる。

【0690】

更に、本実施形態のパチンコ機 1 によると、遊技者が遊技球を遊技領域 5 a 内に打込んで第一始動口 2002 や第二始動口 2004 に受入れさせると、第一始動口 2002 や第二始動口 2004 への遊技球の受入れにより抽選される第一特別抽選結果や第二特別抽選結果（単に、特別抽選結果とも称する）に応じて、裏ユニット 3000 の裏下後可動演出ユニット 3100 において、四辺のうちの上下に延びている一辺で上下に延びた軸線に対

して互いにヒンジ回転可能に取付けられている裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が、可動ユニットとしての回動駆動ユニット 3 1 3 0 によりヒンジ回転されて、互いに閉じたり、開いたり、一緒に回転したり、或は、可動ユニットとしてのスライドユニット 3 1 5 0 により、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が、正面視メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の右外側位置と内側の位置との間で左右方向にスライドしたりする。この裏下後第一装飾体 3 1 1 0 は、一方の面に外周が第一装飾面 3 1 1 1 により装飾されたサブ液晶表示装置 3 1 1 4 を備えており、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 を遊技者側から視認可能に前方へ向けている時に表示している演出画像を遊技者に視認させることができる。一方、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 に対して左右方向へ同じ高さでメイン液晶表示装置 1 6 0 0 の一部を間にした位置では、正面視メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の左外側位置に配置されている裏左可動演出ユニット 3 3 0 0 における裏左固定装飾体 3 3 1 0 の後方で視認不能に隠れている枠状の裏左可動装飾体 3 3 2 0 が、裏左駆動ユニット 3 3 3 0 により正面視メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の左外側位置と内側の位置との間で左右方向に移動する。この裏左可動装飾体 3 3 2 0 は、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の第一装飾面 3 1 1 1 と同じ装飾が施された枠状で、正面視メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の内側位置（前面の位置）の時に、メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の表示画面における裏左可動装飾体 3 3 2 0 の真後ろとなる領域に、残りの領域に表示される演出画像とは異なる特定の演出画像を表示させることで、遊技者側（前方）から見ると恰も裏左可動装飾体 3 3 2 0 の枠内に液晶表示装置（演出表示手段）が備えられているように錯覚させることが可能な特定の演出画像を遊技者に視認させることができる。このように、裏下後第一装飾体 3 1 1 0、裏下後第二装飾体 3 1 2 0、及び裏左可動装飾体 3 3 2 0 の動きと、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 の左分液晶表示装置 3 1 1 4 に表示される演出画像及びメイン液晶表示装置 1 6 0 0 における裏左可動装飾体 3 3 2 0 の枠内を通して視認される特定の演出画像とを、適宜組合せることにより、多彩な演出を遊技者に提示することができ、遊技者を飽き難くして遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【0691】

また、ヒンジ回転可能に互いが取付けられている裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とを、互いの面を重畳させて閉じた状態から、互いの面を並べて開いた状態とすることで、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏下後第二装飾体 3 1 2 0 とによる装飾の面を、正面視遊技領域 5 a 内において拡大（拡張）させて目立たせることができるため、遊技者の関心を裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 に強く引き付けることができ、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 により広がった装飾を楽しませることができると共に、遊技者に対して何か良いことがあるのではないかと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせて興趣の低下を抑制させることができる。

【0692】

また、裏左可動装飾体 3 3 2 0 では、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 におけるサブ液晶表示装置 3 1 1 4 の外周に施されている装飾と同じ装飾を有しており、正面視メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の内側位置に移動させて遊技者側から視認可能な状態とすると、遊技者に対してサブ液晶表示装置 3 1 1 4 を有する裏下後第一装飾体 3 1 1 0 が左右に一つずつ合計二つ備えられているように思わせることができ、メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の他にサブ液晶表示装置 3 1 1 4 を二つ備えたパチンコ機 1 であると錯覚させることができるため、遊技者に対する訴求力が高くなり、遊技するパチンコ機として本パチンコ機 1 を選択させ易くすることができ、本パチンコ機 1 での遊技を楽しませることができると共に、本パチンコ機 1 の稼働率を高めることができる。

【0693】

更に、裏左可動装飾体 3 3 2 0 では、後方のメイン液晶表示装置 1 6 0 0 を用いて演出画像を表示させており、裏左可動装飾体 3 3 1 0 に液晶表示装置を備えていないため、メイン液晶表示装置 1 6 0 0、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 のサブ液晶表示装置 3 1 1 4、及び裏左可動装飾体 3 3 2 0 の枠内の三つの表示領域を有しているにもかかわらず、メイ

ン液晶表示装置１６００とサブ液晶表示装置３１１４の二つの表示制御を行うだけで、三つの表示領域に演出画像を表示させることができ、演出画像の制御（例えば、周辺制御基板１５１０による演出に関する制御）に係る負荷の増加を抑制させることができる。従って、過負荷により演出に関する制御が不安定になって、演出画像の表示や裏下後第一装飾体３１１０、裏下後第二装飾体３１２０、及び裏左可動装飾体３３２０の動き等が、意図しない表示や動作をしてしまうのを防止することができるため、演出画像や、裏下後第一装飾体３１１０、裏下後第二装飾体３１２０、及び裏左可動装飾体３３２０等による所望の演出効果を確実に発揮させることができ、遊技者を楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【０６９４】

また、裏左可動装飾体３３２０を、裏下後第一装飾体３１１０（裏下後第二装飾体３１２０）と同じ高さで正面視メイン液晶表示装置１６００の一部を間にして左右方向に離間して配置していることから、裏左可動装飾体３３２０を正面視メイン液晶表示装置１６００の内側位置に移動させて遊技者側から視認可能とした状態では、同じ装飾を有している裏下後第一装飾体３１１０（第一装飾面３１１１）及び裏左可動装飾体３３２０が左右に並んだ状態となるため、正面視遊技領域５ａ内に同じような装飾体が二つ存在していることを、遊技者に強く認識させることが可能となり、遊技者によっては二つの装飾体（裏下後第一装飾体３１１０及び裏左可動装飾体３３２０）により提示される演出を想像して思いを巡らせることで、演出に対する期待感を高めさせることができ、興趣の低下を抑制させることができる。

【０６９５】

また、裏左可動装飾体３３２０を視認可能な状態では、裏下後第一装飾体３１１０と裏左可動装飾体３３２０とが、メイン液晶表示装置１６００の一部を間にして、左右に並ぶことから、裏下後第一装飾体３１１０のサブ液晶表示装置３１１４、裏左可動装飾体３３２０の枠内、及びメイン液晶表示装置１６００における裏下後第一装飾体３１１０と裏左可動装飾体３３２０との間の領域、の演出画像を表示する三つの領域が並んだ状態となり、それら並んだ領域を用いて演出画像を表示させることで、インパクトのある演出を行うことができ、遊技者を楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【０６９６】

更に、裏下後第一装飾体３１１０と裏左可動装飾体３３２０とを同じ高さで左右に配置しているため、上下に配置した場合と比較して、裏下後第一装飾体３１１０のサブ液晶表示装置３１１４に表示されている演出画像と、裏左可動装飾体３３２０の枠内を通して視認可能なメイン液晶表示装置１６００の特定の演出画像とが、遊技者の視界内に同時に入り易くなり、裏下後第一装飾体３１１０側と裏左可動装飾体３３２０側の演出画像を同時に認識させて楽しませることができると共に、一方の演出画像を見逃し難くすることができるため、演出画像を見逃してしまうことで損した気分になるのを回避させることができ、遊技者の遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

【０６９７】

また、裏下後可動演出ユニット３１００のスライドユニット３１５０により、裏下後第一装飾体３１１０及び裏下後第二装飾体３１２０を遊技パネル１１００の面に沿って左右にスライドさせていることから、裏下後第一装飾体３１１０等の姿勢が変化しない（前後方向に延びた軸周りに回転しない）ため、裏下後第一装飾体３１１０のサブ液晶表示装置３１１４に演出画像を表示させたままの状態スライドさせても、サブ液晶表示装置３１１４の演出画像の姿勢（向き）が変化して見辛くなることはなく、演出画像を良好な状態で遊技者に見せることができ、遊技者に演出画像を確実に楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【０６９８】

また、裏左可動演出ユニット３３００の裏左駆動ユニット３３３０により裏左可動装飾体３３２０を、裏下後第一装飾体３１１０や裏下後第二装飾体３１２０と同じ左右方向に移動させるようにしているため、裏下後第一装飾体３１１０等とは異なる方向に移動させ

るようにした場合と比較して、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 等と裏左可動装飾体 3 3 2 0 とを、互いに接近させたり遠ざけたり、或は、一緒に同じ向きに移動させたりすることで、遊技者に対して同じ装飾を有していることに加えて動きによっても裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と裏左可動装飾体 3 3 2 0 とが互いに密接な関係にある装飾体であると認識させることが可能となり、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏左可動装飾体 3 3 2 0 の何れか一方を用いた演出を行うと、遊技者が残りの方も気に掛けるようになって期待感を抱かせることができ、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏左可動装飾体 3 3 2 0 を用いた演出を楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0699】

更に、裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 のスライドユニット 3 1 5 0 により、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の回転中心の軸線（回転軸）と直交する左右方向に、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 をスライドさせるようにしているため、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 をスライドさせても、回転駆動ユニット 3 1 3 0 を介して裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が当初に位置していた場所に回転駆動ユニット 3 1 3 0 が位置することはない。従って、当初の状態で回転駆動ユニット 3 1 3 0 を視認不能な状態とした場合、スライドユニット 3 1 5 0 によりスライドさせても回転駆動ユニット 3 1 3 0 を視認不能のままの状態とすることができ、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 を支持している回転駆動ユニット 3 1 3 0 が見えないことで、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が自分自身で動いているような印象の動きをさせることができ、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 のヒンジ回転やスライド等の動きを遊技者により楽しませることができる。

【0700】

また、裏左可動装飾体 3 3 2 0 が正面視メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の左外側位置の時には、前方に配置されている裏左固定装飾体 3 3 1 0 によって遊技者側から裏左可動装飾体 3 3 2 0 を視認不能としているため、遊技状態に応じて裏左可動装飾体 3 3 2 0 を正面視メイン液晶表示装置 1 6 0 0 の内側位置へ移動（出現）させると、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 と同じ装飾を有した裏左可動装飾体 3 3 2 0 が現れることとなり、サブ液晶表示装置 3 1 1 4 を有した裏下後第一装飾体 3 1 1 0 が一つ増えたように見せることができ、遊技者を驚かせて裏左可動装飾体 3 3 2 0 に注目させることができると共に、裏左可動装飾体 3 3 2 0 の枠内を通して表示されるメイン液晶表示装置 1 6 0 0 の特定の演出画像を遊技者に確実に見せることができ、遊技者を楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0701】

更に、本実施形態のパチンコ機 1 によると、遊技者が遊技球を遊技領域 5 a 内に打込んで遊技状態を変化させると、変化した遊技状態に応じて（第一始動口 2 0 0 2 又は第二始動口 2 0 0 4 への遊技球の受入れにより抽選される第一特別抽選結果や第二特別抽選結果に応じて）、正面視遊技領域 5 a 内で遊技パネルの正面視開口部 1 1 1 2 内に配置されている裏ユニット 3 0 0 0 における裏下後可動演出ユニット 3 1 0 0 の二つの裏下第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が、スライドユニット 3 1 5 0 により遊技パネル 1 1 0 0 （パネル板 1 1 1 0）の面に沿って左右方向に移動し、回転駆動ユニット 3 1 3 0 により裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 が上下に延びた軸線に対して夫々ヒンジ回転することとなる上に、裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 に夫々備えられている裏下後第一装飾基板及び裏下後第二装飾基板により二つの裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 の面が発光装飾することとなるため、二つの裏下後第一装飾体 3 1 1 0 及び裏下後第二装飾体 3 1 2 0 において、裏下後第一装飾基板及び裏下後第二装飾基板による発光装飾（発光演出）と、回転駆動ユニット 3 1 3 0 やスライドユニット 3 1 5 0 による可動演出と、を適宜組合せることで、多彩な演出を遊技者に提示することができ、遊技者を飽き難くして遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

10

20

30

40

50

【0702】

このような構成により、例えば、通常の状態において、回転駆動ユニット3130により、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を夫々が前後方向に重なるように折畳まれて重畳させると共にヒンジ回転可能に支持されている側辺（左辺）を正面視遊技領域5aの中央側に向けた状態とし、スライドユニット3150により、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を正面視遊技領域5aの中央から遠ざかった右方の位置に移動させた状態とする。

【0703】

この通常の状態で、回転駆動ユニット3130により、重畳された二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120のうちの後側に位置している裏下後第二装飾体3120が前側に位置するように、重畳されたままの状態では二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を一緒に回転させると（図104（b）を参照）、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120が正面視遊技領域5aの中央側に寄ると同時に、通常の状態では視認できなかった後側の裏下後第二装飾体3120の第一装飾面3121が視認できるようになるため、視認できるようになった第一装飾面3121の装飾によって、チャンスの到来等を示唆させて遊技者を楽しませることができる。

【0704】

また、通常の状態では、回転駆動ユニット3130により、折畳まれて重畳された二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120のうちの前側の裏下後第一装飾体3110を、後方を向いている第二装飾面3112が前方を向くように回転させると（図105（e）を参照）、畳まれた書籍が開くようなヒンジ回転する動作をして、回転させた裏下第一装飾体3110の第二装飾面3112と、後側に位置していた裏下後第二装飾体3120の前方を向いている第二装飾面3122とが、ヒンジ回転の回転軸を境に前方を向いて並んだ状態となり、重畳された二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120が展開して正面遊技領域5a内における二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120による装飾範囲が広がって目立たせることができると共に、通常の状態では視認できなかった二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の第二装飾面3112、3122が視認できるようになり、遊技者の関心を強く引き付けることができる。そして、この場合、前方を向いて並んだ夫々の第二装飾面3112、3122の装飾を、互いに一体となるような装飾としているため、重畳された二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120が開くことで一つの大きな装飾を遊技者に見せることができ、遊技者の関心をより強く引き付けることができる。

【0705】

更に、回転駆動ユニット3130により、折畳まれて重畳された二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の前側の裏下後第一装飾体3110を回転させることで展開して開いた状態から、重畳された状態で後側に配置されていた裏下後第二装飾体3120を、先に回転させた裏下後第一装飾体3110の前側に重畳されるようにヒンジ回転させると（図104（c）を参照）、これまで後方を向いて遊技者側から見えなかった第二装飾面3122が前方を向いて見えるようになるため、その第二装飾面3122の装飾によって遊技者を楽しませることができると共に、遊技者に対して何か良いことが有るのではないかとと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせて興趣の低下を抑制させることができる。

【0706】

また、通常の状態では、スライドユニット3150により、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を、正面視遊技領域5aの中央に近い位置に移動させると（図105（d）を参照）、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120のうちの前側に位置している裏下後第一装飾体3110の前方を向いている第一装飾面3111の装飾が、遊技者側から目立った状態となり、遊技者を裏下後第一装飾体3

110に注目させることができると共に、裏下後第一装飾体3110における前方を向いている第一装飾面3111の装飾により遊技者を楽しませることができる。

【0707】

このように、回転駆動ユニット3130やスライドユニット3150、及び、裏下後第一装飾基板及び裏下後第二装飾基板によって、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120に対して様々な動きをさせることができると共に、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の夫々の面を様々な発光装飾させることができるため、上述した動き（可動演出）と発光装飾（発光演出）とを適宜組合せることで、演出のパターンを多彩なものとすることができ、多彩な演出を遊技者に提示することで遊技者を飽き難くさせて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

10

【0708】

また、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を、上下に延びている軸線に対してヒンジ回転可能に支持するようにしているため、裏下後第一装飾体3110や裏下後第二装飾体3120の自重による回転モーメントが、回転軸を回転させる方向に作用することはなく、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を回転させるための回転駆動ユニット3130に（裏下後第一駆動モータ3134や裏下後第二駆動モータ3137）かかる負荷の増加を抑制させることが可能となり、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を夫々スムーズに回転させることができ、裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を確実に回転させて上述した作用効果を確実に奏することができる。

20

【0709】

更に、回転駆動ユニット3130による二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の回転範囲を、ヒンジ回転可能に支持された回転中心を通る遊技パネル1100と平行な面の前方側としているため、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を一回転可能とした場合と比較して、パチンコ機1（遊技盤5）の前後方向（奥行方向）に対する二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の回転範囲の直径を大きくすることができ、その分、裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120をより大きくすることができる。従って、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を、夫々可及的に大きくすることができるため、遊技領域5a内において二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120をより目立たせて遊技者の関心を引付け易くすることができ、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120による可動演出を楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

30

【0710】

また、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の回転範囲を、遊技パネル1100と平行な面よりも前方側としているため、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の後側に配置されたメイン液晶表示装置1600に対して、可及的に接近した位置に二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を配置することができ、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120が正面遊技領域5a内に備えられているメイン液晶表示装置1600等から浮いた感じに見えてしまうのを低減させることができる。従って、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120をヒンジ回転させたりスライド移動させたりしていない時（可動させていない時）には、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120をパチンコ機1（遊技盤5）の装飾に溶け込ませて一体の装飾のように見せることができるため、遊技状態に応じて二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を可動させることで、恰も固定されていた装飾が動くように錯覚させることができ、遊技者を驚かせて二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120による可動演出をより楽しませることができる。

40

【0711】

更に、上述したように、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体312

50

0がヒンジ回転可能な回転軸よりも後方側には回転しないようにしていることから、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120をパチンコ機1（遊技盤5）の前後方向に対して可及的に後方の位置に配置することが可能となるため、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を可及的に後方の位置に配置することで、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120をヒンジ回転させるための前方側のスペースを確保することができ、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120による可動演出を確実に行うことができると共に、前方側のスペースが広がることで裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120をより大きくすることができ、大型の裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120により遊技者の関心を引付けて可動演出をより楽しませることができる。

10

【0712】

また、スライドユニット3150により二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を、左右方向に移動させるようにしていることから、左右方向に案内するスライドガイド3152により二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120、及び回転駆動ユニット3130の重量を支持させることが可能となり、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120等の重量が移動させるための裏下後第三駆動モータ3155に作用し難くすることができるため、上下方向に移動させるようにした場合と比較して、スライドユニット3150を小さくすることが可能となり、相対的に二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120のためのスペースを広くして裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を大きくすることができ、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を遊技者から目立つようにすることができると共に、遊技者を二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120に注目させることができ、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120による可動演出や発光演出を確実に楽しませて遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

20

【0713】

更に、遊技パネル1100の後方に配置されている二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を、正面視遊技パネル1100（パネル板1110）を貫通している開口部1112内に配置するようにしていることから、開口部1112を通して二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の前方のスペースを広くすることができ、ヒンジ回転可能な二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120を確実にヒンジ回転させることができると共に、二つの裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の回転半径、つまり、裏下後第一装飾体3110及び裏下後第二装飾体3120の大きさをより大きくすることができ、上述したような作用効果を確実に奏するパチンコ機1を具現化することができる。

30

【0714】

以上、本発明について好適な実施形態を挙げて説明したが、本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく、以下に示すように、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、種々の改良及び設計の変更が可能である。

【0715】

すなわち、上記の実施形態では、遊技機としてパチンコ機1に適用したものを示したが、これに限定するものではなく、パチスロ機や、パチンコ機とパチスロ機とを融合させる遊技機に、適用しても良く、この場合でも、上記と同様の作用効果を奏することができる。

40

【符号の説明】

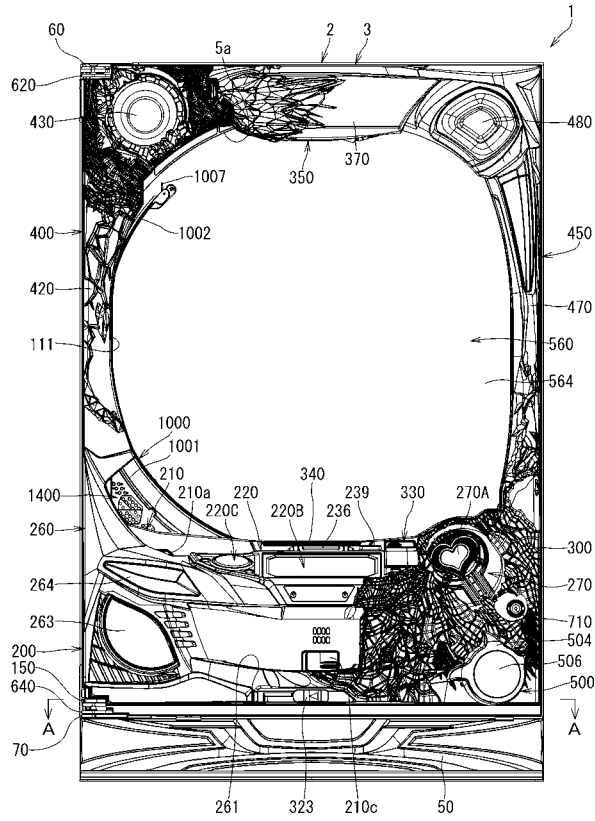
【0716】

- 1 パチンコ機
- 2 外枠
- 3 扉枠
- 4 本体枠

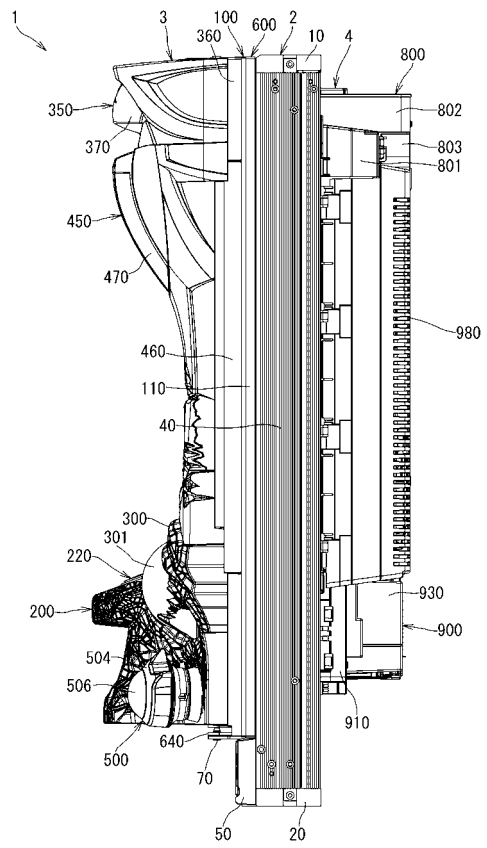
50

5	遊技盤	
5 a	遊技領域	
1 0 0 0	前構成部材	
1 1 0 0	遊技パネル	
1 1 1 0	パネル板	
1 1 1 2	開口部	
1 1 2 0	パネルホルダ	
1 6 0 0	メイン液晶表示装置	
2 0 0 0	表ユニット	
2 5 0 0	センター役物	10
3 0 0 0	裏ユニット	
3 0 1 0	裏箱	
3 1 0 0	裏下後可動演出ユニット	
3 1 1 0	裏下後第一装飾体（第一装飾体、装飾部材、装飾ユニット）	
3 1 1 1	第一装飾面	
3 1 1 2	第二装飾面	
3 1 1 4	サブ液晶表示装置（演出表示装置、装飾部材、装飾ユニット）	
3 1 1 5	第一ヒンジ部	
3 1 2 0	裏下後第二装飾体（第二装飾体、装飾部材、装飾ユニット）	
3 1 2 1	第一装飾面	20
3 1 2 2	第二装飾面	
3 1 2 4	第二ヒンジ部	
3 1 2 5	装飾体支持軸（支持軸、装飾ユニット）	
3 1 2 6	第二装飾体側作動ギア（軸下ギア、装飾ユニット）	
3 1 2 7	軸受部材	
3 1 3 0	回転駆動ユニット	
3 1 3 1	回転駆動ユニットベース	
3 1 3 1 a	主部	
3 1 3 1 b	副部	
3 1 3 1 c	上軸受部	30
3 1 3 1 d	下軸受部	
3 1 3 2	回転伝達部材	
3 1 3 2 a	スリーブ部	
3 1 3 2 b	連結部	
3 1 3 2 c	第一装飾体側作動ギア（軸上ギア）	
3 1 3 3	第一駆動ギア（上駆動ギア）	
3 1 3 4	裏下後第一駆動モータ（上駆動モータ、駆動モータ）	
3 1 3 6	第二駆動ギア（下駆動ギア）	
3 1 3 7	裏下後第二駆動モータ（下駆動モータ、駆動モータ）	
3 1 4 2	ユニットカバー	40
3 1 4 3	ラック部材	
3 1 4 3 a	ラックギア	
3 1 5 0	スライドユニット	
3 1 5 1	ユニットベース	
3 1 5 2	スライドガイド	
3 1 5 3	伝達ギア部材	
3 1 5 4	駆動ギア	
3 1 5 5	裏下後第三駆動モータ	
3 1 5 7	スライドカバー	

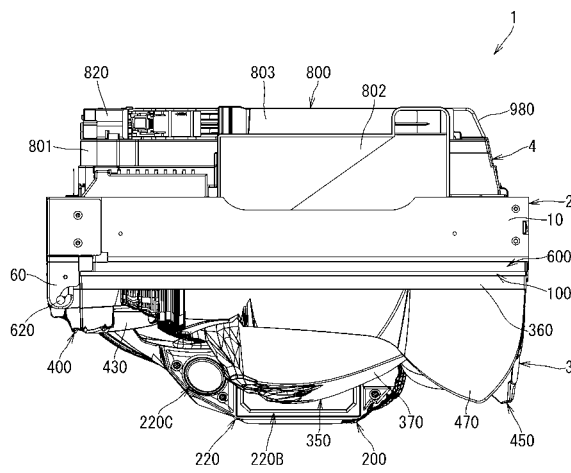
【図 1】



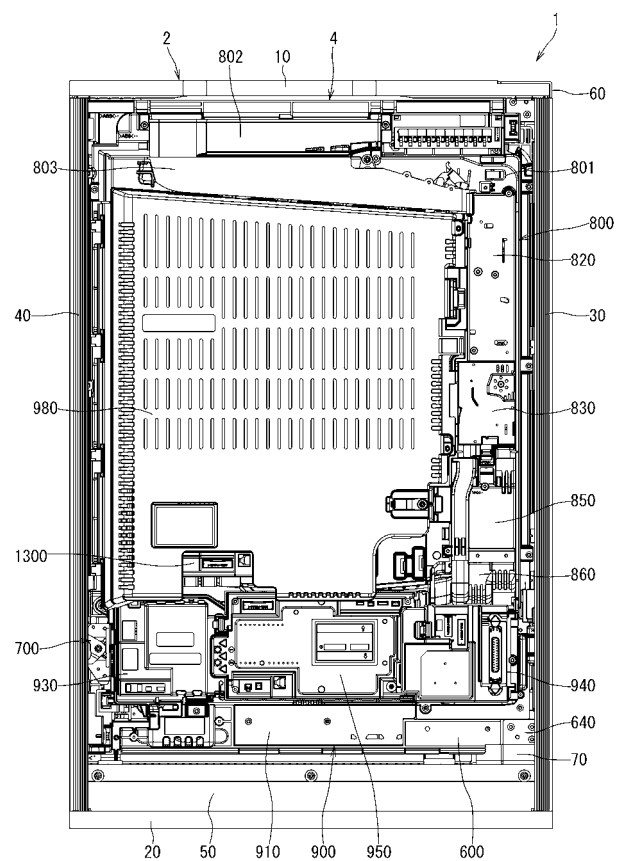
【図 2】



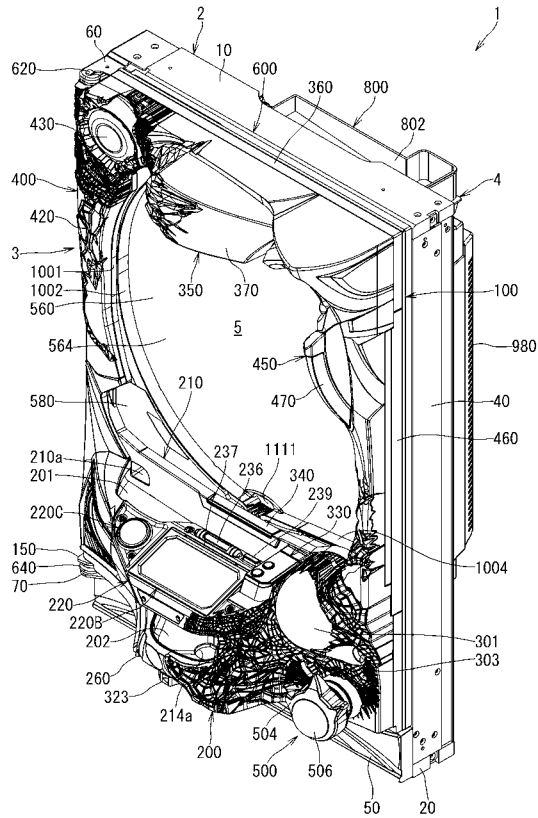
【図 3】



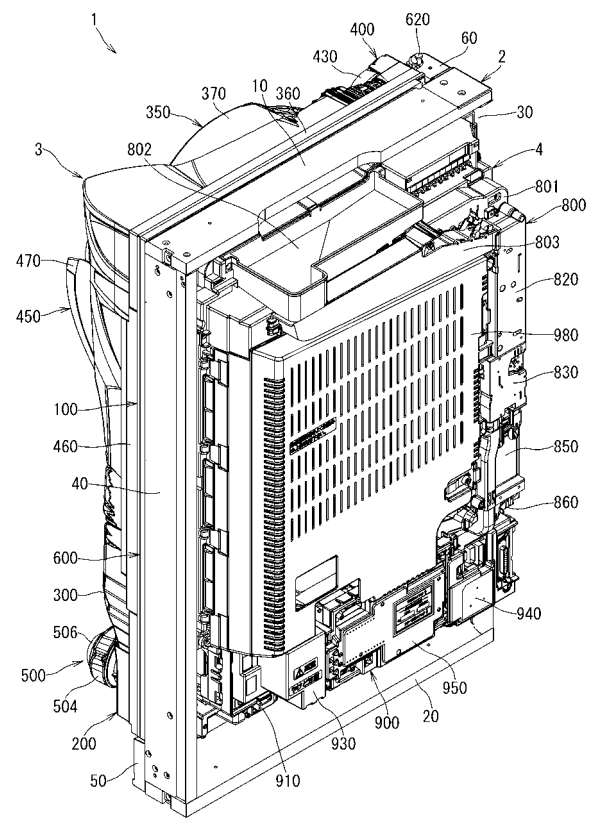
【図 4】



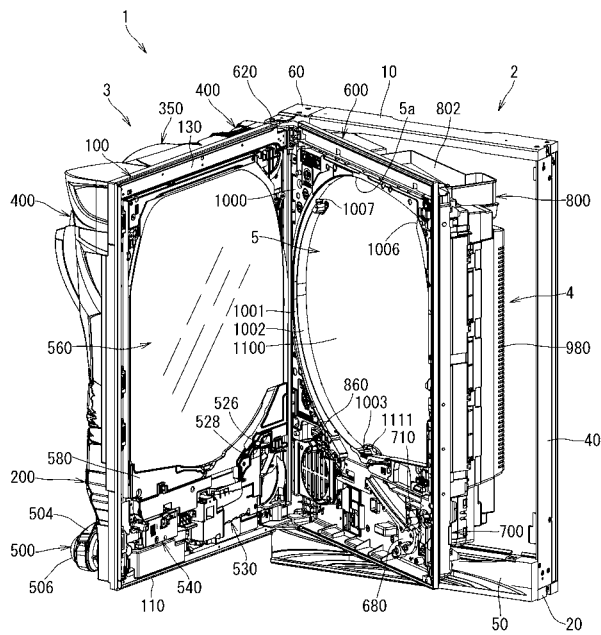
【図 5】



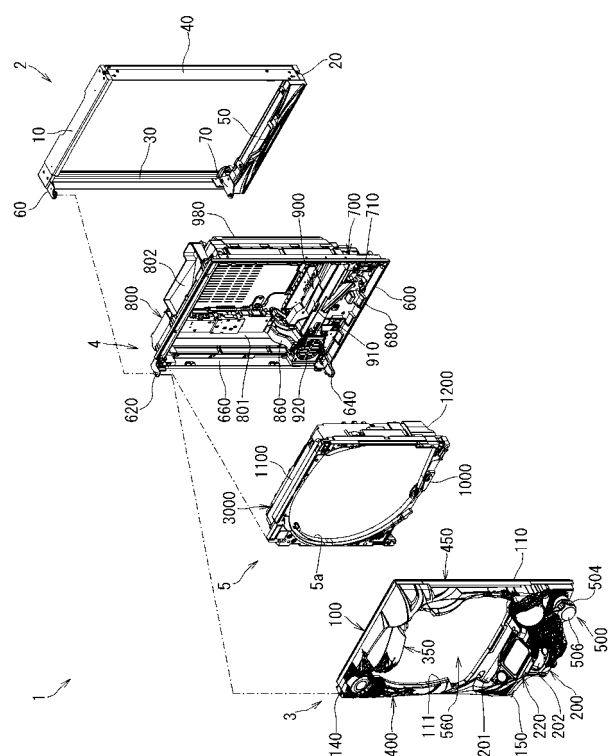
【図 6】



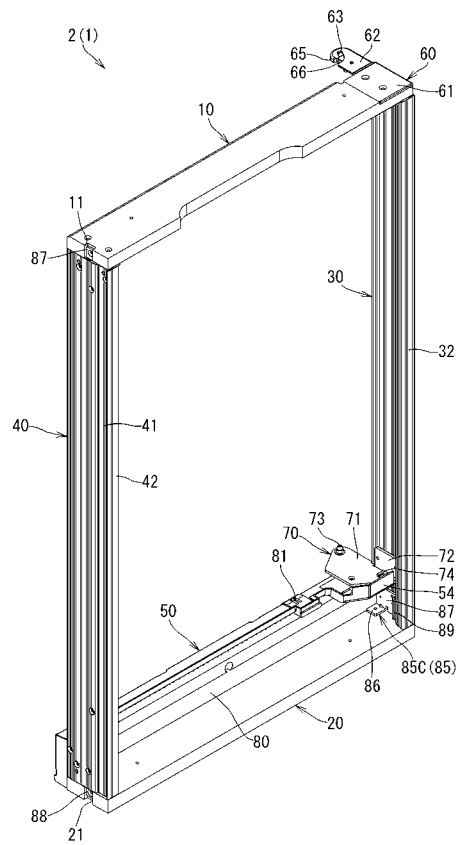
【図 7】



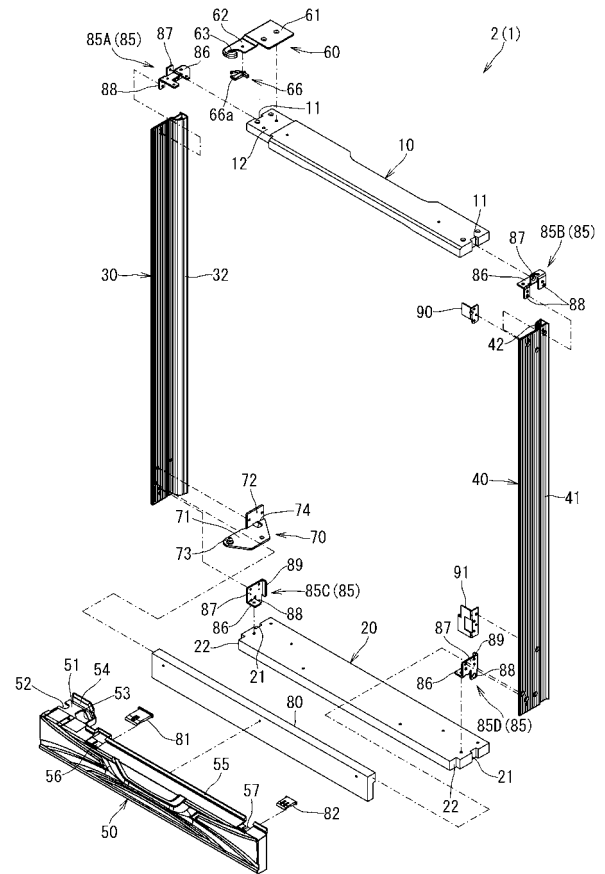
【図 8】



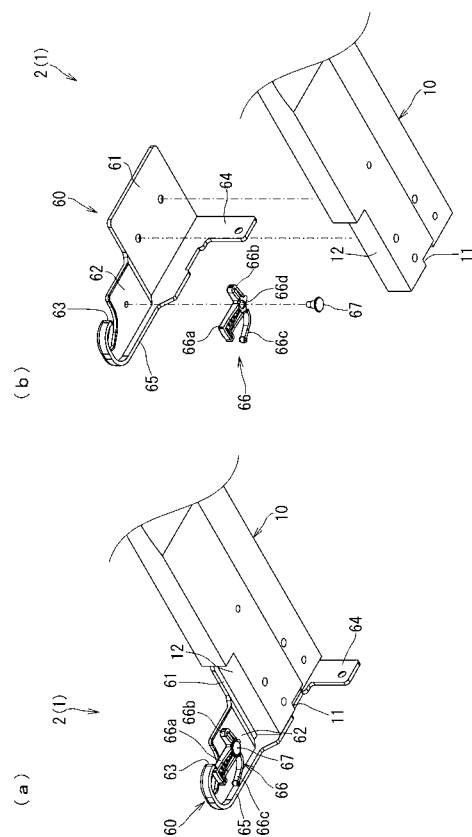
【図 13】



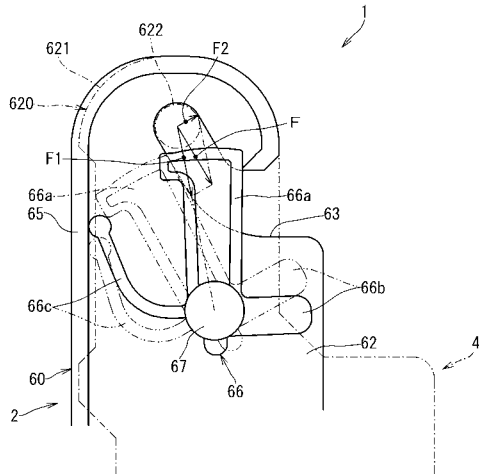
【図 14】



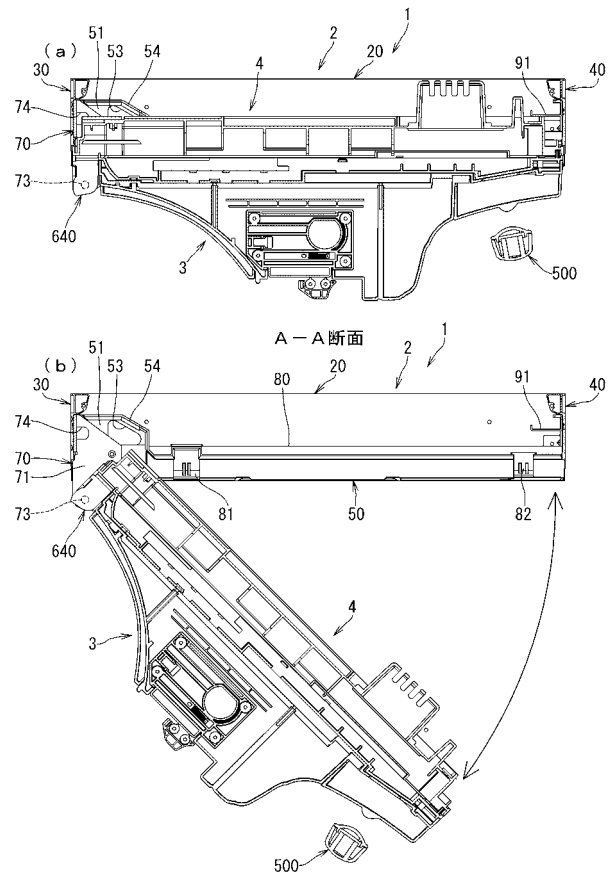
【図 15】



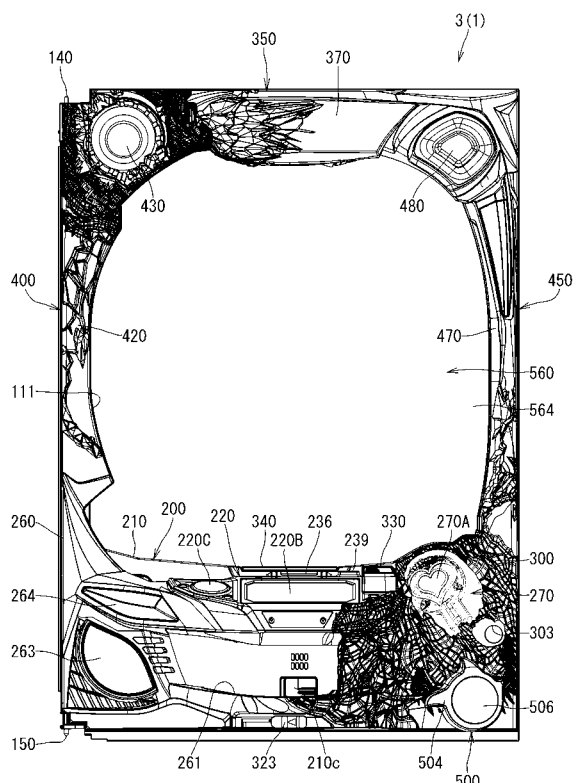
【図 17】



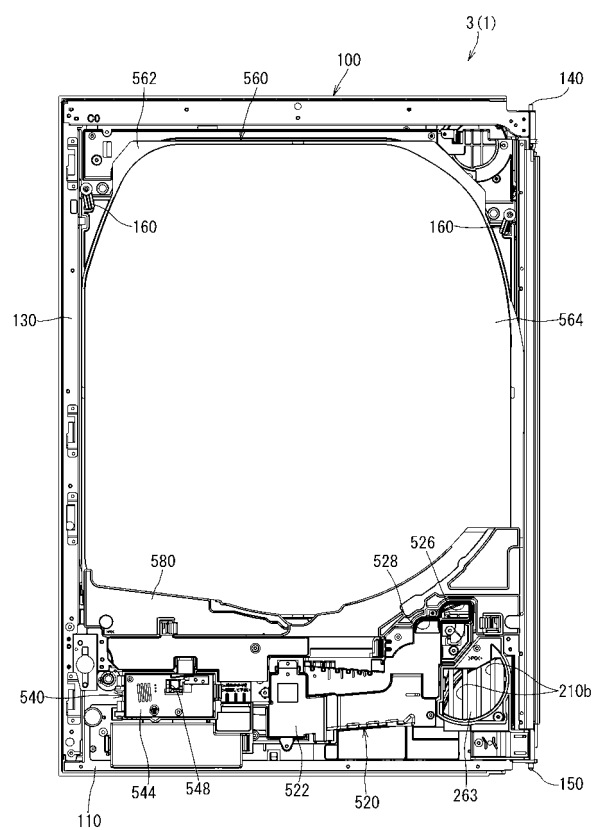
【図 18】



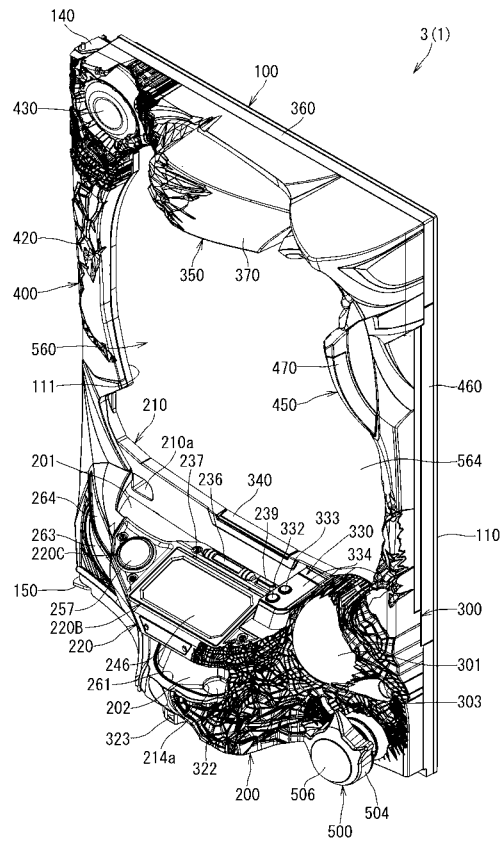
【図 19】



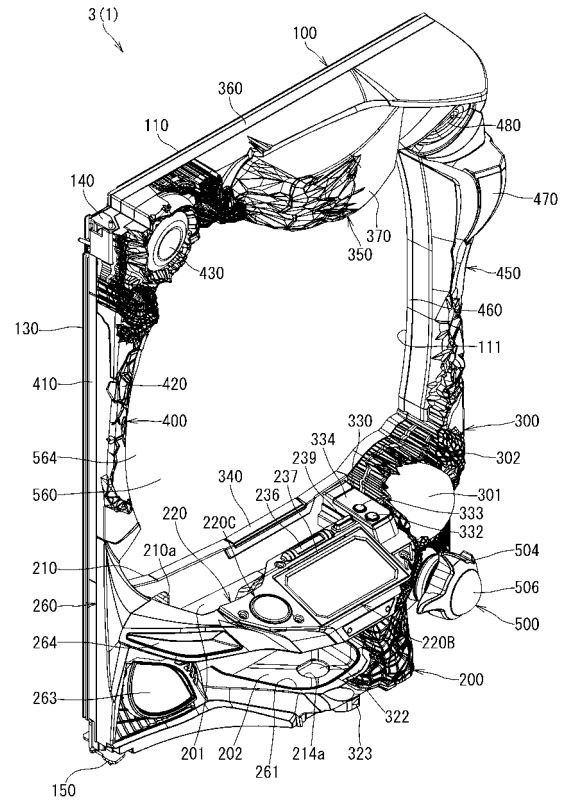
【図 20】



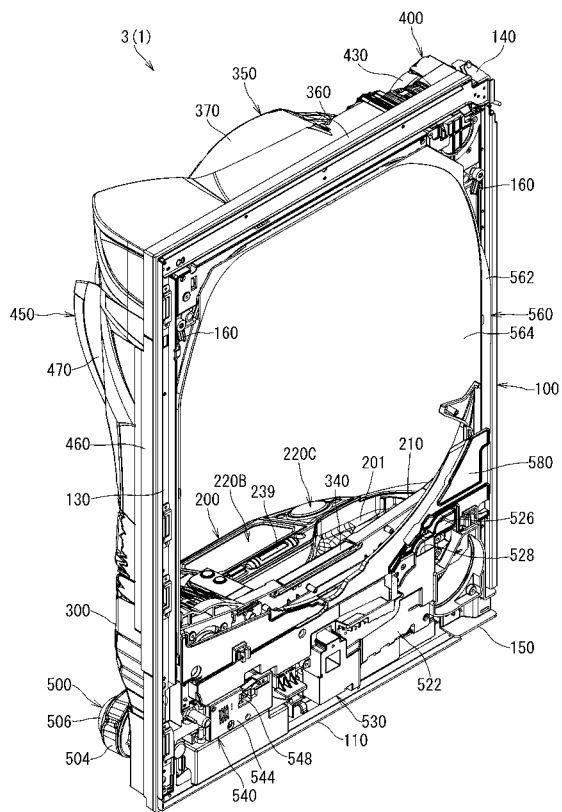
【図 2 1】



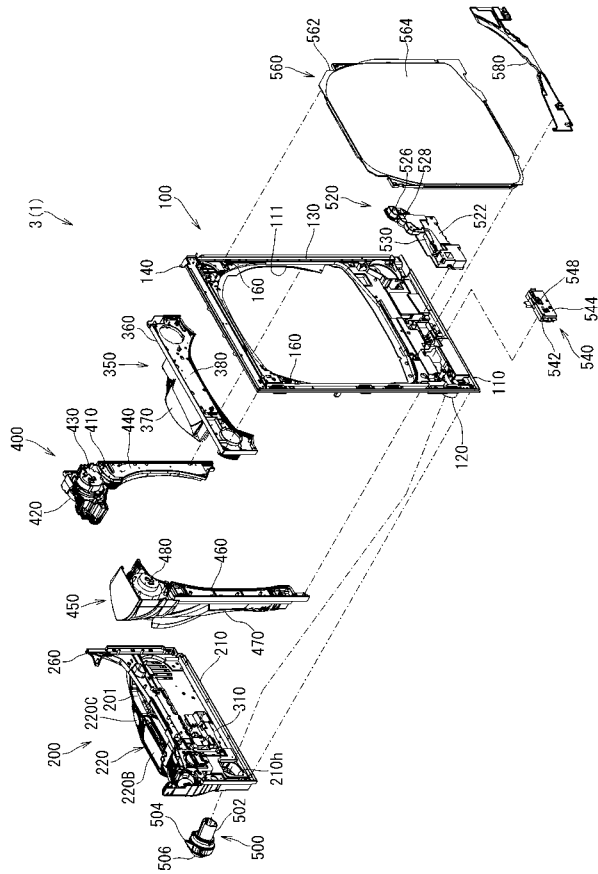
【図 2 2】



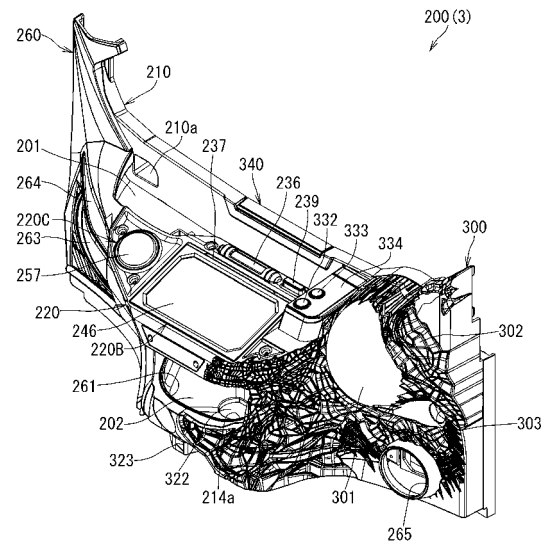
【図 2 3】



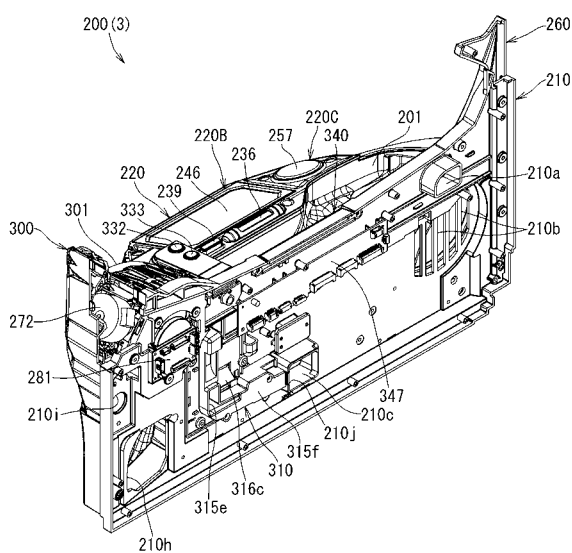
【図 25】



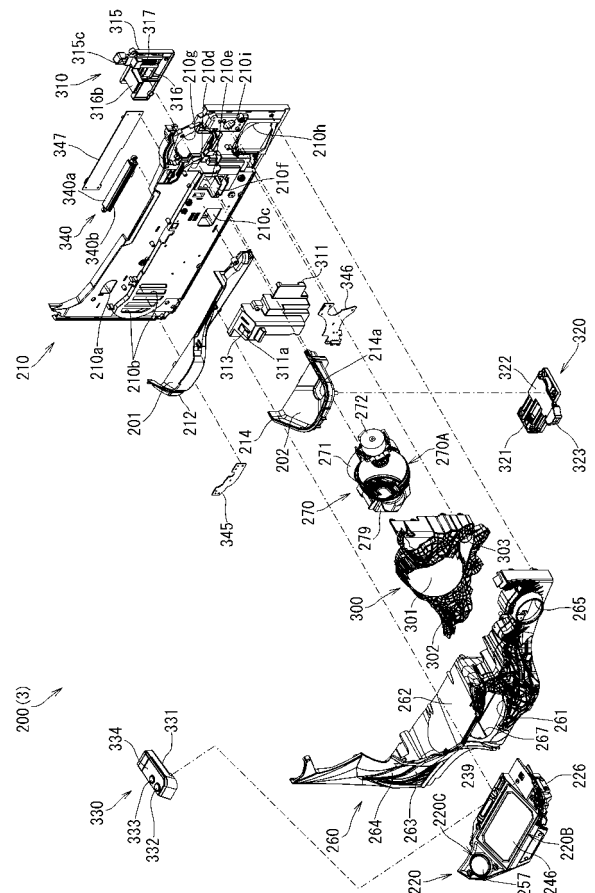
【図 26】



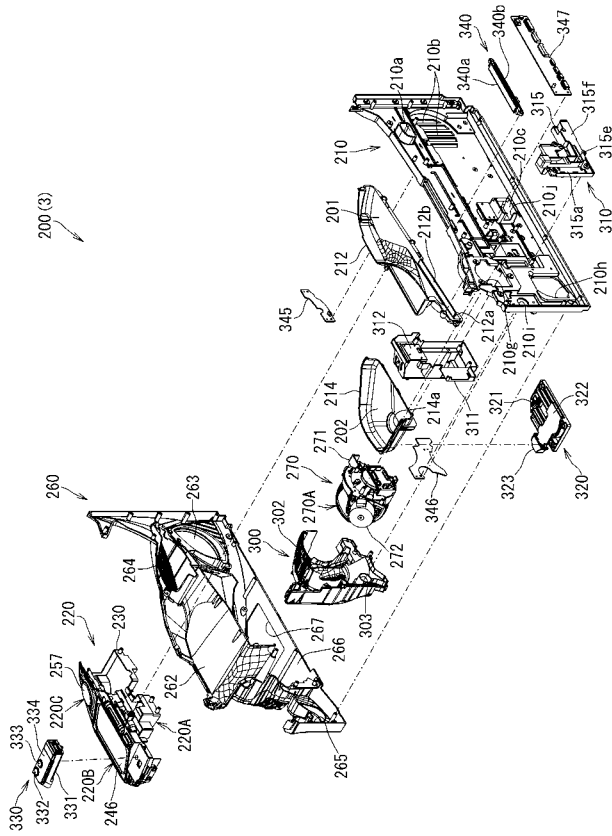
【図 27】



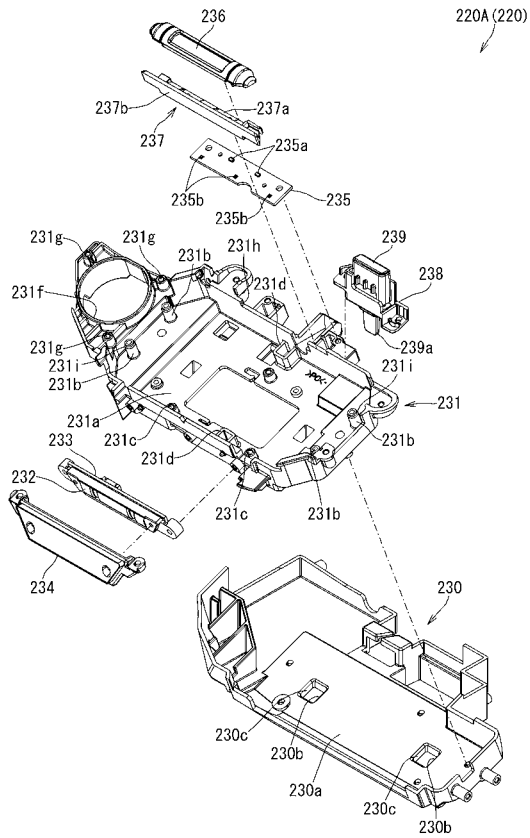
【図 28】



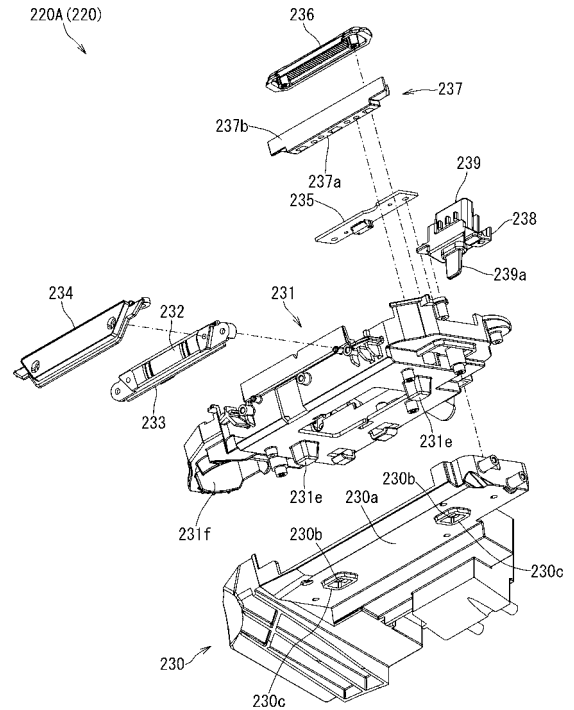
【図 29】



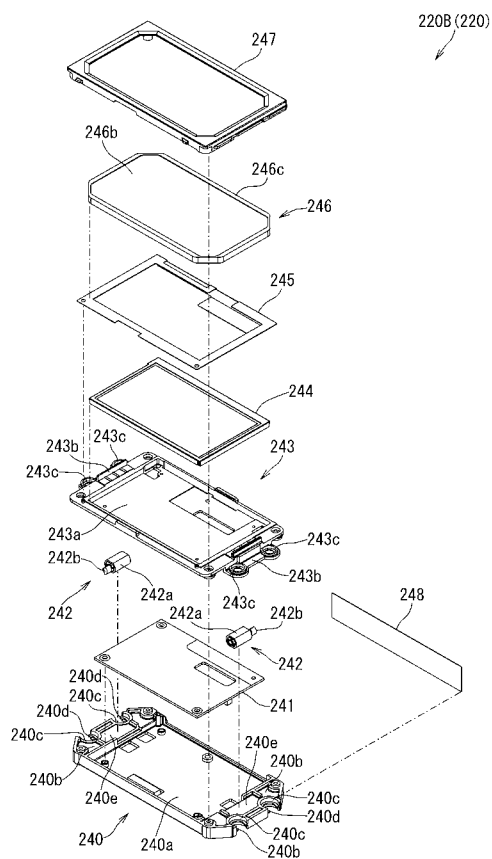
【図 3 3】



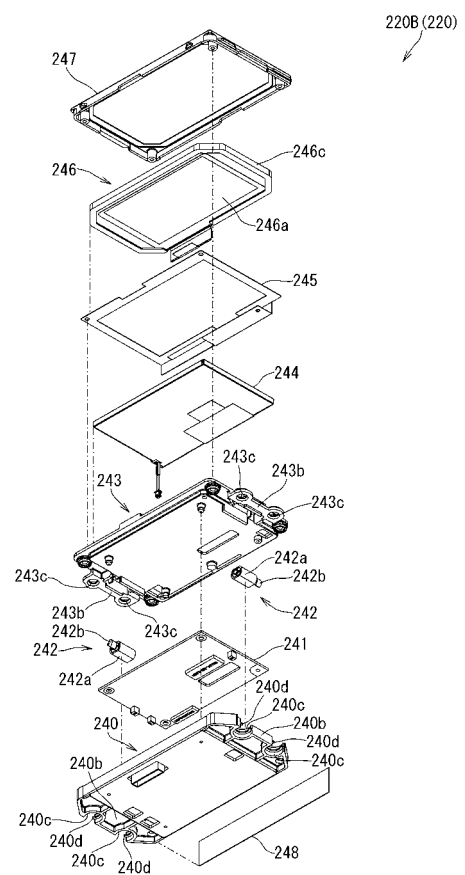
【図 3 4】



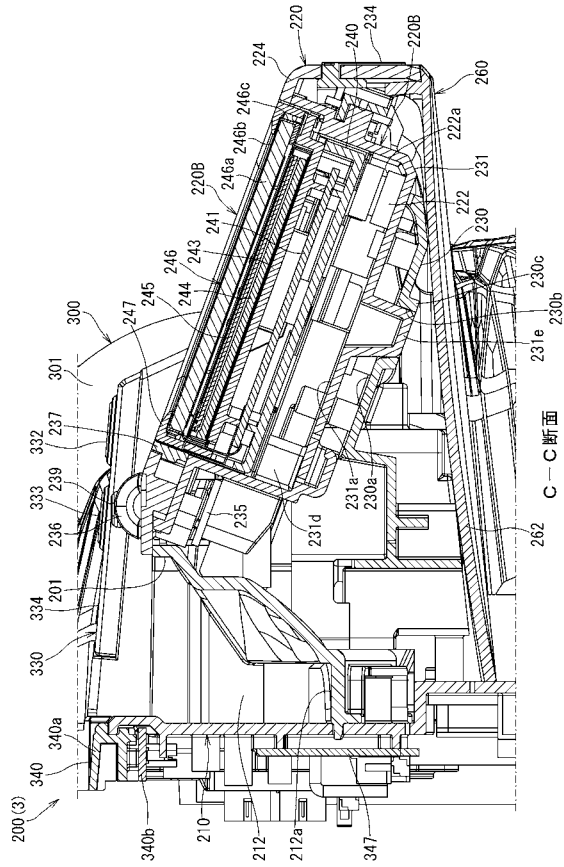
【図 3 5】



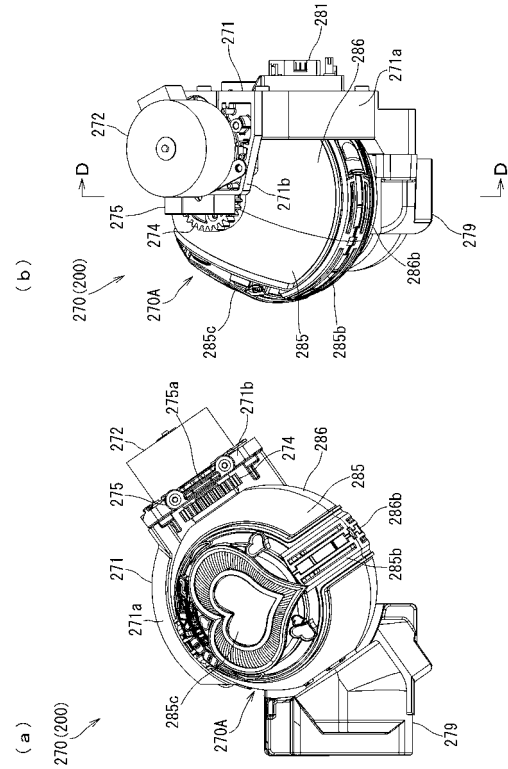
【図 3 6】



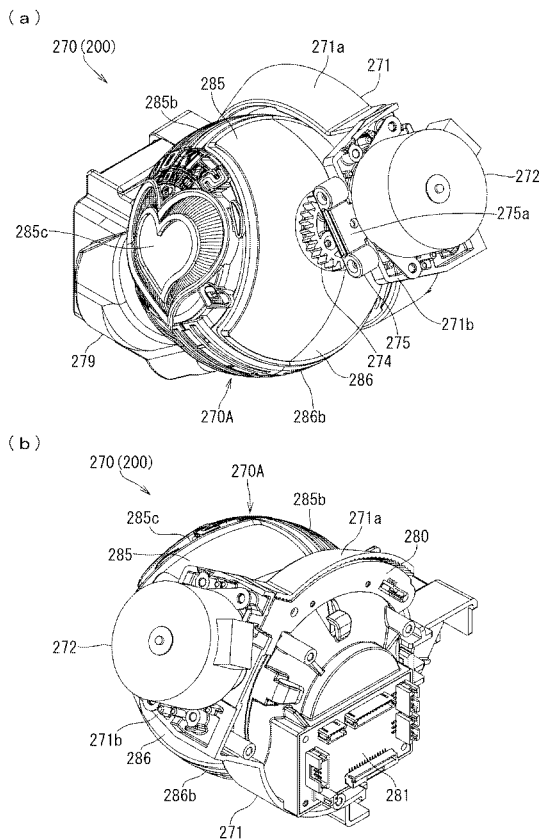
【図 4 1】



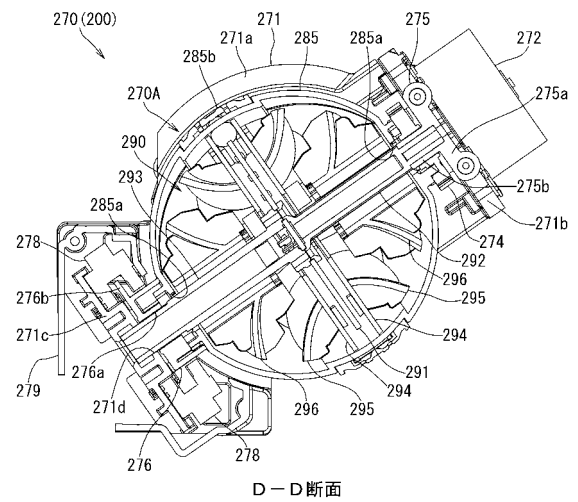
【図 4 2】



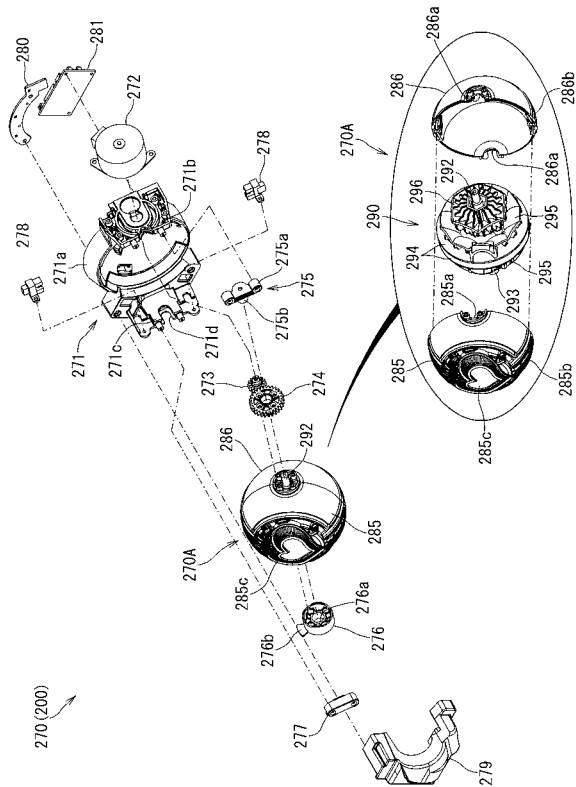
【図 4 3】



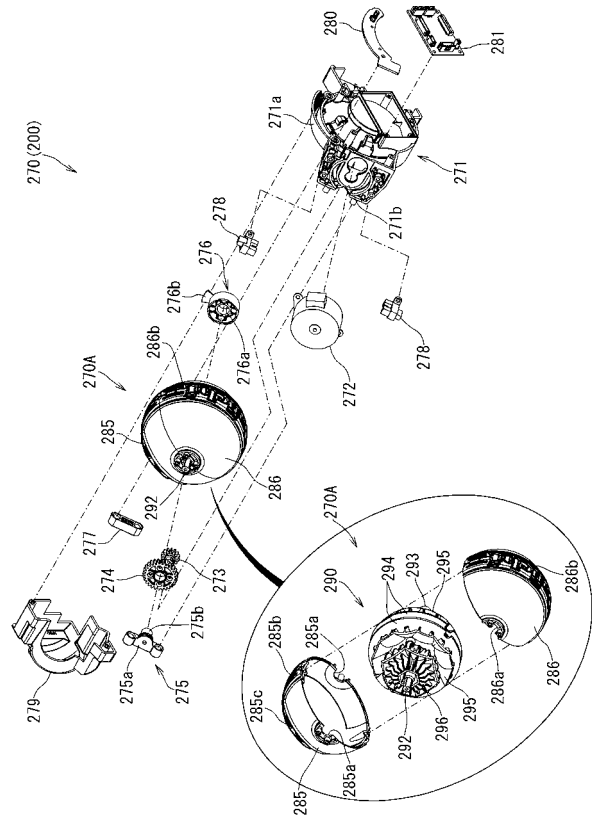
【図 4 4】



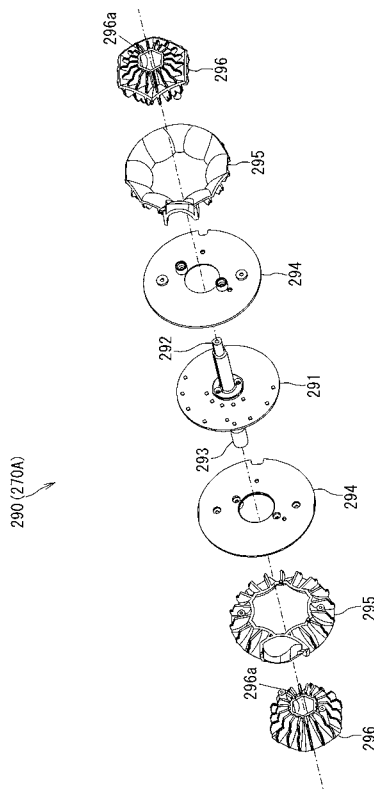
【図 4 5】



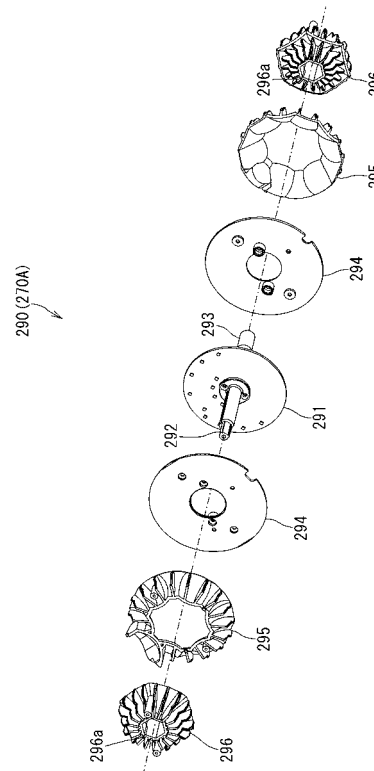
【図 4 6】



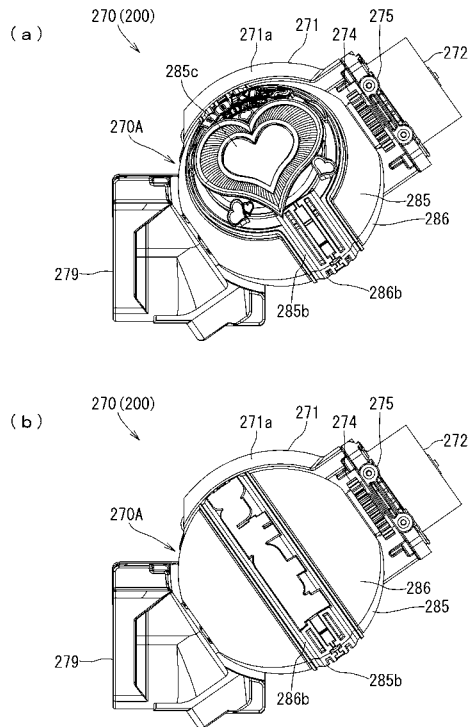
【図 4 7】



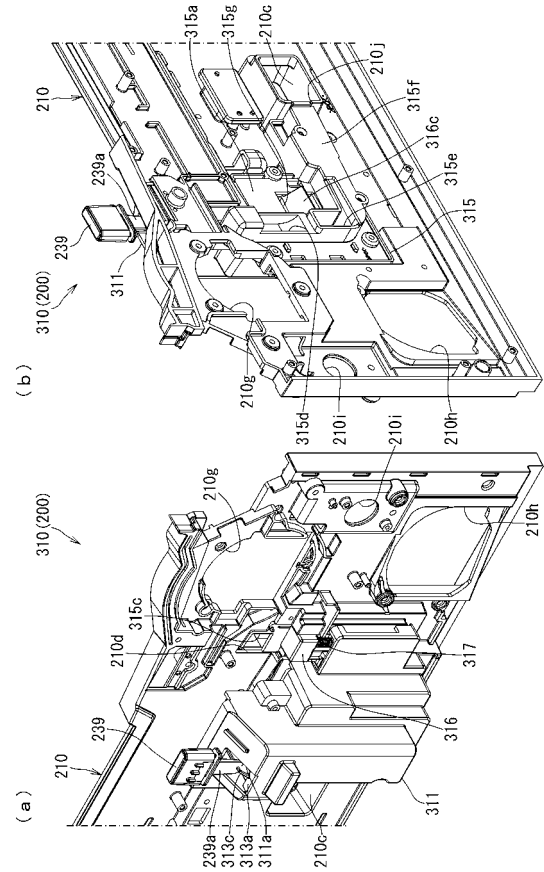
【図 4 8】



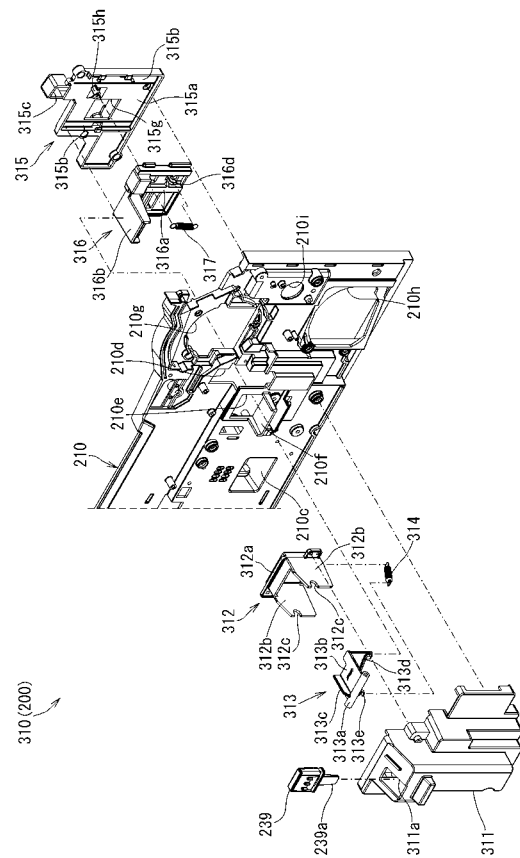
【図 49】



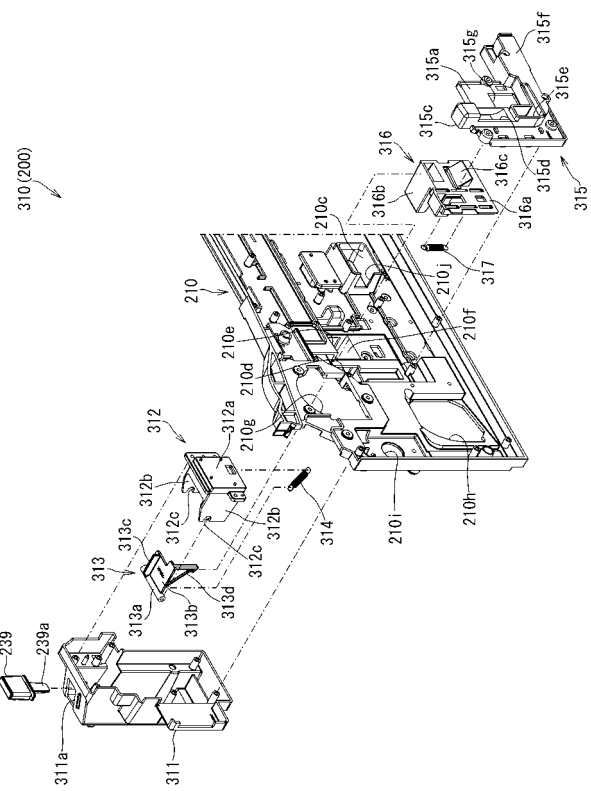
【図 50】



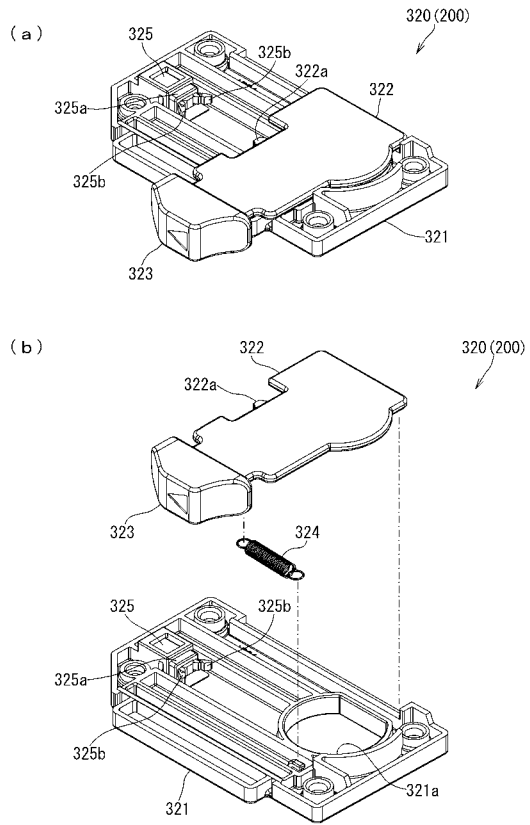
【図 51】



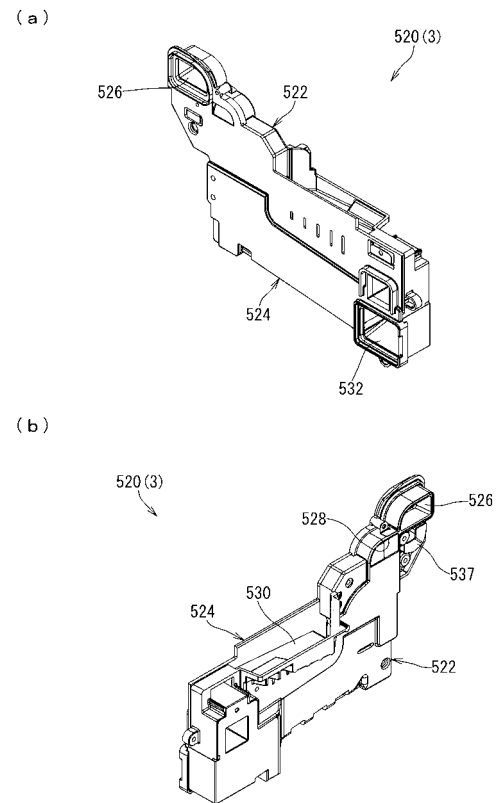
【図 52】



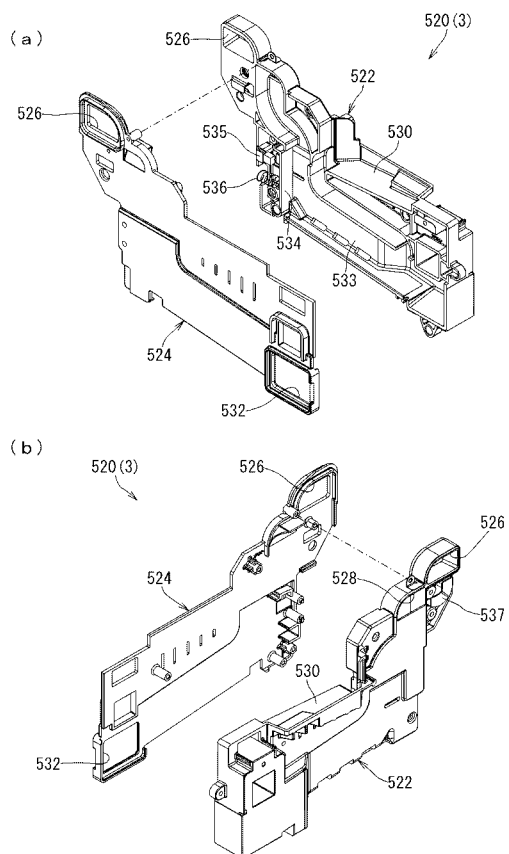
【図 5 3】



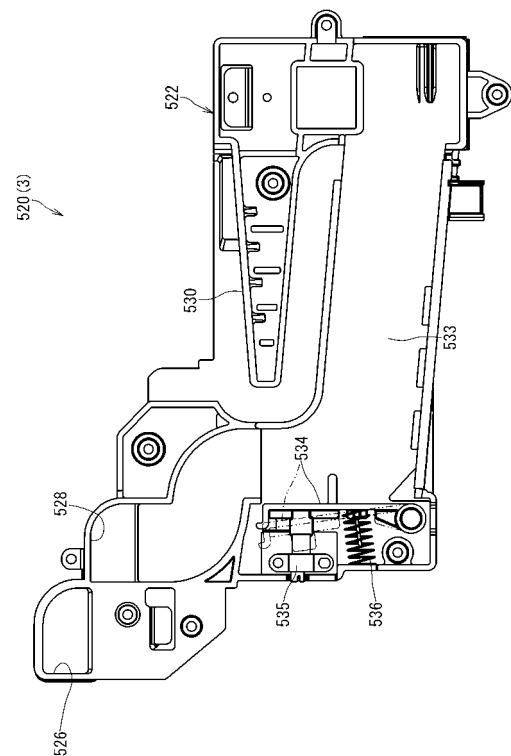
【図 5 4】



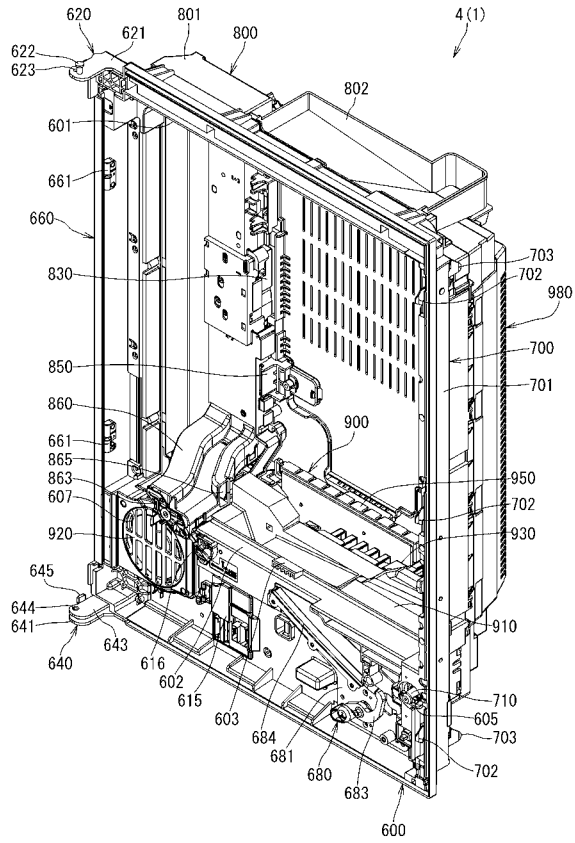
【図 5 5】



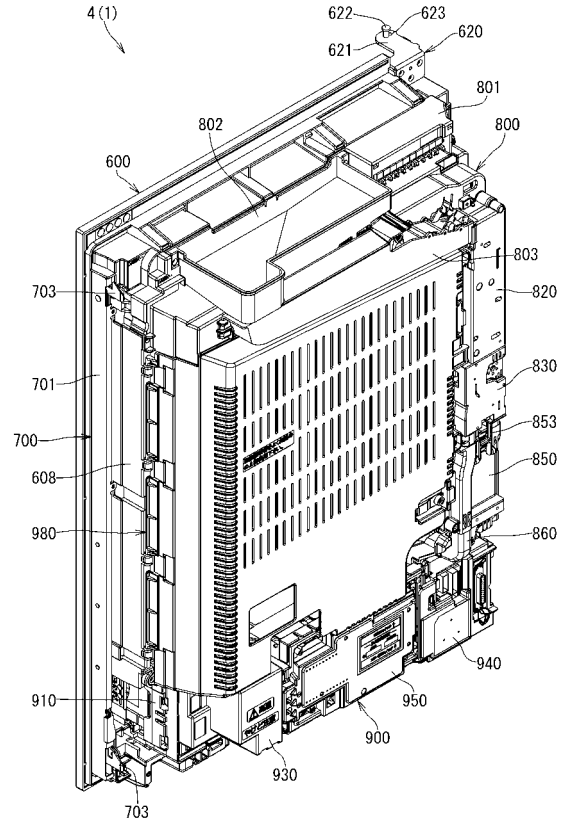
【図 5 6】



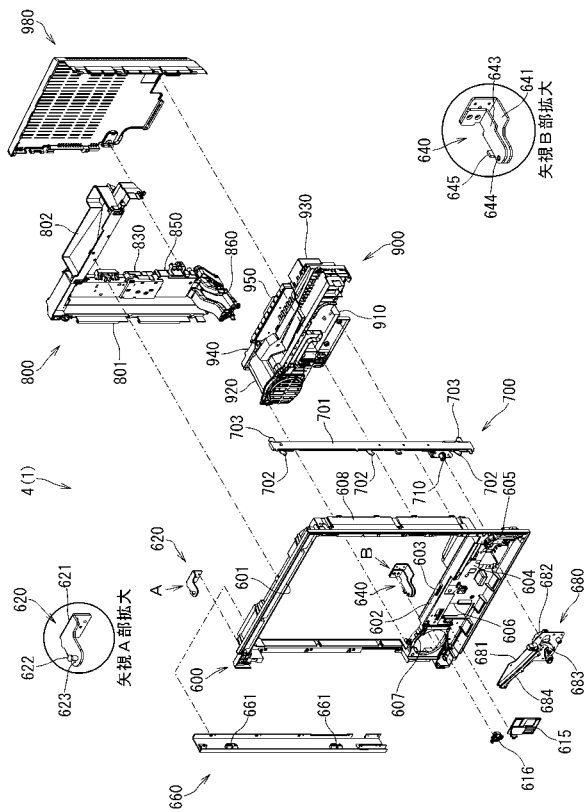
【図 57】



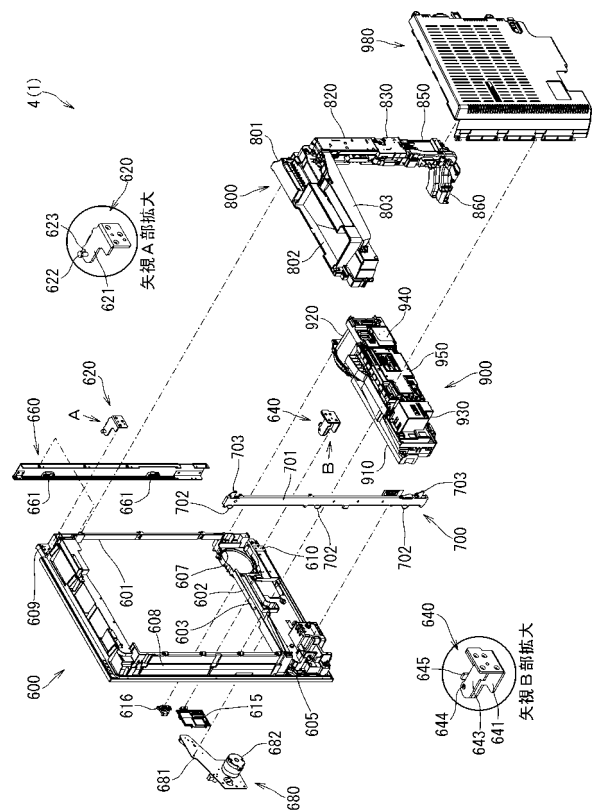
【図 58】



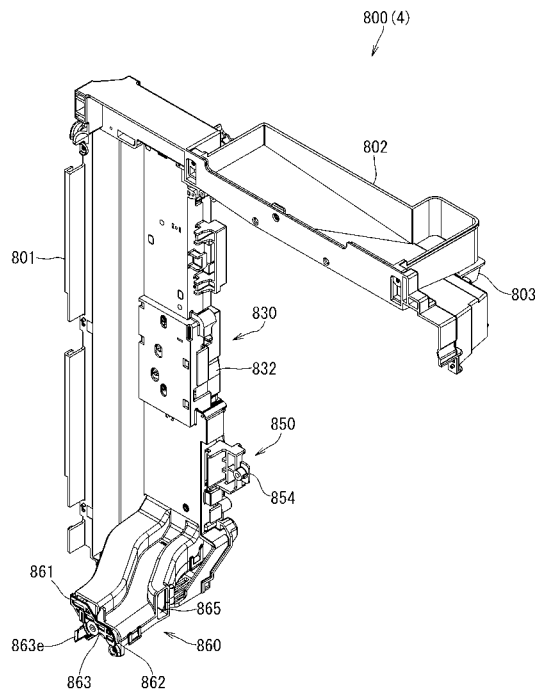
【図 59】



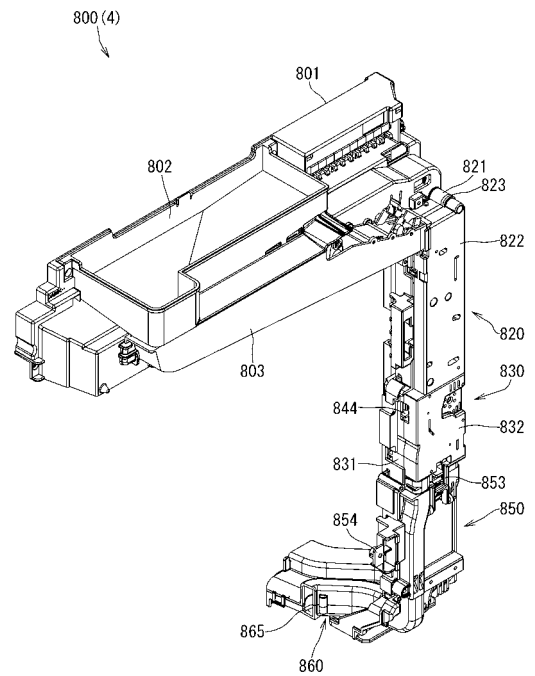
【図 60】



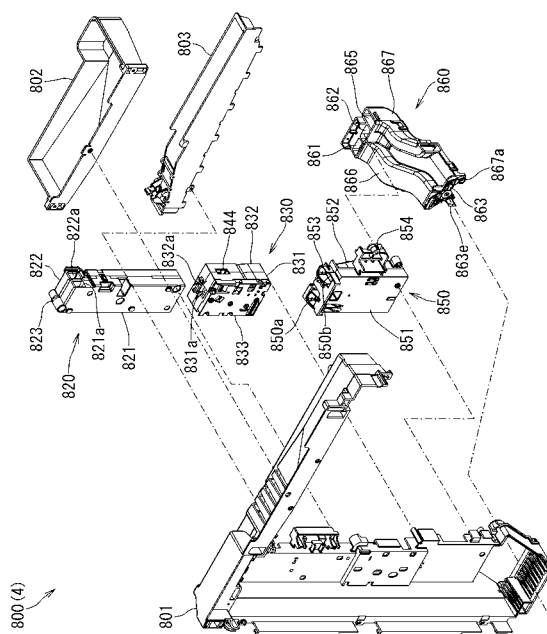
【図 6 1】



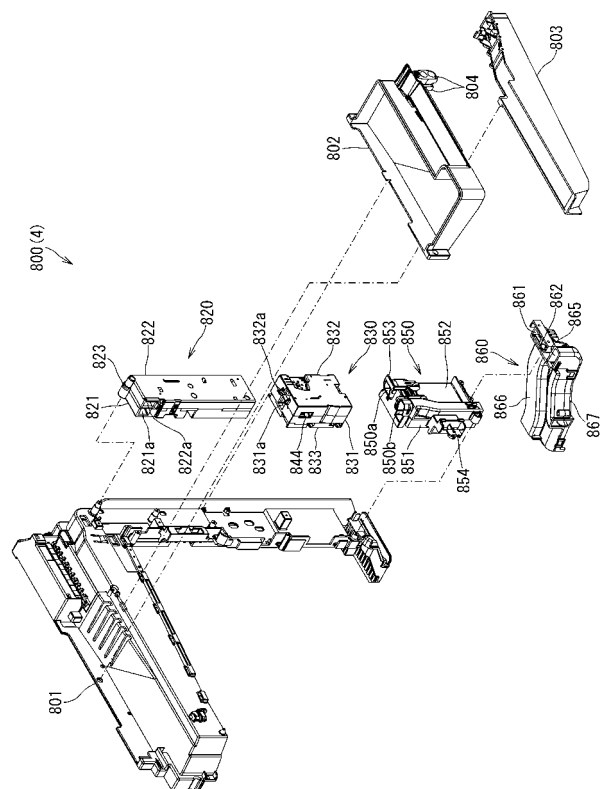
【図 6 2】



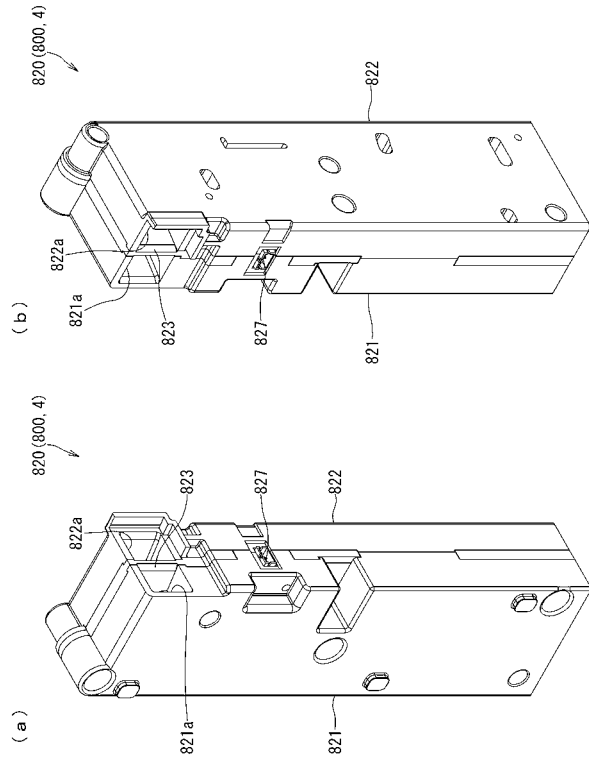
【図 6 3】



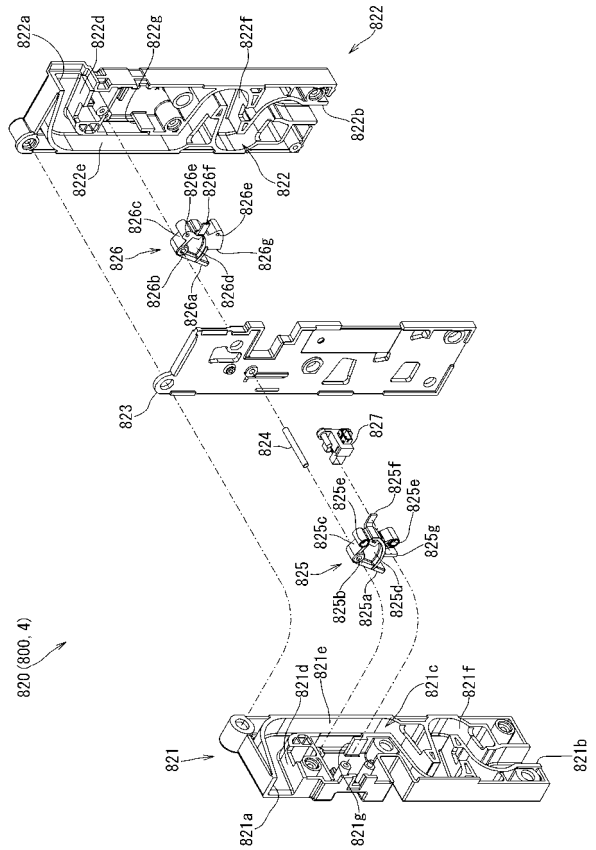
【図 6 4】



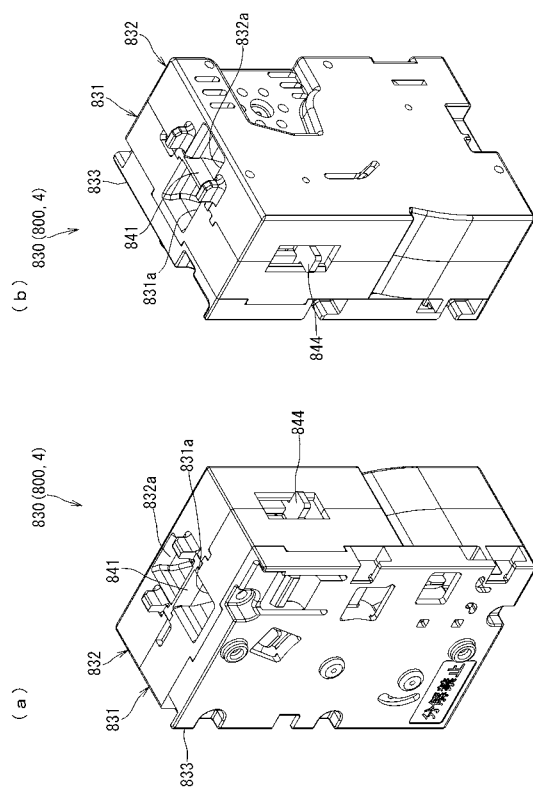
【図 65】



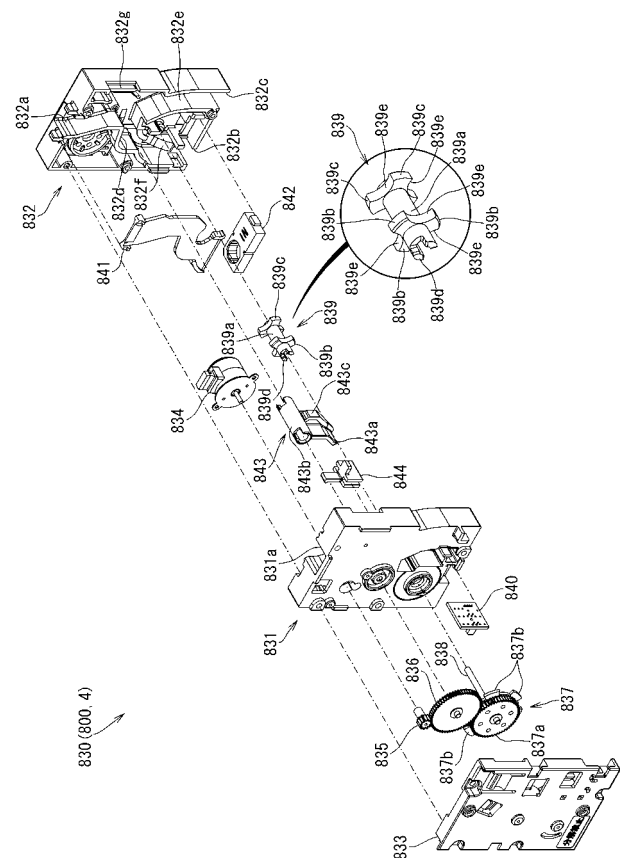
【図 66】



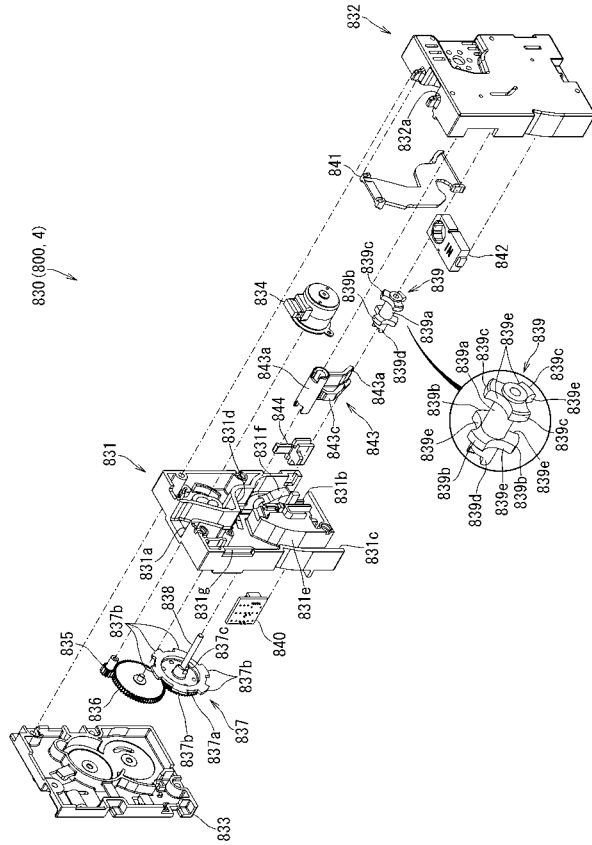
【図 67】



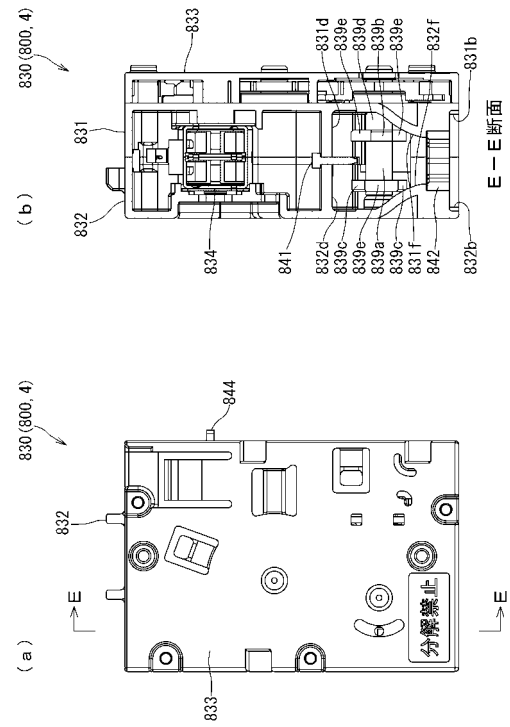
【図 68】



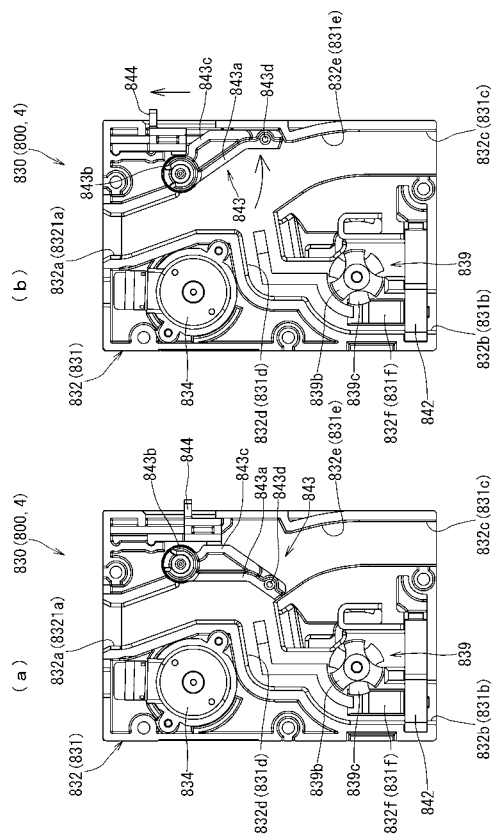
【図 69】



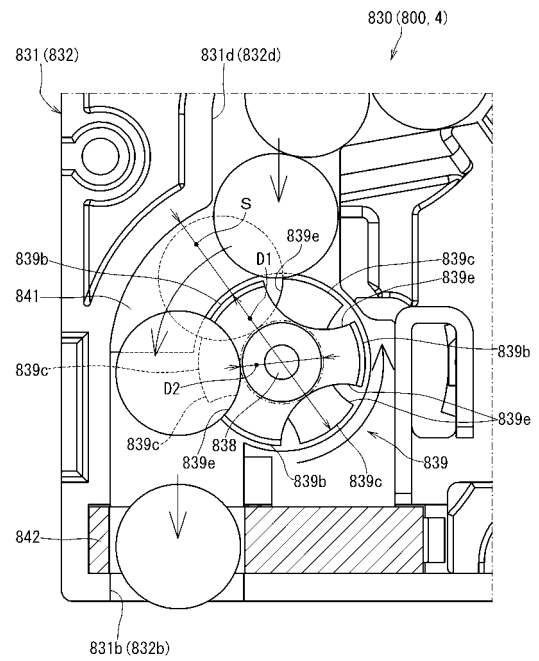
【図 70】



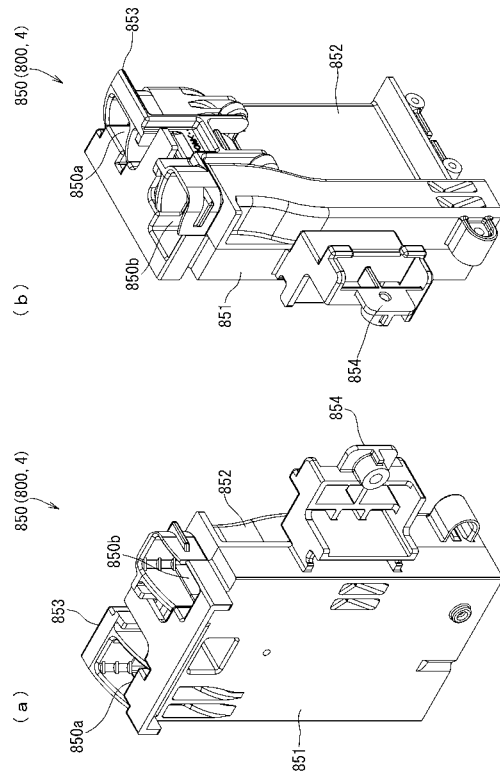
【図 71】



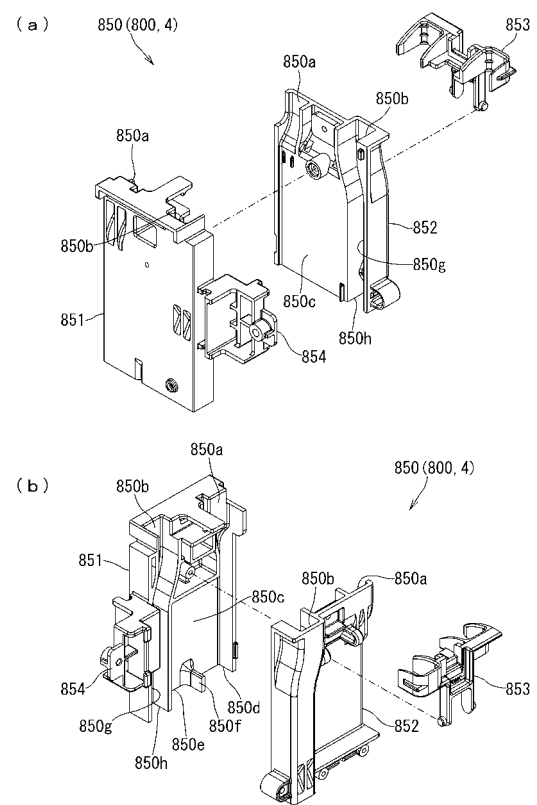
【図 72】



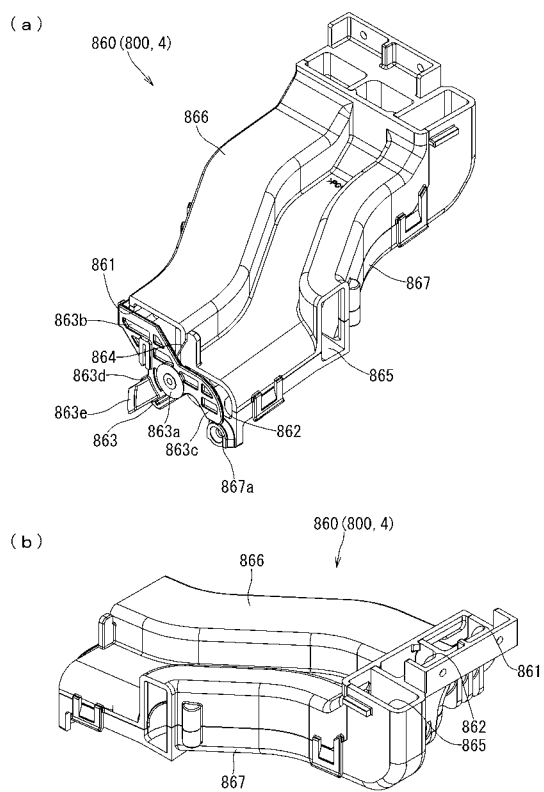
【図 7 3】



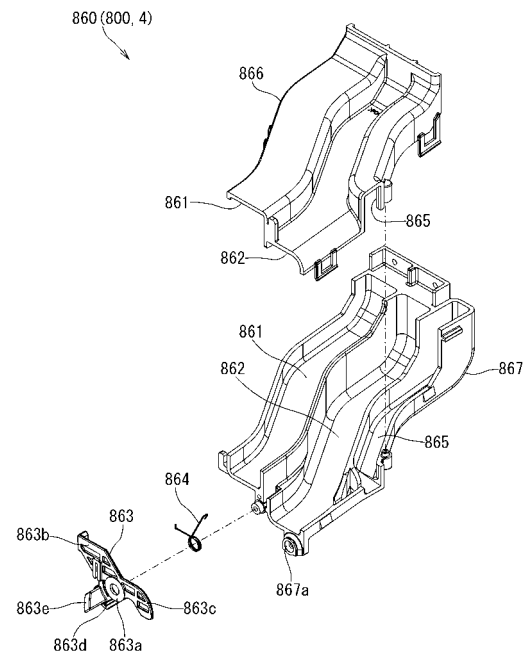
【図 7 4】



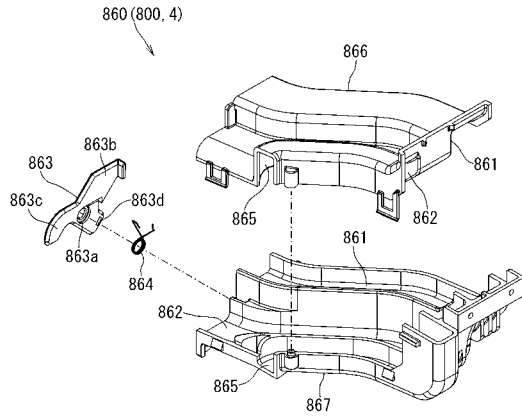
【図 7 5】



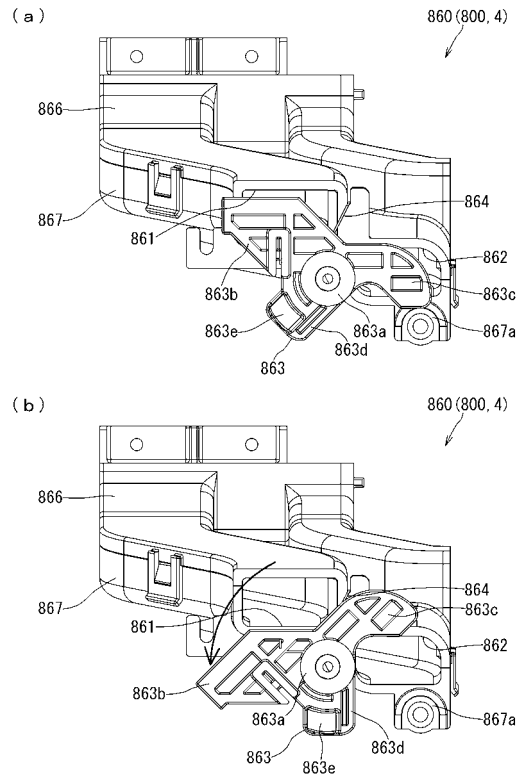
【図 7 6】



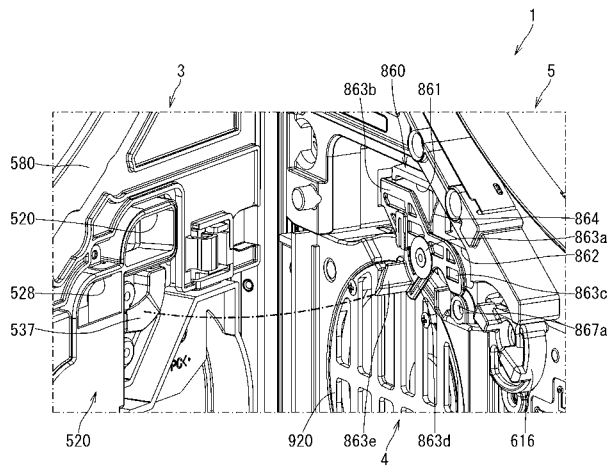
【図 77】



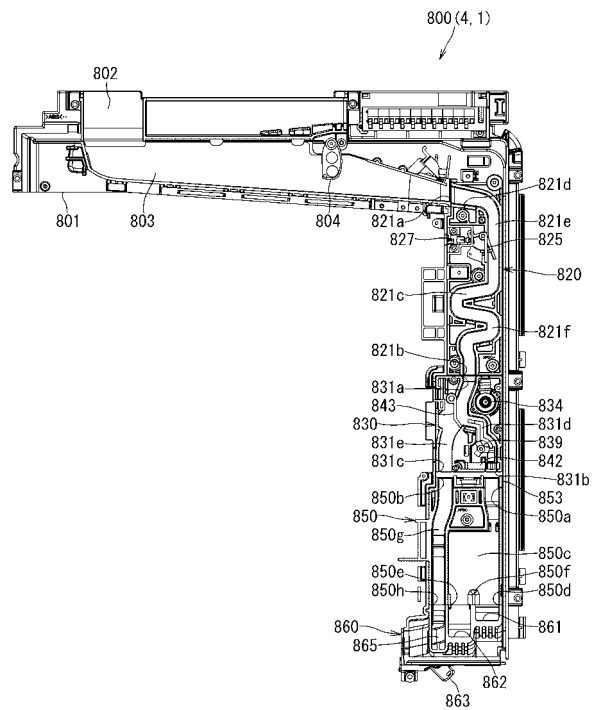
【図 78】



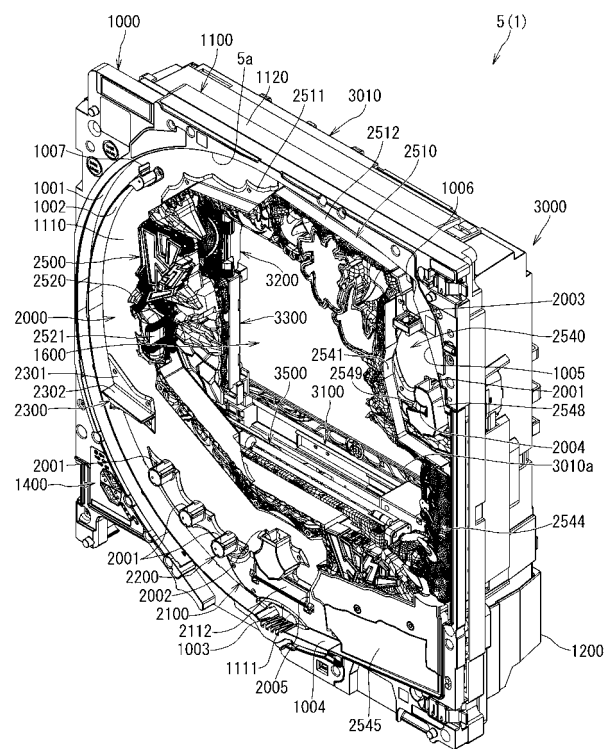
【図 79】



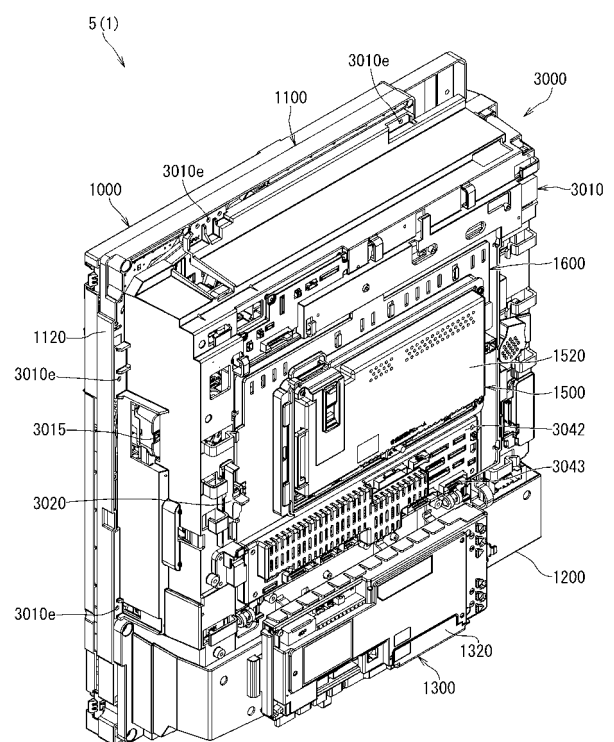
【図 80】



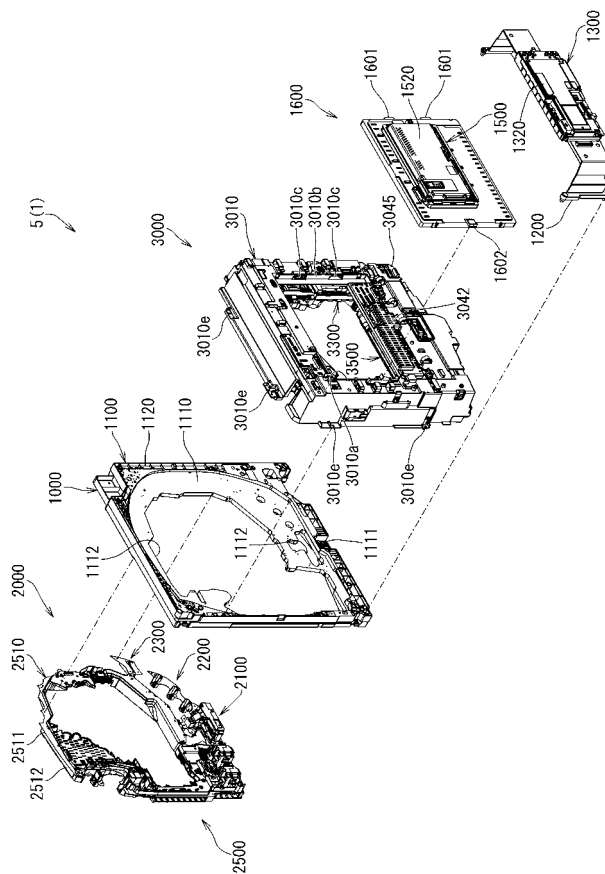
【图 8 2】



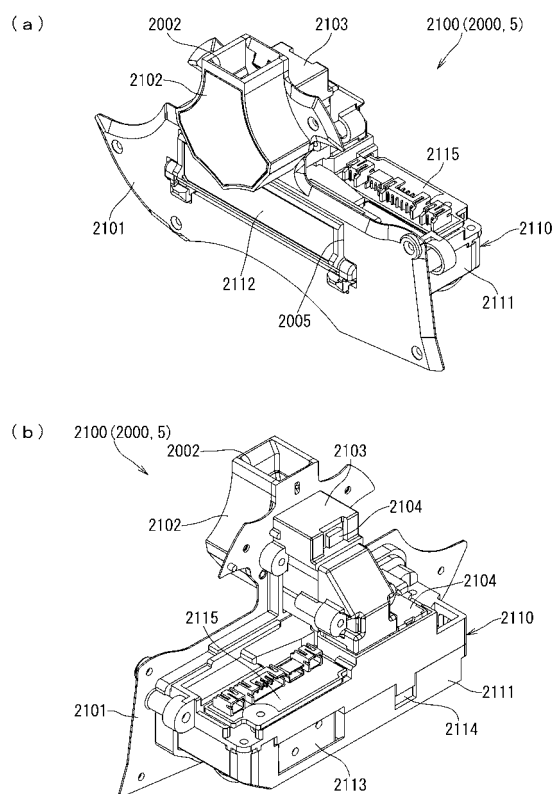
【図 8 4】



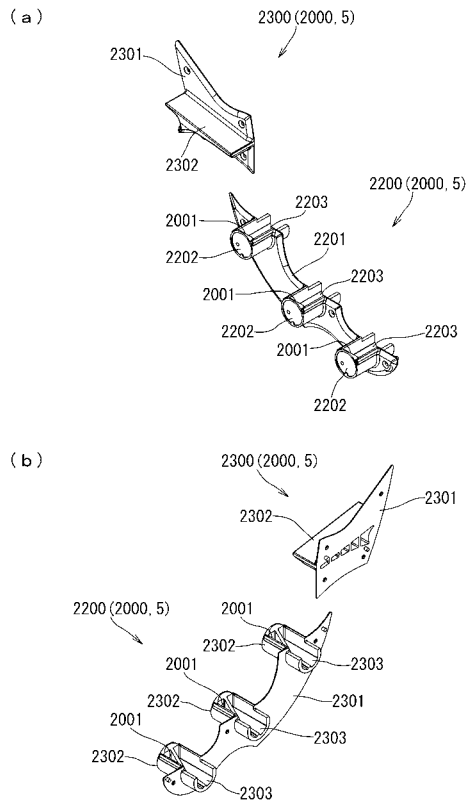
【图 8 6】



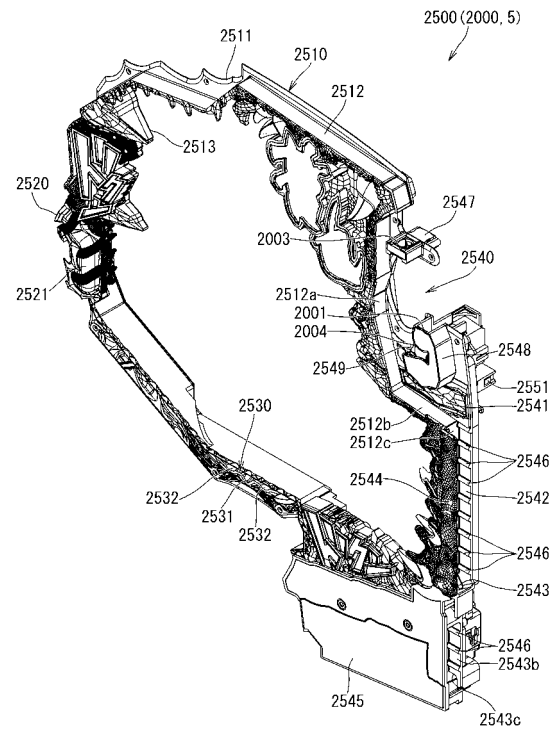
【図 8 8】



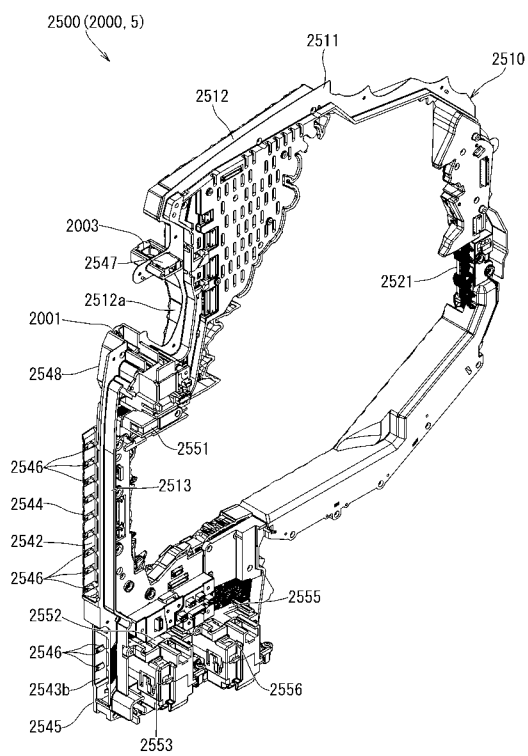
【図 89】



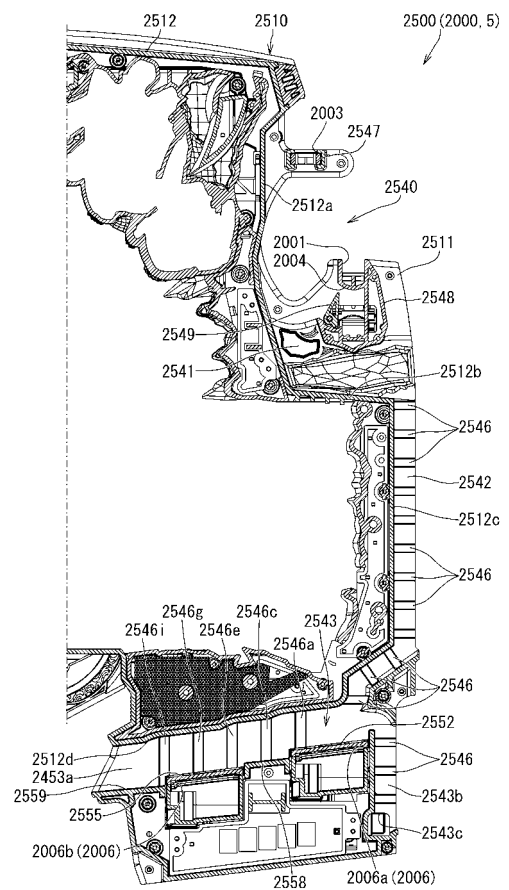
【図 90】



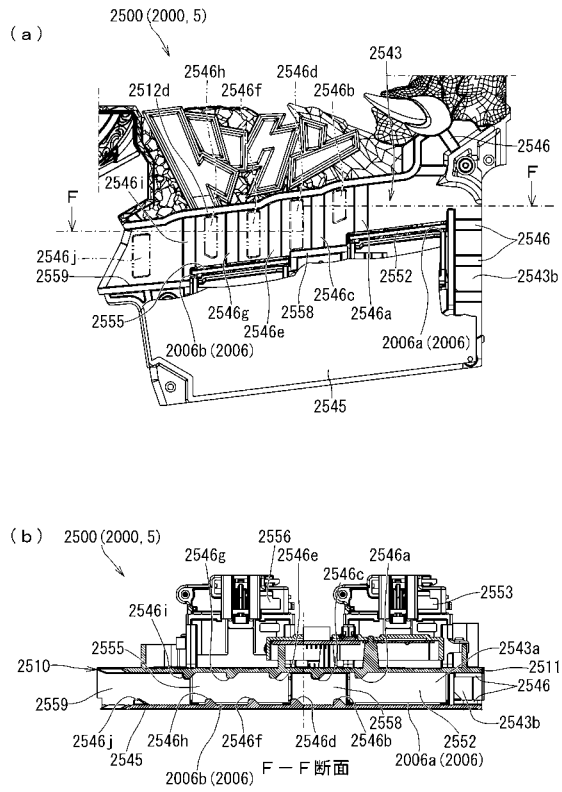
【図 91】



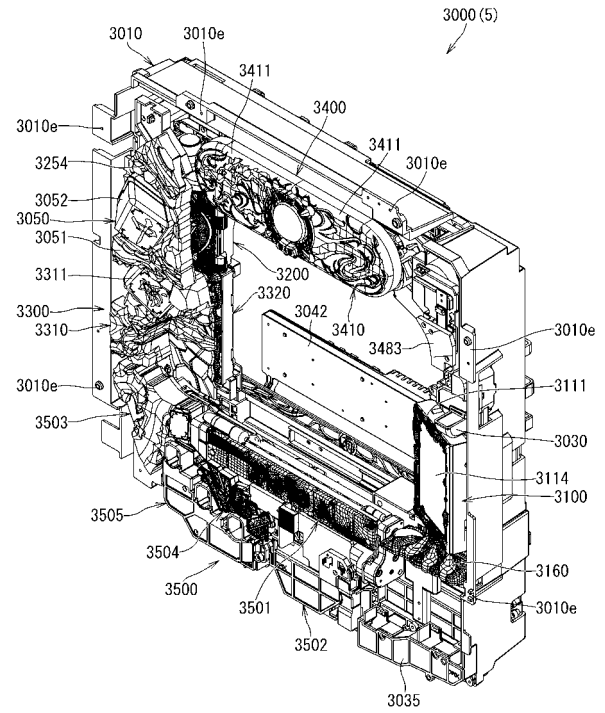
【図 92】



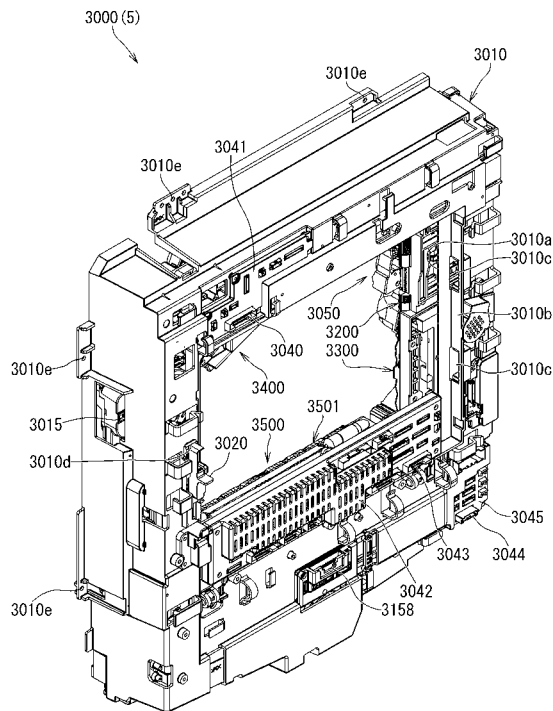
【図 9 3】



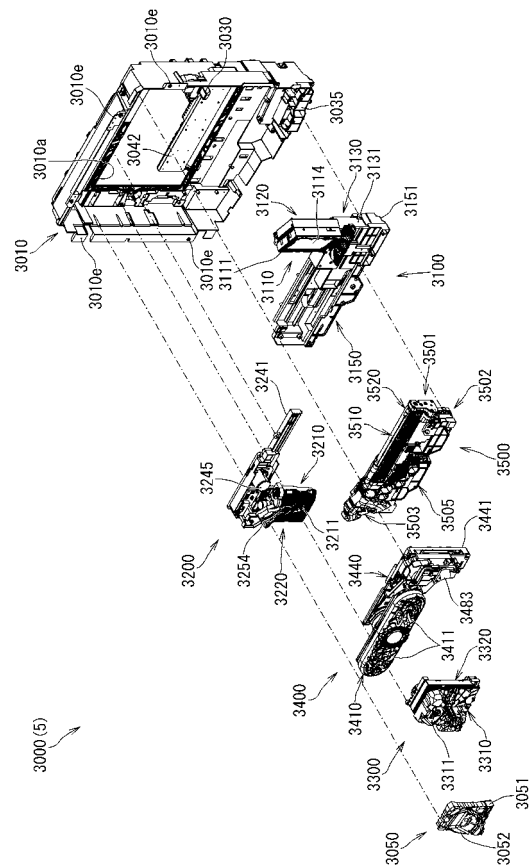
【図 9 4】



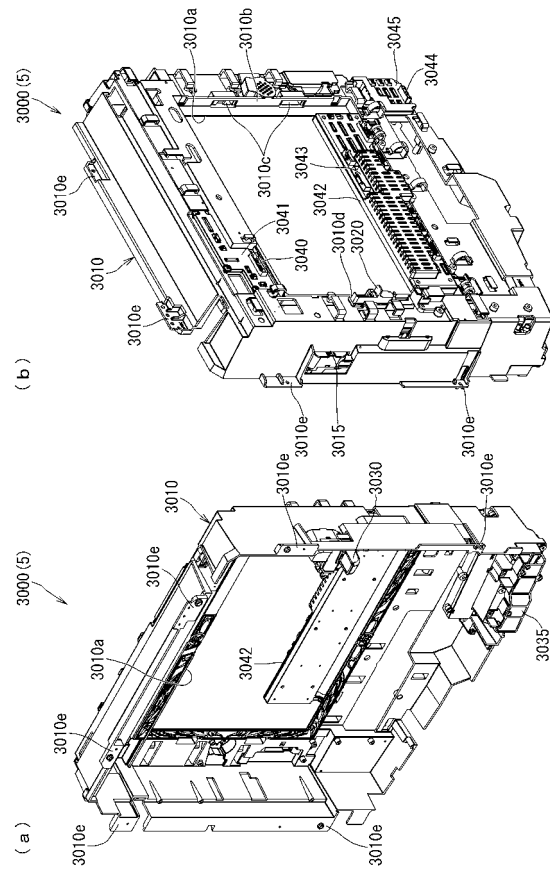
【図 9 5】



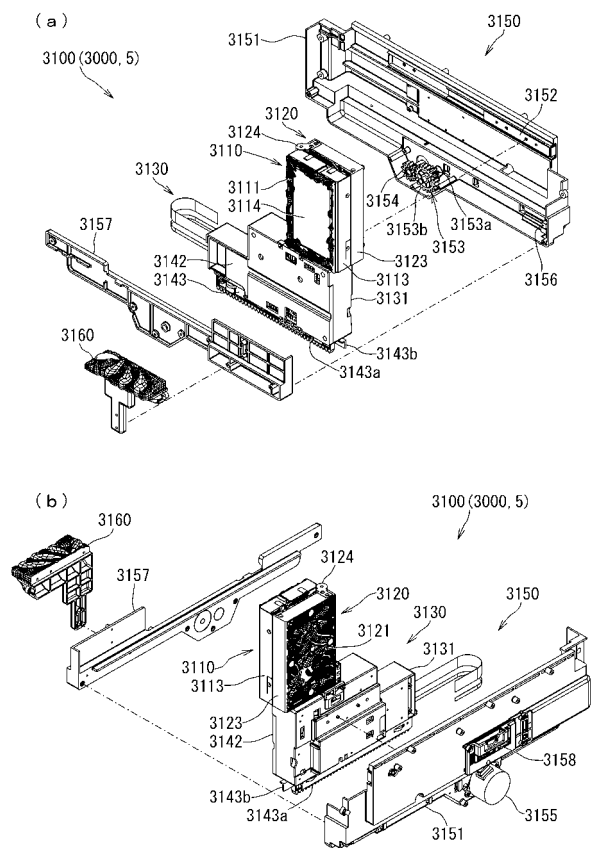
【図 9 6】



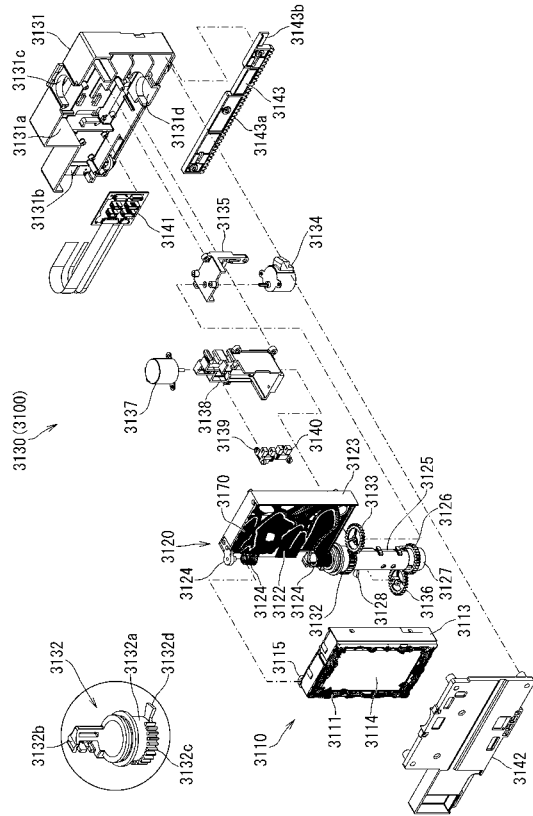
【图 9 8】



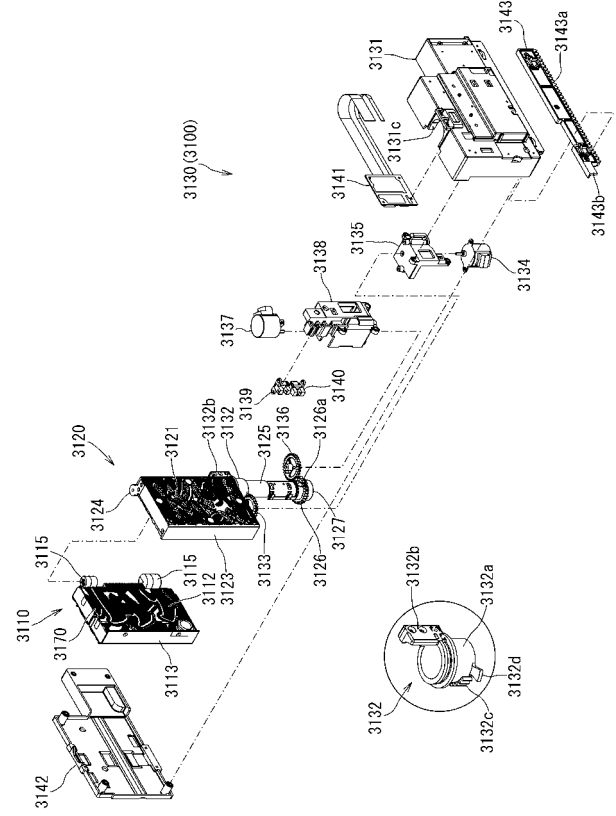
【☒ 1 0 0】



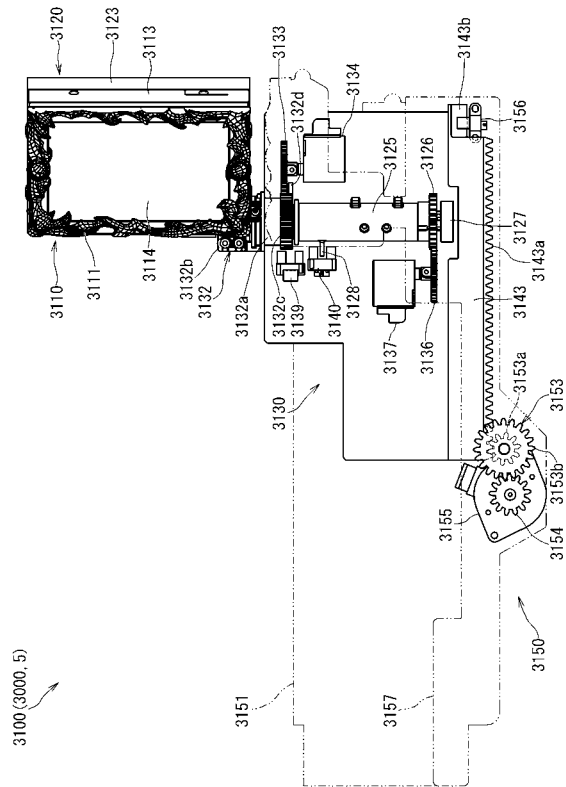
【図 101】



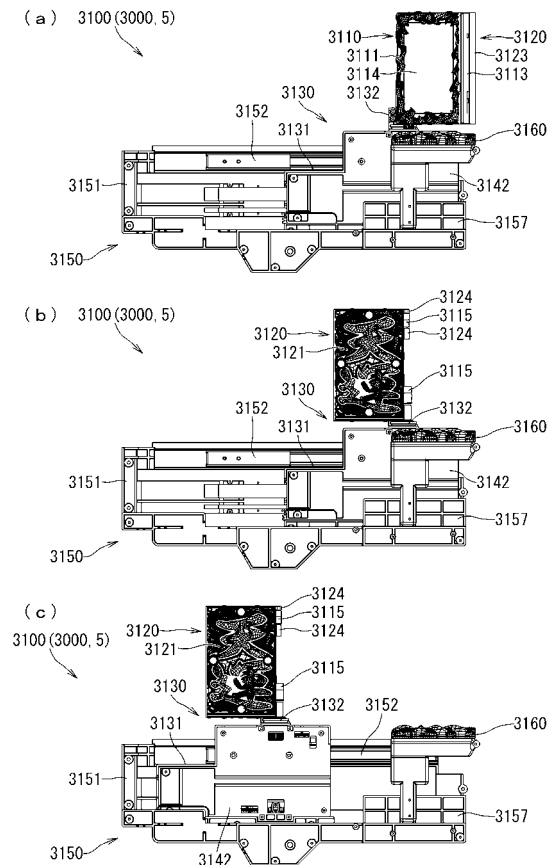
【図 102】



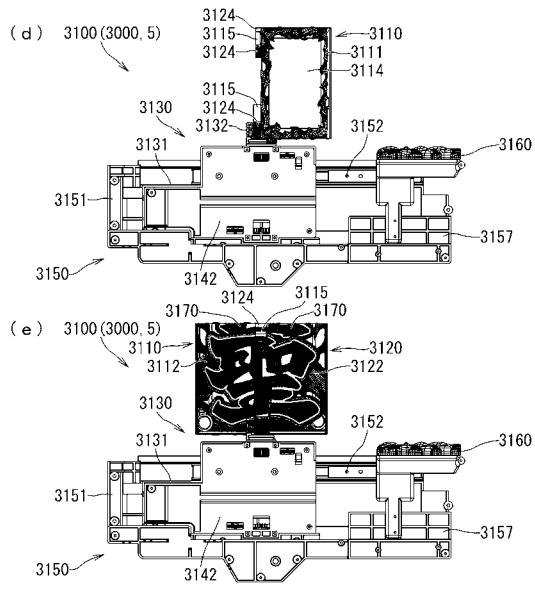
【図 103】



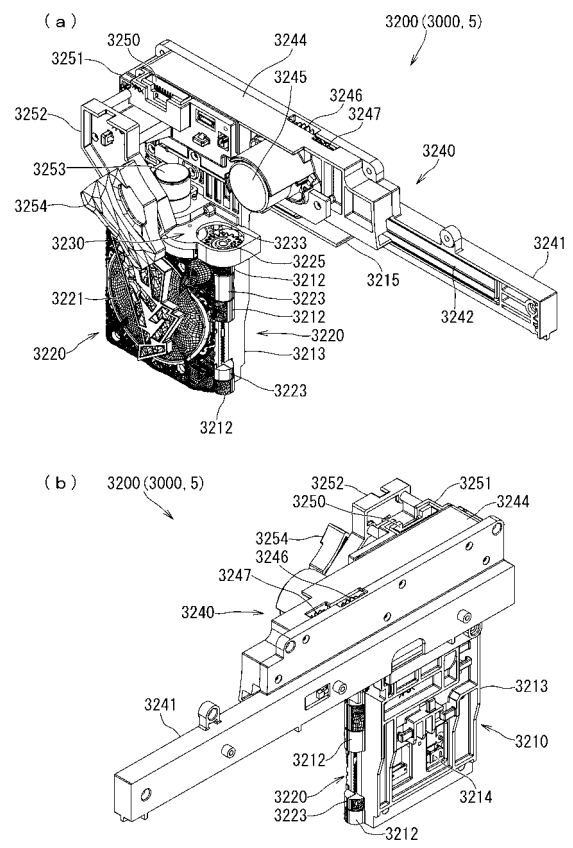
【図 104】



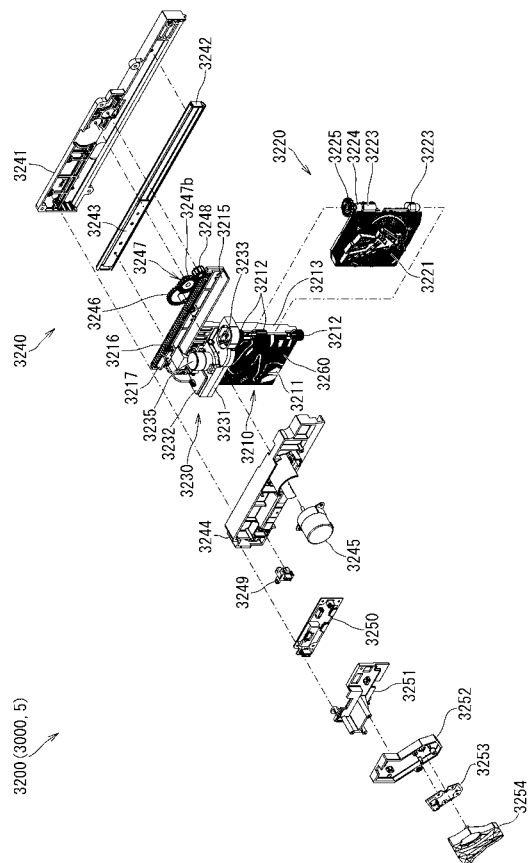
【図 105】



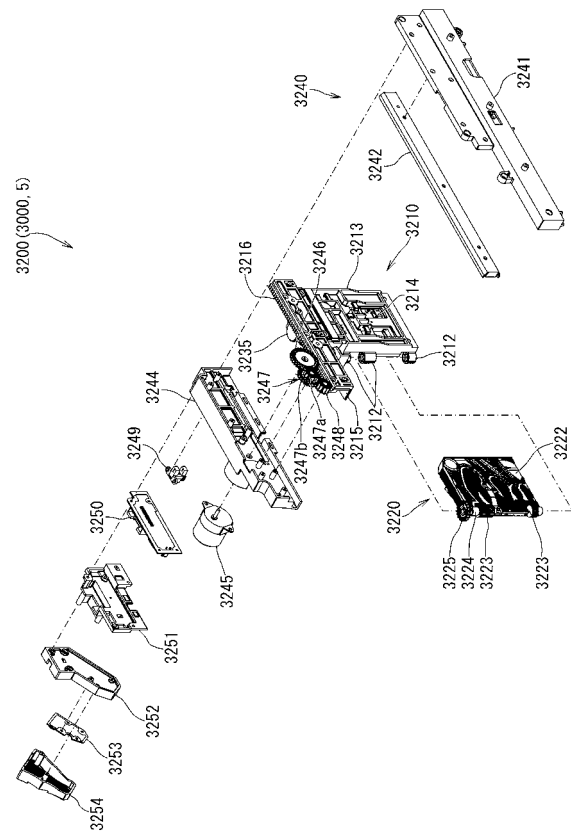
【図 106】



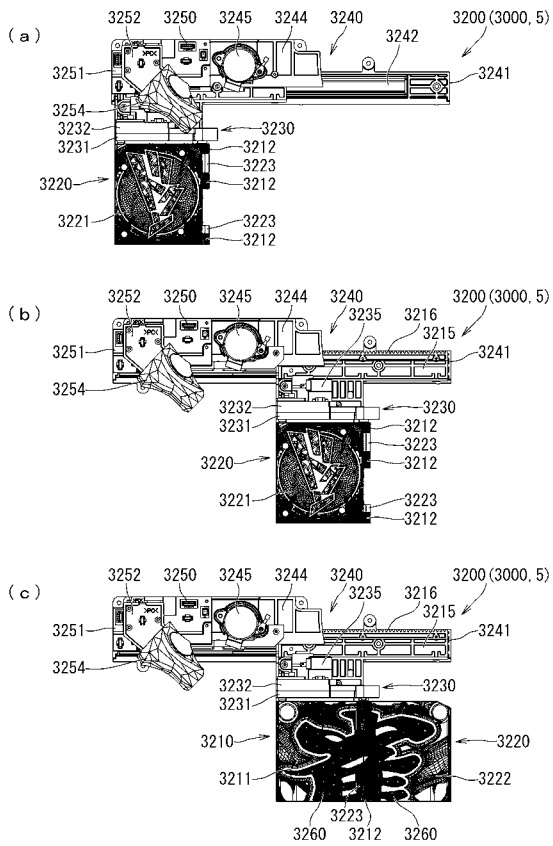
【図 107】



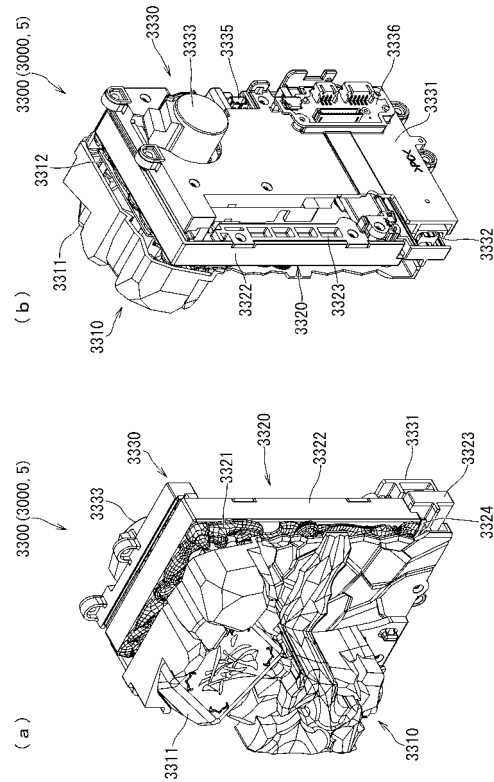
【図 108】



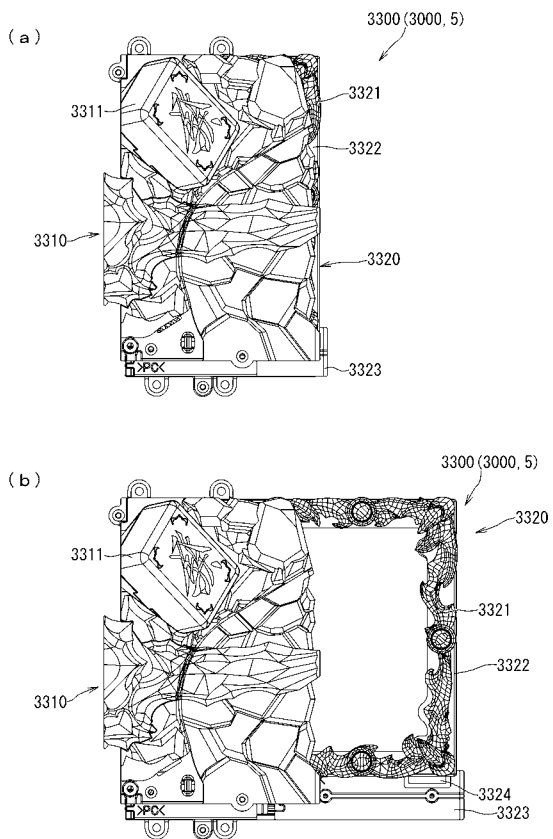
【図 109】



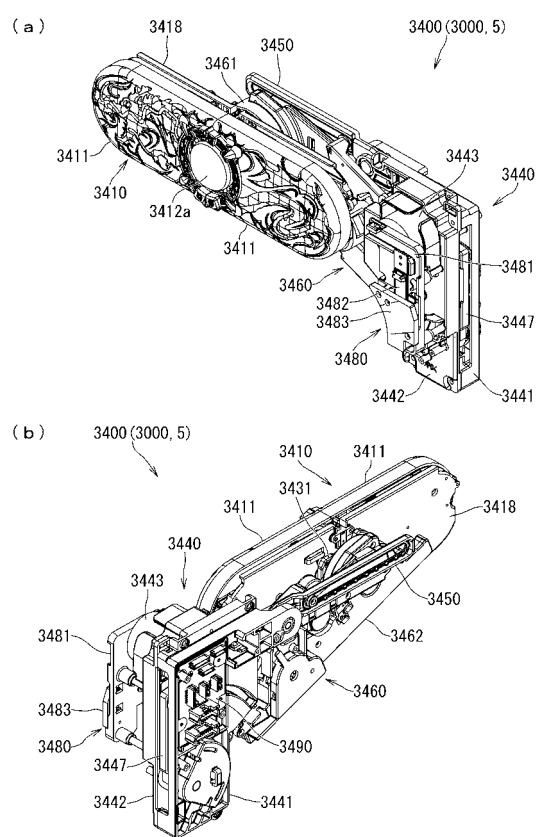
【図 110】



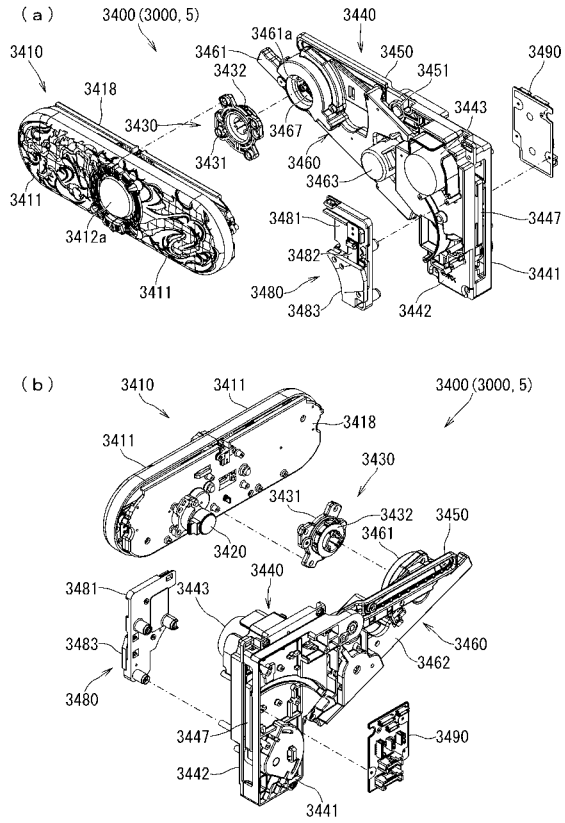
【図 111】



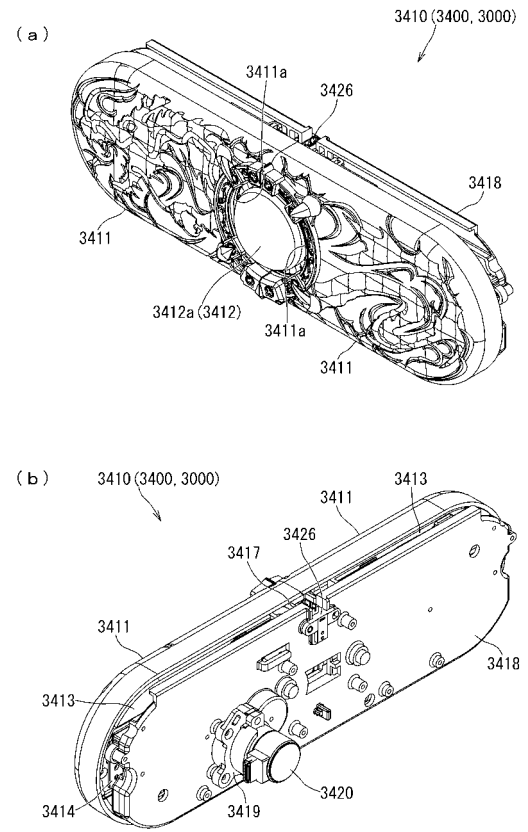
【図 112】



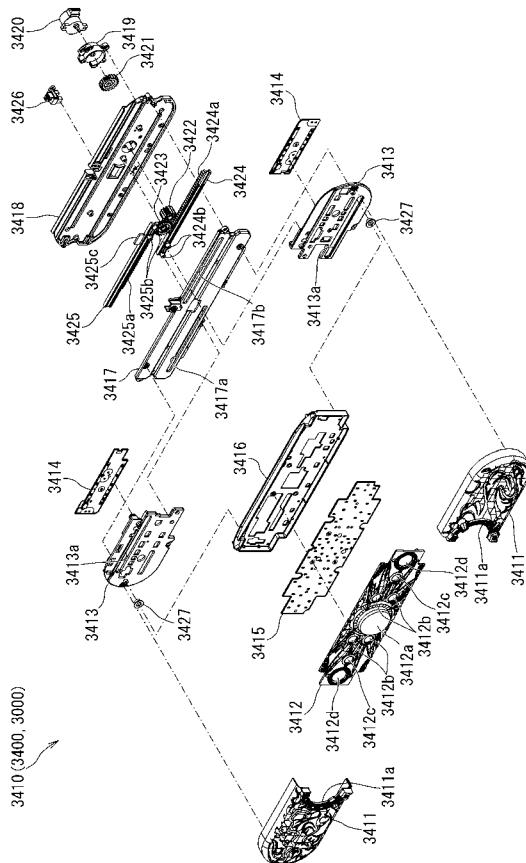
【図 1 1 3】



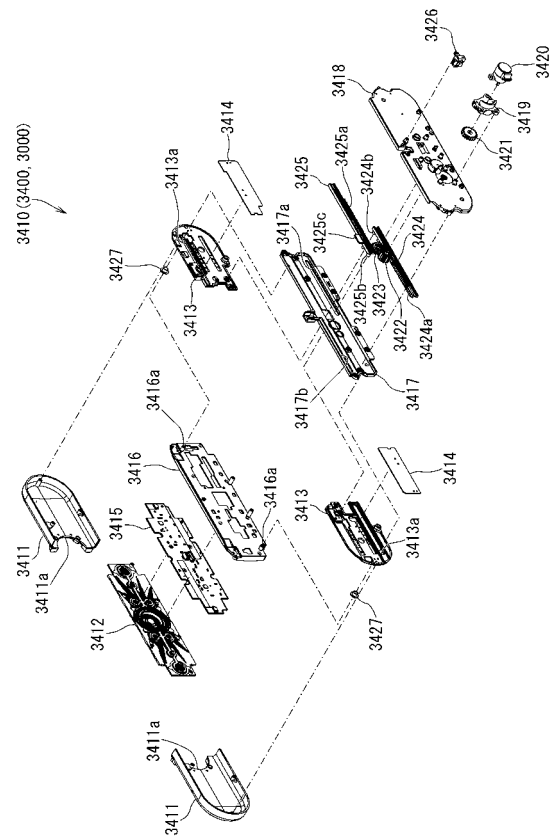
【図 1 1 4】



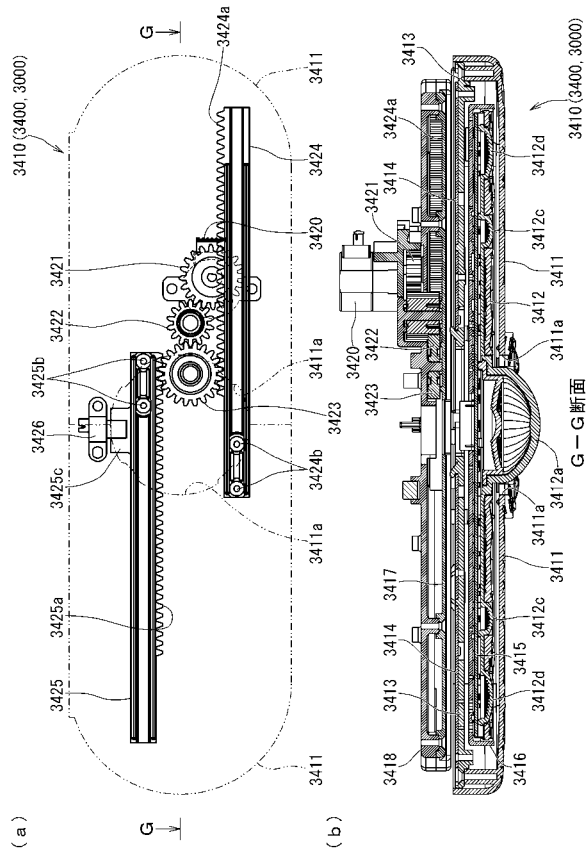
【図 1 1 5】



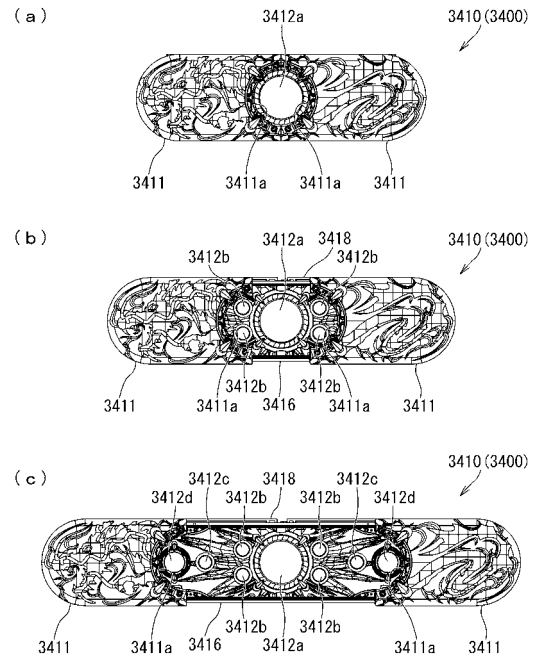
【図 1 1 6】



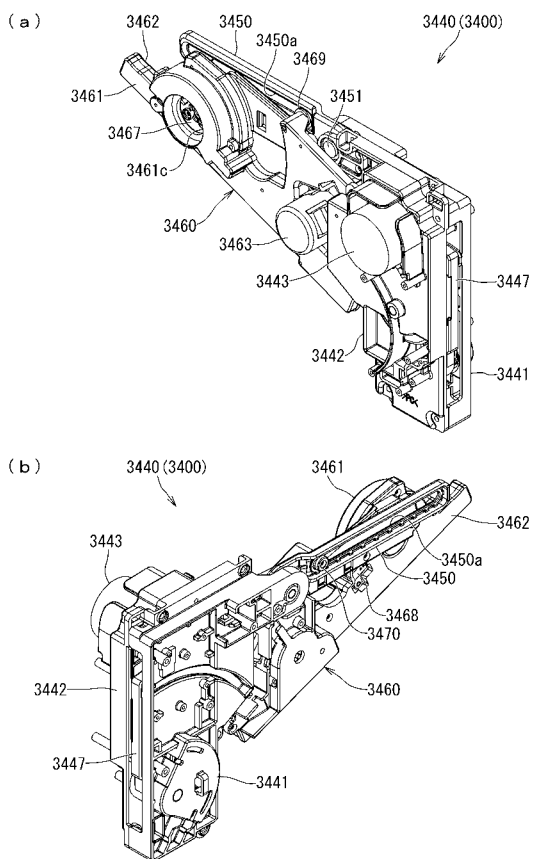
【図 1 1 7】



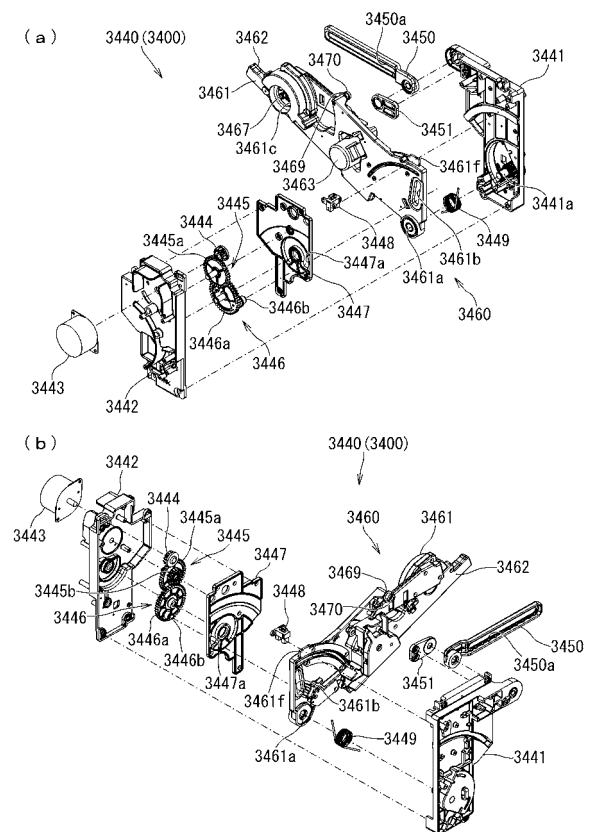
【図 1 1 8】



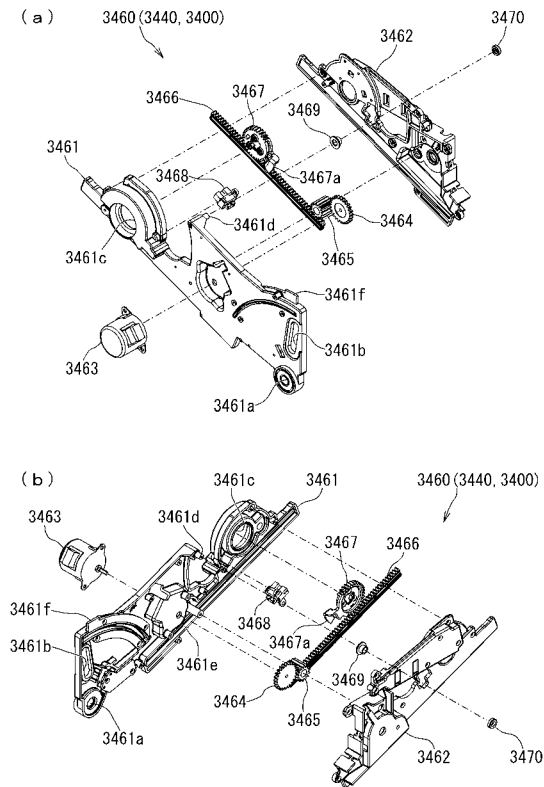
【図 1 1 9】



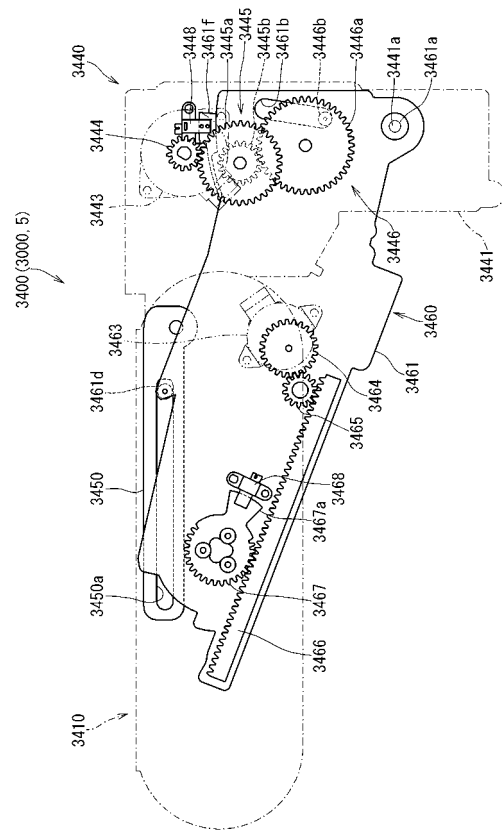
【図 1 2 0】



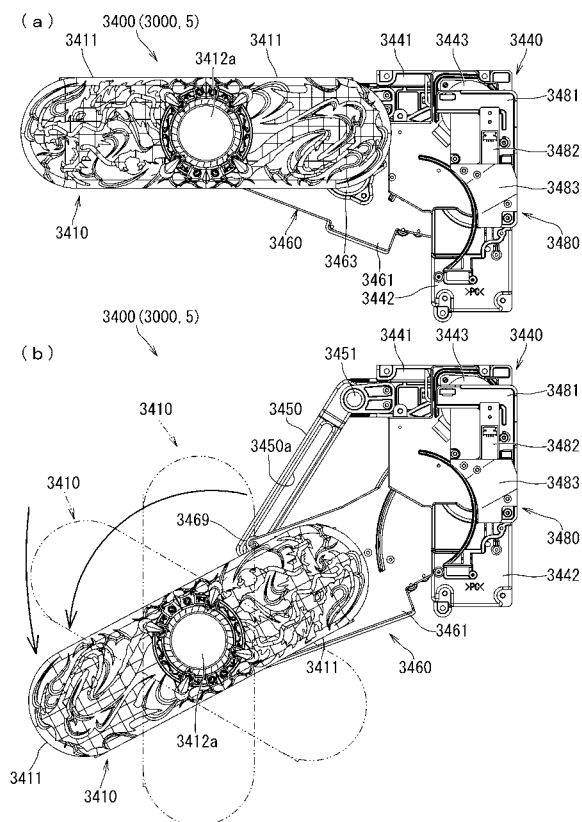
【図 1 2 1】



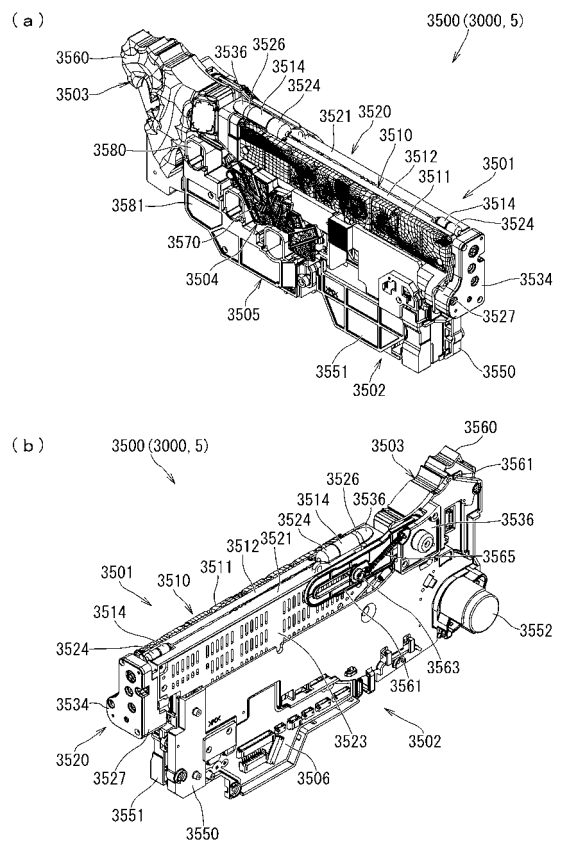
【図 1 2 2】



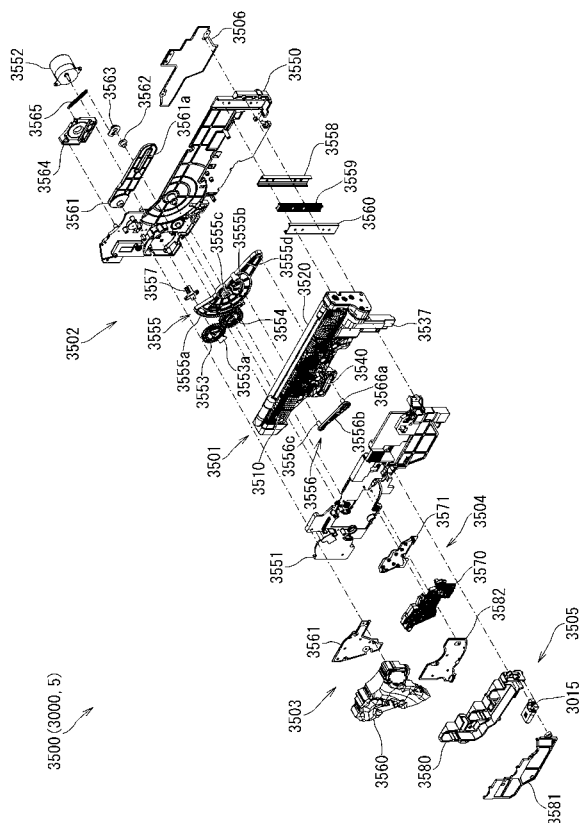
【図 1 2 3】



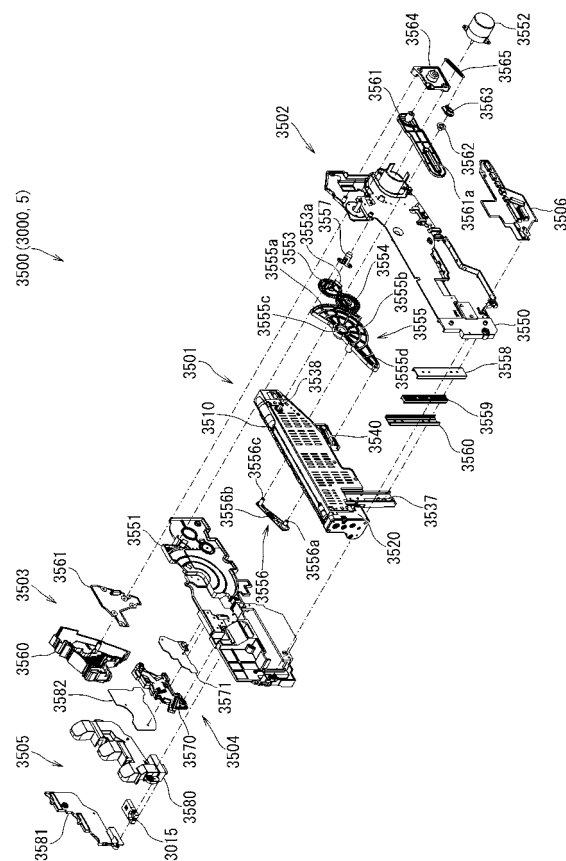
【図 1 2 4】



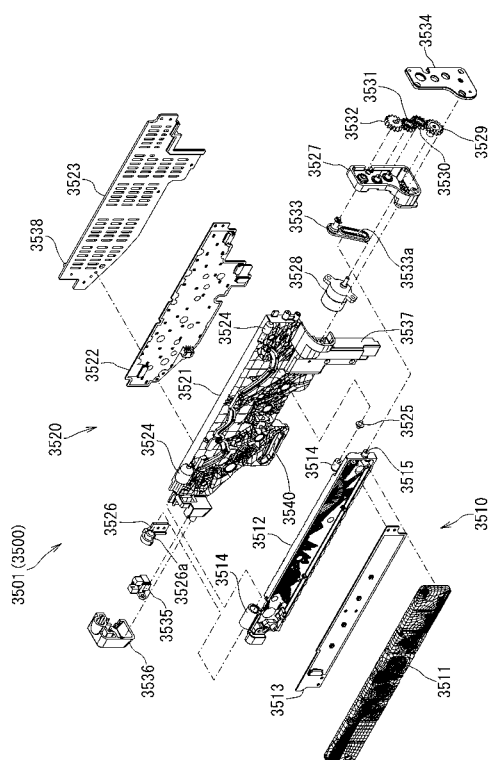
【 図 1 2 5 】



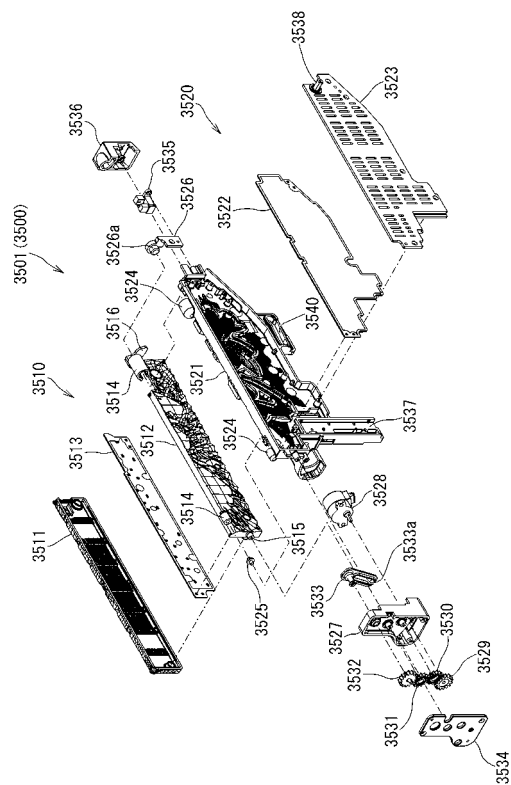
【 図 1 2 6 】



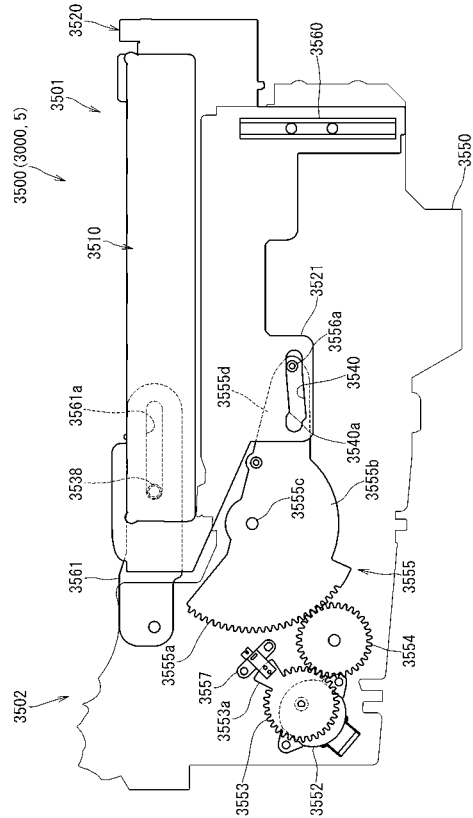
【图 1 2 7】



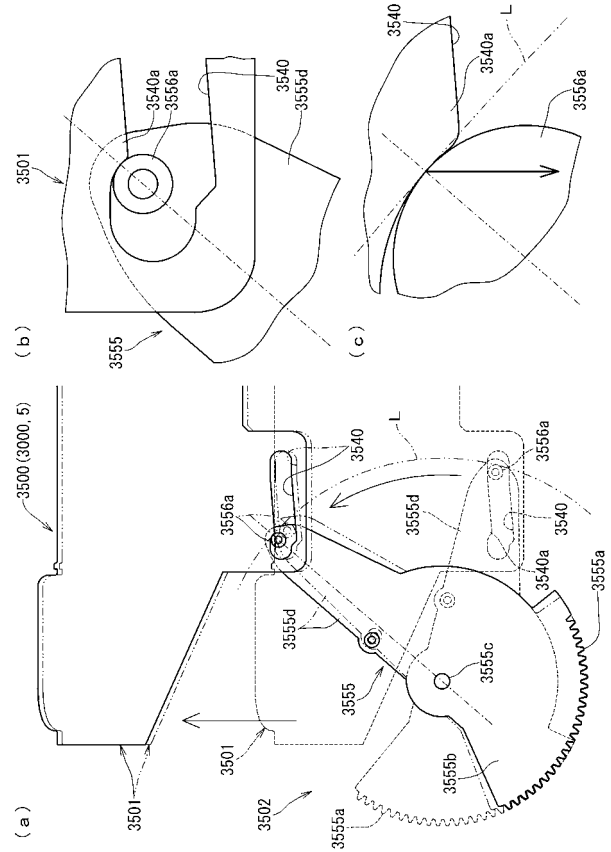
【 図 1 2 8 】



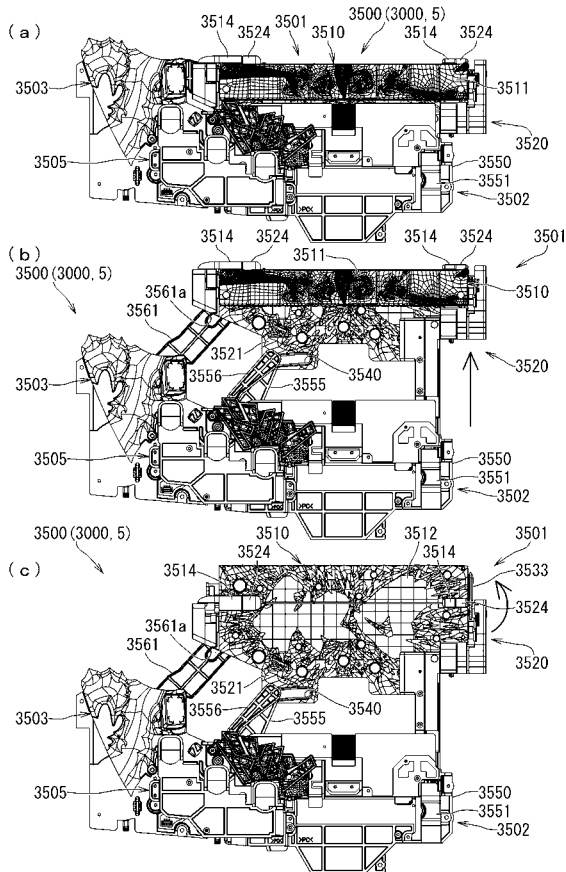
【図 129】



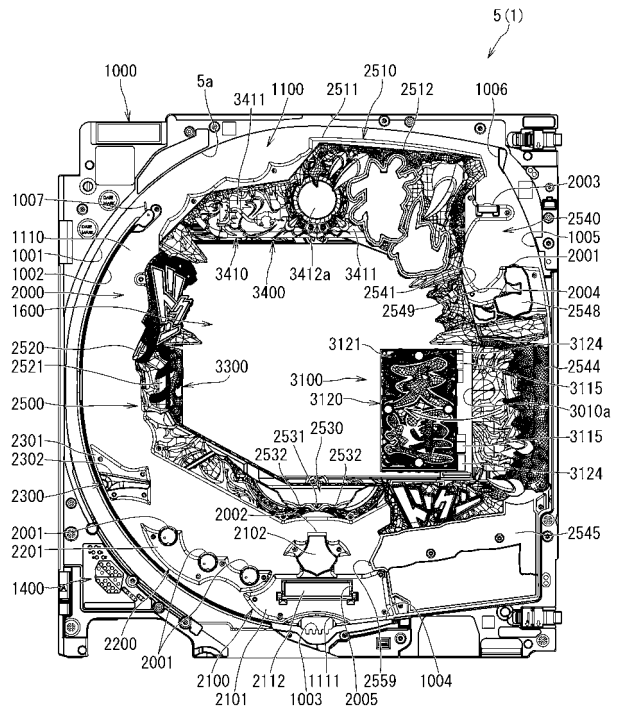
【図 130】



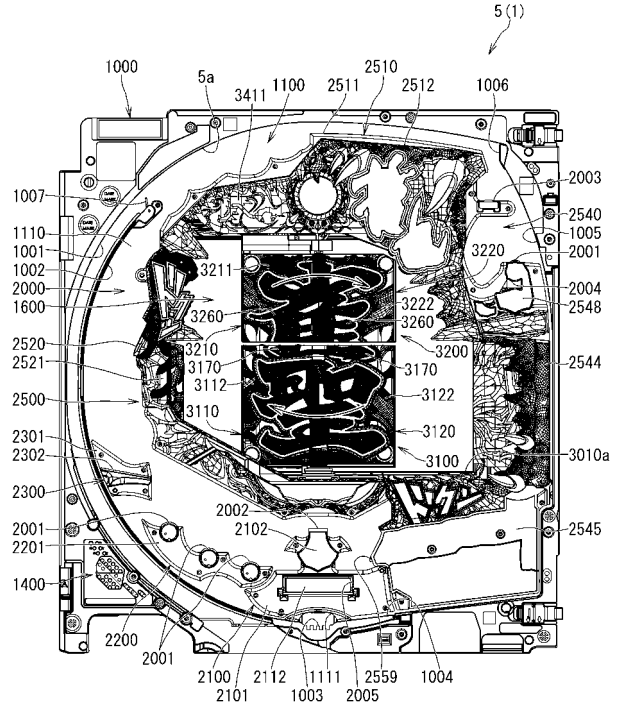
【図 131】



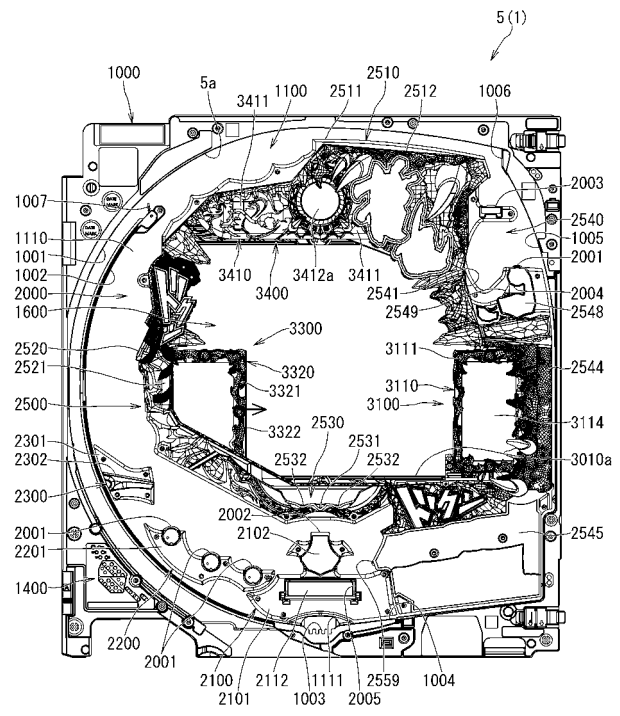
【図 132】



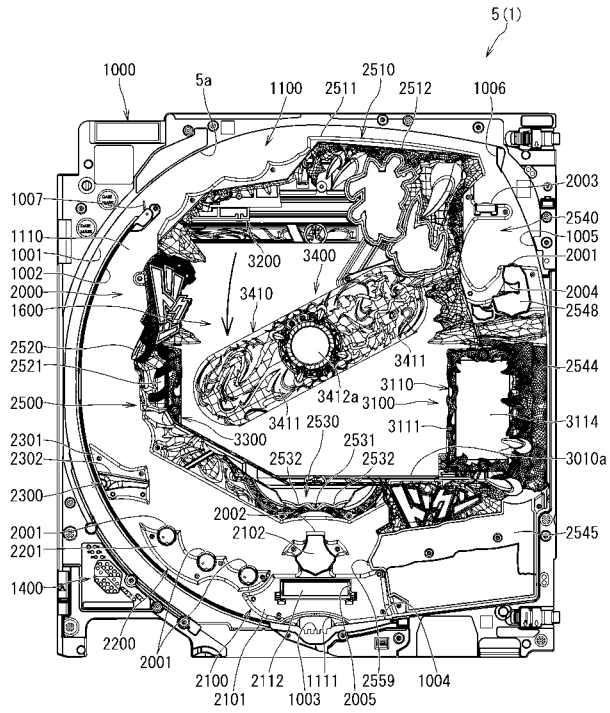
【図 1 3 4】



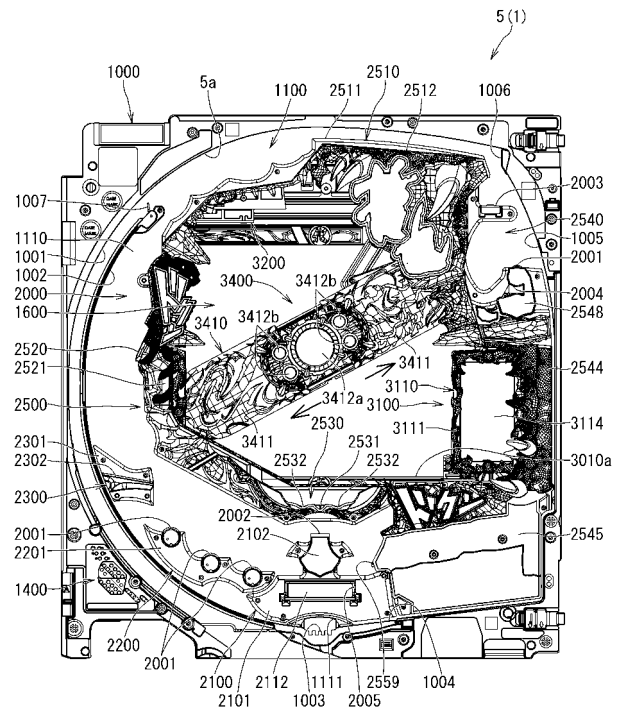
【図 1 3 6】



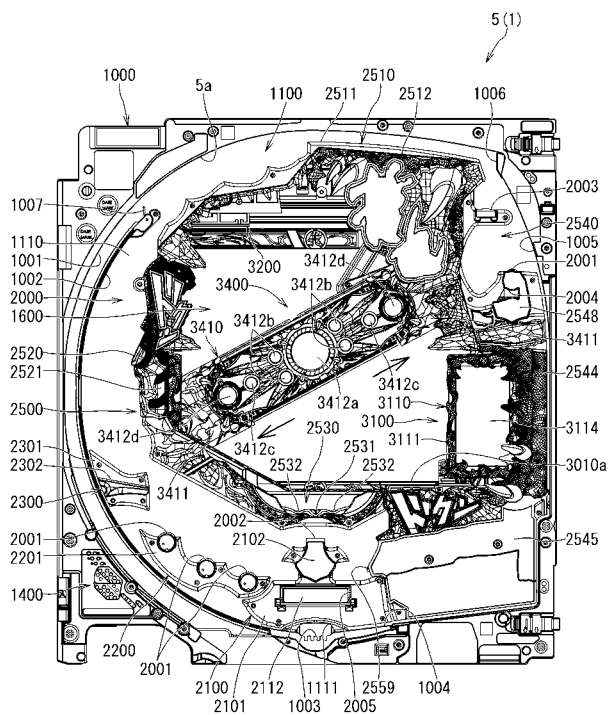
【図 137】



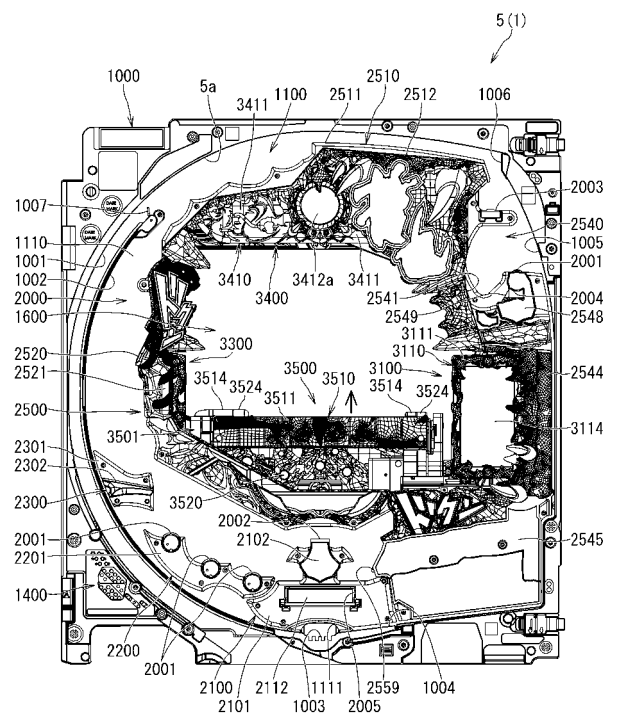
【図 138】



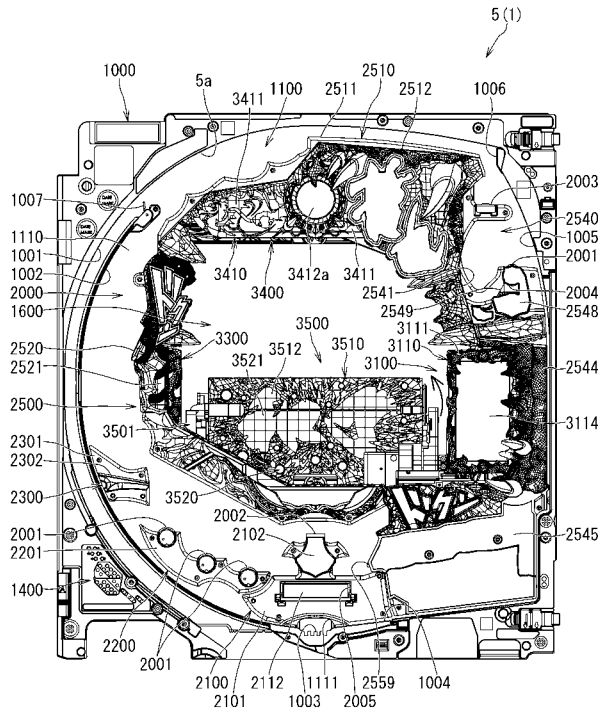
【図 139】



【図 140】



【図 1 4 1】



【図 1 4 2】

